平成２６年度当初予算

事業一覧表

一般会計目次

	通番号頁
総務部	
総務課	1
防災安全課	10
職員課	19
財政課	23
税務課	33
市民課	37
支所管理課	42
企画振興部	
総合政策課	47
地域づくり支援課	54
観光交流課	64
人権政策課	77
福祉保健部	
福祉課	87
子ども家庭課	102
医療保険課	123
長寿社会課	126
保健センター	134
産業環境部	
農林課	145
商工課	174
環境課	184

	通番号頁
建設部	
管理課	196
建設課	202
下水道課	210
景観まちづくり課	213
教育委員会事務局	
教育総務課	218
学校教育課	224
生涯学習課	239
文化財課	249
図書館	255
博物館	259
給食センター	270
会計課	272
議会事務局	274
監査委員事務局	276
選挙管理委員会事務局	278
公平委員会	283
農業委員会事務局	285

平成26年度予算 一般会計事業一覧表目次(款項目順)

(単位:千円)

款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	予算額	一般財源	通番号
歳　　入									
1	－	－	－	－	税務課	市税	5,548,328	5,548,328	34
9	1	1	－	－	財政課	地方特例交付金	13,707	13,707	24
10	1	1	－	－	財政課	地方交付税	7,500,000	7,500,000	24
18	1	－	－	－	財政課	基金繰入金	1,068,918	330,543	25
21	1	9	－	－	財政課	臨時財政対策債	903,818	903,818	25
歳　　出									
1	1	1	2	1	議会事務局	【一部新規】議会事務局費	177,571	177,571	275
2	1	1	2	1	総務課	庁舎等管理	53,208	50,671	2
2	1	1	3	1	総務課	車両業務	4,817	4,817	2
2	1	1	4	1	職員課	職員管理	78,396	72,938	21
2	1	1	5	1	総務課	行政改革懇談会・まちづくり評価会議	217	217	3
2	1	1	7	1	支所管理課	【一部新規】支所管理	18,905	18,380	43
2	1	1	8	1	総合政策課	秘書	7,892	7,892	48
2	1	1	9	1	総務課	【一部新規】電算業務(ホスト系)	136,001	136,001	3
2	1	1	9	2	総務課	電算業務(サーバ系)	12,478	12,478	4
2	1	1	10	1	総務課	争訟事務	2,595	2,595	4
2	1	1	12	1	支所管理課	情報通信設備維持管理	8,017	0	43
2	1	1	15	1	総務課	【一部新規】行政情報システム管理	20,783	20,783	5
2	1	1	17	1	職員課	人件費(特別職)	30,395	30,395	20
2	1	1	18	1	職員課	【新規】人件費(再任用)	8,779	8,779	21
2	1	2	1	1	職員課	【一部新規】人事管理	41,350	37,287	22
2	1	3	1	1	総務課	文書広報	16,985	16,935	5
2	1	3	2	1	総合政策課	【一部新規】広報広聴	19,526	16,295	48
2	1	4	1	1	財政課	財政事務	6,001	6,001	26
2	1	5	1	1	会計課	出納事務	1,877	1,877	273
2	1	6	1	1	財政課	財政調整基金積立金	2,545	0	26
2	1	6	2	1	財政課	財産管理	22,021	21,866	27
2	1	6	3	1	財政課	減債基金積立金	79,896	75,000	27
2	1	6	6	1	職員課	退職手当基金積立	530	0	22

平成26年度予算 一般会計事業一覧表目次(款項目順)

(単位:千円)

款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	予算額	一般財源	通番号
2	1	6	7	1	財政課	公共施設等建設基金積立金	131	0	28
2	1	6	9	1	地域づくり支援課	若者の定住化促進基金積立金	7,509	0	55
2	1	6	10	1	観光交流課	文化基金積立	2,822	0	65
2	1	6	11	1	地域づくり支援課	緑を守り育てる基金積立金	12,899	0	55
2	1	6	12	1	財政課	倉吉ふれあい会館維持管理	370	370	28
2	1	6	13	1	農林課	ふるさと農村活性化基金	19	0	146
2	1	6	14	1	下水道課	集落排水事業推進基金積立金	7,832	0	211
2	1	6	15	1	教育総務課	教育振興基金積立金	1,933	0	219
2	1	6	16	1	博物館	博物館資料整備基金	3,612	0	260
2	1	6	17	1	会計課	用品調達基金	2,650	50	273
2	1	6	18	1	財政課	遥かなたち倉吉ふるさと基金積立金	7,278	0	29
2	1	6	23	1	支所管理課	湯の関振興基金積立金	19	0	44
2	1	6	26	1	商工課	企業立地推進基金積立金	451	0	175
2	1	6	30	1	財政課	地域の元気づくり基金積立金	727	0	29
2	1	6	31	1	財政課	ふるさと納税	36,671	36,671	30
2	1	7	1	1	総合政策課	【一部新規】企画政策推進	1,950	1,950	49
2	1	7	3	1	地域づくり支援課	元気の出る地域づくり支援	19,515	19,515	56
2	1	7	4	1	観光交流課	韓国姉妹都市等交流	1,905	1,355	65
2	1	7	5	1	観光交流課	国際交流	3,214	3,064	66
2	1	7	7	1	地域づくり支援課	緑を守り育てる	971	0	56
2	1	7	8	1	観光交流課	倉吉未来中心管理運営委託	79,522	72,189	66
2	1	7	11	1	観光交流課	文化芸術活動振興	3,473	3,173	67
2	1	7	12	1	地域づくり支援課	協働のまちづくり	7,450	7,450	57
2	1	7	18	1	観光交流課	国内交流	992	953	68
2	1	7	25	1	総合政策課	青少年の森・市民交流の森管理	296	296	49
2	1	7	29	1	地域づくり支援課	定住対策事業	3,785	0	58
2	1	7	30	1	地域づくり支援課	若者定住・UIJターン事業	2,591	0	59
2	1	7	32	1	総合政策課	定住自立圏構想推進事業	490	490	50
2	1	7	33	1	観光交流課	里見ブランド化推進事業	1,729	1,729	69
2	1	7	39	1	総合政策課	【一部新規】イメージキャラクター作製事業	2,253	2,253	50

平成26年度予算 一般会計事業一覧表目次(款項目順)

(単位:千円)

款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	予算額	一般財源	通番号
2	1	7	42	1	地域づくり支援課	集落支援員活用事業	5,884	5,884	60
2	1	7	43	1	観光交流課	文化活動センター管理運営(指定管理)	6,750	6,750	69
2	1	7	44	1	総合政策課	【新規】鳥取看護大学建設費補助事業	309,595	15,695	51
2	1	8	1	1	公平委員会	公平委員会	993	993	284
2	1	9	1	1	防災安全課	交通安全対策	4,577	4,577	11
2	1	9	5	1	支所管理課	総合交通対策(支所)	3,500	3,500	44
2	1	9	6	1	総合政策課	【一部新規】総合交通対策(企画)	113,480	97,825	51
2	1	9	8	1	総合政策課	総合交通対策(定住自立圏)	805	805	52
2	1	10	1	1	総務課	行政区域整備	88	88	6
2	1	10	3	1	財政課	地域振興交付金	990	0	30
2	1	10	4	1	総務課	自衛官募集	52	0	6
2	1	10	6	1	総務課	表彰式・叙勲・褒章	1,425	1,425	7
2	1	10	7	1	総務課	【一部新規】負担金・補助金	933	933	7
2	1	10	10	1	税務課	還付金	107,011	107,011	34
2	1	10	11	1	総務課	広域連合負担金	61,723	61,723	8
2	1	10	13	1	地域づくり支援課	自治公民館活動推進	26,735	26,726	61
2	1	10	14	1	総務課	防犯対策事業	312	312	8
2	1	10	15	1	総務課	社会福祉事業団助成	516	516	9
2	1	10	16	1	総務課	社会を明るくする運動	62	62	9
2	1	10	17	1	地域づくり支援課	交通災害共済加入促進	3,694	0	62
2	1	10	18	1	地域づくり支援課	コミュニティ推進事業	28,100	0	63
2	1	10	19	1	地域づくり支援課	消費者行政推進事業	2,552	2,313	63
2	2	1	2	1	税務課	税務総務	17,785	17,785	35
2	2	2	1	1	税務課	【一部新規】賦課徴収	37,772	0	35
2	3	1	2	1	市民課	戸籍住民登録事務	18,319	0	38
2	3	1	4	1	支所管理課	戸籍住民登録事務(支所)	196	0	45
2	3	1	6	1	市民課	中長期在留者住居地届出等事務	5	0	38
2	4	1	2	1	選挙管理委員会事務局	選挙管理委員会費	1,920	1,906	279
2	4	2	1	1	選挙管理委員会事務局	選挙啓発費	680	680	279
2	4	3	1	1	選挙管理委員会事務局	鳥取県知事選挙費	4,479	0	280

平成26年度予算 一般会計事業一覧表目次(款項目順)

(単位:千円)

款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	予算額	一般財源	通番号
2	4	4	1	1	選挙管理委員会事務局	鳥取県議会議員一般選挙費	1,964	0	280
2	4	5	1	1	選挙管理委員会事務局	市長選挙費	3,268	3,268	281
2	4	6	1	1	選挙管理委員会事務局	土地改良区総代選挙費	142	0	281
2	4	7	1	1	選挙管理委員会事務局	農業委員会委員選挙費	7,386	7,386	282
2	5	1	2	1	総合政策課	統計業務	94	94	52
2	5	2	1	1	市民課	人口動態調査	50	0	39
2	5	2	2	1	市民課	人口移動調査	36	0	39
2	5	3	－	－	総合政策課	経済統計調査	11,051	0	53
2	5	4	1	1	総合政策課	学校基本調査	14	0	53
2	6	1	2	1	監査委員事務局	監査事務	2,519	2,519	277
3	1	1	2	1	福祉課	社会福祉総務	4,244	4,244	88
3	1	1	3	1	福祉課	民生委員	2,922	2,912	88
3	1	1	4	1	福祉課	社会福祉事業団体助成	57,042	55,743	89
3	1	1	5	1	福祉課	遺族援護関係	546	528	89
3	1	1	6	1	福祉課	行旅病人等取扱	1,094	0	90
3	1	1	7	1	福祉課	法外扶助	7,125	4,184	90
3	1	1	8	1	福祉課	特別障害者手当等給付	29,086	7,315	91
3	1	1	12	1	福祉課	自立支援制度管理	4,323	4,323	91
3	1	1	24	1	長寿社会課	伯耆しあわせの郷管理運営委託	50,200	50,079	127
3	1	1	25	1	医療保険課	国民健康保険特別会計繰出	368,594	187,024	124
3	1	1	39	1	福祉課	新福祉センター建設費助成事業	20,000	20,000	92
3	1	1	41	1	福祉課	【一部新規】地域支え愛活動支援事業	6,237	1,599	92
3	1	2	2	1	市民課	国民年金	177	0	40
3	1	3	6	1	福祉課	障がい区分認定審査	2,168	1,252	93
3	1	3	7	1	福祉課	障がい者自立支援給付事業	1,073,142	268,286	93
3	1	3	8	1	福祉課	障がい者地域生活支援事業	98,865	41,696	94
3	1	3	17	1	福祉課	障がい児を育てる地域の支援体制整備事業	1,233	617	95
3	1	3	32	1	福祉課	身体障がい者福祉運営対策	295	295	95
3	1	3	33	1	福祉課	身体障がい者更生医療・補装具給付事業	88,835	22,210	96
3	1	3	34	1	福祉課	障がい者福祉一般単独	767	767	96

平成26年度予算 一般会計事業一覧表目次(款項目順)

(単位:千円)

款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	予算額	一般財源	通番号
3	1	3	36	1	福祉課	障害者総合支援法利用者負担支援事業	335	335	97
3	1	3	37	1	福祉課	障がい者グループホーム設置運営支援	4,665	2,333	97
3	1	3	40	1	福祉課	障がい者等交通費助成	13,329	13,329	98
3	1	3	44	1	福祉課	障がい児・者地域生活体験事業	103	52	98
3	1	3	53	1	福祉課	【新規】重度障がい児者支援事業	8,412	4,206	99
3	1	4	1	1	長寿社会課	老人福祉一般	762,463	681,581	128
3	1	4	2	1	長寿社会課	措置	139,924	112,617	129
3	1	4	3	1	長寿社会課	在宅福祉(間接補助)	3,836	1,272	129
3	1	4	4	1	長寿社会課	敬老会及び敬老の日記念	15,858	15,858	130
3	1	4	6	1	長寿社会課	シルバー人材センター補助	10,455	10,455	130
3	1	4	7	1	長寿社会課	老人憩の家管理	1,492	1,491	131
3	1	4	8	1	長寿社会課	在宅福祉(単県補助)	1,899	1,779	131
3	1	4	10	1	長寿社会課	高齢者生活福祉センター管理運営委託	8,200	7,973	132
3	1	4	15	1	医療保険課	高齢者医療一般	761,469	655,768	124
3	1	4	21	1	長寿社会課	認知症にかかる支援体制整備事業(定住自立圏)	1,239	1,239	133
3	1	5	1	1	医療保険課	特別医療助成	304,562	138,190	125
3	1	6	1	1	子ども家庭課	婦人保護	2,364	1,945	103
3	1	7	2	1	人権政策課	人権文化センター運営	12,248	5,471	78
3	1	7	7	1	人権政策課	やまびこ人権文化センター運営	9,348	1,754	79
3	1	7	8	1	人権政策課	さわやか人権文化センター運営	9,193	4,236	80
3	1	7	9	1	人権政策課	はばたき人権文化センター運営	9,662	3,356	81
3	1	7	10	1	人権政策課	あたごふれあい人権文化センター運営	9,287	2,529	82
3	1	8	1	1	人権政策課	同和対策	2,027	2,027	83
3	1	8	3	1	人権政策課	【一部新規】男女共同参画の推進	530	530	84
3	1	8	4	1	人権政策課	部落解放研究倉吉市集会・文化祭	870	870	85
3	1	8	6	1	人権政策課	人権政策推進	6,269	4,458	86
3	1	9	1	1	福祉課	【新規】臨時福祉給付金	224,967	0	99
3	2	1	2	1	子ども家庭課	【一部新規】児童福祉総務費	137,911	68,737	104
3	2	1	3	1	子ども家庭課	児童委員	2,015	2,015	105
3	2	1	4	1	子ども家庭課	児童手当給付	778,101	119,125	105

平成26年度予算 一般会計事業一覧表目次(款項目順)

(単位:千円)

款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	予算額	一般財源	通番号
3	2	1	5	1	子ども家庭課	災害遺児手当給付	748	403	106
3	2	1	6	1	子ども家庭課	児童扶養手当	290,559	192,662	106
3	2	1	8	1	子ども家庭課	児童健全育成	38,952	13,874	107
3	2	1	9	1	子ども家庭課	ポプラ学級運営	8,793	3,135	107
3	2	1	10	1	子ども家庭課	高城児童クラブ運営	5,831	2,209	108
3	2	1	11	1	子ども家庭課	明倫児童クラブ運営	5,828	2,317	108
3	2	1	12	1	子ども家庭課	北谷児童クラブ運営	6,554	1,916	109
3	2	1	13	1	子ども家庭課	小鴨児童クラブ運営	7,730	2,911	109
3	2	1	14	1	子ども家庭課	関金児童クラブ運営	6,988	1,904	110
3	2	1	15	1	子ども家庭課	山守児童クラブ運営	4,682	2,130	110
3	2	1	16	1	子ども家庭課	【一部新規】障がい児支援給付事業	53,713	15,927	111
3	2	1	17	1	市民課	出産手当金支給	1,800	1,800	40
3	2	1	18	1	子ども家庭課	子育て支援事業	18,875	5,107	112
3	2	1	20	1	子ども家庭課	私学振興	10,350	10,350	112
3	2	1	23	1	子ども家庭課	幼稚園教育振興	17,594	13,758	113
3	2	1	27	1	子ども家庭課	子どもの発達支援体制整備	1,596	1,113	114
3	2	1	28	1	子ども家庭課	ファミリーサポートセンター事業	2,584	1,251	114
3	2	2	2	1	子ども家庭課	【一部新規】保育所運営費	1,646,247	527,522	115
3	2	2	9	1	子ども家庭課	病児保育事業	9,078	3,005	116
3	2	3	1	1	子ども家庭課	中央児童館運営	6,989	6,989	116
3	2	3	2	1	子ども家庭課	小鴨児童センター運営	9,161	9,161	117
3	2	3	3	1	子ども家庭課	高城児童センター運営	9,102	9,102	117
3	2	3	4	1	子ども家庭課	上米積児童センター運営	9,557	9,547	118
3	2	3	5	1	子ども家庭課	福吉児童センター運営	8,419	8,404	118
3	2	3	6	1	子ども家庭課	上井児童センター運営	9,763	9,763	119
3	2	3	7	1	子ども家庭課	関金児童館運営	6,728	6,728	119
3	2	4	1	1	子ども家庭課	【一部新規】母子福祉事務	11,535	5,221	120
3	2	5	1	1	子ども家庭課	児童集会所管理	819	779	120
3	2	6	1	1	子ども家庭課	家庭児童相談室運営	3,277	1,215	121
3	2	9	1	1	子ども家庭課	【新規】子育て世帯臨時特例給付金	56,033	0	122

平成26年度予算 一般会計事業一覧表目次(款項目順)

(単位:千円)

款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	予算額	一般財源	通番号
3	3	2	1	1	福祉課	【一部新規】生活保護	1,207,778	261,357	100
3	3	2	2	1	福祉課	中国残留邦人等支援給付	519	0	101
4	1	1	3	1	保健センター	【一部新規】保健衛生一般	18,796	18,796	135
4	1	1	4	1	保健センター	1歳6か月児健康診査	1,380	1,380	135
4	1	1	5	1	保健センター	矢櫃保健指導所	6,123	5,015	136
4	1	1	6	1	保健センター	妊産婦新生児等訪問指導	557	557	136
4	1	1	7	1	保健センター	6か月児健康診査	768	768	137
4	1	1	8	1	保健センター	5歳児発達相談	265	265	137
4	1	1	9	1	保健センター	3歳児健康診査	3,435	3,435	138
4	1	1	10	1	保健センター	妊産婦・乳幼児健康診査	43,580	43,580	138
4	1	1	11	1	保健センター	母子健康教室	3,570	3,339	139
4	1	1	12	1	保健センター	【一部新規】保健センター運営	9,517	9,517	139
4	1	1	13	1	環境課	衛生総務	271	270	185
4	1	1	13	1	保健センター	未熟児養育医療	3,123	703	140
4	1	1	17	1	環境課	動物愛護事業	1,200	0	185
4	1	2	1	1	保健センター	感染症予防	88	88	140
4	1	3	1	1	環境課	狂犬病予防事業	347	0	186
4	1	3	4	1	保健センター	個別予防接種	126,418	126,418	141
4	1	3	8	1	保健センター	風しんワクチン接種費助成事業	453	229	141
4	1	4	1	1	環境課	環境衛生事業	19,579	19,579	186
4	1	4	2	1	環境課	公衆浴場確保対策事業	550	300	187
4	1	4	3	1	環境課	市民町内清掃支援事業	9,763	9,763	187
4	1	4	4	1	環境課	市有墓地維持管理事業	320	320	188
4	1	4	5	1	下水道課	合併処理浄化槽設置推進	20,335	6,348	211
4	1	4	6	1	環境課	こどもエコクラブ事業	1,050	525	188
4	1	4	7	1	環境課	住宅用太陽光発電システム導入促進事業	16,000	8,000	189
4	1	4	9	1	環境課	EV導入推進事業	974	974	189
4	1	4	10	1	環境課	家庭用燃料電池導入促進事業	540	270	190
4	1	5	2	1	保健センター	がん検診	66,796	64,333	142
4	1	5	3	1	保健センター	健康教育	1,693	1,327	142

平成26年度予算 一般会計事業一覧表目次(款項目順)

(単位:千円)

款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	予算額	一般財源	通番号
4	1	5	4	1	保健センター	健康相談	443	360	143
4	1	5	5	1	保健センター	健康診査	3,072	1,479	143
4	1	5	6	1	保健センター	訪問指導	453	419	144
4	1	6	1	1	環境課	公害対策事業	5,144	4,736	190
4	2	1	2	1	環境課	清掃総務	1,107	1,056	191
4	2	2	1	1	環境課	【一部新規】塵芥処理事業	810,574	514,423	191
4	2	2	2	1	環境課	川をきれいにする運動	230	230	192
4	2	2	3	1	環境課	廃棄物減量等推進事業	45,759	42,843	192
4	2	2	4	1	環境課	環境美化促進対策事業	3,010	1,510	193
4	2	3	1	1	環境課	し尿処理事業	60,152	33,701	193
4	3	1	1	1	環境課	簡易水道の上水道統合	17,341	17,341	194
4	3	2	1	1	環境課	簡易水道・小規模水道等整備事業	88,174	85,044	194
4	3	2	2	1	環境課	飲用井戸等整備資金融資事業	2,786	36	195
5	1	1	1	1	商工課	勤労者福祉	50	50	175
5	1	1	27	1	商工課	地域資源活用商品開発促進事業(起業支援型地域雇用創造事業)	3,794	0	176
5	1	1	29	1	商工課	【新規】地域産業活性化推進員育成事業(地域人づくり事業)	8,454	0	176
5	1	2	8	1	文化財課	倉吉淀屋管理事業(地域人づくり事業)	3,500	0	250
6	1	1	2	1	農業委員会事務局	農業委員会	14,420	10,167	286
6	1	1	3	1	農業委員会事務局	農地法に基づく許認可・利用調整	115	115	286
6	1	1	4	1	農業委員会事務局	農業者年金業務	415	0	287
6	1	1	5	1	農業委員会事務局	農地保有合理化促進	78	0	287
6	1	1	6	1	農業委員会事務局	国有農地の管理・処分	25	0	288
6	1	1	7	1	農業委員会事務局	農用地利用権設定等促進	1,384	1,384	288
6	1	1	8	1	農業委員会事務局	農地調整事務処理	15	0	289
6	1	2	2	1	農林課	農林行政対策	1,146	1,066	146
6	1	2	4	1	農林課	久米農村広場維持管理	348	348	147
6	1	2	6	1	農林課	農村環境改善センター管理	6,519	5,563	147
6	1	2	7	1	支所管理課	大山池ふれあい広場等維持管理	2,633	2,633	45
6	1	3	3	1	農林課	特定野菜等価格安定対策	900	900	148
6	1	3	7	1	農林課	健康農園維持管理	597	0	148

平成26年度予算 一般会計事業一覧表目次(款項目順)

(単位:千円)

款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	予算額	一般財源	通番号
6	1	3	9	1	農林課	担い手規模拡大促進事業	10,640	10,639	149
6	1	3	11	1	農林課	農業経営基盤強化資金利子補助事業	357	179	149
6	1	3	14	1	農林課	農地を守る直接支払	103,408	29,602	150
6	1	3	15	1	農林課	地産地消推進	996	996	150
6	1	3	19	1	農林課	特産品生産振興対策事業	888	888	151
6	1	3	21	1	農林課	担い手経営展開支援リース事業	526	526	151
6	1	3	23	1	農林課	梨産地活性化事業	16,832	6,139	152
6	1	3	31	1	農林課	小規模零細地域営農確率促進対策	3,071	1,447	153
6	1	3	33	1	農林課	就農条件整備事業	5,328	1,778	153
6	1	3	35	1	農林課	就農応援交付金事業	800	267	154
6	1	3	38	1	農林課	鳥獣被害総合対策事業	11,757	6,014	155
6	1	3	42	1	農林課	経営所得安定対策事業	6,668	0	156
6	1	3	45	1	農林課	青年就農給付金事業	13,500	0	156
6	1	3	46	1	農林課	耕作放棄地再生利用推進事業	2,925	2,925	157
6	1	3	48	1	農林課	人・農地問題解決推進事業	9,944	0	157
6	1	3	49	1	農林課	がんばる農家プラン事業	6,587	2,196	158
6	1	4	1	1	農林課	畜産経営改善	247	247	159
6	1	4	2	1	農林課	畜産振興対策事業	1,620	1,620	159
6	1	4	4	1	農林課	優良雌子牛購入資金貸付	1,610	425	160
6	1	4	5	1	農林課	優良乳用牛購入資金貸付	500	500	160
6	1	5	1	1	農林課	【一部新規】土地改良	93,419	35,318	161
6	1	5	3	1	税務課	地籍調査	40,512	12,202	36
6	1	5	12	1	下水道課	集落排水事業特別会計繰出金	336,765	290,020	212
6	1	5	13	1	農林課	農業農村整備事業	33,300	13,170	162
6	1	5	19	1	農林課	環境保全型農業直接支払対策事業	2,522	1,161	162
6	1	5	20	1	農林課	農地・水保全管理支払交付金事業	29,326	28,026	163
6	1	6	1	1	農林課	農道維持管理	36,308	35,658	163
6	2	1	2	1	農林課	林業行政対策	115	115	164
6	2	2	1	1	農林課	林業経営改善	657	657	164
6	2	2	2	1	農林課	林道維持管理	7,052	4,302	165

平成26年度予算 一般会計事業一覧表目次(款項目順)

(単位:千円)

款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	予算額	一般財源	通番号
6	2	2	3	1	農林課	森林基幹道整備	4,500	500	165
6	2	2	4	1	農林課	森林整備担い手育成対策	493	247	166
6	2	2	5	1	農林課	林業労働者福祉向上推進	593	593	166
6	2	2	6	1	農林課	県単林道	20	20	167
6	2	2	7	1	農林課	森づくり作業道整備	2,280	856	167
6	2	2	8	1	農林課	造林	8,146	214	168
6	2	2	9	1	農林課	森林病害虫防除	2,433	933	168
6	2	2	10	1	農林課	森林整備地域活動支援交付金	1,500	375	169
6	2	2	12	1	農林課	緊急間伐	3,024	3,024	169
6	2	2	20	1	農林課	緑の産業再生プロジェクト事業	11,250	0	170
6	2	3	1	1	農林課	市行造林	4,600	0	170
6	3	1	4	1	農林課	漁業雇用促進対策事業	3,500	234	171
6	3	1	5	1	農林課	カワウ繁殖抑制実証事業	108	55	171
6	3	1	6	1	農林課	内水面ギンザケ稚魚育成支援事業	2,182	728	172
7	1	1	2	1	商工課	商工総括事業	1,437	1,421	177
7	1	2	1	1	商工課	同和対策	413	413	177
7	1	2	2	1	商工課	商工業振興	494	494	178
7	1	2	3	1	商工課	企業誘致	670,192	240,836	178
7	1	2	5	1	商工課	地場産業振興	4,045	2,845	179
7	1	2	6	1	商工課	【一部新規】金融対策	2,216,819	4,079	179
7	1	2	7	1	商工課	商店街等活性化	8,630	4,885	180
7	1	2	8	1	商工課	関西事務所運営費	2,117	2,117	180
7	1	2	13	1	商工課	倉吉市くらしよし産業元気条例推進事業	133	133	181
7	1	2	16	1	商工課	市場開拓支援事業	3,891	3,891	181
7	1	2	17	1	商工課	起業家育成事業	344	344	182
7	1	2	23	1	商工課	地域資源活用新事業創出支援事業	1,200	1,200	182
7	1	3	1	1	観光交流課	観光一般	11,652	11,652	70
7	1	3	2	1	観光交流課	【一部新規】地域資源観光活用事業	3,565	3,317	71
7	1	3	4	1	商工課	まちかどステーション管理	1,324	1,324	183
7	1	3	7	1	商工課	飲食・物販施設管理	14,144	0	183

平成26年度予算 一般会計事業一覧表目次(款項目順)

(単位:千円)

款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	予算額	一般財源	通番号
7	1	3	8	1	観光交流課	【一部新規】観光施設維持管理事業(関金地区)	48,995	48,195	72
7	1	3	9	1	支所管理課	関金エリアトイレ・公園管理	3,575	3,575	46
7	1	3	22	1	観光交流課	若女将による関金温泉活性化事業	3,762	3,762	73
7	1	3	24	1	観光交流課	観光関連団体助成事業	37,075	37,075	74
7	1	3	25	1	観光交流課	地域資源観光活用事業(関金地区)	3,199	3,199	75
7	1	3	26	1	観光交流課	【一部新規】琴櫻記念館運営事業	6,032	6,032	75
7	1	3	27	1	観光交流課	観光施設維持管理事業	4,140	3,292	76
8	1	1	2	1	建設課	土木総務(建設)	588	524	203
8	1	2	1	1	景観まちづくり課	建築指導	32,301	8,521	214
8	1	2	3	1	景観まちづくり課	営繕	370	370	214
8	1	2	4	1	景観まちづくり課	【新規】空き家対策	2,638	1,638	215
8	2	1	1	1	管理課	道路橋梁総務(管理)	8,294	8,294	197
8	2	1	2	1	建設課	道路橋梁総務(建設)	8,955	8,528	203
8	2	1	3	1	建設課	除雪対策	34,919	34,396	204
8	2	1	4	1	市民課	自動車臨時運行許可	13	0	41
8	2	2	1	1	管理課	境界確定	350	350	197
8	2	2	2	1	建設課	道路維持(建設)	120,827	110,827	204
8	2	3	2	1	建設課	一般道路新設改良	72,211	6,411	205
8	2	3	3	1	建設課	地方道路整備事業(地域活力基盤創造交付金)	174,600	8,250	205
8	2	3	11	1	建設課	安全・安心生活空間の整備(社会資本整備総合交付金)	110,200	5,200	206
8	2	4	1	1	建設課	橋梁維持補修	311	311	206
8	3	1	1	1	建設課	河川総務及び維持	7,294	5,058	207
8	3	1	3	1	管理課	河川管理総務	50	50	198
8	3	2	1	1	建設課	急傾斜地崩壊対策	4,000	0	207
8	3	2	2	1	建設課	小規模急傾斜地崩壊対策	50,000	1,050	208
8	3	2	3	1	建設課	【新規】自然災害防止対策	48,000	1,000	208
8	4	1	2	1	下水道課	下水道繰出	1,066,321	1,066,321	212
8	4	1	3	1	景観まちづくり課	都市計画総務(景観)	120	0	215
8	4	1	4	1	景観まちづくり課	倉吉打吹地区街なみ環境整備	10,894	5,294	216
8	4	1	6	1	管理課	都市計画総務(管理)	522	522	198

平成26年度予算 一般会計事業一覧表目次(款項目順)

(単位:千円)

款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	予算額	一般財源	通番号
8	4	2	1	1	管理課	打吹公園管理	26,797	25,421	199
8	4	2	2	1	管理課	トイレ管理	4,698	4,698	199
8	4	2	3	1	管理課	まちづくり管理	1,843	1,843	200
8	4	2	4	1	管理課	公園管理事業	8,393	8,393	200
8	4	2	5	1	管理課	都市公園管理	7,627	7,627	201
8	4	2	7	1	支所管理課	関金公園等管理	3,599	3,599	46
8	5	1	2	1	景観まちづくり課	【一部新規】市営住宅維持管理	25,923	3,008	217
8	5	1	7	1	景観まちづくり課	県営住宅維持管理	2,624	0	217
9	1	1	1	1	防災安全課	常備消防事業	574,589	574,589	11
9	1	2	1	1	防災安全課	非常備消防事業	68,259	47,216	12
9	1	3	1	1	防災安全課	消防施設整備	14,737	14,737	13
9	1	4	1	1	防災安全課	水防対策	447	447	14
9	1	5	1	1	防災安全課	災害対策	7,274	5,197	14
9	1	5	2	1	防災安全課	地域防災力向上対策	8,196	3,272	15
9	1	5	3	1	防災安全課	【新規】総合防災訓練	654	327	16
9	1	5	6	1	防災安全課	防災行政無線維持管理事業	19,005	17,765	16
9	1	5	7	1	防災安全課	国民保護対策	54	54	17
9	1	5	10	1	防災安全課	【新規】防災センター管理事業	4,509	3,871	17
10	1	1	1	1	教育総務課	教育委員会	2,535	2,535	219
10	1	2	2	1	教育総務課	教育委員会事務局	46,741	45,539	220
10	1	2	3	1	学校教育課	教育総務	4,755	4,755	225
10	1	2	5	1	教育総務課	輝く人育成	1,200	20	220
10	1	2	10	1	学校教育課	児童生徒舞台芸術鑑賞	1,038	1,038	225
10	1	2	15	1	学校教育課	スクールソーシャルワーカー活用	3,194	1,066	226
10	1	2	17	1	学校教育課	倉吉学校支援ボランティア	3,416	0	226
10	1	2	18	1	学校教育課	人権同和教育推進	3,202	3,202	227
10	1	2	22	1	学校教育課	元気はつらつプラン	17,282	17,282	227
10	1	2	23	1	学校教育課	ふるさと鳥取見学(県学)支援事業	138	0	228
10	1	2	26	1	学校教育課	【新規】授業改革ステップアップ事業	1,000	0	228
10	2	1	2	1	教育総務課	小学校運営(総務)	146,679	145,504	221

平成26年度予算 一般会計事業一覧表目次(款項目順)

(単位:千円)

款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	予算額	一般財源	通番号
10	2	1	3	1	学校教育課	小学校運営(学校)	59,806	59,806	229
10	2	1	4	1	学校教育課	小学校保健	8,784	7,667	229
10	2	2	1	1	教育総務課	小学校教材整備	63,013	61,733	221
10	2	2	4	1	学校教育課	小学校遠距離通学費補助	723	723	230
10	2	2	5	1	学校教育課	小学校給食	606	606	230
10	2	2	6	1	学校教育課	小学校教育研修	4,416	4,415	231
10	2	2	7	1	学校教育課	初等教育研究	3,060	3,060	231
10	2	2	8	1	学校教育課	小学校就学援助	7,741	6,606	232
10	2	2	10	1	学校教育課	小学校図書館ネットワーク事業	3,864	3,864	232
10	2	3	3	1	教育総務課	上灘小学校耐震補強事業	22,392	1,192	222
10	2	3	8	1	教育総務課	河北小学校校舎増築事業	176,744	13,272	222
10	3	1	2	1	教育総務課	中学校運営(総務)	72,540	71,979	223
10	3	1	3	1	学校教育課	中学校運営(学校)	14,496	14,496	233
10	3	1	4	1	学校教育課	中学校保健	3,932	3,361	233
10	3	2	1	1	教育総務課	中学校教材整備	35,485	34,985	223
10	3	2	4	1	学校教育課	中学校遠距離通学費補助	4,976	4,976	234
10	3	2	5	1	学校教育課	中学校給食	88	88	234
10	3	2	6	1	学校教育課	中学校教育研修	5,507	5,506	235
10	3	2	7	1	学校教育課	中学校教育研究	8,701	8,701	235
10	3	2	8	1	学校教育課	中学校就学援助	9,406	8,639	236
10	3	2	10	1	学校教育課	中学校図書館ネットワーク事業	1,824	1,824	236
10	3	2	11	1	学校教育課	中学校寄宿舎運営	1,041	709	237
10	3	2	12	1	学校教育課	語学指導等外国青年招致	11,395	10,639	237
10	3	2	13	1	学校教育課	心の教室相談	4,013	4,013	238
10	4	1	2	1	生涯学習課	社会教育総務	18,987	18,987	240
10	4	1	3	1	生涯学習課	成人式	1,697	1,697	240
10	4	2	1	1	生涯学習課	生涯学習推進	560	560	241
10	4	2	2	1	生涯学習課	成人教育	701	506	241
10	4	3	1	1	文化財課	文化財保護	1,785	1,774	250
10	4	3	2	1	文化財課	市内遺跡分布調査	9,000	2,250	251

平成26年度予算 一般会計事業一覧表目次(款項目順)

(単位:千円)

款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	予算額	一般財源	通番号
10	4	3	3	1	文化財課	市内埋蔵文化財緊急発掘調査	2,000	0	251
10	4	3	4	1	文化財課	史跡維持管理	12,170	11,880	252
10	4	3	5	1	文化財課	伝統的建造物群保存地区保存事業	48,673	17,033	252
10	4	3	6	1	文化財課	指定文化財保存整備	4,654	3,897	253
10	4	3	12	1	博物館	市展	901	478	260
10	4	3	13	1	博物館	創作文華展	236	25	261
10	4	3	14	1	博物館	県展	492	352	261
10	4	3	31	1	文化財課	大平山遺跡群発掘調査	12,520	12,520	254
10	4	3	35	1	文化財課	ドウ々平遺跡発掘調査	6,400	0	254
10	4	4	1	1	生涯学習課	【一部新規】公民館管理	112,608	112,567	242
10	4	4	2	1	生涯学習課	公民館活動	1,526	1,526	242
10	4	5	2	1	博物館	博物館維持管理	26,117	26,031	262
10	4	5	3	1	博物館	博物館普及活動	265	259	262
10	4	5	4	1	博物館	博物館調査研究活動	216	216	263
10	4	5	5	1	博物館	博物館資料収集保存活動	988	988	263
10	4	5	6	1	博物館	自然科学	668	668	264
10	4	5	7	1	博物館	特別展　前田寛治大賞展	9,215	4,865	265
10	4	5	13	1	博物館	博物館展示活動	1,311	311	266
10	4	5	27	1	博物館	特別展　大伯耆国展	5,441	3,221	266
10	4	5	29	1	博物館	【新規】特別展「与勇輝展～昭和の情景～」	2,001	2,001	267
10	4	6	1	1	博物館	資料館維持管理	3,051	3,051	267
10	4	6	2	1	博物館	資料館展示活動	295	295	268
10	4	6	3	1	博物館	資料館調査研究活動	60	60	268
10	4	6	4	1	博物館	資料館資料収集保存活動	404	404	269
10	4	6	5	1	博物館	関金資料館維持管理	635	635	269
10	4	7	2	1	図書館	図書館運営	49,688	49,568	256
10	4	7	3	2	図書館	読書活動推進	1,331	1,165	256
10	4	7	4	3	図書館	パークスクエア管理	13,134	12,904	257
10	4	7	5	4	図書館	交流プラザ総務管理	33,764	30,828	257
10	4	7	9	5	図書館	山上憶良短歌募集	313	313	258

平成26年度予算 一般会計事業一覧表目次(款項目順)

(単位:千円)

款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	予算額	一般財源	通番号
10	4	8	5	1	生涯学習課	青少年教育	643	643	243
10	4	8	6	1	生涯学習課	放課後子ども教室推進事業	3,275	1,199	243
10	5	1	2	1	生涯学習課	社会体育総務	931	930	244
10	5	1	3	1	生涯学習課	学校体育施設開放	1,471	1,471	244
10	5	1	4	1	生涯学習課	生涯スポーツ振興	576	576	245
10	5	1	5	1	生涯学習課	くらよし女子駅伝競走大会	5,168	5,168	245
10	5	1	7	1	生涯学習課	【一部新規】社会体育振興	9,560	9,560	246
10	5	2	1	1	生涯学習課	【一部新規】体育施設維持管理	12,176	12,176	247
10	5	2	2	1	生涯学習課	【新規】市営野球場整備	851	851	247
10	5	2	3	1	生涯学習課	【一部新規】体育施設管理運営	68,110	68,110	248
10	5	2	6	1	生涯学習課	関金B&G海洋センター管理	3,397	3,169	248
10	5	3	2	1	学校給食センター	給食センター	507,160	176,467	271
11	1	1	1	1	農林課	現年度補助災害復旧	30,000	70	172
11	1	2	1	1	農林課	現年度単独災害復旧	10,000	5,900	173
11	2	1	1	1	建設課	公共土木補助災害復旧	51,500	1,050	209
11	2	2	1	1	建設課	公共土木単独災害復旧	10,000	10,000	209
12	1	1	1	1	財政課	公債費(元金)	2,366,145	2,196,731	31
12	1	2	1	1	財政課	公債費(利子)	400,482	381,138	31
13	1	1	1	1	防災安全課	小災害り災者見舞金支給事業	100	100	18
14	1	1	1	1	財政課	予備費	10,000	10,000	32
－	－	－	－	－	職員課	人件費(一般職)	3,056,467	2,920,591	20

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位：千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	2	1	1	2	1	総務課	庁舎等管理	1	53,208	50,671
〃	〃	2	1	1	3	1	総務課	車両業務	1	4,817	4,817
〃	〃	2	1	1	5	1	総務課	行政改革懇談会・まちづくり評価会議	2	217	217
〃	〃	2	1	1	9	1	総務課	【一部新規】電算業務(ホスト系)	2	136,001	136,001
〃	〃	2	1	1	9	2	総務課	電算業務(サーバ系)	3	12,478	12,478
〃	〃	2	1	1	10	1	総務課	争訟事務	3	2,595	2,595
〃	〃	2	1	1	15	1	総務課	【一部新規】行政情報システム管理	4	20,783	20,783
〃	〃	2	1	3	1	1	総務課	【一部新規】文書広報	4	16,985	16,935
〃	〃	2	1	10	1	1	総務課	行政区域整備	5	88	88
〃	〃	2	1	10	4	1	総務課	自衛官募集	5	52	0
〃	〃	2	1	10	6	1	総務課	表彰式・叙勲・褒章	6	1,425	1,425
〃	〃	2	1	10	7	1	総務課	【一部新規】負担金・補助金	6	933	933
〃	〃	2	1	10	11	1	総務課	広域連合負担金	7	61,723	61,723
〃	〃	2	1	10	14	1	総務課	防犯対策事業	7	312	312
〃	〃	2	1	10	15	1	総務課	社会福祉事業団助成	8	516	516
〃	〃	2	1	10	16	1	総務課	社会を明るくする運動	8	62	62

担当課	総務課
事業名	庁舎等管理

予算科目			節		説明	
会計	一般					
歳入歳出	歳出		区分	金額		
款	2	総務費	1 報酬	7,108	非常勤職員報酬	7,108
項	1	総務管理費	4 共済費	1,350	社会保険料	1,350
目	1	一般管理費	9 旅費	230	普通旅費	230
			11 需用費	25,115	消耗品費等	25,115
			12 役務費	8,235	通信運搬費等	8,235
			13 委託料	6,811	ｴﾚﾍﾞｰﾀ保守管理委託料等	6,811
			14 使用料及び賃借料	4,359	器具借上料	1,295
					テレビ聴視料	283
					機械借上料	2,781

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳　（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
32	53,095	53,208				2,537	50,671

事業の概要、対象、意図など

庁舎を常時使用できるよう適切な維持管理を行う。（本・東・南・北庁舎、車庫及び周辺）

歳出積算根拠（金額）

主なものは、

○宿日直員報酬5人(代替分含)	7,108千円
○光熱水費、燃料費(庁舎電気・上下水道代・ガス代等)	17,945千円
○修繕料(庁舎小規模修繕　本庁舎分電盤改修等)	4,000千円
○通信運搬費(庁舎電話使用料)	4,881千円
○委託料(庁舎清掃、エレベータ保守、高圧電気設備保守等)	6,811千円
○使用料及び賃借料(電話交換機、コピー機等)	4,359千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

・行政財産使用料＝835千円　・町名変更証明手数料＝3千円　・公衆電話手数料＝1千円
・庁舎光熱水費使用料＝1,458千円　・庁舎案内板広告料＝240千円

担当課	総務課
事業名	車両業務

予算科目			節		説明	
会計	一般					
歳入歳出	歳出		区分	金額		
款	2	総務費	11 需用費	3,410	消耗品費	107
項	1	総務管理費			燃料費	1,903
目	1	一般管理費			修繕料	1,400
			12 役務費	124	手数料	124
			14 使用料及び借上料	1,080	自動車借上料	1,080
			19 負担金補助及び交付金	98	安全運転運行管理者協議会負担金等	98
			27 公課費	105	自動車重量税	105

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳　（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
33	5,675	4,817					4,817

事業の概要、対象、意図など

公用車(連絡車両)の配車及びマイクロバスの運行により、行政事務の円滑化を図る。

歳出積算根拠（金額）

○主なもの　4,817千円
・需用費(公用車8台燃料費、修繕料、ﾊﾞｯﾃﾘｰ等消耗品費)　3,410千円
・自動車借上料(リース車4台分)　1,080千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	総務課					
事業名	行政改革懇談会・まちづくり評価会議					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	8 報償費	208	報償金	208
	項	1 総務管理費	11 需用費	9	食糧費	9
	目	1 一般管理費				

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
33	217	217					217

事業の概要、対象、意図など

○倉吉まちづくり評価会議
　外部の委員により市の事務事業に対して意見を求め、これにより事務事業の妥当性、やり方の有効性・効率性・公平性などについて評価を行うもの。委員８人。
○事務改善提案報奨金
　倉吉市職員提案に関する規程第９条の規定に基づくもの。市長は、提案を採用し、又は趣旨採用したときは、提案者に対し報償する。ただし、必要と認めたときは、保留又は不採用となった提案に対しても報償することができる。
○行政改革懇談会
　倉吉市行政改革懇談会設置要綱の規定に基づくもの。簡素にして効率的な市政の実現を推進するため、倉吉市行政改革懇談会を置き、倉吉市の行政改革の推進について必要な事項を研究協議するもの。委員15人（外部のみ）。

歳出積算根拠（金額）

○報償費208千円：懇談会及び評価会議の出席委員に対する謝金並びに職員提案に対する報償
○食糧費　９千円：懇談会及び評価会議の際に委員に提供する湯茶の経費

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	総務課					
事業名	【一部新規】電算業務(ホスト系)					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	11 需用費	1,406	消耗品費等	1,406
	項	1 総務管理費	12 役務費	3,849	手数料	3,849
	目	1 一般管理費	13 委託料	96,984	電算処理委託料	44,064
					電算システム移行委託料	52,920
			14 使用料及び賃借料	33,762	機械借上料	24,690
					コンピュータソフト使用料	9,072

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
33	102,264	136,001					136,001

事業の概要、対象、意図など

住民情報基幹システムの運用管理。　＊平成25年度より2ヶ年で基幹業務システムを再構築。
　現行システムが抱える課題(経年による複雑化・技術の陳腐化など)を解消し、将来的な住民サービスや制度改正等への対応を円滑にし、維持管理経費の縮小を図る。
【対象システム】住民基本台帳、印鑑登録、税宛名管理、固定資産税、個人住民税、法人住民税、
　　国民健康保険、国民年金、保育料、選挙人名簿ほか

歳出積算根拠（金額）

○プリンタトナー・バックアップテープほか消耗品等：1,406千円
○ホストコンピュータ・高速プリンタほか保守：3,849千円
○ＳＥ・機器オペレーション・パンチ業務委託(6名常駐)： 44,064千円
○旧システムデータ抽出・変換作業：52,920千円
○【一部新規】コンピュータ関連機器借上：24,690千円
○ホストコンピュータ用ソフト使用料：9,072千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	総務課					
事業名	電算業務(サーバー系)					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	11 需用費	651	消耗品費	381
	項	1 総務管理費			修繕料	270
	目	1 一般管理費	12 役務費	3,386	手数料	3,386
			14 使用料及び賃借料	8,441	機械借上料	7,082
					コンピュータソフト使用料	1,359

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
33	14,881	12,478					12,478

事業の概要、対象、意図など

サーバシステム（ホストコンピュータ以外）で動作する業務システム共通基盤の安定的な運用管理。
【住民情報】介護保険料、後期高齢者、特別医療、児童手当、児童扶養手当、給食費、上下水道、
下水道受益者負担金、健康管理ほか
【内部情報】財務会計／起債管理、人事給与／庶務事務、グループウェア、ファイル共有ほか

歳出積算根拠（金額）

○バックアップ用テープ等消耗品:381千円
○サーバ機器修繕:270千円
○サーバ関連機器保守:3,386千円（サーバ20台・ディスクほか関連機器）
○サーバ関連機器借上:7,082千円（サーバ20台・ディスクほか関連機器）
○共通基盤用ソフトウェア使用料:1,359千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	総務課					
事業名	争訟事務					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	11 需用費	80	消耗品費	80
	項	1 総務管理費	13 委託料	2,515	弁護委託料	2,515
	目	1 一般管理費				

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
33	2,538	2,595					2,595

事業の概要、対象、意図など

・法律相談を弁護士に委託することにより、市が行う事務及び事業に関する法律問題について随時相談できる体制を構築し、法律問題の速やかな解決を図り、もって行政サービスの向上を図るもの。
・争訟を提起する必要がある場合又は争訟が提起された場合に、弁護士等に当該争訟に関する事務を委託することで、市の事務の軽減を図るもの。
（H25「訴訟事務」から事業名を変更）

歳出積算根拠（金額）

○相談料：648千円=50千円／月×12月×1.08
○争訟事務委託料（新規分）：844千円。支払い督促等に係る費用試算（債権回収室関係）の結果に基づくもの。訴訟の提起に伴う訴訟事務の着手及び勝訴に伴う成功報酬の経費化を２件と見込む。
（内訳）着手金300千円×２件×108/105＝618千円、報酬金220千円×108/105＝227千円
○争訟事務委託料（既往分）：1,023千円。平成25年度調停事件２件分の成功報酬。

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	総務課						
事業名	【一部新規】行政情報システム管理						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	2 総務費	11 需用費	2,057	消耗品費	707	
	項	1 総務管理費			修繕料	1,350	
	目	1 一般管理費	12 役務費	10,389	通信運搬費	3,030	
					手数料	7,359	
			14 使用料及び賃借料	8,247	機械借上料	8,247	
			19 負担金補助及び交付金	90	地方自治情報センター負担金	90	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
33	21,405	20,783					20,783

事業の概要、対象、意図など

通信手段の高度化により事務効率の向上を図るため、庁舎内ネットワークを中心とした各施設間の情報通信基盤を安定的に運用する。
○セキュリティに関する機器やソフトウェアの管理
○鳥取情報ハイウェイ、総合行政ネットワーク(LGWAN)、インターネット等への接続
○専用線等の借上　○ネットワーク機器等の維持管理　○職員用パソコンの維持管理

歳出積算根拠（金額）

○ソフトウェアライセンスほか消耗品:707千円
○職員用パソコン等修繕:1,350千円
○専用線･ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ回線等通信：3,030千円
○【一部新規】ネットワーク保守ほか:7,359千円
○【一部新規】職員用パソコン・ネットワーク機器借上:8,247千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	総務課						
事業名	【一部新規】文書広報						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	2 総務費	1 報酬	478	委員報酬	40	
	項	1 総務管理費			非常勤職員報酬	438	
	目	3 文書広報費	11 需要費	2,880	消耗品費	2,778	
					印刷製本費・修繕料	102	
			12 役務費	6,942	通信運搬費	6,942	
			13 委託料	3,848	保守委託料	1,439	
					市例規システム管理業務委託料	2,409	
			14 使用料及び賃借料	2,837	機械借上料	2,837	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
36	16,330	16,985				50	16,935

事業の概要、対象、意図など

行政事務の効率化を図るため、郵便物の発送事務、全庁的に用いられるシステム（文書管理等システム、例規システム）の管理及び印刷室の管理を行うもの。また、公文書等の管理に関する法律の趣旨にのっとり、歴史公文書等を評価選別し、公文書を適切に保存する。

歳出積算根拠（金額）

○【新規】非常勤嘱託報酬（歴史公文書等評価選別員）438千円　○印刷室消耗品　2,355千円　○郵便料6,203千円　○【一部新規】地方自治法WEBサービス利用料等　739千円○文書管理等システム（ハード・ソフト）保守委託料 1,439千円○市例規システム管理業務委託料　2,409千円
○複写機・両面印刷機借上料　2,345千円　○【新規】文書管理システム借上料　492千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

○公文書の写しに係るコピー使用料　50千円

担当課	総務課
事業名	行政区域整備

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	1 報酬	88	行政区域整備審議会委員	88
	項	1 総務管理費				
	目	10 諸費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
43	88	88					88

事業の概要、対象、意図など

区画整理事業等で土地の形状に変更が加えられる場合、宅地造成による場合、飛び地の整理や自治会の地域変更等により区域変更の必要性が生じた場合に、審議会を開催して審査を依頼する。

歳出積算根拠（金額）

○全体会　2,000円×17人×1回　34千円
○委員会　2,000円×27人　54千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	総務課
事業名	自衛官募集

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	11 需用費	8	消耗品費	3
	項	1 総務管理費			印刷製本費	5
	目	10 諸費	12 役務費	44	通信運搬費	34
					手数料	10

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
43	52	52	52				0

事業の概要、対象、意図など

自衛隊法及び自衛隊法施行令の規定により、市町村が法定受託事務として自衛官の募集事務を実施する。

歳出積算根拠（金額）

○事務用品　3千円
○募集等チラシ等印刷　5千円
○郵送料等　44千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

・自衛官募集事務費委託金（国庫10/10）　52千円

担当課	総務課
事業名	表彰式・叙勲・褒章

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	8 報償費	925	報償金	50
	項	1 総務管理費			賞賜金	875
	目	10 諸費	11 需用費	344	消耗品費	218
					印刷製本費	126
			12 役務費	130	通信運搬費	21
					筆耕翻訳料	109
			14 使用料及び賃借料	26	会場借上料	16
					器具借上料	10

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
43	9,482	1,425					1,425

事業の概要、対象、意図など

○叙勲及び褒章受章者に対する表敬、記念品の贈呈。
○市表彰条例に基づき、市に対し功績のあった方を表彰。

歳出積算根拠（金額）

○報償費　925千円（受賞者記念品875千円、公演謝金50千円）　○消耗品費　218千円（賞状用紙、額縁等）
○印刷製本費　126千円（表彰式パンフレット）
○郵便料等　130千円
○会場借上料等　26千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	総務課
事業名	【一部新規】負担金・補助金

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	19 負担金補助及び交付金	933	倉吉地区防犯協議会負担金	752
	項	1 総務管理費			とっとり被害者支援センター負担金	152
	目	10 諸費			平和首長会議負担金	2
					県更生保護観察協会補助金	27

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
44	1,930	933					933

事業の概要、対象、意図など

地域安全活動、非行防止、犯罪被害者支援その他社会福祉の向上に取り組む各種団体の活動を推進するため、倉吉地区防犯協議会、とっとり被害者支援センター、鳥取県更生保護観察協会へ負担金、補助金を交付する。また、核兵器廃絶を目指して活動する平和首長会議加盟都市負担金として今年度から負担金を交付する。

歳出積算根拠（金額）

○倉吉地区防犯協議会　752千円【基本割】100千円【人口割】652千円　13.08円×49,771人（H25.10.1の人口）
○とっとり被害者支援センター　152千円　法令外負担金通知より
○【新規】平和首長会議　2千円
○県更生保護観察協会　27千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	総務課					
事業名	広域連合負担金					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	19 負担金補助及び交付金	61,723	中部ふるさと広域連合負担金	61,723
	項	1 総務管理費				
	目	10 諸費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
44	61,228	61,723					61,723

事業の概要、対象、意図など

周辺自治体を含めた、広域的課題の効果的な対応を図るため、広域連合の議会費及び総務費の負担金を交付する。

歳出積算根拠（金額）

連合当初予算見込
○人口割　20%（最近の国勢調査人口による負担割合）
○実績割　80%（前年度の全事務の負担金総額による負担割合）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	総務課					
事業名	防犯対策事業					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	19 負担金補助及び交付金	312	地域安全活動推進協議会補助金	312
	項	1 総務管理費				
	目	10 諸費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
44	312	312					312

事業の概要、対象、意図など

安全で住みよい地域社会を実現するため、地域住民の日常生活に危険を及ぼす色々な犯罪、事故等を未然に防止する活動を行う市内13地区に補助金を交付する。

歳出積算根拠（金額）

○協議会補助金　@24,000円×13地区＝312千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	総務課
事業名	社会福祉事業団助成

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	19 負担金補助及び交付金	516	倉吉地区保護司会補助金	516
	項	1 総務管理費				
	目	10 諸費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
44	620	516					516

事業の概要、対象、意図など

地域社会の治安の維持と福祉の向上を図るため、非行及び犯罪予防活動等に取り組む倉吉保護区保護司会へ補助金を交付する。

歳出積算根拠（金額）

倉吉保護区保護司会事業補助金
平成25年１月1日現在の世帯数×単価25円
20,609世帯×単価25円＝516千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	総務課
事業名	社会を明るくする運動

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	11 需用費	50	消耗品費	50
	項	1 総務管理費	14 使用料及び賃借料	12	会場借上料	9
	目	10 諸費			機械借上料	3

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
43	62	62					62

事業の概要、対象、意図など

犯罪や非行の防止と、罪を犯した人の更生について理解を深め、犯罪のない明るい社会を築くため、毎年７月を強調月間として関係機関・団体と連携して倉吉市推進委員会や広報活動等を行う。

歳出積算根拠（金額）

○消 耗 品：啓発用のぼり旗2,000円×10本、うちわ73円×300本、クリアファイル25円×300枚
○会場借上：推進委員会６月開催（交流プラザ7,320円）、広報活動（未来中心1,000円）
○機械借上：テレビ・DVDプレーヤー（未来中心2,480円）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位：千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	2	1	9	1	1	防災安全課	交通安全対策	1	4,577	4,577
〃	〃	9	1	1	1	1	防災安全課	常備消防事業	1	574,589	574,589
〃	〃	9	1	2	1	1	防災安全課	非常備消防事業	2	68,259	47,216
〃	〃	9	1	3	1	1	防災安全課	消防施設整備	3	14,737	14,737
〃	〃	9	1	4	1	1	防災安全課	水防対策	4	447	447
〃	〃	9	1	5	1	1	防災安全課	災害対策	4	7,274	5,197
〃	〃	9	1	5	2	1	防災安全課	地域防災力向上対策	5	8,196	3,272
〃	〃	9	1	5	3	1	防災安全課	【新規】総合防災訓練	6	654	327
〃	〃	9	1	5	6	1	防災安全課	防災行政無線維持管理事業	6	19,005	17,765
〃	〃	9	1	5	7	1	防災安全課	国民保護対策	7	54	54
〃	〃	9	1	5	10	1	防災安全課	【新規】防災センター管理事業	7	4,509	3,871
〃	〃	13	1	1	1	1	防災安全課	小災害り災者見舞金支給事業	8	100	100

担当課	防災安全課
事業名	交通安全対策

予算科目			節		説明	
会計	一般					
歳入歳出	歳出		区分	金額		
款	2 総務費		1 報酬	2,700	交通安全指導員	2,700
項	1 総務管理費		8 報償費	68	報償金	68
目	9 交通対策費		9 旅費	594	費用弁償	594
			11 需用費	920	消耗品費等	920
			12 役務費	148	通信運搬費等	112
					楽器運搬手数料等	36
			19 負担金補助及び交付金	147	負担金	2
					補助金	145

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
42	4,614	4,577					4,577

事業の概要、対象、意図など

市交通安全対策協議会による「春・夏・秋・年末の交通安全運動」を推進するもの
市交通安全対策協議会主催の交通安全啓発パレードの実施
地域行事に対する道路交通の保全、学校等での交通安全教室に交通安全指導員を派遣するもの
倉吉市交通安全指導員連絡協議会への支援をするもの

歳出積算根拠（金額）

交通安全指導員報酬　2,700千円（@50,000円×54人）
交通安全指導員費用弁償　594千円（1回あたり1,100円）
倉吉市交通安全指導員連絡協議会　補助金145千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	防災安全課
事業名	常備消防事業

予算科目			節		説明	
会計						
歳入歳出	歳出		区分	金額		
款	9 消防費		19 負担金補助及び交付金	574,589	中部ふるさと広域連合負担金	574,589
項	1 消防費					
目	1 常備消防費					

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
109	595,560	574,589					574,589

事業の概要、対象、意図など

鳥取中部ふるさと連合負担金
・常備消防の充実・強化のため、人件費、装備の充実等に対する負担、消防署建設に対する負担を行う。

歳出積算根拠（金額）

連合当初予算見込
中部ふるさと広域連合負担金(消防費)545,807千円、(消防庁舎建設費)20,368千円、（交付税措置分）8,414千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	防災安全課
事業名	非常備消防

予算科目						
会計	一般	節		説明		
歳入歳出	歳出	区分	金額			
款	9 消防費	1 報酬	13,729	非常勤職員報酬	13,729	
項	1 消防費	5 災害補償費	2,000	療養補償費	1,500	
目	2 非常備消防費			休業補償費	500	
		8 報償費	18,639	報償金等	18,639	
		9 旅費	13,127	費用弁償	13,127	
		11 需用費	5,832	消耗品費、燃料費等	5,832	
		12 役務費	228	通信運搬費等	228	
		14 使用料及び賃借料	226	会場借上料等	226	
		18 備品購入費	205	機械器具費	205	
		19 負担金補助及び交付金	13,887	研修会等参加負担金	138	
				県消防協会負担金	786	
				消防団員公務災害補償等共済基金負担金	12,944	
				電波利用負担金	19	
		27 公課費	386	自動車重量税	386	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
109	62,788	68,259		415		20,628	47,216

事業の概要、対象、意図など

消防組織法に基づく非常備消防団の運営に関し、組織の強化及び消防装備の充実を図るとともに、住民に対する防火意識の高揚を図る。

非常備消防団の組織強化
- 倉吉市消防団員に対する各種手当ての支給及び福利厚生
- 組織強化のための各種訓練の実施
- 消防装備の充実
- 住民に対する火災予防広報等の実施

自衛消防団・自主防災組織等との連携

歳出積算根拠（金額）

非常勤職員報酬	13,729 千円	消防団員報酬等
療養・休業補償費	2,000 千円	
報償金・賞賜金	18,628 千円	消防団員退職者報償金
費用弁償・普通旅費	13,127 千円	大会、研修会参加費　費用弁償
通信運搬費・手数料	228 千円	防災士資格取得諸費等
消防団員公務災害補償等共済基金負担金	12,944 千円	

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

- 鳥取県防災危機管理対策交付金(50%) 415千円
  研修会等参加費、防災士資格取得費、ヘルメット購入、女性消防団操法用水槽購入
  消防費雑入
- 消防団員等公務災害補償等基金20,628千円

担当課	防災安全課
事業名	消防施設整備

予算科目						
会計	一般	節		説明		
歳入歳出	歳出	区分	金額			
款	9 消防費	11 需用費	1,058	消耗品費	58	
項	1 消防費			修繕料	1,000	
目	3 消防施設費	16 原材料費	155	工事材料費	155	
		19 負担金補助及び交付金	10,274	消火栓整備負担金	10,274	
		28 繰出金	3,250	簡易水道事業特別会計へ繰出	3,250	

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
110	16,382	14,737					14,737

事業の概要、対象、意図など

消防力の整備のため、消防団機材、消防水利の確保のための施設整備を行うもの。消防水利は消火栓、防火水槽であり、消火栓は水道管に取り付けるもの。（上水道、簡易水道あり）

消防施設の整備（消防団施設、消火栓、耐震性貯水槽）

- 消防水利の設置（消火栓の新設・修繕）
- 消防施設の維持及び管理
- 消防施設の整備
- 防火水槽の維持・監理

歳出積算根拠（金額）

上水道	消火栓整備負担金	10,274千円（消火栓新設3件、取替13件、その他修繕）
簡易水道	消火栓整備繰出金	3,250千円（消火栓新設1件、取替4件、その他修繕）

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

担当課	防災安全課							
事業名	水防対策							
予算科目	会計	一般	節			説明		
	歳入歳出	歳出	区分		金額			
	款	9 消防費	11	需用費	139	消耗品費、燃料費、修繕料	139	
	項	1 水防費	12	役務費	247	手数料	247	
	目	4 水防対策	16	原材料費	61	工事材料費	61	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
110	159	447					447

事業の概要、対象、意図など

洪水等水害に備えるため、備蓄用資機材の購入、真砂土の配備等、水防倉庫等の保全に努めるもの。
○市内の水防倉庫
東巌城町、河原町、福山、三江（才ヶ崎）、松河原
○その他市の倉庫
鴨川町、上灘町

歳出積算根拠（金額）

備蓄用資材（土のう袋等）100千円、（水防作業用）真砂土　　61千円
災害用ポンプ修繕、浸水害・排水作業手数料（５日）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	防災安全課							
事業名	災害対策							
予算科目	会計	一般	節			説明		
	歳入歳出	歳出	区分		金額			
	款	9 消防費	1	報酬	48	委員報酬	48	
	項	1 消防費	9	旅費	53	普通旅費	53	
	目	5 災害対策費	11	需用費	828	消耗品費等	828	
			12	役務費	284	通信運搬費等	284	
			14	使用料及び賃借料	31	自動車借上料等	31	
			19	負担金及び交付金	3,022	研修会等参加負担金	28	
						地域衛星通信ネットワーク整備経費負担金	2,076	
						防火防災訓練災害補償等共済負担金	50	
						地域衛星通信ネットワーク保守経費負担金	868	
			20	扶助費	3,000	被災者住宅再建支援金	3,000	
			27	公課費	8	自動車重量税	8	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
110	5,860	7,274				2,077	5,197

事業の概要、対象、意図など

地域防災計画に基づき、防災施設・設備の整備及び被災者の生活支援体制の整備等を行い、災害に強いまちづくりを推進する。
災害に強い通信機器の維持・管理。

歳出積算根拠（金額）

地域衛星通信ネットワーク保守経費負担金　868千円　　故障修理等保守経費　731,210円
特別警報に係るシステム改修経費　135,962円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

鳥取県地域衛星通信ネットワーク整備事業支援交付金
　鳥取県防災行政無線（衛星系）経費　2,076千円×100％

担当課	防災安全課
事業名	地域防災力向上対策

予算科目						
会計	一般	節		説明		
歳入歳出	歳出	区分	金額			
款	9 消防費	8 報償費	30	報償金	30	
項	1 消防費	11 需用費	2,785	消耗品費	454	
目	5 災害対策費			印刷製本費	2,331	
		13 委託料	2,171	システム改修委託費	2,171	
		19 負担金補助及び交付金	3,210	自主防災組織消火栓整備費補助金	300	
				コミュニティ助成事業費負担金	2,000	
				自主防災組織防災資機材整備費補助金	910	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
110	7,382	8,196		2,924		2,000	3,272

事業の概要、対象、意図など

・洪水ハザードマップの作成
　国土交通省が平成24年3月に洪水ハザードマップのデータの更新をするため、水防法に伴い作成するもの。
・防災マップの作成
　自治公民館単位での防災マップを作成し、各戸配布する。
・自主防災組織消火栓補助金
　上水道及び簡易水道の設置されていない地域の初期消火活動を支援するため、消火栓設置及び維持を目的として補助を行う。
・コミュニティ助成事業
　㈶自治総合センターが自主防災組織等に関し200万円を上限として助成を行う。
・自主防災組織防災資機材整備費補助金
　自主防災組織に対し、防災資機材購入時50,000円を上限として1/2の補助を行う。

歳出積算根拠（金額）

報償金	自主防災組織育成研修会等講師謝金	30千円
消耗品費	自主防災組織訓練用品	454千円
印刷製本費	洪水ハザードマップ、自治公単位防災マップ印刷製本費	2,331千円
委託料	洪水ハザードマップデータ更新委託料	2,171千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

鳥取県防災危機管理対策交付金(50%) 2,924千円
　防災研修会講師等謝礼金、自主防災組織等訓練支援用品、洪水・土砂災害ハザードマップ印刷製本費、洪水ハザードマップデータ更新委託料、自主防災組織防災資機材整備費補助金

コミュニティ助成事業(地域防災組織育成事業)　2,000千円

担当課	防災安全課					
事業名	【新規】総合防災訓練					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	9 消防費	11 需用費	405	消耗品費	405
	項	1 消防費	13 委託料	249	訓練用施設設置・撤去委託料	249
	目	5 災害対策費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
111	0	654		327			327

事業の概要、対象、意図など

防災意識の普及啓発、災害時における関係機関との連携体制の確認を行うため、イベント形式の総合防災訓練を開催し、災害に強いまちづくりを推進する。
県主体のイベントとなり、毎年東・中・西部で持ち回りで実施している。26年度は会場が中部地区となるため、県及び中部市町、その他関係団体で準備委員会を立ち上げ、実施計画を作成し実施する。
倉吉市内で地区住民、消防団、消防局、他町消防団等の参加する防災訓練を実施する予定。

歳出積算根拠（金額）

消耗品費405千円：訓練にかかるアルファ化米、表示看板、チラシ等
委託料249千円：訓練用模擬倒壊家屋設置、撤去等

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

総合防災訓練実施経費補助金(50%) 327千円

担当課	防災安全課					
事業名	防災行政無線維持管理事業					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	9 消防費	11 需用費	3,524	光熱水費・修繕料	3,524
	項	1 消防費	12 役務費	137	通信運搬費	137
	目	5 災害対策費	13 委託料	14,224	防災行政無線保守点検委託料	14,224
			14 使用料及び賃借料	332	土地借上料	332
			18 備品購入費	648	機械器具費	648
			19 負担金	140	電波利用料	140

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
111	17,211	19,005				1,240	17,765

事業の概要、対象、意図など

防災行政無線の維持管理と、保守点検、戸別受信機の転入転出、転居者への対応業務を外部委託し、市民の安心・安全に努める。
防災行政無線の維持管理（電波利用料、修繕料、電気代、電話回線使用料等）
旧既設戸別受信機アンテナ撤去 940台（予算範囲で順次）（受信機は平成25年度撤去済）
防災行政無線サポートセンター委託業務（業務内容）ハード保守、システム保守、戸別受信機管理、センター運営

歳出積算根拠（金額）

防災行政無線サポートセンター委託業務 14,224千円
（内訳）・防災行政無線ハード保守 3,272千円、・防災行政無線システム保守 1,166千円
・戸別受信機管理 1,880千円、・サポートセンター運営 3,910千円
・旧既設戸別受信機アンテナ撤去業務（旧倉吉市内） 3,996千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

防災行政無線損害共済災害共済金1,240千円

担当課	防災安全課						
事業名	国民保護対策						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	9 消防費	1 報酬	44	国民保護協議会委員	44	
	項	1 消防費	11 需用費	10	消耗品	10	
	目	5 災害対策費					

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
110	64	54					54

事業の概要、対象、意図など

国民保護推進体制の整備。倉吉市国民保護計画作成。
倉吉市国民保護協議会実施。住民への普及啓発、国民保護訓練の実施、資機材の整備。

歳出積算根拠（金額）

倉吉市国民保護協議会委員　委員報酬（２回）@2,000円×11人×2回　　44千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	防災安全課						
事業名	【新規】防災センター管理事業						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	9 消防費	1 報酬	1,803	非常勤職員報酬	1,803	
	項	1 消防費	4 共済費	285	社会保険料	285	
	目	5 災害対策費	9 旅費	48	費用弁償	48	
			11 需用費	584	消耗品費	584	
			12 役務費	266	通信運搬費	81	
					手数料	185	
			14 使用料及び賃借料	195	機械借上料	195	
			19 負担金補助及び交付金	1,328	防災センター管理負担金	1,328	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
110	0	4,509		588		50	3,871

事業の概要、対象、意図など

　防災意識の高揚及び防災知識の普及を図り、災害時の防災活動を円滑にするため、防災センターに職員を配置して施設管理を行うとともに、防災研修、防災教育、防災訓練を実施するもの。
　災害対策基本法改正に伴い、庁内福祉部門と連携して災害時要配慮者避難に関する個別計画を作成する。
　また、住民に対して地区防災計画作成のためのアドバイス、防災マップ作りの指導を行う。

歳出積算根拠（金額）

非常勤嘱託職員報酬　1人分1,803千円
消耗品費584千円：住民が主体となった防災体制構築のための費用（県補助10/10）
防災センター管理負担金　1,328千円：合築である鳥取中部ふるさと広域連合消防局と施設の維持管理に係る経費を案分する。支払いは消防局が窓口となり、市が消防局に負担金として支出する。

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

・防災センター施設使用料　50千円
・(県補助)防災体制構築支援事業費補助金（100%）　534千円
・鳥取県防災危機管理対策交付金(50%)　54千円　－センター職員の防災士資格取得のための費用

担当課		防災安全課				
事業名		小災害り災者見舞金支給支援事業				
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳入	区分	金額		
	款	13 諸支出金	20 扶助費	100	小災害り災者見舞金	100
	項	1 災害援護費				
	目	1 災害援護費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
135	100	100					100

事業の概要、対象、意図など

り災者の保護及び再起更正を期すことを目的とする。
地域防災計画に基づき、見舞金を支給する。
・倉吉市小災害り災者見舞金給付要綱（平成18年4月１日施行）により倉吉市に住民登録を有する者で災害により住家が全壊（全焼及び流失を含む）、半壊（半焼を含む）又は床上浸水した世帯（１世帯あたり）に、見舞金10,000円を支給する

歳出積算根拠（金額）

小災害り災者見舞金　10,000円×10（世帯）　　100千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位：千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	2	1	1	17	1	職員課	人件費（特別職）	1	30,395	30,395
〃	〃	－	－	－	－	－	職員課	人件費（一般職）	1	3,056,467	2,920,591
〃	〃	2	1	1	18	1	職員課	【新規】人件費（再任用）	2	8,779	8,779
〃	〃	2	1	1	4	1	職員課	職員管理	2	78,396	72,938
〃	〃	2	1	2	1	1	職員課	【一部新規】人事管理	3	41,350	37,287
〃	〃	2	1	6	6	1	職員課	退職手当基金積立	3	530	0

担当課	職員課					
事業名	人件費（特別職）					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	2 給料	18,888	特別職給	18,888
	項	1 総務管理費	3 職員手当等	6,060	期末手当等（特別職）	6,060
	目	1 一般管理費	4 共済費	5,447	共済組合負担金（特別職）	5,447

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
32	30,504	30,395					30,395

事業の概要、対象、意図など

歳出積算根拠（金額）

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

担当課	職員課					
事業名	人件費（一般職）					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	－	2 給料	1,482,471	一般職給	1,482,471
	項	－	3 職員手当等	1,066,811	期末勤勉手当等	1,066,811
	目	－	4 共済費	507,185	共済組合負担金等	507,185

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
－	3,084,953	3,056,467	7,953			127,923	2,920,591

事業の概要、対象、意図など

歳出積算根拠（金額）

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

担当課	職員課
事業名	【新規】人件費（再任用）

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	2 給料	5,352	一般職給	5,352
	項	1 総務管理費	3 職員手当等	2,423	期末勤勉手当等	2,423
	目	1 一般管理費	4 共済費	1,004	社会保険料	1,004

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
32		8,779					8,779

事業の概要、対象、意図など

満額年金の支給開始年齢の引上げに対応し、雇用と年金との接続を図るため、定年退職者等を短時間勤務の職に採用するもの。
(制度内容)週15時間30分から31時間までの短時間勤務で、任期は1年以内、更新も可能。
退職手当・扶養手当・住居手当・単身赴任手当は支給しないが、期末・勤勉手当、通勤手当・時間外勤務手当・休日勤務手当・特殊勤務手当等は支給する。

歳出積算根拠（金額）

想定人数 ３人　　勤務時間 31時間

一般給与　　5,352千円（月額148,640円（週31時間）×3名×12ヶ月）
期末勤勉手当等　2,423千円
社会保険料　　1,004千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	職員課
事業名	職員管理

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	4 共済費	10,645	社会保険料	10,645
	項	1 総務管理費	7 賃金	67,751	事務賃金	67,751
	目	1 一般管理費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
33	64,413	78,396				5,458	72,938

事業の概要、対象、意図など

産前産後休暇、育児休業、病気休暇等により正職員が長期に渡り執務ができない場合に、できる限り事務に支障をきたさないよう当該正職員の代替として臨時職員を充てるもの。

歳出積算根拠（金額）

社会保険料　10,645千円
事務賃金　　67,751千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

電算処理業務受託収入（水道局分）5,458千円

担当課	職員課
事業名	【一部新規】人事管理

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	01 報酬	736	委員報酬・非常勤職員報酬	736
	項	1 総務管理費	08 報償費	300	報償金	300
	目	2 人事管理費	09 旅費	798	費用弁償・普通旅費	798
			11 需用費	796	消耗品費・医薬材料費	796
			12 役務費	5,991	手数料・保険料外	5,991
			13 委託料	18,801	電算システム導入委託料外	18,801
			14 使用料及び賃借料	1,435	会場借上料・建物借上料	1,435
			19 負担金補助及び交付金	12,493	職員研修事務負担金・児童手当負担金等外	12,493

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
35	23,659	41,350				4,063	37,287

事業の概要、対象、意図など

職員の資質を向上させるため、研修に要する経費を計上するもの。
職員の福利厚生に資するため、厚生事業に要する経費を計上するもの。
職員採用試験に要する経費を計上するもの。

歳出積算根拠（金額）

職員定期健康診断手数料　3,573千円
【新規】メンタルヘルス相談窓口サービス利用料　778千円
【新規】新人事給与システム導入に係る委託料　17,735千円
職員厚生事業費負担金　3,243千円
児童手当負担金　3,536千円
職員研修事務負担金　4,706千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

建物借上個人負担金　483千円
退職手当負担金（広域連合派遣職員分）　3,580千円

担当課	職員課
事業名	退職手当基金積立

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	25 積立金	530	退職手当基金積立金	530
	項	1 総務管理費				
	目	6 財産管理費				

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
38	182	530				530	0

事業の概要、対象、意図など

退職手当基金の利息を元本に積み立てるもの。

歳出積算根拠（金額）

退職手当基金積立金　530,000円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

退職手当基金利息　530,000円

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位：千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳入	9	1	1	－	－	財政課	地方特例交付金	1	13,707	13,707
〃	〃	10	1	1	－	－	財政課	地方交付税	1	7,500,000	7,500,000
〃	〃	18	1	－	－	－	財政課	基金繰入金	2	1,068,918	330,543
〃	〃	21	1	9	－	－	財政課	臨時財政対策債	2	903,818	903,818
〃	歳出	2	1	4	1	1	財政課	財政事務	3	6,001	6,001
〃	〃	2	1	6	1	1	財政課	財政調整基金積立金	3	2,545	0
〃	〃	2	1	6	2	1	財政課	財産管理	4	22,021	21,866
〃	〃	2	1	6	3	1	財政課	減債基金積立金	4	79,896	75,000
〃	〃	2	1	6	7	1	財政課	公共施設等建設基金積立金	5	131	0
〃	〃	2	1	6	12	1	財政課	倉吉ふれあい会館維持管理	5	370	370
〃	〃	2	1	6	18	1	財政課	遥かなたち倉吉ふるさと基金積立金	6	7,278	0
〃	〃	2	1	6	30	1	財政課	地域の元気づくり基金積立金	6	727	0
〃	〃	2	1	6	31	1	財政課	ふるさと納税	7	36,671	36,671
〃	〃	2	1	10	3	1	財政課	地域振興交付金	7	990	0
〃	〃	12	1	1	1	1	財政課	公債費（元金）	8	2,366,145	2,196,731
〃	〃	12	1	2	1	1	財政課	公債費（利子）	8	400,482	381,138
〃	〃	14	1	1	1	1	財政課	予備費	9	10,000	10,000

担当課	財政課					
事業名	地方特例交付金					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳入	区分	金額		
	款	9 地方特例交付金	1 地方特例交付金	13,707	減収補てん特例交付金	13,707
	項	1 地方特例交付金				
	目	1 地方特例交付金				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
6	14,429	13,707					13,707

事業の概要、対象、意図など

○減収補てん特例交付金
個人住民税における住宅借入金等特別税額控除の実施に伴う地方公共団体の減収を補てん。
平成20年度創設。基準財政収入額に75%算入。

H25当初 14,429千円 × 前年比 95.0% ≒ 13,707千円

担当課	財政課					
事業名	地方交付税					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳入	区分	金額		
	款	10 地方交付税	1 地方交付税	7,500,000	普通交付税	6,700,000
	項	1 地方交付税			特別交付税	800,000
	目	1 地方交付税				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
7	7,700,000	7,500,000					7,500,000

事業の概要、対象、意図など

○普通交付税
基準財政需要額：個別算定経費△1.5% 、包括算定経費△6.5% 、公債費 各団体で推計

○特別交付税
地方財政計画 △1.0%を考慮

担当課	財政課
事業名	基金繰入金

予算科目	会計	一般	節		説明
	歳入歳出	歳入	区分	金額	
	款	18 繰入金			
	項	1 基金繰入金			
	目				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
22	1,106,619	1,068,918				738,375	330,543

事業の概要、対象、意図など

○基金繰入金・・・基金は特定の目的のために設置されたものであり、その目的達成のために必要な金額を一般会計に繰り入れるもの。

主な基金繰入金
●財政調整基金繰入金・・・330,543千円（収支調整）
●減債基金繰入金・・・30,977千円（公債費の一部に充当）
●地域の元気づくり基金繰入金・・・170,300千円（道路維持 10,000千円、一般道路新設改良 65,800千円、河北小学校校舎増築 94,500千円）
●若者の定住化促進基金繰入金・・・83,302千円（定住対策事業 1,895千円、若者定住・UJIターン事業 1,407千円、保育所運営 30,000千円、企業誘致 50,000千円）
●企業立地推進基金繰入金・・・300,000千円（企業誘致 300,000千円）

担当課	財政課
事業名	臨時財政対策債

予算科目	会計	一般	節		説明
	歳入歳出	歳入	区分	金額	
	款	21 市債	1 臨時財政対策債	903,818	臨時財政対策債 903,818
	項	1 市債			
	目	9 臨時財政対策債			

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
30	951,437	903,818					903,818

事業の概要、対象、意図など

○臨時財政対策債
元利償還金について、後年度の地方交付税の基準財政需要額に全額算入されるもの。
地方財政対策における臨時財政対策債の増加率を考慮。

H25決定額978,726千円×（H26）21,851億円 / （H25）23,662億円 ≒ 903,818千円

担当課	財政課
事業名	財政事務

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	11 需用費	101	消耗品費	101
	項	1 総務管理費	12 役務	1,180	手数料	1,180
	目	4 財政管理費	13 委託料	4,720	システム改修委託料	4,720

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
37	1,462	6,001					6,001

事業の概要、対象、意図など

予算編成・公債費償還事務等の各種財政事務に関する経費。
財務会計・起債管理システム改修。

歳出積算根拠（金額）

参考図書追録代	101千円
地方債金利支払手数料（鳥取県市町村共済組合）	56千円
財務会計システム保守	1,037千円
決算統計システム保守	87千円
財務会計システム機能追加（改修規模　中）	216千円
財務会計システム改修	3,661千円
（バージョンアップ及びサーバ移行分）	
起債管理システム改修	843千円

合計	6,001千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	財政課
事業名	財政調整基金積立金

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	25 積立金	2,545	財政調整基金積立金	2,545
	項	1 総務管理費				
	目	6 財産管理費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
38	75,733	2,545				2,545	0

事業の概要、対象、意図など

財政調整基金の運用利子収入等の積立を行う。
財政調整基金は、災害復旧、地方債の繰上償還その他財源の不足を生じたときの財源を積み立てるため、設置された基金である。

歳出積算根拠（金額）

繰替運用利子分　2,545千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

繰替運用利子　2,545千円

担当課	財政課
事業名	財産管理

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	1 報酬	8	倉吉市財産評価審議会委員外	8
	項	1 総務管理費	8 報償費	2	報償金	2
	目	6 財産管理費	9 旅費	5	普通旅費	5
			11 需用費	665	消耗品費等	665
			12 役務費	11,442	保険料等	11,442
			13 委託料	392	除草委託料	392
			14 使用料及び賃貸料	8,556	土地使用料	8,448
					情報サービス使用料	108
			16 原材料費	200	工事材料費	200
			19 負担金補助及び交付金	743	下水道負担金	743
			27 公課費	8	自動車重量税	8

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
37	23,214	22,021				155	21,866

事業の概要、対象、意図など

普通財産を適正に管理するための事業。

歳出積算根拠（金額）

普通財産を維持管理する費用　22,021千円
　　保険料、消耗品、旅費、工事材料費、下水道受益者負担金

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

実費弁償金　（H25実績）
　建物損害共済分担金実費弁償金　33千円
　借地料実費弁償金　122千円
　合計　155千円

担当課	財政課
事業名	減債基金積立金

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	25 積立金	79,896	減債基金積立金	79,896
	項	1 総務管理費				
	目	6 財産管理費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
38	4,114	79,896		3,969		927	75,000

事業の概要、対象、意図など

減債基金の運用利子収入及び合併支援交付金の積立を行う。
減債基金は、市債の償還財源の確保並びに市債の適正な管理を行い、市財政の健全な運営に資するために設置された基金である。

歳出積算根拠（金額）

繰替運用利子分　927千円
合併支援交付金分（H17CATV）　3,969千円
繰越金分　75,000千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

繰替運用利子　927千円
合併支援交付金（H17CATV）　3,969千円
　小計　4,896千円
繰越金（一般財源）　75,000千円
　合計　79,896千円

担当課	財政課
事業名	公共施設等建設基金積立金

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	25 積立金	131	公共施設等建設基金積立金	131
	項	1 総務管理費				
	目	6 財産管理費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
38	35	131				131	0

事業の概要、対象、意図など

公共施設等建設基金の運用利子収入の積立を行う。
公共施設等建設基金は、市が設置する公共施設等の建設費に充てるため設置された基金である。

歳出積算根拠（金額）

繰替運用利子分　　131千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

繰替運用利子　　131千円

担当課	財政課
事業名	倉吉ふれあい会館維持管理

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	11 需用費	370	光熱水費	360
	項	1 総務管理費			修繕料	10
	目	6 財産管理費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
37	460	370					370

事業の概要、対象、意図など

倉吉ふれあい会館の維持管理に係る費用

歳出積算根拠（金額）

電気・水道使用料　　360千円
ガラス等修繕費　　10千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	財政課
事業名	遥かなまち倉吉ふるさと基金積立金

予算科目	会計	一般	節		説明
	歳入歳出	歳出	区分	金額	
	款	2 総務費	25 積立金	7,278	遥かなまち倉吉ふるさと基金積立金 7,278
	項	1 総務管理費			
	目	6 財産管理費			

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
38	1,109	7,278				7,278	0

事業の概要、対象、意図など

遥かなまち倉吉ふるさと基金の運用利子収入及びふるさと納税等による寄附金収入の積立を行う。
遥かなまち倉吉ふるさと基金は、市の地域資源である町並み及び風景の保全及び整備を図るため設置された基金である。

歳出積算根拠（金額）

運用利子分　　18千円
寄附金分　　7,260千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

運用利子　　18千円
寄附金　　7,260千円
合計　7,278千円

担当課	財政課
事業名	地域の元気づくり基金積立金

予算科目	会計	一般	節		説明
	歳入歳出	歳出	区分	金額	
	款	2 総務費	25 積立金	727	地域の元気づくり基金積立金 727
	項	1 総務管理費			
	目	6 財産管理費			

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
39	525,276	727				727	0

事業の概要、対象、意図など

地域の元気づくり基金の運用利子収入の積立を行う。
地域の元気づくり基金は、地域における公共投資を円滑に実施し、産業基盤、生活基盤等の整備を図るために設置された基金であり、平成26年度中に取り崩すこととなっている。

歳出積算根拠（金額）

運用利子分　　727千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

運用利子　　727千円

担当課	財政課						
事業名	ふるさと納税						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	2 総務費	4 共済費	270	社会保険料	270	
	項	1 総務管理費	7 賃金	1,724	事務賃金	1,724	
	目	6 財産管理費	8 報償費	16	報償金	16	
			11 需用費	32,129	消耗品費	31,766	
					印刷製本費	363	
			12 役務費	2,532	通信運搬費	748	
					広告料	1,000	
					手数料	784	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
37		36,671					36,671

事業の概要、対象、意図など

財源の確保と地域産品を全国発信するため、ふるさと納税を推進するもの。
本年度は贈呈品を更に充実させ、地域産品のＰＲと地域産業活性化を図る。

歳出積算根拠（金額）

ふるさと納税贈呈品	30,650千円
受付・発送事務補助・賃金	1,994千円
Web広告料	1,000千円
パンフレット作成	363千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

ふるさと納税収入見込 4,000件、80,000千円

担当課	財政課						
事業名	地域振興交付金						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	2 総務費	19 負担金補助及び交付金	990	上北条地域振興交付金	990	
	項	1 総務管理費					
	目	10 諸費					

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
44	990	990				990	0

事業の概要、対象、意図など

上北条財産区所在地域への財政支援をするもの。
上北条財産区特別会計から一般会計に繰入れて、財産区内自治公民館に交付する。

歳出積算根拠（金額）

上北条地域振興交付金		
（上北条）運営費		390千円
地区振補助金		50千円
（新田）地区ふれあい活動費		550千円
	合計	990千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

上北条財産区繰入金 990千円

担当課	財政課
事業名	公債費（元金）

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	12 公債費	23 償還金利子及び割引料	2,366,145	償還金	2,366,145
	項	1 公債費				
	目	1 元金				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
135	2,428,393	2,366,145				169,414	2,196,731

事業の概要、対象、意図など

一般会計長期債定期償還元金の支払。

歳出積算根拠（金額）

一般会計長期債定期償還元金	2,366,145千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

その他特定財源：

減債基金繰入金	27,020千円
商工振興資金貸付金元利収入	65,814千円
住宅使用料	76,580千円
合計	169,414千円

担当課	財政課
事業名	公債費（利子）

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	12 公債費	23 償還金利子及び割引料	400,482	長期債利子	389,451
	項	1 公債費			繰替運用等利子	11,031
	目	2 利子				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
135	427,335	400,482				19,344	381,138

事業の概要、対象、意図など

一般会計長期債定期償還利子・起債前借利子及び各繰替運用基金利子の支払。

歳出積算根拠（金額）

還金利子及び割引料

長期債利子（H25借入分含む）	389,450,427円	
繰替運用利子分	7,031,000円	
一時借入金利子分	4,000,000円	
合計	400,481,427円	400,482千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

減債基金繰入金	3,957千円
住宅使用料	15,387千円
合計	19,344千円

担当課	財政課
事業名	予備費

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	14 予備費	29 予備費	10,000	予備費	10,000
	項	1 予備費				
	目	1 予備費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
136	10,000	10,000					10,000

事業の概要、対象、意図など

地方自治法の規定により、予算外の支出又は予算超過の支出に充てるため、予備費を計上するもの。

歳出積算根拠（金額）

予備費　　10,000千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位：千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳入	1	－	－	－	－	税務課	市税	1	5,548,328	5,548,328
〃	歳出	2	1	10	10	1	税務課	還付金	1	107,011	107,011
〃	〃	2	2	1	2	1	税務課	税務総務	2	17,785	17,785
〃	〃	2	2	2	1	1	税務課	【一部新規】賦課徴収	2	37,772	0
〃	〃	6	1	5	3	1	税務課	地籍調査	3	40,512	12,202

担当課	税務課
事業名	市税

予算科目	会計	一般	節		説明
	歳入歳出	歳入	区分	金額	
	款	1 市税			
	項	－			
	目	－			

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
4	5,524,883	5,548,328					5,548,328

事業の概要、対象、意図など

法令等に基づく適正な賦課徴収を行い、歳入を確保する。

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

市税収入は、25年度に比べ23,445千円の増額（＋0.42%）を見込む。

個人市民税	1,769,700千円	（納税義務者数の減少による減 △29,900千円）
法人市民税	522,700千円	（主要企業の増収見込みによる増 ＋67,900千円）
固定資産税	2,725,238千円	（地価の下落による減 △16,935千円）
軽自動車税	140,500千円	（普通自動車から軽自動車への切替見込みによる増 ＋8,100千円）
たばこ税	385,000千円	（喫煙率の減少見込みによる減 △5,000千円）
入湯税	2,190千円	（入湯客数の増加による増 ＋280千円）
都市計画税	3,000千円	（滞納繰越額の減少による減 △1,000千円）

担当課	税務課
事業名	還付金

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	23 償還金利子及び割引料	107,011	還付金	107,011
	項	1 総務管理費				
	目	10 諸費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
44	198,264	107,011					107,011

事業の概要、対象、意図など

市税等過誤納金の還付
還付加算金の支出
国県補助金等の返還

歳出積算根拠（金額）

市税等還付金：28,046千円（過去６年間の実績により推計）
還付加算金：820千円（過去６年間の実績により推計）
国県補助金等返還金：78,145千円（事業所管課の見込により積算）

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

担当課	税務課						
事業名	税務総務						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	2 総務費	19 負担金補助及び交付金	17,785	中部ふるさと広域連合負担金	17,785	
	項	2 徴税費					
	目	1 税務総務費					

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
45	17,646	17,785					17,785

事業の概要、対象、意図など

市税滞納整理業務及び固定資産評価審査委員会業務を委託している鳥取中部ふるさと広域連合への負担金

歳出積算根拠（金額）

①市税滞納整理業務：連合当初予算見込×H24徴収実績による按分（税43.06%⇔国保56.94%）
40,664千円 × 43.06% ＝ 17,509千円
②固定資産評価審査委員会業務：連合当初予算見込 276千円

担当課	税務課					
事業名	【一部新規】賦課徴収					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	1 報酬	912	非常勤職員報酬	912
	項	2 徴税費	4 共済費	270	社会保険料	270
	目	2 賦課徴収費	7 賃金	1,724	事務賃金	1,724
			8 報償費	4	賞賜金	4
			9 旅費	231	普通旅費	231
			11 需用費	5,476	消耗品費、印刷製本費等	5,476
			12 役務費	13,140	通信運搬費、手数料	13,140
			13 委託料	10,636	電算システム改修委託料	378
					固定資産基礎資料整備業務委託料	3,618
					標準宅地時点修正業務委託料	1,618
					不動産鑑定委託料	5,022
			14 使用料及び賃借料	1,977	機械借上料	1,977
			19 負担金補助及び交付金	3,393	会議等参加負担金	3
					税務協議会負担金	1,608
					固定資産評価システム研究所負担金	75
					地方税電子化協議会負担金	735
					【新規】次期eLTAXシステム更改作業対応費負担金	972
			27 公課費	9	自動車重量税	9

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
45	55,159	37,772		32,762		5,010	0

事業の概要、対象、意図など

法令等に基づき市税の賦課徴収を適正に行い、市財源の確保を図る。
住民税の申告受付及び調査、固定資産の評価、市税の賦課決定及び収納管理、滞納処分等。

歳出積算根拠（金額）

・適正な滞納処分執行のための徴収アドバイザーの雇用（報酬 912千円）
・各種帳票の印刷及び発送（印刷製本費及び通信運搬費 11,519千円）
・ＧＩＳを用いた固定資産税システムの更新（委託料 3,618千円）
・平成27年度評価替えに向けた宅地比準価格の不動産鑑定（委託料 5,022千円）
・【一部新規】各税関係協議会への負担金支出（負担金 3,393千円）

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

・徴税手数料 4,878千円 （税務証明手数料、督促手数料等） ・雑入 132千円
・県民税徴収事務費負担金 71,513千円（うち事業充当分32,762千円）
（納税義務者数22,869人×3,000円＝68,607千円、その他号該当 2,906千円）

担当課	税務課
事業名	地籍調査

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	6 農林水産業費		1 報酬	120	地籍調査協力委員	120
項	1 農業費		4 共済費	678	社会保険料	678
目	5 農地費		7 賃金	5,220	事務賃金、労務賃金	5,220
			9 旅費	56	普通旅費	56
			11 需用費	2,495	消耗品費、燃料費等	2,495
			12 役務費	1,287	通信運搬費、手数料	1,287
			13 委託料	28,345	測量設計監理等委託料等	28,345
			14 使用料及び賃借料	2,192	自動車借上料、機械借上料	2,192
			19 負担金補助及び交付金	119	県国土調査推進協議会負担金	119

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
87	33,695	40,512		28,230		80	12,202

事業の概要、対象、意図など

【事業の概要】
　国土調査法に基づき、土地の基礎的情報である境界や地目、面積を明らかにし、その成果を記録する。また、成果を数値的に管理することで、半永久的に土地の位置特定が可能となる。
　現在は、平成20年度に策定した、第６次国土調査事業十箇年計画（平成22年度から31年度）に沿って、人口集中地区を中心とした都市部を調査区域としている。
【事業の主な流れ】
①基準点・地籍図根点測量→②住民への説明会→③一筆地調査→④一筆地測量→⑤面積測定
⑥地籍図・地籍簿案の作成→⑦成果の閲覧→⑧認証・法務局送付

歳出積算根拠（金額）

地籍調査事業測量業務委託料　　28,232千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

土地情報データ手数料　　80千円
地籍調査事業費補助金　　算定基準額 37,640千円×3/4＝28,230千円
（補助率　国1/2、県1/4、市1/4）
※市が負担する経費については、80%が特別交付税措置の対象となっているため、実質的には5%の負担で地籍調査事業を実施することが可能。

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位：千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	2	3	1	2	1	市民課	戸籍住民登録事務	1	18,319	0
〃	〃	2	3	1	6	1	市民課	中長期在留者住居地届出等事務	1	5	0
〃	〃	2	5	2	1	1	市民課	人口動態調査	2	50	0
〃	〃	2	5	2	2	1	市民課	人口移動調査	2	36	0
〃	〃	3	1	2	2	1	市民課	国民年金	3	177	0
〃	〃	3	2	1	17	1	市民課	出産手当金支給	3	1,800	1,800
〃	〃	8	2	1	4	1	市民課	自動車臨時運行許可	4	13	0

担当課	市民課
事業名	戸籍住民登録事務

予算科目			節		説明	
会計	一般					
歳入歳出	歳出		区分	金額		
款	2	総務費	4 共済費	45	社会保険料	45
項	3	戸籍住民基本台帳費	7 賃金	288	事務賃金	288
目	1	戸籍住民基本台帳費	9 旅費	54	普通旅費	54
			11 需用費	1,507	消耗品費・印刷製本費・修繕料	1,507
			12 役務費	556	通信運搬費・手数料	556
			13 委託料	6,180	システム改修・保守委託料	6,180
			14 使用料及び賃借料	9,689	機械借上料・ソフト使用料	9,689

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳　（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
47	21,351	18,319				18,319	0

事業の概要、対象、意図など

住民異動、戸籍の届出等を受理、記載するとともに、正確かつ迅速に証明書の発行をすることにより、住民サービスの向上に資する。

歳出積算根拠（金額）

戸籍総合システム保守委託料　2,748千円
戸籍コンピュータシステム借上料　4,341千円
住基ネット保守委託料　2,892千円
住基ネットシステム機器借上料　1,791千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

手数料　戸籍手数料等　18,319千円

担当課	市民課
事業名	中長期在留者住居地届出等事務

予算科目			節		説明	
会計	一般					
歳入歳出	歳出		区分	金額		
款	2	総務費	11 需用費	5	消耗品費	5
項	3	戸籍住民基本台帳費				
目	1	戸籍住民基本台帳費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳　（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
47	10	5	5				0

事業の概要、対象、意図など

倉吉市に住民登録をしている中長期在留者等の居住関係を正確に把握し、管理する。

歳出積算根拠（金額）

消耗品費　5千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

中長期在留者住居地届出等事務委託費　5千円

担当課	市民課					
事業名	人口動態調査					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	11 需用費	40	消耗品費	40
	項	5 統計調査費	12 役務費	10	通信運搬費	10
	目	2 人口統計調査費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
51	48	50		50			0

事業の概要、対象、意図など

出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の実態を調査し報告するもので、国、県、地方自治体の行政資料として利用される。

歳出積算根拠（金額）

消耗品費　40千円
通信運搬費　10千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

人口動態調査委託金　50千円

担当課	市民課					
事業名	人口移動調査					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	11 需用費	20	消耗品費	20
	項	5 統計調査費	12 役務費	16	通信運搬費	16
	目	2 人口統計調査費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
51	35	36		36			0

事業の概要、対象、意図など

住民基本台帳人口移動報告に基づき、国が集計、公表し地域人口の現状及び動向を正確に把握するための基礎資料として利用される。

歳出積算根拠（金額）

消耗品費　20千円
通信運搬費　16千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

人口移動調査委託金　36千円

担当課	市民課
事業名	国民年金

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	11 需用費	105	消耗品費・印刷製本費	105
	項	1 社会福祉費	12 役務費	36	通信運搬費	36
	目	2 国民年金費	20 扶助費	36	敬老年金	36

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
55	177	177	177				0

事業の概要、対象、意図など

国民年金制度の健全な運営のため、国と市町村が協力・連携のもとに効率的かつ効果的な事務処理を進めていく。

歳出積算根拠（金額）

消耗品費　75千円
印刷製本費　30千円
通信運搬費　36千円
扶助費　36千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

国民年金事務費交付金　177千円

担当課	市民課
事業名	出産手当金支給

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	20 扶助費	1,800	出産手当	1,800
	項	2 児童福祉費				
	目	1 児童福祉総務費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
66	1,800	1,800					1,800

事業の概要、対象、意図など

第3子以降を出産した母親に対して支給することにより、母体の保護及び出産児の健康増進並びに将来における健全な家族構成に寄与する。

歳出積算根拠（金額）

出産手当　1,800千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	市民課
事業名	自動車臨時運行許可

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	8 土木費	11 需用費	13	印刷製本費	13
	項	2 道路橋梁費				
	目	1 道路橋梁総務費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
102	13	13				13	0

事業の概要、対象、意図など

道路運送車両法の運行要件を満たさない自動車であっても、行政庁の許可により特例的に運行できる制度。臨時ナンバーの貸し出し。

歳出積算根拠（金額）

印刷製本費　13千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

自動車臨時運行許可手数料　13千円

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位：千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	2	1	1	7	1	支所管理課	【一部新規】支所管理	1	18,905	18,380
〃	〃	2	1	1	12	1	支所管理課	情報通信設備維持管理	1	8,017	0
〃	〃	2	1	6	23	1	支所管理課	湯の関振興基金積立金	2	19	0
〃	〃	2	1	9	5	1	支所管理課	総合交通対策（支所）	2	3,500	3,500
〃	〃	2	3	1	4	1	支所管理課	戸籍住民登録事務（支所）	3	196	0
〃	〃	6	1	2	7	1	支所管理課	大山池ふれあい広場等維持管理	3	2,633	2,633
〃	〃	7	1	3	9	1	支所管理課	関金エリアトイレ・公園管理	4	3,575	3,575
〃	〃	8	4	2	7	1	支所管理課	関金公園等管理	4	3,599	3,599

担当課	支所管理課
事業名	【一部新規】支所管理

予算科目		節		説明	
会計	一般				
歳入歳出	歳出	区分	金額		
款	2 総務費	1 報酬	4,832	非常勤職員報酬(嘱託)	4,832
項	1 総務管理費	4 共済費	762	非常勤職員共済費	762
目	1 一般管理費	7 賃金	943	事務賃金・労務賃金	943
		9 旅費	10	普通旅費	10
		11 需用費	8,793	消耗品費・燃料費・光熱水費等	8,793
		12 役務費	1,028	通信運搬費・手数料	1,028
		13 委託料	1,462	ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ保守管理委託料等	1,462
		14 使用料及び賃借料	1,045	自動車・器具・機械借上料	1,045
		27 公課費	30	自動車重量税	30

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
32	17,596	18,905				525	18,380

事業の概要、対象、意図など

関金庁舎、総合文化センターの円滑な運営を行うため、施設・設備等を適切に維持管理するもの

歳出積算根拠（金額）

○ 関金庁舎・総合文化センター維持管理経費	16,679	千円
光熱水費、燃料費(電気、水道、LPガス外)、【新規】事務所移転費用等	16,679	千円
○ 公用車維持管理経費	2,226	千円
マイクロバス運転手(非常勤嘱託職員 共済費を含む)等	2,226	千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

使用料及び手数料 庁舎使用料	387	千円
諸収入 コピー・庁舎使用料、公衆電話手数料	138	千円

担当課	支所管理課
事業名	情報通信設備維持管理

予算科目		節		説明	
会計	一般				
歳入歳出	歳出	区分	金額		
款	2 総務費	11 需用費	3,308	光熱水費、修繕料	3,308
項	1 総務管理費	13 委託料	4,609	住民ﾈｯﾄ運用保守等委託料	4,609
目	1 一般管理費	18 備品購入費	100	機械器具費	100

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
33	7,873	8,017				8,017	0

事業の概要、対象、意図など

情報格差解消のため整備した情報通信設備(住民ネットワーク、音声告知システム、情報通信ケーブル)の保守・点検、移設、機器修繕をするもの

歳出積算根拠（金額）

情報通信設備電気代	1,008	千円
情報通信設備修繕費(音声告知機等)	300	
情報通信設備修繕費(自営柱PSバッテリー交換:20台)	2,000	
音声告知放送運用保守委託料	503	
住民ネット運用保守委託料	2,106	
情報通信設備(光ケーブル等)移転業務委託料	2,000	
備品購入費(音声告知機等)	100	

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

財産収入 情報通信設備貸付収入(光ケーブル網)	8,017	千円

担当課	支所管理課
事業名	湯の関振興基金積立金

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	25 積立金	19	湯の関振興基金積立金	19
	項	1 総務管理費				
	目	6 財産管理費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
38	10	19				19	0

事業の概要、対象、意図など

財団法人やすらぎの里せきがね振興公社の解散に伴う精算金を、「湯の関振興基金」として積立て、地域の振興を図るもの
（湯の関振興基金の保管業務）

歳出積算根拠（金額）

元金12,297,967円×利率0.0015＝利子18,446円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

財産収入　　湯の関振興基金利子　　19 千円

担当課	支所管理課
事業名	総合交通対策(支所)

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	19 負担金補助及び交付金	3,500	関金スクールバス事業費補助金	3,500
	項	1 総務管理費				
	目	9 交通対策				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
43	4,000	3,500					3,500

事業の概要、対象、意図など

国鉄倉吉線廃止に伴う旅客運賃事業者が行うスクールバス事業を促進し、通学利用者の負担軽減を図るため
通学定期乗車券料金の100分の30を乗じた額を基準に関金町に居住する学生及び生徒に補助するもの

歳出積算根拠（金額）

関金スクールバス事業費補助金〔市30%・通学利用者70%〕
事業費11,700千円×30%≒3,500千円
〔事業費の内訳〕
1ヶ月定期:15,000円×240人×30%＝1,080,000円
3ヶ月 〃 :45,000円×100人×30%＝1,350,000円
6ヶ月 〃 :90,000円× 40人×30%＝1,080,000円　　合計3,500千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

担当課	支所管理課					
事業名	戸籍住民登録事務(支所)					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	11 需用費	157	消耗品費	65
	項	3 戸籍住民基本台帳費			印刷製本費	72
	目	1 戸籍住民基本台帳費			修繕料	20
			12 役務費	39	手数料	39

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
47	189	196				196	0

事業の概要、対象、意図など

倉吉市の住民基本台帳に登録されている者、倉吉市に本籍を有している者に、正確かつ迅速な証明書の発行をすることにより、住民サービスの向上を資することを目的とし、証明書を発行するもの

歳出積算根拠（金額）

消耗品	プリンタトナー	65 千円
印刷製本費	証明書用改ざん防止用紙	72
修繕料	窓口機器等修繕代	20
手数料	戸籍専用電子複写機保守料	39

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

使用料及び手数料：（戸籍手数料　196千円）

担当課	支所管理課					
事業名	大山池ふれあい広場等維持管理					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業費	1 報酬	1,655	非常勤職員報酬	1,655
	項	1 農業費	4 共済費	261	社会保険料	261
	目	2 農業総務費	11 需用費	432	消耗品費・燃料費ほか	432
			12 役務費	255	手数料	255
			16 原材料費	30	工事材料費	30

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
83	2,635	2,633					2,633

事業の概要、対象、意図など

大山池ふれあい広場(木の実の里)、大山池遊歩道及び大山池周辺の除草、トイレの清掃、植栽等の維持管理業務をするもの

歳出積算根拠（金額）

・ 報酬(非常勤嘱託職員:1名)	1,655 千円
・ 共済費(非常勤嘱託職員社会保険料)	261
・ 消耗品費(除草剤、芝肥料等) ・燃料費(芝刈機、動噴用ガソリン)	174
・ 光熱水費(電気、水道料) ・修繕料(施設管理機械、器具等修繕)	258
・ 手数料(浄化槽保守点検)	255
・ 原材料費(真砂、目土等)	30

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	支所管理課					
事業名	関金エリアトイレ・公園管理					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	7 商工費	1 報酬	1,628	非常勤職員報酬	1,628
	項	1 商工費	4 共済費	257	社会保険料	257
	目	3 観光費	11 需用費	1,279	消耗品費・燃料費ほか	1,279
			12 役務費	131	手数料	131
			13 委託料	31	浄化槽管理委託料	31
			14 使用料及び賃借料	229	土地・自動車借上料	229
			19 負担金補助及び交付金	20	天神野土地改良区施設負担金	20

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
96	6,742	3,575					3,575

事業の概要、対象、意図など

・トイレ(大山池、大滝山、観光団地、温泉公衆、バス停、亀井公園)の清掃管理
・延命茶屋足湯の維持管理をするもの
・公園・広場(運動公園子供広場、鳥越遊歩道、亀井公園)除草、清掃管理
・展望駐車場(地蔵峠、一向ヶ平、犬挟峠)除草、清掃管理をするもの

歳出積算根拠（金額）

・ 報酬(非常勤嘱託職員:1名)	1,628	千円
・ 共済費(非常勤嘱託職員社会保険料)	257	
・ 消耗品費(除草剤等) ・燃料費(足湯ボイラー灯油、軽トラガソリン)	631	
・ 光熱水費(電気、水道料)	448	
・ 修繕料(子ども広場遊具修繕等)	200	
・ 手数料(大山池トイレ浄化槽清掃、子ども広場遊具保守点検)	131	
・ 委託料(大山池トイレ浄化槽保守点検)	31	
・ 借上料(関金温泉公衆トイレ敷地、軽トラック)	229	
・ 負担金(天神野土地改良区施設使用負担金)	20	

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

担当課	支所管理課					
事業名	関金公園等管理					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	8 土木費	1 報酬	1,628	非常勤職員報酬	1,628
	項	4 都市計画費	4 共済費	257	社会保険料	257
	目	2 公園費	11 需用費	234	消耗品費・燃料費ほか	234
			13 委託料	1,248	除草委託料	1,248
			14 使用料及び賃借料	172	自動車借上料	172
			16 原材料費	60	工事材料費	60

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
106	3,689	3,599					3,599

事業の概要、対象、意図など

・関金1・2・3号公園の除草、清掃をするもの
・市道の除草、清掃及び補修をするもの
・親水公園(矢送川、大鳥居、滝川、せせらぎ、滝川砂防ダム)の清掃をするもの

歳出積算根拠（金額）

・ 報酬(非常勤嘱託職員:1名)	1,628	千円
・ 共済費(非常勤嘱託職員社会保険料)	257	
・ 消耗品費(除草剤、草刈刃等) ・燃料費(軽トラガソリン)	173	
・ 光熱水費(関金1号公園水道料) ・修繕料(施設維持修繕)	61	
・ 除草委託料(滝川・矢送川親水公園剪定除草委託料)	1,248	
・ 自動車借上料(軽トラ)	172	
・ 原材料費(真砂、目土等)	60	

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位：千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	2	1	1	8	1	総合政策課	秘書	1	7,892	7,892
〃	〃	2	1	3	2	1	総合政策課	【一部新規】広報広聴	1	19,526	16,295
〃	〃	2	1	7	1	1	総合政策課	【一部新規】企画政策推進	2	1,950	1,950
〃	〃	2	1	7	25	1	総合政策課	青少年の森・市民交流の森管理	2	296	296
〃	〃	2	1	7	32	1	総合政策課	定住自立圏構想推進事業	3	490	490
〃	〃	2	1	7	39	1	総合政策課	【一部新規】イメージキャラクター作製事業	3	2,253	2,253
〃	〃	2	1	7	44	1	総合政策課	【新規】鳥取看護大学建設費補助事業	4	309,595	15,695
〃	〃	2	1	9	6	1	総合政策課	【一部新規】総合交通対策（企画）	4	113,480	97,825
〃	〃	2	1	9	8	1	総合政策課	総合交通対策（定住自立圏）	5	805	805
〃	〃	2	5	1	2	1	総合政策課	統計業務	5	94	94
〃	〃	2	5	3	－	－	総合政策課	経済統計調査	6	11,051	0
〃	〃	2	5	4	1	1	総合政策課	学校基本調査	6	14	0

担当課	総合政策課
事業名	秘書

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	2	総務費	4 共済費	320	社会保険料	320
項	1	総務管理費	7 賃金	2,028	事務賃金	2,028
目	1	一般管理費	9 旅費	1,017	普通旅費	1,017
			10 交際費	850	交際費	850
			11 需用費	1,019	消耗品費・食糧費外	1,019
			12 役務費	306	通信運搬費・手数料	306
			14 使用料及び賃借料	139	自動車借上料	139
			19 負担金補助及び交付金	2,213	市長会等負担金	2,213

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳　（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
33	8,099	7,892					7,892

事業の概要、対象、意図など

市長及び副市長の公務を円滑に運営するもの。

歳出積算根拠（金額）

○市長会等負担金　　2,213千円
　全国市長会負担金　266千円、鳥取県市長会負担金　1,937千円、山陰都市連携協議会負担金　10千円

担当課	総合政策課
事業名	【一部新規】広報公聴

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	2	総務費	1 報酬	1,214	嘱託	1,214
項	1	総務管理費	4 共済費	192	社会保険料	192
目	3	文書広報費	8 報償費	6	報償金	6
			9 旅費	65	普通旅費	65
			11 需用費	12,913	消耗品費他	12,913
			12 役務費	366	通信運搬費・手数料	366
			13 委託料	2,389	市報等発送業務委託料他	2,389
			14 使用料及び賃借料	2,132	機械借上料他	2,132
			18 備品購入費	193	機械器具費	193
			19 負担金補助及び交付金	56	研修会等参加負担金	32
					日本広報協会負担金	24

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳　（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
36	20,216	19,526		2,276		955	16,295

事業の概要、対象、意図など

市民へ、市政に関する情報などを発信するため、市報発行、ホームページ更新、メール配信、NCN2ch行政放送等の広報活動を行うもの。また、日本広報協会及び鳥取県広報連絡協議会に加入し、主催する研修会に職員が参加し、広報技術を向上させるもの。

歳出積算根拠（金額）

○印刷製本費　12,357千円（市報印刷）
○委託料　2,389千円（市報・県政だより・県議会だより発送業務1,826千円、点字市報作成563千円）
○使用料及び賃借料　2,132千円（市報作成用機械借上料・PCソフト使用料）
○機械器具費　　193千円（【新規】点字市報作成関連ソフト）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

○県支出金　　2,276千円
　県政だより配布事務費委託金（平成25年度契約実績）　　1,707千円
　県議会だより配布事務費委託金（平成25年度契約実績）　　569千円
○諸収入　　955千円
　市報広告掲載料　775千円、ホームページ広告掲載料　180千円

担当課	総合政策課
事業名	【一部新規】企画政策推進

予算科目		節		説明	
会計	一般	区分	金額		
歳入歳出	歳出				
款	2 総務費	9 旅費	33	普通旅費	33
項	1 総務管理費	11 需用費	704	消耗品費・燃料費	505
目	7 企画費			印刷製本費	89
				修繕料	110
		12 役務費	248	通信運搬費	248
		14 使用料及び賃借料	950	器具借上料	107
				情報サービス使用料	843
		19 負担金補助及び交付金	15	鳥取・岡山県境連携推進協議会負担金	15

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
39	2,259	1,950					1,950

事業の概要、対象、意図など

市政の総合企画及び政策形成を行うもの。
【新規】友好自治体との交流にかかる地域産業の推進事業
・現在国内交流を行っている松戸市、館山市、彦根市の本市の祭りや産業等のイベントへの参加を通じて、民間レベルでの交流を促進し、人やモノ、情報などの流れを作るきっかけづくりとするもの。
・「中部発！食のみやこフェスティバル」（H26.6.28、29開催予定）に国内交流3市のブースを設置・出展を行い、市民への紹介・ＰＲ等をしてもらう。

歳出積算根拠（金額）

○【新規】友好自治体との交流にかかる地域産業の推進事業　　107千円
　　器具借上料　107千円
○市民意識調査　　357千円
　　消耗品費　20千円、印刷製本費　89千円、通信運搬費　248千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	総合政策課
事業名	青少年の森・市民交流の森管理

予算科目		節		説明	
会計	一般	区分	金額		
歳入歳出	歳出				
款	2 総務費	11 需用費	20	消耗品費	20
項	1 総務管理費	13 委託料	199	除草委託料	199
目	7 企画費	16 原材料費	77	工事材料費	44
				苗木	33

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
39	330	296					296

事業の概要、対象、意図など

「青少年の森・市民交流の森」について、地域住民・市民と協働して維持管理を行い、市民の利用に供するもの。

歳出積算根拠（金額）

○除草委託料（除草２回）　　199千円
○工事材料費（実のなる樹木広場用真砂土）　44千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	総合政策課
事業名	定住自立圏構想推進事業

予算科目		節		説明	
会計	一般				
歳入歳出	歳出	区分	金額		
款	2 総務費	8 報償費	230	報償金	230
項	1 総務管理費	9 旅費	185	普通旅費	185
目	7 企画費	11 需用費	35	消耗品費	35
		12 役務費	10	通信運搬費	10
		14 使用料及び借上料	30	会場・機械借上料	30

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
39	492	490					490

事業の概要、対象、意図など

定住自立圏の将来像の実現のため、定住自立圏共生ビジョン懇談会による検討、周辺町との協議を継続しながら、定住自立圏形成協定の変更及び定住自立圏共生ビジョンの修正を行い、具体的な事業を実施するもの。

歳出積算根拠（金額）

○報償金　　230千円
　倉吉市定住自立圏共生ビジョン懇談会委員謝金　　210千円
　中部圏域ケーブルテレビ利活用研究会委員謝金　　20千円
○普通旅費（定住自立圏構想に係る宣言中心市意見交換会他）　　185千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	総合政策課
事業名	【一部新規】イメージキャラクター作製事業

予算科目		節		説明	
会計	一般				
歳入歳出	歳出	区分	金額		
款	2 総務費	9 旅費	123	普通旅費	123
項	1 総務管理費	11 需用費	2,100	消耗品費	235
目	7 企画費			印刷製本費	1,865
		12 役務費	30	通信運搬費	20
				手数料	10

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
39	1,623	2,253					2,253

事業の概要、対象、意図など

倉吉市イメージキャラクターくらすけくんの積極的なＰＲ活動を行うことにより、住民とのさらなる一体感や親近感を醸成するもの。

歳出積算根拠（金額）

○普通旅費（ＰＲ活動）　　123千円
○印刷製本費（オリジナルグッズ作製）　　1,865千円
　うちわ、シールシート、ペーパーバッグ、トートバッグ、クリアファイル、
　【新規】付箋紙セット、【新規】絆創膏、【新規】ボールペン

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	総合政策課
事業名	【新規】鳥取看護大学建設費補助事業

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	9 旅費	139	普通旅費	139
	項	1 総務管理費	19 負担金補助及び交付金	309,456	鳥取看護大学建設費補助金	309,456
	目	7 企画費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
39		309,595			293,900		15,695

事業の概要、対象、意図など

鳥取看護大学設置に当たり、学校法人の初期投資の軽減を図るため、校舎建設費について補助金を交付するとともに、大学設置・学校法人審議会（大学設置分科会及び学校法人分科会（合同））において実施される大学新設に係る設置構想審査（首長ヒアリング）に出席するもの。

歳出積算根拠（金額）

○普通旅費（大学設置構想審査首長ヒアリング・文部科学省）　139千円
○鳥取看護大学建設費補助金　309,456千円
　看護大学設置総事業費　2,985,100千円
　（財源内訳）
　学校法人自己資金　1,399,138千円
　鳥取県補助金　792,981千円
　中部市町　792,981千円（広域連合483,525千円、倉吉市309,456千円）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

○合併特例債　309,456千円×95%≒293,900千円

担当課	総合政策課
事業名	【一部新規】総合交通対策（企画）

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	8 報償費	56	報償金	56
	項	1 総務管理費	11 需用費	10	消耗品費	10
	目	9 交通対策費	14 使用料及び賃借料	15	土地借上料	15
			19 負担金補助及び交付金	113,399	負担金・補助金	113,399

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
42	102,378	113,480		15,578		77	97,825

事業の概要、対象、意図など

地域住民の福祉を確保するために必要な公共交通機関の維持確保を行い、スムーズな移動を図るため、バス路線対策としてバス事業者に補助金を交付するもの。また、JR線及び智頭線、鳥取空港の利便性の確保のため、各種負担金を支出するもの。

歳出積算根拠（金額）

○報償金　56千円　（倉吉市地域公共交通会議委員48千円、倉吉市福祉有償運送運営協議会委員　8千円）
○土地借上料（明高バス回し場：367㎡）　15千円
○負担金　270千円
　JR線・智頭線中部地区利用促進協議会　5千円、県鉄道利用促進協議会　50千円、
　山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会　5千円、
　鳥取空港の利用を促進する懇話会　160千円、【新規】山陰縦貫・超高速鉄道整備負担金　50千円
○補助金　113,129千円
　地方バス路線維持対策費補助金　112,119千円（平成25年度実績額）
　過疎地有償運送運行補助金　610千円（平成25年度見込み額）
　住民参画型バス停上屋整備事業費補助金　400千円（1基分）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

○使用料及び手数料　関金バスセンター使用料：77千円
　固定資産税相当額：10,286,000円×1.5%＝154,290円≒154,200円　⇒154,200円×1/2＝77,100円
○県支出金　15,578千円
　広域バス路線維持費補助金（平成25年度実績額）：5,796千円
　生活交通体系構築支援補助金（平成25年度実績額）：9,477千円
　過疎地有償運送導入・運行支援事業費補助金（平成25年度見込み額）：610千円×1/2＝305千円

担当課	総合政策課					
事業名	総合交通対策（定住自立圏）					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	11 需用費	679	修繕料	679
	項	1 総務管理費	19 負担金補助及び交付金	126	中部地域公共交通協議会負担金	126
	目	9 交通対策費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
42	1,126	805					805

事業の概要、対象、意図など

定住自立圏構想の協定項目である「公共交通に係る効率的な運行体系の確立」を推進するため、平成22年度に鳥取県中部地域公共交通協議会が策定した公共交通総合連携計画を実施するための事業費及び協議会運営費を支出するもの。
H23に実施した既存バス停施設調査結果をもとに年次的にバス停の修繕を行うもの。

歳出積算根拠（金額）

○修繕料（バス停上屋　５箇所）　679千円
　　厚生病院前（①上り・②下り）
　　パークスクエア北口（③上り・④下り）
　　みどり町（⑤下り）

○中部地域公共交通協議会負担金（委員謝金・事務費）　　126千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	総合政策課					
事業名	統計業務					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	11 需用費	93	印刷製本費	93
	項	5 統計調査費	12 役務費	1	通信運搬費	1
	目	1 統計調査総務費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
51	86	94					94

事業の概要、対象、意図など

統計業務に関わる事務を行うもの。また、市勢要覧の作成、発行を行うもの。

歳出積算根拠（金額）

○印刷製本費（市勢要覧・統計資料編　300部）　　93千円
○通信運搬費（郵送料）　1千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	総合政策課
事業名	経済統計調査

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	1 報酬	9,301	調査員	9,301
	項	5 統計調査費	3 職員手当等	138	時間外及び休日勤務手当	138
	目	3 経済統計調査費	7 賃金	565	事務賃金	565
			8 報償費	410	報償金	410
			11 需用費	369	消耗品費	369
			12 役務費	152	通信運搬費	152
			14 使用料及び賃借料	116	機械借上料	116

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
51	4,052	11,051		11,051			0

事業の概要、対象、意図など

以下の調査の実施及び準備事務を行うもの。
○工業統計調査…工業の実態を明らかにし、工業に関する施策の基礎資料とするもの。平成26年12月31日を調査期日として、調査員調査により実施する。対象は、市内すべての製造業（約170事業所）。
○統計調査員確保対策…国及び地方公共団体が行う統計調査の円滑な実施を期するため、調査員の登録管理及び研修等を行い、登録調査員の確保及びその資質向上を図るもの。
○経済センサス_基礎調査…すべての産業分野における全国及び地域別に経済の構造を明らかにするとともに、各種統計調査実施のための事業所及び企業の名簿を作成するもの。平成26年7月1日を調査期日として調査員調査により実施する。対象は、市内すべての事業所（約2,300事業所）。
○国勢調査調査区設定…平成27年国勢調査の準備作業として、調査員の担当区域を明確にし、調査の重複、脱漏を防止し、調査の正確を期するため調査区の設定を行うもの。
○全国消費実態調査…家計の実態を調査し、世帯の所得及び資産の分布、消費の水準とその構造を明らかにすることにより、各種行政施策の基礎資料とするもの。9月～11月の３か月間。
○農林業センサス…平成27年2月1日を調査期日として、調査員調査により行う。対象は、市内の農林業を営んでいるすべての世帯および法人（約4,400経営体）。

歳出積算根拠（金額）

○統計調査員等208人の報酬9,301千円ほか事務経費

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

○県支出金　11,051千円
工業統計調査費委託金　281千円
統計調査員確保対策事業費委託金　23千円
経済センサス委託金　2,657千円
国勢調査調査区設定委託金　330千円
全国消費実態調査費委託金　2,234千円
農林業センサス費委託金　5,526千円

担当課	総合政策課
事業名	学校基本調査

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	11 需用費	7	消耗品費	7
	項	5 統計調査費	12 役務費	7	通信運搬費	7
	目	4 教育統計調査費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
52	14	14		14			0

事業の概要、対象、意図など

○学校の教員数、生徒数、卒業後の状況等の事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料とするもの。毎年実施。
○調査期日　5月1日　　文部科学省
○調査は市内のすべての小・中・高等学校、特別支援学校、幼稚園、専修・各種学校、市町村教育委員会

歳出積算根拠（金額）

○消耗品費（文房具ほか）　7千円　　○通信運搬費（電話代）　7千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

○県支出金（学校基本調査費委託金）　14千円

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位：千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	2	1	6	9	1	地域づくり支援課	若者の定住化促進基金積立金	1	7,509	0
〃	〃	2	1	6	11	1	地域づくり支援課	緑を守り育てる基金積立金	1	12,899	0
〃	〃	2	1	7	3	1	地域づくり支援課	元気の出る地域づくり支援	2	19,515	19,515
〃	〃	2	1	7	7	1	地域づくり支援課	緑を守り育てる	2	971	0
〃	〃	2	1	7	12	1	地域づくり支援課	協働のまちづくり	3	7,450	7,450
〃	〃	2	1	7	29	1	地域づくり支援課	定住対策事業	4	3,785	0
〃	〃	2	1	7	30	1	地域づくり支援課	若者定住・ＵＩＪターン事業	5	2,591	0
〃	〃	2	1	7	42	1	地域づくり支援課	集落支援員活用事業	6	5,884	5,884
〃	〃	2	1	10	13	1	地域づくり支援課	自治公民館活動推進	7	26,735	26,726
〃	〃	2	1	10	17	1	地域づくり支援課	交通災害共済加入促進	8	3,694	0
〃	〃	2	1	10	18	1	地域づくり支援課	コミュニティ推進事業	9	28,100	0
〃	〃	2	1	10	19	1	地域づくり支援課	消費者行政推進事業	9	2,552	2,313

担当課	地域づくり支援課
事業名	若者の定住化促進基金積立金

予算科目	会計	一般会計	節		説明
	歳入歳出	歳出	区分	金額	
	款	2 総務費	25 積立金	7,509	若者の定住化促進基金積立金 7,509
	項	1 総務管理費			
	目	6 財産管理費			

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
38	924	7,509				7,509	0

事業の概要、対象、意図など

若者の定住化による地域振興を図るため、事業の費用として基金を積み立てるもの。

・定住対策事業、若者定住・UIJターン事業（充当額3,302千円）、保育園運営（充当額30,000千円）、企業誘致事業（充当額50,000千円）に活用
【参考：H25年度末残高見込み額】　1,055,573千円

歳出積算根拠（金額）

若者の定住化促進基金積立金　　7,509千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

若者の定住化促進基金利子　　1,579千円
1,052,403千円×0.15%×365/365＝1,579千円

若者の定住化促進基金寄附金　　5,930千円
平成26年度は5,930千円の寄附を見込む。
【参考】H25年度（H26.1.20）の申込み金額　3,200千円/215件

担当課	地域づくり支援課
事業名	緑を守り育てる基金積立金

予算科目	会計	一般会計	節		説明
	歳入歳出	歳出	区分	金額	
	款	2 総務費	25 積立金	12,899	緑を守り育てる基金積立金 12,899
	項	1 総務管理費			
	目	6 財産管理費			

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
38	521	12,899				12,899	0

事業の概要、対象、意図など

緑の保全及び緑化を推進するため、基金を積み立てるもの。

・倉吉市の緑を守り育てる事業（充当額971千円）に活用
【参考：H25年度末残高見込み額】　21,649千円

歳出積算根拠（金額）

緑を守り育てる基金積立金　12,899千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

緑を守り育てる基金利子　19千円
12,547,924円×0.15%×365/365＝18,822円

緑を守り育てる基金寄附金　12,880千円
平成26年度は12,880千円の寄附を見込む。
【参考】H25年度（H26.1.16時点）の申込み金額　6,200千円/467件

担当課	地域づくり支援課
事業名	元気の出る地域づくり支援

予算科目			節		説明	
	会計	一般会計				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	11 需用費	15	消耗品	15
	項	1 総務管理費	19 負担金補助及び交付金	19,500	元気の出る地域づくり支援事業費交付金	19,500
	目	7 企画費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
39	19,515	19,515					19,515

事業の概要、対象、意図など

住民が参画し地域の活性化を図るため、各地区の特色ある取り組みを行う地区振興協議会へそれぞれ150万円を上限として交付金を交付するもの。
【平成25年度主な事業内容】
上北条麦まつり、上灘桜並木保存、北谷ジゲの川で遊ぶ、明倫冬のまつり、上小鴨ふるさと再発見事業 等

歳出積算根拠（金額）

元気の出る地域づくり支援事業費交付金　19,500千円
1,500,000円×13地区
消耗品費　15千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	地域づくり支援課
事業名	緑を守り育てる

予算科目			節		説明	
	会計	一般会計				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	1 報酬	18	緑を守り育てる審議会委員	18
	項	1 総務管理費	8 報償費	615	報奨金	615
	目	7 企画費	11 需用費	180	消耗品費	30
					修繕費	150
			12 役務費	158	通信運搬費	8
					手数料	150

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
39	1,049	971				971	0

事業の概要、対象、意図など

緑化の機運を高め、緑を保全する意識を涵養するため、市民が身近な自然に親しむ機会の創出と今ある自然を守り増やし後世に伝えていく意識の啓発を行うもの。

歳出積算根拠（金額）

・緑を守り育てる審議会 18千円
委員報酬　2,000円×９人×１回＝18,000円
・保存樹・保存林事業(樹木診断、看板修繕、管理者研修、管理謝金支払)　899千円
樹木診断謝金　6,000円×１人＝6,000円
管理謝金　(保存樹)5,000円×55件＝275,000円
(保存林)10,000円×31件＝310,000円
看板修繕費　30,000円×５か所＝150,000円
樹木診断手数料　30,000円×５か所＝150,000円
通信運搬費　管理者報告切手　80円×100枚＝8,000円
・緑の日・緑化月間事業(緑の観察会、名木めぐりバスツアーなど)　54千円
緑化と保全の意識啓発のため、緑を守り育てる条例が定める日に保存林の観察などを行うもの。
講師謝金　6,000円×４回＝24,000円
消耗品費　樹木看板等　30,000円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

緑を守り育てる基金繰入金　971千円

担当課	地域づくり支援課
事業名	協働のまちづくり

予算科目			節		説明	
	会計	一般会計				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	14 使用料及び賃借料	450	機械借上料	450
	項	1 総務管理費	19 負担金補助金及び交付金	7,000	打吹まつり実行委員会補助金	4,500
	目	7 企画費			倉吉ばえん祭開催費補助金	2,000
					協働のまちづくり活動助成事業交付金	500

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
40	10,907	7,450					7,450

事業の概要、対象、意図など

1　倉吉打吹まつり実行員会補助金　4,500千円
【H25決算見込】
収入23,798,267円（主な財源：市補助金4,500千円、寄附金・広告料6,175千円、Tシャツ売上等6,331千円）
支出19,673,545円

2　倉吉ばえん祭開催費補助金　2,000千円
【H25決算見込】
収入4,033,346円（主な財源：市補助金2,000千円、自己資金579千円、協賛金608千円、出店料490千円）
支出4,033,346円

3　倉吉市協働のまちづくり活動助成事業　500千円
　まちづくり等に関わる市民活動団体の活動を支援し、その活動の促進を図ることで市民参画と協働のまちづくりを推進するもの。
（１）助成金額
①新規事業⇒上限100千円
②継続事業⇒上限50千円
（２）助成期間　最長５年

歳出積算根拠（金額）

・機械借上料
　コピー機パフォーマンス料金　75,000円×6月＝450,000円
・倉吉打吹まつり実行委員会補助金　4,500,000円
・倉吉ばえん祭開催費補助金　2,000,000円
・協働のまちづくり活動助成事業交付金
　新規事業 100,000円 × 3件 ＋ 継続事業 50,000円 × 4件 ＝ 500,000円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	地域づくり支援課
事業名	定住対策事業

予算科目			節		説明	
	会計	一般会計				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	12 役務費	5	通信運搬費	5
	項	1 総務管理費	19 負担金補助及び交付金	3,780	住宅取得支援補助金	3,000
	目	7 企画費			みんなで支え合う中山間地域づくり総合支援事業補助金	280
					若者定住受け入れ事業助成交付金	200
					移住定住促進空き家活用事業支援助成金	300

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
39	3,520	3,785		1,890		1,895	0

事業の概要、対象、意図など

・移住定住希望者に対し、住宅の取得を支援する交付金等の交付や移住者がスムーズに地域へ入っていけるよう地域住民との交流を促進するための活動支援など、移住定住の促進を図る。
・中山間地域における買い物支援として、移動販売を実施する事業者に運営費の支援を実施する。

歳出積算根拠（金額）

1 倉吉市移住定住者住宅取得支援補助金 3,000千円
・移住者の住宅の新築または購入及び改修に係る経費を支援する
・補助額 ①新築住宅の建築費用の5% (2人以上での移住で上限100万円、単身移住上限50万円)
②中古住宅を購入費用の5%（上限50万円）
③中古住宅の改修費用の10%（上限35万円）
2 みんなで支え合う中山間地域づくり総合支援事業補助金(移動販売車運営費助成) 280千円
・中山間地域における買い物支援に向けて社会福祉法人がH24年度移動販売車を購入。
H25年度から市内で移動販売を開始。
・補助金 対象経費840,000円×補助率1/3＝280,000円
3 倉吉市定住希望者受入れ支援事業交付金 200千円
・移住者が地元住民と交流を深め良好な関係を築くことを目的。地区住民が移住者に対し歓迎会や地域のルールを学ぶ場を作る際の費用を補助するもの。
・補助金 上限100,000円×2団体＝200,000円
4 倉吉市移住定住促進空き家取得事業支援助成金 300千円
・県外からの移住者が、空き家バンクからの住宅購入をした際に1戸あたり15万円の助成を行う。
補助金 150,000円×２件＝300,000円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

県支出金 移住定住推進交付金(補助率1/2) 3,500千円×1/2=1,750千円
県支出金 みんなで支え合う中山間地域づくり総合支援事業補助金(補助率1/2) 280千円×1/2=140千円
その他 若者の定住化促進基金繰入金 1,895千円

担当課	地域づくり支援課
事業名	若者定住・ＵＪＩターン事業

予算科目		節		説明	
会計	一般会計	区分	金額		
歳入歳出	歳出				
款	2 総務費	1 報酬	1,656	嘱託	1,656
項	1 総務管理費	4 共済費	270	社会保険料	270
目	7 企画費	9 旅費	188	費用弁償・普通旅費	188
		11 需用費	17	消耗品費	17
		12 役務費	16	通信運搬費	16
		13 委託料	400	田舎暮らし体験ﾂｱｰ委託料	400
		19 負担金補助及び交付金	44	会議等参加負担金	44

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
39	3,427	2,591		1,184		1,407	0

事業の概要、対象、意図など

交流人口、定住人口の増加を図るため、移住定住を希望する人が円滑に市内に定住できるように支援を行うもの。専任相談員の配置、体験ツアーの実施、県外での相談会参加により移住者の増加を目指す。

歳出積算根拠（金額）

・移住定住相談員報酬・社会保険料　1,926千円
ワンストップの相談窓口及び移住者の増加のため移住定住相談員1名を雇用
報酬138,000円×12月×1名＝1,656,000円
社会保険料22,500円×12月×1名＝270,000円　計1,926,000円

・相談会旅費　188千円
県外への移住定住相談会旅費　鳥取県主催相談会（大阪：BIG相談会2回・鳥取コラボ2回）、
団体主催相談会（大阪：ふるさと探し相談会・朝日ＵＩＪ相談会）　計6回の相談会へ参加

・消耗品費　17千円
相談会等必要事務用品

・田舎暮らし体験ツアー委託料　400千円
年に２回程度を想定し、田舎暮らし体験ツアーをNPO等に委託し実施する。
ツアーの実施により県外から移住者を呼び込むことを目的とする。
（H25年度は体験ツアーから2名の移住者実績あり）

・相談会参加負担金　44千円
県外相談会への参加負担金　（ふるさと探し相談会10,800円、朝日ＵＩＪ相談会32,400円）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

（県支出金）鳥取県移住定住推進交付金　（補助率1/2）　1,184千円
対象経費：移住定住相談員報酬・社会保険料　1,926千円×1/2＝　963千円
田舎暮らし体験ツアー委託料　400千円×1/2＝　200千円
相談会参加負担金　43千円×1/2＝　21千円

（繰入金）若者の定住化促進基金繰入金　1,407千円

担当課	地域づくり支援課
事業名	集落支援員活用事業

予算科目			節		説明	
	会計	一般会計				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	1 報酬	4,752	嘱託	4,752
	項	1 総務管理費	4 共済費	810	社会保険料	810
	目	7 企画費	9 旅費	79	費用弁償	79
			11 需用費	180	消耗品費	180
			12 役務費	9	通信運搬費	9
			14 使用料及び賃借料	54	コピー使用料	54

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
39	5,832	5,884					5,884

事業の概要、対象、意図など

集落支援員を明倫、北谷、関金地区に配置し、集落巡回・集落点検を実施する。
地域の現状や課題を把握し、地域の実情に応じた集落の維持・活性化策を検討し、地域支援策の取り組みを行う。

歳出積算根拠（金額）

・集落支援員報酬・社会保険料（3名） 5,562千円
報酬132,000円×12月×3名=4,752,000円
社会保険料22,500円×12月×3名=810,000円 計5,562,000円

・費用弁償・普通旅費（研修旅費・講師旅費） 79千円
集落支援員研修（中山間研究センター） 13,100円×2回×3名=78,600円

・消耗品費 180千円
集落支援員3地区コピー用紙・封筒等 180,000円

・通信運搬費 9千円
切手等

・コピー使用料（3地区） 54千円
1,500円×12月×3地区＝54,000円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

担当課	地域づくり支援課
事業名	自治公民館活動推進

予算科目			節		説明	
	会計	一般会計				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	8 報償金	22,321	報償金	22,321
	項	1 総務管理費	19 負担金補助及び交付金	4,414	自治公民館連合会補助金	2,133
	目	10 諸費			自治公民館施設整備事業費補助金	2,281

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
43	26,570	26,735				9	26,726

事業の概要、対象、意図など

自治公民館活動を推進するため、自治公民館、自治公民館連合会に対し、市民協働活動支援報償金の支出、行事災害保険料の補助、自治公民館施設整備費の補助等を行うもの。

1 自治公民館・地区自治公民館協議会市民協働活動支援金

行政施策を自治公民館組織を通して行う中で、市報等の行政情報の伝達、住民ニーズの把握などを行う自治公民館及び地区自治公民館協議会に対し報償金を支払うもの。

2 自治公民館連合会補助金

住民相互の連帯感の形成及び、地域課題の解決等に取り組むことにより、住みよい地域社会の形成を目的として、市内の自治公民館長で組織する倉吉市自治公民館連合会に対し交付するもの。

・運営費補助額…自治連が企画し、運営し、及び実施する公益的事業の実施に要する経費

・行事災害保険料補助額…自治連が加入する自治公民館活動行事災害保険に要する経費－自治連負担額

3－1 自治公民館施設整備費補助金

地域住民の活動拠点となる自治公民館施設を整備する自治公民館に対し交付するもの。自治公民館の世帯数に応じた区分（全3区分）があり、補助対象経費の16%以内（千円未満切り捨て）の額を交付。

3－2 自治公民館放送施設整備費補助金

地域住民への広報活動及び迅速な情報伝達を行う放送施設を整備する者に対し交付するもの。25年度からの行政無線デジタル化に伴いコミュニティ放送が可能となったため、機器に慣れるための期間として27年度末まで2年間の猶予期間を設定して廃止する。期間内は既存放送設備の修理・修繕、既設設備の撤去を補助対象とし、補助対象経費の16%以内（千円未満切り捨て）の額を交付。

歳出積算根拠（金額）

1－1 自治公民館市民協働活動支援金 18,515千円
世帯割 13,912,500円＋世帯数別階層区分割 4,602,000円

1－2 地区自治公民館協議会市民協働活動支援金 3,806千円
均等割 1,625,000円＋世帯数別階層区分割 1,651,000円＋館数割 530,400円（＝2,400円×221館）

2 自治公民館連合会補助金 2,133千円
運営費補助 959,300円
行事災保険料 1,173,030円

3－1 自治公民館施設整備費補助金 1,556千円
越中町自治公民館 新築工事 900,000円
中江自治公民館 外壁改修工事 176,000円（＝1,100,000円×16%）
その他 480,000円（＝1,000,000円×16%×3件）

3－2 自治公民館放送施設整備費補助金 725千円
大河内自治公民館 修繕工事 184,000円（＝1,150,000円×16%）
沢谷自治公民館 修繕工事 112,000円（＝700,000円×16%）
杉野自治公民館 修繕工事 80,000円（＝500,000円×16%）
不入岡自治公民館 撤去工事 48,000円（＝300,000円×16%）
横田自治公民館 撤去工事 60,000円（＝380,000円×16%）
その他 240,000円（＝300,000円×16%）

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

認可地縁団体証明手数料 9千円

担当課	地域づくり支援課
事業名	交通災害共済加入促進

予算科目						
会計	一般会計	節		説明		
歳入歳出	歳出	区分	金額			
款	2 総務費	4 共済費	45	社会保険料	45	
項	1 総務管理費	7 賃金	288	事務賃金	288	
目	10 諸費	8 報償費	2,340	報償費	2,340	
		11 需用費	562	消耗品費・燃料費	162	
				印刷製本費	400	
		12 役務費	214	通信運搬費	214	
		14 使用料及び賃借料	245	自動車借上料	245	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
43	3,641	3,694				3,694	0

事業の概要、対象、意図など

交通事故の被害者の負担軽減のため、鳥取中部ふるさと広域連合が所管する交通災害共済の加入促進、加入申し込みの取りまとめに対する各自治公民館への報償金の支払い、加入者が事故にあった際の共済金請求事務等を行うもの。

【参考:加入実績】

H24	加入世帯数	10,957世帯	H25	加入世帯数	11,081世帯	
	加入者数	24,769人		加入者数	24,928人	
	加入率	49.6%		加入率	50.1%	
	見舞金請求件数	113件		見舞金請求件数	115件	(H26.1.16時点)

歳出積算根拠（金額）

・臨時職員　333千円
　社会保険料　45千円
　　22,500円×１人×２月(H27年３、４月)＝45,000円
　事務賃金　288千円
　　143,600円×１人×２月(H27年３、４月)＝287,200円
・加入促進報償金　2,340千円
　　世帯割　20円×13,000世帯＝260,000円
　　加入者割　80円×26,000人＝2,080,000円
・加入促進雑費　674千円
　消耗品費　60千円
　印刷製本費　400千円
　　加入申込書　15円×21,000枚＝315,000円
　　加入者名簿　７円×4,700枚＝32,900円
　　加入者証　４円×13,000枚＝52,000円
　通信運搬費　214千円
　　後納郵便料　82円×2,600通（個人発送分）＝213,200円
・公用車諸費　347千円
　燃料費　102千円
　　99千円×1.08/1.05＝101,829円（H24決算額）
　自動車借上料　245千円
　　18,900円×12月×1.08＝244,944円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

（ふるさと広域連合より）
交通災害共済加入促進費　6,500千円
　　250円×26,000人＝6,500,000円　うち3,694千円充当

担当課	地域づくり支援課
事業名	コミュニティ推進事業

予算科目			節		説明	
会計	一般会計					
歳入歳出	歳出		区分	金額		
款	2 総務費		19 負担金補助及び交付金	28,100	コミュニティ助成事業費補助金	28,100
項	1 総務管理費					
目	10 諸費					

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
44	24,900	28,100				28,100	0

事業の概要、対象、意図など

㈶自治総合センターによるコミュニティ助成金を自治公民館などのコミュニティ組織へ助成することにより、コミュニティ活動の推進を図るもの。
・コミュニティセンター助成
　助成対象事業…コミュニティセンターの建設又は修繕に要する経費、
　　それに付随する必要備品（例　エアコン、カーテン、テーブル　等）
　助成額…助成対象事業費の5分の3以内に相当する額。ただし1,500万円を限度。
・一般コミュニティ助成
　助成対象事業…コミュニティ活動に必要な備品（例　ベンチ、公園遊具、除雪機、祭り備品　等）
　助成額…100万円から250万円まで

歳出積算根拠（金額）

コミュニティ助成事業費補助金　　28,100千円
・コミュニティセンター助成事業　15,000千円
　越中町自治公民館　　15,000千円（公民館新築、座布団、テーブル、椅子、電話機　等）
　　（＝総事業費28,837千円－自己財源13,837千円）
・一般コミュニティ助成事業　　13,100千円
　穴田自治公民館　　2,200千円（除雪機、掃除機、テーブル、椅子、テント 等）
　円谷町自治公民館　　1,500千円（除雪機）
　河来見自治公民館　　2,000千円（除雪機）
　虹ヶ丘自治公民館　　2,000千円（除雪機、防犯灯、倉庫）
　宮川町２丁目自治公民館　　1,300千円（冷蔵庫、掃除機、ジャーポット、テレビ、座布団 等）
　横田自治公民館　　2,400千円（テーブル、椅子、テレビ、エアコン 等）
　和田自治公民館　　1,700千円（防犯灯、草刈機、エアコン、テント、テレビ 等）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

（財）自治総合センター助成金　　28,100千円

担当課	地域づくり支援課
事業名	消費者行政推進事業

予算科目			節		説明	
会計	一般会計					
歳入歳出	歳出		区分	金額		
款	2 総務費		9 旅費	97	普通旅費	97
項	1 総務管理費		11 需用費	388	消耗品費	10
目	10 諸費				印刷製本費	378
			12 役務費	3	手数料	3
			19 負担金補助及び交付金	2,064	中部ふるさと広域連合負担金	2,064

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
43	2,578	2,552		239			2,313

事業の概要、対象、意図など

鳥取中部ふるさと広域連合を窓口に、中部地区1市4町で消費生活相談業務及び消費者啓発活動を共同実施する。あわせて、消費者トラブルの未然防止を図るため、市単独で消費者啓発活動にも取り組む。

歳出積算根拠（金額）

・消費者行政職員研修（2泊3日/東京）　96,420円×1人×1回＝96,420円【補助対象】
・チラシ用紙、事務消耗品　10,000円
・消費者問題啓発用ステッカー作成　350円×1,000枚×1.08＝378,000円【補助対象】
・研修受講料　2,149円　【補助対象】
・消費生活相談業務共同化負担金　　2,064千円（連合当初予算見込）
（中部ふるさと広域連合負担金：均等割20%、人口割30%、実績割50%）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

（県支出金）鳥取県市町村消費者行政活性化交付金（補助率1/2）　　239千円
　対象経費：普通旅費、印刷製本費、研修受講料　478千円×1/2

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位：千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	2	1	6	10	1	観光交流課	文化基金積立	1	2,822	0
〃	〃	2	1	7	4	1	観光交流課	韓国姉妹都市等交流	1	1,905	1,355
〃	〃	2	1	7	5	1	観光交流課	国際交流	2	3,214	3,064
〃	〃	2	1	7	8	1	観光交流課	倉吉未来中心管理運営委託	2	79,522	72,189
〃	〃	2	1	7	11	1	観光交流課	文化芸術活動振興	3	3,473	3,173
〃	〃	2	1	7	18	1	観光交流課	国内交流	4	992	953
〃	〃	2	1	7	33	1	観光交流課	里見ブランド化推進事業	5	1,729	1,729
〃	〃	2	1	7	43	1	観光交流課	文化活動センター管理運営（指定管理）	5	6,750	6,750
〃	〃	7	1	3	1	1	観光交流課	観光一般	6	11,652	11,652
〃	〃	7	1	3	2	1	観光交流課	【一部新規】地域資源観光活用事業	7	3,565	3,317
〃	〃	7	1	3	8	1	観光交流課	【一部新規】観光施設維持管理事業（関金地区）	8	48,995	48,195
〃	〃	7	1	3	22	1	観光交流課	若女将による関金温泉活性化事業	9	3,762	3,762
〃	〃	7	1	3	24	1	観光交流課	観光関連団体助成事業	10	37,075	37,075
〃	〃	7	1	3	25	1	観光交流課	地域資源観光活用事業（関金地区）	11	3,199	3,199
〃	〃	7	1	3	26	1	観光交流課	【一部新規】琴櫻記念館運営事業	11	6,032	6,032
〃	〃	7	1	3	27	1	観光交流課	観光施設維持管理事業	12	4,140	3,292

担当課	観光交流課							
事業名	文化基金積立金							
予算科目	会計	一般	節		説明			
	歳入歳出	歳出	区分	金額				
	款	2 総務費	25 積立金	2,822	文化基金積立金	2,822		
	項	1 総務管理費						
	目	6 財産管理費						

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
38	202	2,822				2,822	0

事業の概要、対象、意図など

市内の文化財保護並びに文化施設の整備及び建設資金に充てるため基金を積み立てる。
（参考）H25末残額見込額　6,863,000円

歳出積算根拠（金額）

文化基金積立金　2,822,000円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

倉吉文化基金利子　　4,642,145円×0.025％×367/365＝1,167円
倉吉文化基金寄附金　　2,820,000円

担当課	観光交流課							
事業名	韓国姉妹都市等交流							
予算科目	会計	一般	節		説明			
	歳入歳出	歳出	区分	金額				
	款	2 総務費	9 旅費	1,122	費用弁償	911		
	項	1 総務管理費			普通旅費	211		
	目	7 企画費	11 需用費	42	消耗品費	30		
					食糧費	12		
			12 役務費	51	手数料	10		
					保険料	41		
			14 使用料及び賃借料	40	自動車借上料	40		
			19 負担金補助及び交付金	650	補助金	650		

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
39	3,178	1,905				550	1,355

事業の概要、対象、意図など

○青少年日韓交流事業
　姉妹都市交流を通じ、国際的な感覚を身につけた人材育成を目的として中学生を対象に交流事業を行う。
　期間：12月26日～30日　訪問先：羅州市　訪問人数：中学生10名及び引率２名（職員、交流員）
　内容：ホームステイ、韓国文化体験、羅州市施設見学
○羅州市市民交流事業
　姉妹都市の市民交流として民間ベースで行われる中部地区日韓親善協会の訪問団に随行し、羅州市との実務者協議等と行う。
○倉吉市交流推進団体活動支援事業費補助金
　民間団体が実施する姉妹都市との交流事業経費を補助し交流推進を図る。

歳出積算根拠（金額）

○青少年日韓交流事業経費 973千円
（旅費840千円、需用費42千円、役務費51千円、使用料40千円）
○羅州市市民交流事業 282千円
（旅費282千円）
○倉吉市交流推進団体活動支援事業費補助金 650千円
（羅州市市民交流事業（訪問）@５千円×40人＝200千円、農業交流（受入）@３千円×18人×３泊＝162千円、倉吉プンムルノリ指導交流（受入）@３千円×２人×３泊＝18千円、料理交流（受入）@３千円×30人×３泊＝270千円）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

○青少年日韓交流事業参加者負担金(雑入20.5.3.2)　@25千円×10人　250千円
○倉吉市教育振興基金繰入金 @30千円×10人　300千円

担当課	観光交流課
事業名	国際交流

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	1 報酬	2,640	非常勤職員報酬	2,640
	項	1 総務管理費	4 共済費	417	社会保険料	417
	目	7 企画費	8 報償費	12	報償金	12
			9 旅費	67	費用弁償	67
			11 需用費	50	消耗品費	50
			14 使用料及び賃借料	20	会場借上料	20
			19 負担金補助及び交付金	8	負担金	8

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
39	3,187	3,214				150	3,064

事業の概要、対象、意図など

○国際交流員の雇用
　１人　語学指導、韓国姉妹都市との連絡調整、通訳翻訳など異文化理解を図るための交流活動に携わる。
○韓国語講座
　会場：倉吉交流プラザ　年間各24回、５クラス、募集人数150人、講師：国際交流員
○国際理解講座　幅広く世界の文化に触れる機会を提供する　年間2回
○中部日中友好協会及び鳥取県中部地区日韓親善協会負担金　自主的な交流活動の支援

歳出積算根拠（金額）

○国際交流員の雇用（報酬、共済費、旅費）　3,124千円
○国際理解講座（報償金、会場借上料）　32千円
○国際交流事業（消耗品）　50千円
○中部日中友好協会負担金　５千円
○鳥取県中部地区日韓親善協会負担金　３千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

○韓国語講座受講料（雑入20.5.3.2）年間@１千円×150人＝150千円

担当課	観光交流課
事業名	倉吉未来中心管理運営委託

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	13 委託料	79,522	倉吉未来中心管理運営委託料	79,522
	項	1 総務管理費				
	目	7 企画費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
39	73,290	79,522				7,333	72,189

事業の概要、対象、意図など

中部地域住民の文化振興及び交流の拠点施設として県立倉吉未来中心の有効かつ円滑な利用に資するため、管理運営費の半額を負担する。

歳出積算根拠（金額）

指定管理者である（財）鳥取県文化振興財団への管理運営委託料の約１／２相当を中部市町で負担する（平成26年度から30年度）。

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

「倉吉未来中心管理運営費の負担に関する協定書」に基づく中部４町負担
（雑入20.5.3.2）7,333千円
　三朝町　　985,197円
　湯梨浜町　2,110,683円
　琴浦町　　2,290,512円
　北栄町　　1,946,864円
　計　　7,333,256円

担当課	観光交流課
事業名	文化芸術活動振興

予算科目						
会計	一般	節		説明		
歳入歳出	歳出	区分	金額			
款	2 総務費	11 需用費	150	事務用消耗品	150	
項	1 総務管理費	12 役務費	8	後納郵送料	8	
目	7 企画費	13 委託料	1,600	倉吉天女音楽祭委託料	1,600	
		19 負担金補助及び交付金	1,715	倉吉打吹太鼓振興会補助金	470	
				「県民による第九」公演	500	
				アーティスト滞在促進	600	
				倉吉文化団体協議会補助金	145	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
39	2,855	3,473	0	300	0	0	3,173

事業の概要、対象、意図など

市内における文化芸術団体への支援や協働を通じて、地域の伝統文化の継承、芸術文化の鑑賞及び機会の提供を行うことにより、文化芸術の振興を図る。
○第13回倉吉天女音楽祭（倉吉天女音楽祭実行委員会へ委託）
○倉吉打吹太鼓振興会補助金（倉吉打吹太鼓振興会へ補助）
○「県民の第九」倉吉公演（県民による「第九」倉吉推進委員会へ補助）
○「アザレアのまち音楽祭」、「連合展（砂丘のふらここ展）」（倉吉文化団体協議会へ補助）
○アーティスト滞在促進事業
・外部から招聘した芸術家が一定の期間地域に滞在し、地域住民と一緒に作品の制作、展示会等をおこなう。
・実施主体：灘手AIR実行委員会
・実施実績：H24年度は、現代美術・マルチメディアが専門分野のアーティストが約２ヶ月滞在し、作品制作やワークショップ、展示会をおこなった。H25年度は、キャラクターを用いた現代美術を専門分野とするアーティストが約２ヶ月滞在し、住民との作品制作や交流会をおこなった。
・３年目のH26が最終年度。

歳出積算根拠（金額）

○需用費　事務消耗品 50千円、市民大茶会消耗品 100千円
○役務費　後納郵便料　８千円
○委託料　倉吉天女音楽祭委託料　1,600千円
（倉吉天女音楽祭実行委員会へ委託、H25総事業費1,991,774円、主な収入：委託料、入場料）
○負担金補助及び交付金　2,645千円
・倉吉打吹太鼓振興会補助金　470千円
・県民による「第九」公演補助金　500千円
・アーティスト滞在促進補助金　600千円
・倉吉文化団体協議会補助金（音楽祭、連合展）145千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

アーティスト滞在促進事業（1/2県補助　15.2.1.1）　補助金　300千円

担当課	観光交流課
事業名	国内交流

予算科目									
	会計	一般	節		説明				
	歳入歳出	歳出	区分	金額					
	款	2 総務費	8 報償費	13	報償金	13			
	項	1 総務管理費	9 旅費	480	費用弁償	209			
	目	7 企画費			普通旅費	271			
			11 需用費	277	消耗品費	80			
					食糧費	197			
			12 役務費	82	通信運搬費	52			
					手数料	19			
					保険料	11			
			13 委託料	80	委託料	80			
			14 使用料及び賃借料	49	会場借上料	2			
					入場料	47			
			19 負担金補助及び交付金	11	負担金	11			

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
39	977	992				39	953

事業の概要、対象、意図など

○松戸市夏休み小学生交流
　松戸市とは二十世紀梨と佐渡ヶ嶽部屋の縁で交流し、小学生交流は夏休みを利用し平成13年から隔年で相互交流しており、26年度は松戸市の小学生を受け入れる。
　期間：8月20日～8月22日、開催地:倉吉市 受入予定：小学生13人及び引率３人
　内容:二十世紀梨記念館、座禅、箸作り、畜産体験、食事作り等
○第41回松戸まつり参加
　時期：10月上旬　場所：千葉県松戸市　鳥取県及び倉吉市の特産品の販売、観光ＰＲ
○淀屋研究会　総会及び研修会の参加

歳出積算根拠（金額）

○松戸市夏休み小学生交流経費（報償費13千円、旅費227千円、消耗品費267千円、役務費15千円、使用料49千円）571千円
○松戸まつり参加経費（旅費194千円、消耗品費10千円、役務費67千円、委託料80千円）351千円
○淀屋研究会経費（旅費59千円、負担金11千円）70千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

・松戸市夏休み小学生交流事業参加者負担金（雑入20.5.3.2）@３千円×13人＝39千円

担当課	観光交流課						
事業名	里見ブランド化推進事業						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	2 総務費	9 旅費	79	普通旅費	79	
	項	1 総務管理費	19 負担金補助及び交付金	1,650	子供歌舞伎保存会補助金	450	
	目	7 企画費			里見まつり実施委員会補助金	1,200	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
39	1,074	1,729					1,729

事業の概要、対象、意図など

本市が安房・里見氏の終焉の地であるという史実と江戸時代の戯曲『南総里見八犬伝』の舞台となったという仮説を活用し、里見氏ゆかりの千葉県館山市などと連携をはかりながら、「倉吉せきがね里見まつり」、「里見時代行列」、「里見忠義公・里見八賢士顕彰剣道大会」等の市民協働による里見氏関連イベントの開催を通して、地域への誇り・愛着、地域の一体感などの市民意識の醸成を図り、さらに全国発信できる本市のブランド素材としての価値を高める。

平成26年度が里見忠義公入封400年、『八犬伝』刊行200年の節目であることから、関金子供歌舞伎、打吹童子ばやしの館山公演や、里見をキーワードにした地域イベントの統一感を醸成した広報など例年以上の取り組みを図る。

歳出積算根拠（金額）

○旅費　普通旅費　職員　@78,380円×1人（館山南総里見まつり）
○補助金
・関金子供歌舞伎保存会補助金　450千円
（保存会補助200千円＋関金子供歌舞伎館山公演旅費250千円）
・里見まつり実施委員会補助金　1,200千円
（実施委員会補助800千円＋打吹童子ばやし館山公演旅費400千円）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	観光交流課						
事業名	文化活動センター						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	2 総務費	11 需用費	500	一般修繕費	500	
	項	1 総務管理費	13 委託料	6,250	指定管理委託料	6,250	
	目	7 企画費					

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
39	0	6,750					6,750

事業の概要、対象、意図など

文化交流及び市民活動の振興を図るため、倉吉市文化団体協議会を指定管理者として、倉吉市文化活動センター（旧 勤労青少年ホーム）の管理運営を行う。
指定管理者：倉吉文化団体協議会
指定期間　：平成26年度～平成30年度（５年間）
指定管理料：H26 6,250千円、H27 6,050千円、H28 5,950千円、H29 5,900千円、H30 5,850千円、５年間合計　30,000千円

歳出積算根拠（金額）

需用費　一般修繕費　500,000円
委託料　指定管理委託料　6,250,000円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	観光交流課
事業名	観光一般

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	7 商工費	9 旅費	200	普通旅費	200
	項	1 商工費	11 需用費	2,998	消耗品費	331
	目	3 観光費			燃料費	97
					印刷製本費	2,570
			12 役務費	263	通信運搬費	248
					手数料	15
			13 委託料	7,721	保守委託料	378
					倉吉春まつり運営委託料	5,700
					鳥取空港観光パンフレット設置委託料	44
					観光情報発信業務委託料	1,599
			14 使用料及び賃借料	470	会場借上料	20
					機械借上料	450

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
96	54,564	11,652					11,652

事業の概要、対象、意図など

観光事業の推進に必要な一般業務、観光ＰＲ業務、倉吉春まつりの開催支援、観光マップ・ポスター作製を行う。

歳出積算根拠（金額）

○旅費　200千円（プロモーション参加費）
○消耗品費　331千円
○燃料費　97千円（公用車ガソリン代）
○印刷製本費　2,570千円（観光パンフレット７万部、まち歩きガイド10万部、ポリ平袋（配布用）1万枚、観光大使名刺10回）
○観光パンフレット送付料　248千円
○公用車12ヶ月点検　15千円
○カウントセンサー保守委託料　378千円（センサー設置事業者：ジー・アイ・シーへ委託）
○倉吉春まつり運営委託料　5,700千円
・倉吉春まつり運営委託料　2,900千円（倉吉春まつり振興会へ委託）
・倉吉春まつり清掃業務委託料　775千円（清掃会社へ委託）
・倉吉春まつり警備業務委託料　1,688千円（警備会社へ委託）
・倉吉春まつり公園詰所管理業務委託料　337千円（シルバー人材センターへ委託）
○鳥取空港観光パンフレット設置委託料　44千円
○観光情報発信業務委託料　1,599千円（観光関連企業へ委託）
○倉吉春まつり代替体育施設使用料　20千円
○コピー機パフォーマンスチャージ料　450千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	観光交流課
事業名	【一部新規】地域資源観光活用事業

予算科目						
会計	一般	節		説明		
歳入歳出	歳出	区分	金額			
款	7 商工費	9 旅費	100	普通旅費	100	
項	1 商工費	11 需用費	540	印刷製本費	540	
目	3 観光費	13 委託料	425	除草委託料	144	
				歴史まんが原画作成委託料	281	
		19 負担金補助及び交付金	2,500	EVカー運行支援事業費補助金	1,000	
				がんばる観光地支援事業費補助金	1,500	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
96	21,479	3,565		248			3,317

事業の概要、対象、意図など

○「地域資源を活用した観光の振興」の実現に向けた「地域資源の掘り起こし」、「観光メニュー・商品づくり」を行う。
・EVカー観光案内運行支援事業
（赤瓦における運行補助10/10：収入除く）
・倉吉市観光商品造成等支援事業補助金
（伝統産業、文化建造物等の観光資源を有効活用し、グルメ、土産、特産物等の観光商品を開発、販売、ＰＲ等に取り組む住民、企業、ＮＰＯ法人等の事業に対する補助。上限額250千円）
○まんがを活用した地域づくりをすすめるとともに、地域の観光資源を活用して誘客につなげる。
・【新規】歴史まんがパンフレット「横綱琴櫻」制作
（１万部、配付先：琴櫻記念館、観光関連施設等）

歳出積算根拠（金額）

○旅費　100千円
（旅行ＡＧＴ　ＰＲ旅費）
○印刷製本費　540千円
（まんがパンフレット【新規】「横綱琴櫻」：1万部、「淀屋」1万部、「里見」1万部）
○除草委託料　144千円
（廃線トレッキング通路：48千円×３自治公民館）
○【新規】歴史まんがパンフレット「横綱琴櫻」原画作成委託料281千円
（取材1回及び８ページ作成）
○EVカー運行支援事業費補助金　1,000千円
（経費1,169,712－収入見込み63,360円－自己資金106,352円）
○倉吉市観光商品造成等支援事業補助金　1,500千円
（250千円×６事業）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

○まんが王国国家戦略推進プロジェクト事業費補助金（1/2）
・【新規】歴史まんがパンフレット「横綱琴櫻」作成
印刷製本費216千円（@21.6×1万部）＋原画作成委託料281千円＝497千円×1/2＝248千円（県補助金15.2.6.01）

担当課	観光交流課
事業名	【一部新規】観光施設維持管理事業（関金地区）

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	7	商工費	11 需用費	18	消耗品費	18
項	1	商工費	12 役務費	247	手数料	247
目	3	観光費	18 備品購入費	1,500	機械器具費	1,500
			28 繰出金	47,230	国民宿舎事業特別会計へ繰出	47,230

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
97	75,986	48,995				800	48,195

事業の概要、対象、意図など

指定管理制度を導入している関金地区に点在する地域資源を活かした観光施設の適正な管理運営のため、指定管理者との協定に基づき修繕等を実施する。
○倉吉市関金都市交流センター
○倉吉市せきがね湯命館
○倉吉市関金生産物直売食材供給施設
○国民宿舎事業特別会計への繰出金

歳出積算根拠（金額）

○道の駅犬挟水処理に係る消耗品 18千円
○道の駅犬挟水処理機器維持管理手数料　247千円
○【新規】道の駅犬挟厨房機器備品購入費　1,500千円
○国民宿舎事業特別会計へ繰出　47,230千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

湯楽里指定管理者納付金　800千円（雑入　20.5.3.06）

担当課	観光交流課
事業名	若女将による関金温泉街活性化事業

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	7 商工費	1 報酬	1,740	嘱託	1,740
	項	1 観光費	4 共済費	275	社会保険料	275
	目	3 観光費	9 旅費	84	費用弁償	84
			11 需用費	227	消耗品費	150
					燃料費	72
					印刷製本費	5
			12 役務費	544	通信運搬費	444
					手数料	100
			14 使用料及び賃借料	887	自動車借上料	367
					建物借上料	480
					衣料借上料	40
			19 負担金補助及び負担金	5	会議等参加負担金	5

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
96	2,999	3,762					3,762

事業の概要、対象、意図など

総務省の地域おこし協力隊制度を活用した「関金温泉若女将」により温泉街の活性化を中心とした地域づくり活動を行う。

歳出積算根拠（金額）

○嘱託職員報酬　1,740千円（145千円×12月）
○社会保険料　275千円
○費用弁償　84千円（ラジウム・ラドン連携会議、温泉ＰＲイベント）
○消耗品費　150千円
○燃料費 72千円（公用車ガソリン6千円×12月）
○関金温泉若女将名刺　５千円（1,620円×３回）
○通信運搬費　444千円（業務用携帯電話5千円×12月、事務所移転に伴うＩＴ環境整備経費）
○手数料100千円（着物クリーニング20千円×5回）
○自動車借上料　367千円（30,564円×12月）
○建物借上料　480千円（宿舎40千円×12月）
○衣料借上料　40千円（着物レンタル8,000円×５回）
○会議等参加負担金５千円（ラジウム・ラドン連携会議参加負担金）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	観光交流課
事業名	観光関連団体助成事業

予算科目						
会計	一般	節		説明		
歳入歳出	歳出	区分	金額			
款	7 商工費	13 委託料	7,366	倉吉市観光・MICE推進事業委託料	7,366	
項	1 商工費	19 負担金補助及び交付金	29,709	米子・ソウル国際定期便利用促進支援負担金	2,606	
目	3 観光費					
				とっとり梨の花温泉郷広域観光協議会負担金	752	
				県観光連盟負担金	955	
				山陰観光連盟負担金	123	
				全国京都会議負担金	50	
				とっとりコンベンションビューロー運営負担金	2,534	
				とっとりコンベンションビューロー補助金	400	
				関金温泉まつり開催費補助金	700	
				御幸行列保存会補助金	50	
				市観光協会補助金	21,139	
				倉吉の窯展開催費補助金	50	
				菊花展開催費補助金	100	
				コンベンション等誘致支援助成金	250	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
98		37,075					37,075

事業の概要、対象、意図など

倉吉観光マイス協会へ観光振興業務の一部委託及び協会維持経費（事務的経費及び人件費）を補助することにより、民間の活力による観光業の振興を図る。また観光関連団体への負担金・補助金等を支出することにより、広域観光の推進・観光関連団体への支援、各種団体事業へ参画することにより観光振興を図り、より一層交流人口を増大させる。

歳出積算根拠（金額）

○倉吉観光マイス協会委託料　7,366千円（委託事業費10,143千円－事業収入等2,777千円）
（ツアー催行・観光商品造成　4,223千円、広報宣伝1,966千円、倉吉白壁土蔵群観光案内所等建物借上2,693千円、その他1,262千円）
○米子・ソウル国際定期便利用促進支援負担金　2,606千円（山陰国際観光協議会へ支出）
○とっとり梨の花温泉郷広域観光協議会負担金　752千円（広域観光の推進）
○県観光連盟負担金　955千円
○山陰観光連盟負担金　123千円
○全国京都会議負担金　50千円
○とっとりコンベンションビューロー負担金　2,534千円（コンベンション誘致の推進）
○とっとりコンベンションビューロー開催補助金　400千円（50千円×８件）
○関金温泉まつり開催費補助　700千円（おまつり実行委員会へ補助）
○関金御幸行列保存会補助金　50千円
○倉吉の窯展開催費補助金　50千円
○菊花展開催補助金　100千円
○倉吉観光マイス協会補助金　21,139千円
（事務的経費3,517千円、人件費17,622千円（専務理事１名、職員５名、アルバイト１名））
○コンベンション等誘致支援助成金　250千円（単市補助：50千円×5件）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	観光交流課						
事業名	地域資源観光活用事業（関金地区）						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	7 商工費	13 委託料	2,699	農村型体験旅行推進委託料	2,699	
	項	1 観光費	19 負担金補助及び交付金	500	関金温泉活性化補助金	500	
	目	3 観光費					

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
97		3,199					3,199

事業の概要、対象、意図など

関金地区は関金温泉及び東大山山麓の自然等の豊かな地域資源を有する。これらの地域資源を活用し、関金温泉及び中山間地域への観光客の誘客を行う。
○関金地区の自然や暮らし体験を商品化し、関西圏域の学校の体験旅行を誘致するため、事務局体制の確立、体験プログラムの磨き上げ、体験メニューの開発・商品化、スタッフ育成、情報発信及びセールスプロモーションを実施するため、倉吉市体験型旅行誘致協議会へ業務委託する。
○関金温泉旅館の誘客を行うことを目的に、関金温泉旅館組合の活動を支援するため、湯中運動と宿泊を組み合わせた商品開発、地域食材と温泉を活用した料理メニュー開発、自然体験と旅館宿泊を組み合わせたツアーの開催、おもてなし向上研修会等に係る補助を行う。

歳出積算根拠（金額）

○農村型体験旅行推進委託料　2,699千円
（全体事業費5,494千円のうち事業収入295千円、県補助金2,500千円を除く）
○関金温泉活性化補助金　500千円
（全体事業費3,000千円で2,500千円は自己財源）

担当課	観光交流課						
事業名	【一部新規】琴櫻記念館運営事業						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	7 商工費	4 共済費	574	社会保険料	574	
	項	1 商工費	7 賃金	3,639	事務賃金	3,639	
	目	3 観光費	9 旅費	62	費用弁償	62	
			11 需用費	445	消耗品費	126	
					印刷製本費	120	
					光熱水費	199	
			12 役務費	286	通信運搬費	100	
					保険料	186	
			13 委託料	65	警備委託料	65	
			14 使用料及び賃借料	625	テレビ聴視料	25	
					建物借上料	600	
			18 備品購入費	336	庁用器具費	336	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
96		6,032					6,032

事業の概要、対象、意図など

本市の名誉市民でもある第53代横綱琴櫻に関する資料展示を行い、琴櫻関を顕彰するとともに、観光客が気軽に立ち寄ることのできる場を提供することにより、滞在時間の延長を図るための一つの観光資源となることを目的として設置する。

歳出積算根拠（金額）

○賃金・共済費　4,213千円（２名分）
○費用弁償　62千円（佐渡ヶ嶽部屋訪問）
○印刷製本費　120千円(琴櫻記念館パンフレット：1万部)
○保険料　186千円（琴櫻記念館展示物）
○警備委託料　65千円（5,400円×12月）
○建物借上料　600千円（50千円×12月）
○【新規】庁用器具費　336千円（三つ揃い化粧回し展示ケース）

担当課	観光交流課
事業名	観光施設維持管理事業

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	7 商工費	1 報酬	30	指定管理候補者選定委員会委員	30
	項	1 商工費	11 需用費	322	消耗品費	10
	目	3 観光費			光熱水費	162
					修繕料	150
			13 委託料	3,654	除草委託料	93
					清掃等委託料	12
					剪定除草委託料	67
					観光駐車場警備委託料	494
					除雪オペレーター委託料	56
					エキパル倉吉等指定管理料	2,932
			19 負担金補助及び交付金	134	エキパル倉吉光熱水費等負担金	134

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
96		4,140				848	3,292

事業の概要、対象、意図など

○ふるさと物産館・ふるさと工芸館において、地元の菓子・農産物・土産物等の販売、倉吉の伝統工芸品である倉吉絣の展示・実演・販売を行う。
○観光駐車場等（琴櫻・赤瓦バス回転広場、琴櫻赤瓦観光駐車場、明治町観光駐車場、裁判所横観光駐車場）の維持管理業務
○エキパル倉吉の管理運営を指定管理者に委託する。（指定管理者：ＮＰＯふるさと遊誘駅舎館、期間：平成22年11月1日～平成27年3月31日、指定管理料総額34,352千円）

歳出積算根拠（金額）

○委員報酬　30千円（エキパル倉吉指定管理選定３回×５名×２千円）
○光熱水費　162千円（物産館・工芸館・バス回転広場）
○修繕料　150千円(工芸館100千円・バス回転広場50千円)
○除草委託料　93千円（３施設除草及び１施設剪定）
○清掃等委託料　12千円（明治町観光駐車場）
○剪定除草委託料　67千円（物産館・工芸館）
○観光駐車場警備委託料　494千円（お盆及び秋行楽連休）
○除雪オペレーター委託料　56千円（18,500円×3回）
○エキパル倉吉等指定管理料　2,932千円（当初協定2,850千円＋増税分82千円）
○エキパル倉吉光熱水費等負担金　134千円（屋外電光掲示板）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

○観光施設光熱水費　45千円
（物産館・工芸館上水道使用料　雑入20.5.3.06）
○ふるさと物産館使用料803千円
（物産館使用料　66,990円×12ヶ月　使用料13.1.4.01）

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位：千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	3	1	7	2	1	人権政策課	人権文化センター運営	1	12,248	5,471
〃	〃	3	1	7	7	1	人権政策課	やまびこ人権文化センター運営	2	9,348	1,754
〃	〃	3	1	7	8	1	人権政策課	さわやか人権文化センター運営	3	9,193	4,236
〃	〃	3	1	7	9	1	人権政策課	はばたき人権文化センター運営	4	9,662	3,356
〃	〃	3	1	7	10	1	人権政策課	あたごふれあい人権文化センター運営	5	9,287	2,529
〃	〃	3	1	8	1	1	人権政策課	同和対策	6	2,027	2,027
〃	〃	3	1	8	3	1	人権政策課	【一部新規】男女共同参画の推進	7	530	530
〃	〃	3	1	8	4	1	人権政策課	部落解放研究倉吉市集会・文化祭	8	870	870
〃	〃	3	1	8	6	1	人権政策課	人権政策推進	9	6,269	4,458

担当課	人権政策課
事業名	人権文化センター運営

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	3	民生費	1 報酬	6,045	非常勤職員報酬等	6,045
項	1	社会福祉費	4 共済費	967	社会保険料	967
目	7	人権文化センター費	8 報償費	330	報償金	330
			9 旅費	543	費用弁償	543
			11 需用費	1,958	消耗品費等	1,958
			12 役務費	985	通信運搬費等	985
			14 使用料及び賃借料	474	自動車借上料等	474
			18 備品購入費	150	庁用器具費	150
			19 負担金補助及び交付金	796	隣保館連絡協議会負担金等	796

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳　（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
60	11,499	12,248		6,744		33	5,471

事業の概要、対象、意図など

倉吉市人権文化センターの設置及び運営
・所長、指導員、生活相談員兼指導員の3名を配置し上灘地区、成徳地区、明倫地区を対象に人権啓発、広報活動等を実施する。
・人権、生活、福祉、教育、就労等各種相談の窓口となり住民への支援をおこなう。
・高齢者育成講座、明倫地区交流講座、芸術鑑賞、子ども会工作教室、中学生人権フォーラム・中学３年生交流会、高校生一泊研修会、女性話そう会、親善球技大会等各種啓発事業を実施することにより地域住民に対し人権啓発の促進を図る。
・中学3年生交流会実行委員会、県人権文化センター、鳥取県隣保館連絡協議会、中部地区隣保館・児童館・集会所連絡協議会の運営費負担をすることにより活動を支援する。
・外国にルーツを持つ人から日本語学習をしたいという要望があり、毎月１回の定例会に26年度より講師を依頼し外国にルーツを持つ人の要望に対応するため日本語学習を実施する。
・人権文化センター各職員のスキルアップのため各種研修会に参加する。

歳出積算根拠（金額）

・センター運営事業　　11,654千円・地域交流促進事業　　594千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

使用料　　・人権文化センター使用料　　7千円
雑入　　・部落解放同盟電気ガス水道代　　26千円
県補助金　　・隣保館運営費等補助金（国費2/4+県費1/4）補助率＝3/4
(1)隣保館運営事業　　8,398千円×3/4＝ 6,298千円
(2)地域交流促進事業　　594千円×3/4＝　446千円

担当課	人権政策課
事業名	やまびこ人権文化センター運営

予算科目				節		説明	
会計	一般			区分	金額		
歳入歳出	歳出						
款	3	民生費		1 報酬	5,890	非常勤職員報酬等	5,890
項	1	社会福祉費		4 共済費	947	社会保険料	947
目	7	人権文化センター費		8 報償費	279	報償金	279
				9 旅費	24	費用弁償	24
				11 需用費	1,594	消耗品費等	1,594
				12 役務費	258	通信運搬費等	258
				14 使用料及び賃借料	273	自動車借上料等	273
				19 負担金補助及び交付金	74	隣保館連絡協議会負担金等	74
				27 公課費	9	自動車重量税	9

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳　（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
60	9,953	9,348		6,900		694	1,754

事業の概要、対象、意図など

やまびこ人権文化センターの設置及び運営
・所長1名、指導員2名の3名を配置し小鴨・灘手地区を対象に人権啓発・広報活動等を実施する。
・人権、生活、福祉、教育、就労等各種相談の窓口となり住民への支援をおこなう。
・人権問題講演会、県内視察研修会、解放子ども会視察研修会、児童・生徒育成、小・中・高校保護者育成、女性視察研修会・解放講座、子ども会と高齢者交流会、部落解放文化祭作品作りの支援を実施することにより地域住民に対し人権啓発の促進を図る。

歳出積算根拠（金額）

・センター運営事業　　8,918千円・地域交流促進事業　　430千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

雑入　　・小鴨公民館電気水道代　　1,141,000円×410.5/674.02＝694千円
県補助金　　・隣保館運営費等補助金（国費2/4+県費1/4）補助率＝3/4
(1)隣保館運営事業　　8,770千円×3/4＝6,578千円
(2)地域交流促進事業　　430千円×3/4＝　322千円

担当課	人権政策課						
事業名	さわやか人権文化センター運営						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	3 民生費	1 報酬	6,088	非常勤職員報酬等	6,088	
	項	1 社会福祉費	4 共済費	979	社会保険料	979	
	目	7 人権文化センター費	8 報償費	263	報償金	263	
			9 旅費	24	費用弁償	24	
			11 需用費	1,152	消耗品費等	1,152	
			12 役務費	258	通信運搬費等	258	
			14 使用料及び賃借料	355	自動車借上料等	355	
			19 負担金補助及び交付金	74	隣保館連絡協議会負担金等	74	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
60	9,806	9,193		4,955		2	4,236

事業の概要、対象、意図など

さわやか人権文化センターの設置及び運営
・所長、指導員及び人権教育推進員兼指導員の3名を配置し高城・北谷地区を対象に、人権啓発・広報活動等を実施する。
・人権、生活、福祉、教育、就労等各種相談の窓口となり住民への支援をおこなう。
・女性地域活動事業、高齢者教室・ゆとり教室、さわやかサロン、いきいき教室、さわやか人権フェスティバル、人権問題解放講座、子ども会リーダー研修会、高城・北谷地区1泊研修、手話教室等各種啓発事業を実施することにより地域住民に対し人権啓発の促進を図る。

歳出積算根拠（金額）

・センター運営事業　　8,675千円・地域交流促進事業　　518千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

使用料　　・さわやか人権文化センター使用料　　2千円
県補助金　　・隣保館運営費等補助金（国費2/4+県費1/4）補助率＝3/4
(1)隣保館運営事業　　6,088千円×3/4＝4,566千円
(2)地域交流促進事業　　518千円×3/4＝　389千円

担当課	人権政策課
事業名	はばたき人権文化センター運営

予算科目									
会計	一般			節		説明			
歳入歳出	歳出			区分	金額				
款	3	民生費		1 報酬	6,622	非常勤職員報酬等	6,622		
項	1	社会福祉費		4 共済費	947	社会保険料	947		
目	7	人権文化センター費		8 報償費	124	報償金	124		
				9 旅費	28	費用弁償	28		
				11 需用費	840	消耗品費等	840		
				12 役務費	336	通信運搬費等	336		
				14 使用料及び賃借料	586	自動車借上料等	586		
				18 備品購入費	96	庁用器具費	96		
				19 負担金補助及び交付金	74	隣保館連絡協議会負担金等	74		
				27 公課費	9	自動車重量税	9		

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
60	8,724	9,662		6,305		1	3,356

事業の概要、対象、意図など

はばたき人権文化センターの設置及び運営
・所長1名、指導員2名の3名を配置し明倫・社地区を対象に、人権啓発・広報活動等を実施する。
・人権、生活、福祉、教育、就労等各種相談の窓口となり住民への支援をおこなう。
・子育て支援講座、成人育成講座、女性育成講座・視察研修会、小・中学生の大学体験、高齢者（にこにこサロン）、福吉解放文化祭を実施することにより地域住民に対し人権啓発の促進を図る。

歳出積算根拠（金額）

・センター運営事業　　9,188千円・地域交流促進事業　　474千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

使用料　　・はばたき人権文化センター使用料　　1千円
県補助金　・隣保館運営費等補助金（国費2/4+県費1/4）補助率＝3/4
(1)隣保館運営事業　　7,934千円×3/4＝5,950千円
(2)地域交流促進事業　　474千円×3/4＝　355千円

担当課	人権政策課
事業名	あたごふれあい人権文化センター運営

予算科目						
会計	一般	節		説明		
歳入歳出	歳出	区分	金額			
款	3 民生費	1 報酬	5,660	非常勤職員報酬等	5,660	
項	1 社会福祉費	4 共済費	910	社会保険料	910	
目	7 人権文化センター費	8 報償費	283	報償金	283	
		9 旅費	24	費用弁償	24	
		11 需用費	1,628	消耗品費等	1,628	
		12 役務費	384	通信運搬費等	384	
		14 使用料及び賃借料	315	自動車借上料等	315	
		19 負担金補助及び交付金	74	隣保館連絡協議会負担金等	74	
		27 公課費	9	自動車重量税	9	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
60	9,333	9,287		6,757		1	2,529

事業の概要、対象、意図など

あたごふれあい人権文化センターの設置及び運営
・所長1名、指導員2名の3名を配置し上小鴨・関金地区を対象に、人権啓発・広報活動を実施する。
・人権、生活、福祉、教育、就労等各種相談の窓口となり住民への支援をおこなう。
・就学前の体験活動、食育講座、人権学習・親子人権学習、ふれあいサロン、各対象地区の団体育成、人権問題視察研修、人権問題講演会、中田・生竹ふれあいまつり等を実施することにより地域住民に対し人権啓発の促進を図る。

歳出積算根拠（金額）

・センター運営事業　　9,033千円・地域交流促進事業　　254千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

使用料　　・あたごふれあい人権文化センター使用料　　1千円
県補助金　　・隣保館運営費等補助金（国費2/4+県費1/4）補助率＝3/4
(1)隣保館運営事業　　8,756千円×3/4＝6,567千円
(2)地域交流促進事業　　254千円×3/4＝　190千円

担当課	人権政策課
事業名	同和対策

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	1 報酬	56	委員報酬	56
	項	1 社会福祉費	8 報償費	8	報償金	8
	目	8 人権啓発費	9 旅費	74	普通旅費	74
			11 需用費	25	消耗品費	25
			19 負担金補助金及び交付金	1,564	同和対策推進協議会補助金等	1,564
			20 扶助費	300	新卒者就職支度金	300

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
61	2,015	2,027					2,027

事業の概要、対象、意図など

・あらゆる差別をなくする審議会(学識経験者・各種団体代表者16名で構成)を開催し、第4次倉吉市あらゆる差別をなくする総合計画の進捗状況等に基づき人権施策について協議し、今後の効果的な人権政策の推進について審議する。
・同和問題の早期解決を期するため活動をしている倉吉市同和対策推進協議会に対し、その活動を支援するため補助金を交付する。
・同和問題の早期解決をめざし市民啓発・研修等の事業を実施している部落解放同盟倉吉市協議会に対しその活動支援をするため補助金を交付する。
・特定新規学卒者就職支度金を支給する。

歳出積算根拠（金額）

・あらゆる差別をなくする審議会委員報酬・報償金		64千円
・対政府要請中央集会普通旅費		74千円
・同和対策推進協議会補助金		64千円
・部落解放同盟鳥取県連合会倉吉市協議会補助金		1,500千円
・特定新規学卒者就職支度金の支給	@25,000円×12人＝	300千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

担当課	人権政策課
事業名	【一部新規】男女共同参画の推進

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	1 報酬	44	男女共同参画推進市民会議委員報酬	44
	項	1 社会福祉費	8 報償費	304	報償金	304
	目	8 人権啓発費	9 旅費	6	普通旅費等	6
			11 需用費	71	消耗品費等	71
			12 役務費	105	手数料等	105

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
61	512	530					530

事業の概要、対象、意図など

・第４次くらよし男女共同参画プランの進捗状況等、重要施策について男女共同参画推進市民会議(各種団体代表７人、公募４人、有識者1人で構成）で審議する。
・性別による固定的役割分担意識の解消や女性の能力開発等、男女共同参画意識の醸成に向けての啓発活動を実施する。（パワーアップ講座、フォーラムinくらよし）
・【新規】Ｈ２５年度が第４次プランの中間年であり、プランの家庭・地域・職場における男女共同参画の促進を図るため、今年度より倉吉市男女共同参画推進事業者表彰制度を創設し、市民・事業者、地域団体等を表彰し、市民意識を醸成する。
・第４次プランに基づく市民団体・事業者等と連携・協働による講座を開催する。（あすをつくる女性塾）

歳出積算根拠（金額）

・倉吉市男女共同参画推進市民会議委員報酬・報償金	48千円
・フォーラムinくらよし２０１４講師謝金	150千円
・あすをつくる倉吉女性塾講師謝金	150千円
・【新規】倉吉市男女共同参画推進事業者（団体・個人）表彰状筆耕料	105千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	人権政策課
事業名	部落解放研究倉吉市集会・文化祭

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	8 報償費	206	報償金	206
	項	1 社会福祉費	11 需用費	188	消耗品費等	188
	目	8 人権啓発費	12 役務費	71	手数料等	71
			14 使用料及び賃貸料	405	会場借上料等	405

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
62	804	870					870

事業の概要、対象、意図など

（部落解放研究倉吉市集会）
「一人一人が尊重され、誰もが参画できる地域社会の実現」に向けて、「部落の完全解放と人権の確立を全市民の力で」をテーマに研究・討議を行う。
・実行委員会(各地区同和教育推進団体、各種団体、企業、幼・保、小・中・養護学校PTA等の代表者115名で構成)を設置し、市集会（全体会・分科会）運営について協議し、人権課題についての認識を深めながら実行委員自身での運営を行う。
・全市民を対象とした集会であり、第４次倉吉市あらゆる差別をなくする総合計画に沿って、部落問題をはじめあらゆる人権問題の解消をめざし、自らの課題として人権課題８分野【(1)部落の完全解放(2)障がいのある人の人権保障(3)男女の人権が尊重される社会(4)先住民族の権利回復(5)外国にルーツを持つ人の人権保障(6)子どもの人権保障(7)高齢者の人権保障(8)その他のマイノリティの人権保障】をテーマに市民一人ひとりができることは何かを話し合い差別の解消を目指す。
（倉吉市部落解放文化祭）
・地域の解放の文化を掘り起こし部落問題と人権の確立を自らの課題としてとらえ、人間解放への営みにふれながら差別をなくする力を培うことを目的に３日間実施する。
・各種団体から出品された人権をテーマとした絵画・写真等を３日間展示し、作品を通して人権について啓発する。
・これまでの差別解消に向けた取り組みの実践発表、講演会を通して人権問題を自らの課題としてとらえていただく機会を提供する。

歳出積算根拠（金額）

・報償金　部落解放研究倉吉市集会全体会講師他　206千円
・会場借上料　340千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	人権政策課
事業名	人権啓発推進

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	1 報酬	350	同和教育推進員	350
	項	1 社会福祉費	8 報償費	859	報償金	859
	目	8 人権啓発費	11 需用費	1,372	消耗品費等	1,372
			12 役務費	133	通信運搬費等	133
			13 委託料	3,143	人権啓発委託料	3,143
			19 負担金補助及び交付金	412	部落解放・人権政策確立要求補助金他	412

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
61	7,195	6,269		1,811			4,458

事業の概要、対象、意図など

・市民を対象にした講演・研修会を開催し、市民一人一人の学習機会や情報を提供する。
・法務省の人権啓発活動地方委託事業
（人権のために学ぶ同和教育講座６回、人権啓発資料の作成等：人権絵本５００部）
・倉吉市同和教育研究会事業、同和教育町内学習会・同和教育推進員研究・地区同和教育研究等の委託事業により、全市的・各地区別及び中学校区の人権教育・啓発事業を推進する。同和教育推進員を研修により育成する。
・第39回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会等への派遣（会場：倉吉市他開催）する。
・部落解放・人権政策確立要求倉吉市実行委員会の活動を支援する。

歳出積算根拠（金額）

・同和教育推進員報酬(延175人)　350千円
・人権のために学ぶ同和教育講座講師謝金　789千円
・人権絵本作成印刷製本費　540千円
・同和教育町内学習委託料（公民館管理委員会及び地区同和教育推進協議会に委託）　1,185千円
・同和教育推進員研究事業委託料(同和教育推進員連絡協議会に委託)　410千円
・地区同和教育研究事業委託料(地区同和教育推進協議会に委託)　468千円
・倉吉市同和教育研究会委託料(倉吉市同和教育研究会に委託)　1,080千円
・３９回人権尊重社会を実現する鳥取県集会資料代　375千円
・人権擁護委員協議会負担金　160千円
・鳥取県人権教育推進協議会負担金　61千円
・部落解放・人権政策確立要求倉吉市実行委員会補助金　191千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

委託金　人権啓発活動費委託金（県費4/4）補助率＝4/4　1,811千円×4/4＝1,811千円

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位:千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	3	1	1	2	1	福祉課	社会福祉総務	1	4,244	4,244
〃	〃	3	1	1	3	1	福祉課	民生委員	1	2,922	2,912
〃	〃	3	1	1	4	1	福祉課	社会福祉事業団体助成	2	57,042	55,743
〃	〃	3	1	1	5	1	福祉課	遺族援護関係	2	546	528
〃	〃	3	1	1	6	1	福祉課	行旅病人等取扱	3	1,094	0
〃	〃	3	1	1	7	1	福祉課	法外扶助	3	7,125	4,184
〃	〃	3	1	1	8	1	福祉課	特別障害者手当等給付	4	29,086	7,315
〃	〃	3	1	1	12	1	福祉課	自立支援制度管理	4	4,323	4,323
〃	〃	3	1	1	39	1	福祉課	新福祉センター建設費助成事業	5	20,000	20,000
〃	〃	3	1	1	41	1	福祉課	【一部新規】地域支え愛活動支援事業	5	6,237	1,599
〃	〃	3	1	3	6	1	福祉課	障がい区分認定審査	6	2,168	1,252
〃	〃	3	1	3	7	1	福祉課	障がい者自立支援給付事業	6	1,073,142	268,286
〃	〃	3	1	3	8	1	福祉課	障がい者地域生活支援事業	7	98,865	41,696
〃	〃	3	1	3	17	1	福祉課	障がい児を育てる地域の支援体制整備事業	8	1,233	617
〃	〃	3	1	3	32	1	福祉課	身体障がい者福祉運営対策	8	295	295
〃	〃	3	1	3	33	1	福祉課	身体障がい者更生医療・補装具給付事業	9	88,835	22,210
〃	〃	3	1	3	34	1	福祉課	障がい者福祉一般単独	9	767	767
〃	〃	3	1	3	36	1	福祉課	障害者総合支援法利用者負担支援事業	10	335	335
〃	〃	3	1	3	37	1	福祉課	障がい者グループホーム設置運営支援	10	4,665	2,333
〃	〃	3	1	3	40	1	福祉課	障がい者等交通費助成	11	13,329	13,329
〃	〃	3	1	3	44	1	福祉課	障がい児・者地域生活体験事業	11	103	52
〃	〃	3	1	3	53	1	福祉課	【新規】重度障がい児者支援事業	12	8,412	4,206
〃	〃	3	1	9	1	1	福祉課	【新規】臨時福祉給付金	12	224,967	0
〃	〃	3	3	2	1	1	福祉課	【一部新規】生活保護	13	1,207,778	261,357
〃	〃	3	3	2	2	1	福祉課	中国残留邦人等支援給付	14	519	0
								合　　計		2,858,032	717,583

担当課	福祉課
事業名	社会福祉総務

予算科目		節		説明	
会計	一般				
歳入歳出	歳出	区分	金額		
款	3 民生費	1 報酬	2,016	嘱託	2,016
項	1 社会福祉費	4 共済費	318	社会保険料	318
目	1 社会福祉総務費	8 報償費	120	報償金	120
		11 需用費	884	消耗品費、印刷製本費	884
		12 役務費	600	通信運搬費	600
		19 負担金補助及び交付金	306	鳥取県社会福祉大会負担金	100
				障がい者の実態・ニーズ調査負担金	206

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
53	3,576	4,244					4,244

事業の概要、対象、意図など

知的障がい者及び発達障がい者を雇用するための人件費等の計上。
障がい者計画のための策定委員会の報償金、ニーズ調査の郵送料、計画の印刷製本費。
社会福祉法人監査等に伴う事務費。

歳出積算根拠（金額）

嘱託職員 報酬　84千円×12月×2人＝2,016千円
計画策定 委員報償金　2千円×20人×3回＝　120千円
印刷製本費　432千円
障がい者の実態・ニーズ調査負担金　206千円
鳥取県社会福祉大会負担金　100千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	福祉課
事業名	民生委員

予算科目		節		説明	
会計	一般				
歳入歳出	歳出	区分	金額		
款	3 民生費	1 報酬	48	報酬	48
項	1 社会福祉費	8 報償費	90	報償金	90
目	1 社会福祉総務費	9 旅費	14	普通旅費	14
		13 委託料	2,015	生活実態調査委託料	2,015
		19 負担金補助及び交付金	755	民生児童委員連合会協議会補助金	755

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
53	2,949	2,922		10			2,912

事業の概要、対象、意図など

民生児童委員の活動費助成及び要支援者の生活実態の把握と支援。
民生委員推薦会の開催。

歳出積算根拠（金額）

民生委員推薦会報酬　2千円×12名×2回＝　48千円
生活実態調査委託料　民生委員　（月）　1千円×164人×12月＝1,968千円
会長　（月）0.3千円×　13人×12月≒　47千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

民生委員推薦会開催事業費補助金　10千円

担当課	福祉課
事業名	社会福祉事業団助成

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	19 負担金補助及び交付金	57,042	社会福祉協議会補助金	54,442
	項	1 社会福祉費			福祉の店販売機能強化事業補助金	2,600
	目	1 社会福祉総務費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
54	57,084	57,042		1,299			55,743

事業の概要、対象、意図など

倉吉市社会福祉協議会への人件費・運営費・ボランティアセンター事業費等への助成。
福祉の店の運営費助成。

歳出積算根拠（金額）

〔社会福祉協議会積算根拠〕職員人件費　62,427千円×0.8＝49,942千円
社会福祉協議会運営費　2,500千円
ボランティアセンター事業費　2,000千円
〔福祉の店積算根拠〕前年売上　5,248,604円をもとに
5,000千円×0.5＋249千円×0.4≒ 2,600千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

福祉の店販売機能強化事業補助金(県1/2) 1,299千円
負担割合　県1/2，市1/2

担当課	福祉課
事業名	遺族援護関係

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	11 需用費	241	消耗品費	241
	項	1 社会福祉費	12 役務費	36	通信運搬費ほか	36
	目	1 社会福祉総務費	14 使用料及び賃借料	33	会場借上料	33
			19 負担金補助及び交付金	236	遺族連合会補助金	236

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
54	543	546		18			528

事業の概要、対象、意図など

戦没者を追悼し、平和を祈念し遺族の慰安を図る目的で倉吉市戦没者慰霊祭を開催するもの。
倉吉市遺族連合会に対し補助金を交付し、戦没者英霊の遺徳顕彰や戦没者遺族福祉の増進を図るもの。

歳出積算根拠（金額）

倉吉市戦没者慰霊祭　217千円
各地区戦没者慰霊祭　65千円
鳥取県戦没者慰霊祭　10千円
倉吉市遺族連合会事業補助金　236千円
援護事務費　18千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

戦傷病者特別援護費委託金　18千円

担当課	福祉課
事業名	行旅病人等取扱

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	8 報償費	100	報償金	100
	項	1 社会福祉費	11 需用費	336	消耗品費	336
	目	1 社会福祉総務費	12 役務費	479	広告料、手数料	479
			14 使用料及び賃借料	179	会場借上料	126
					自動車借上料	53

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
54	1,085	1,094				1,094	0

事業の概要、対象、意図など

・行旅病人及び行旅死亡人に関する取扱い
・葬祭執行者のいない死亡者に係る葬祭執行。

歳出積算根拠（金額）

行旅死亡人及び葬祭執行者のいない者に係る葬祭経費を予算計上（年間見込4件）
・報償費　　霊送謝礼、安置謝礼　　100千円
・需要費　　棺代、生花等　　336千円
・役務費　　官報広告料、検案書料等　　479千円
・使用料及び賃借料　　霊安室借上料126千円＋霊柩車借上料53千円=179千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

県による費用弁償（全額）

担当課	福祉課
事業名	法外扶助

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	20 扶助費	7,125	修学旅行扶助費	135
	項	1 社会福祉費			被保護者等見舞金	6,990
	目	1 社会福祉総務費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
55	7,118	7,125		2,941			4,184

事業の概要、対象、意図など

【修学旅行扶助費】生活保護法における被保護世帯で、義務教育を受けている生徒に対して修学旅行扶助費を支給し、学習意欲の向上を図る。
【被保護者等見舞金】
生活に困窮する世帯（被保護世帯、母子生活支援施設入所世帯）に見舞金（夏期8月支給・冬期12月支給）を支給し、生活意欲の向上を図る。

歳出積算根拠（金額）

【修学旅行扶助費】
（小学校：3,500円×10人）＋（中学校：10,000円×10人）≒ 135千円
【被保護者等見舞金】
夏期見舞金：4,615,400円（578世帯）＋冬期見舞金：2,374,400円（585世帯）≒ 6,990千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

鳥取県被保護者等に対する見舞金支給事務委託料 ①＋②≒2,941千円
①支給事務委託料　2,912,800円（夏期8月支給：578世帯）
②支払手数料　　578世帯×50円=28,900円

担当課	福祉課						
事業名	特別障害者手当等給付						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	3 民生費	11 需用費	15	消耗品費	15	
	項	1 社会福祉費	12 役務費	40	通信運搬費	40	
	目	1 社会福祉総務費	20 扶助費	29,031	経過的福祉手当	171	
					障害児福祉手当	6,013	
					特別障害者手当	22,847	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
54	30,001	29,086	21,771				7,315

事業の概要、対象、意図など

在宅の重度障がい児者の経済的、精神的負担の軽減と日常生活における生活の安定を図るため、対象者へ手当を給付する。
(特別障害者手当対象者)
重度の障がいを有し、日常生活に常時特別の介護を必要とする在宅の20歳以上の者
(障害児福祉手当対象者)
重度の障がいを有し、日常生活に常時特別の介護を必要とする在宅の20歳未満の者
(経過的福祉手当対象者)
20歳以上の従来の福祉手当受給資格者のうち、特別障害者手当の支給要件に該当せず、かつ障害基礎年金も支給されない在宅の者

歳出積算根拠（金額）

〔事業費の内訳〕
特別障害者手当　26,080円×延べ876人＝22,846,080円
障害児福祉手当　14,180円×延べ424人＝ 6,012,320円
経過的福祉手当　14,180円×延べ12人 ＝ 170,160円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

特別障害者手当等給付費国庫負担金(国3/4)
事業費　29,028,560円×3/4＝21,771,420円
負担割合　国3/4, 市1/4

担当課	福祉課						
事業名	自立支援制度管理						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	3 民生費	11 需用費	255	消耗品費	255	
	項	1 社会福祉費	12 役務費	2,124	通信運搬費	76	
	目	1 社会福祉総務費			手数料	2,048	
			14 使用料及び賃借料	1,944	コンピューターソフト使用料	1,944	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
54	3,756	4,323					4,323

事業の概要、対象、意図など

給付費の支給決定に要する消耗品。支給を管理するシステムの更新及び保守。国保連合会への事務処理手数料の支払い。

歳出積算根拠（金額）

通信運搬費　国保連専用回線　6.3千円×12月≒ 76千円
手数料　支援システムクラウドサーバー手数料　224千円
　　国保連審査手数料　1,824千円
使用料及び賃借料　コンピューターソフト使用料　1,944千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	福祉課
事業名	新福祉センター建設費助成事業

予算科目		節		説明	
会計	一般				
歳入歳出	歳出	区分	金額		
款	3 民生費	19 負担金補助及び交付金	20,000	社会福祉協議会施設整備補助金	20,000
項	1 社会福祉費				
目	1 社会福祉総務費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
54	160,000	20,000					20,000

事業の概要、対象、意図など

地域社会の福祉課題の解決が円滑に行われるよう、その活動の中心的役割を担っている倉吉市社会福祉協議会の地域福祉活動拠点施設建設費に対して補助金を交付する。
事業期間はH24年度～H26年度である。

歳出積算根拠（金額）

対象経費（移転費費　2,000千円+建物解体費 38,000千円）×補助率1/2 = 20,000千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	福祉課
事業名	【一部新規】地域支え愛活動支援事業

予算科目		節		説明	
会計	一般				
歳入歳出	歳出	区分	金額		
款	3 民生費	1 報酬	3,605	嘱託	3,605
項	1 社会福祉費	4 共済費	569	社会保険料	569
目	1 社会福祉総務費	12 役務費	663	通信運搬費	164
				手数料	499
		19 負担金補助及び交付金	1,400	わが町支え愛活動支援事業費補助金	800
				傾聴ボランティア活動支援事業費補助金	600

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
53	1,566	6,237	4,338	300			1,599

事業の概要、対象、意図など

・災害時や災害に備えた対応のために災害時要援護者避難支援システムの維持管理を行う。システムへの情報を更新するため、対象者への通知を行う。
・地域において災害時避難行動に支援が必要な人を地域住民自身が支援していくための体制を構築するための助言指導を行う。
・傾聴ボランティア養成講座等の開催。

歳出積算根拠（金額）

〔事業費の内訳〕
【新規】嘱託職員　　月額150,200円×2人×12月≒3,605千円
通信運搬費　避難行動要援護者同意通知郵便料、返信郵便料　　164千円
手数料　　システム保守手数料　　499千円
補助金　　わが町支え愛活動支援事業費補助金　16自治公民館×50千円＝800千円
　　傾聴ボランティア活動支援事業費補助金　　600千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

国　安心生活創造推進事業費補助金　4,338千円
県　とっとり支え愛活動支援事業費補助金　300千円

担当課	福祉課
事業名	障がい区分認定審査

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	3 民生費		11 需用費	7	消耗品費	7
項	1 社会福祉費		12 役務費	659	通信運搬費	10
目	3 障がい者福祉費				手数料	649
			19 負担金補助及び交付金	1,502	中部ふるさと広域連合負担金	1,502

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
56	4,372	2,168	916				1,252

事業の概要、対象、意図など

障がい程度区分認定に必要な事務費。

歳出積算根拠（金額）

手数料　医師意見書作成手数料　　@5千円×1.08×120件≒　649千円
負担金補助金及び交付金　自立支援法認定審査負担金　　1,502千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

国　地域生活支援事業費補助金　916千円

担当課	福祉課
事業名	障がい者自立支援給付事業

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	3 民生費		20 扶助費	1,073,142	自立支援給付費	1,073,142
項	1 社会福祉費					
目	3 障がい者福祉費					

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
57	1,157,475	1,073,142	536,571	268,285			268,286

事業の概要、対象、意図など

本事業は、障がい者がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう事業を実施し、障がい者等の福祉の推進を図るとともに、安心して暮らすことができる地域社会の実現を目的とする。

歳出積算根拠（金額）

（身体・知的・精神・難病）
居宅介護、生活介護、共同生活介護、施設入所支援、就労継続Ｂ型、計画相談支援等　　89,429千円×12月≒1,073,142千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

障害者自立支援給付費国庫負担金　事業費　1,073,142千円×1/2≒536,571千円
障害者自立支援給付費県負担金　事業費　　1,073,142千円×1/4≒268,285千円
負担割合　国1/2、県1/4、市1/4

担当課	福祉課
事業名	障がい者地域生活支援事業

予算科目

会計	一般
歳入歳出	歳出
款	3 民生費
項	1 社会福祉費
目	3 障がい者福祉費

節 区分	金額	説明	
8 報償費	180	報償金	180
11 需用費	168	消耗品費	168
12 役務費	54	通信運搬費	4
		手数料	50
13 委託料	34,693	中部圏域障がい者地域自立支援協議会委託料	2,750
		聴覚障がい者意志疎通支援事業委託料	7,169
		手話奉仕員養成事業委託料	928
		点訳・朗読奉仕員養成研修委託料	124
		聴覚障がい者生活支援事業委託料	424
		障がい者相談支援事業委託料	23,298
20 扶助費	63,770	自動車運転免許取得助成費	200
		自動車改造助成費	400
		日常生活用具給付費	17,330
		地域生活支援給付費	44,940
		訪問入浴サービス給付費	900

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
56	98,957	98,865	32,453	24,716			41,696

事業の概要、対象、意図など

障がい者が地域で安心して生活していくために必要な各種サービス利用等のための支援体制を整備し、障がい者の地域生活の定着及び移行を推進する。
自立支援協議会、相談支援事業、意思疎通支援事業や人材養成を専門機関に委託。
障がい者の社会参加のための支援、権利擁護のための支援を行う。
障がい者の生活支援のため、日常生活用具の給付、日中の見守り事業を実施。

歳出積算根拠（金額）

報償金	第三者成年後見人報償費	180千円	
需用費	消耗品費　デイケア調理実習材料費ほか	168千円	
役務費	成年後見市長申立用通信運搬費、手数料	54千円	
委託料	障がい者自立支援協議会委託料	2,750千円	
	聴覚障がい者意思疎通支援事業委託料	7,169千円	
	手話奉仕員養成事業委託料	928千円	
	点訳・朗読奉仕員養成研修委託料	124千円	
	聴覚障がい者生活支援事業委託料	424千円	
	障がい者相談支援事業委託料	23,298千円	
扶助費	日常生活用具給付費	17,330千円	
	地域生活支援給付費(日中一時支援事業、移動支援事業)		44,940千円
	訪問入浴サービス給付費	900千円	

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

地域生活支援事業国庫補助金　統合補助金　H25内示額と同程度　32,453千円
地域生活支援事業県補助金　事業費×1/4≒24,716千円
負担割合　国　統合補助金　人口規模、事業費等により配分、県　1/4、

担当課	福祉課
事業名	障がい児を育てる地域の支援体制整備事業

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	20 扶助費	1,233	重症心身障がい児者等受入事業所看護師等配置支援費	1,233
	項	1 社会福祉費				
	目	3 障がい者福祉費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
57	1,053	1,233		616			617

事業の概要、対象、意図など

日常的に医療行為の必要な在宅の重症心身障がい児者を受け入れる生活介護事業所に対して、指定基準以上に新たに看護師等を配置するための経費を助成する。
看護師を配置した際に１日につき、10,270円の経費を助成する。

歳出積算根拠（金額）

10,270円×120日≒1,233千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

障がい児を育てる地域の支援体制整備事業費補助金　事業費　1,233千円×1/2≒616千円
負担割合　県　1/2、市1/2

担当課	福祉課
事業名	身体障がい者福祉運営対策

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	11 需用費	30	消耗品費	30
	項	1 社会福祉費	12 役務費	265	通信運搬費	75
	目	3 障がい者福祉費			手数料	190

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
56	294	295					295

事業の概要、対象、意図など

身体障がい者福祉の増進のための事業運営に必要な事務費及び審査事務に対する手数料の確保。
聴覚障がい者の情報保障として、テレビ電話の手数料。

歳出積算根拠（金額）

通信運搬費(テレビ電話回線使用料)　75千円
手数料　自立支援医療等レセプト審査手数料　190千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	福祉課							
事業名	身体障がい者更生医療・補装具給付事業							
予算科目	会計	一般	節		説明			
	歳入歳出	歳出	区分	金額				
	款	3 民生費	20 扶助費	88,835	自立支援医療給付費	68,431		
	項	1 社会福祉費			療養介護医療費	8,520		
	目	3 障がい者福祉費			補装具給付費	11,884		

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
56	89,171	88,835	44,417	22,208			22,210

事業の概要、対象、意図など

〔更生医療〕身体障害者手帳に記載されている障がいの除去又は程度の軽減をするため。
〔補装具給付〕身体障がい児者の身体の一部の欠損または機能の障がいを補うための義肢・補装具等の給付をする。
〔療養介護医療〕高額医療費を除く療養介護医療費の食事療養費を負担する。

歳出積算根拠（金額）

〔更生医療〕
心臓や関節の手術、腎臓又は肝臓移植後の免疫抑制療法、血液透析等 68,431千円
〔補装具給付〕
身体障がい児者の身体の一部の欠損または機能の障がいを補うための義肢・補装具等の給付11,884千円
〔療養介護医療〕
高額医療費を除く療養介護医療費の食事療養費の負担　8,520千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

〔更生医療〕障害者医療費国庫負担金　事業費×1/2
　　鳥取県自立支援医療費負担金　事業費×1/4
〔補装具給付〕身体障がい児・者補装具給付費国庫負担金 事業費×1/2
　　身体障がい児・者補装具給付費県負担金県　事業費×1/4
〔療養介護医療〕身体障害者療養介護医療費国庫負担金　事業費×1/2
　　身体障害者療養介護医療費県負担金事業費×1/4
〔更生医療・補装具給付費・療養介護医療〕　負担割合 国1/2、県1/4、市1/4

担当課	福祉課							
事業名	障がい者福祉一般単独							
予算科目	会計	一般	節		説明			
	歳入歳出	歳出	区分	金額				
	款	3 民生費	8 報償費	249	報償金	249		
	項	1 社会福祉費	12 役務費	62	通信運搬費	62		
	目	3 障がい者福祉費	19 負担金補助及び交付金	380	鳥取さわやか車いすマラソン大会負担金	70		
					身体障がい者福祉協会補助金ほか	310		
			20 扶助費	76	福祉電話維持費	76		

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
56	777	767					767

事業の概要、対象、意図など

障がい者団体等が実施する事業費の補助。
市が委嘱する身体障がい者及び知的障がい者相談員の配置のための経費。
市障がい者虐待防止センターの事務経費。

歳出積算根拠（金額）

報償金　身体・知的障がい者相談員　年間　24.9千円×10人≒249千円
通信運搬費　虐待防止センター専用電話　62千円
負担金補助金及び交付金　身体障がい者福祉協会補助金　245千円
　手をつなぐスポーツ祭り補助金　65千円
　鳥取さわやか車いすマラソン負担金　70千円
福祉電話維持費　4台分　76千円

担当課	福祉課				
事業名	障害者総合支援法利用者負担支援事業				
予算科目	会計	一般	節		説明
	歳入歳出	歳出	区分	金額	
	款	3 民生費	20 扶助費	335	障害者総合支援法利用者負担支援費 335
	項	1 社会福祉費			
	目	3 障がい者福祉費			

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
57	335	335					335

事業の概要、対象、意図など

在宅の障がい者が訪問系又は日中活動系サービス等を利用する住民税均等割のみ課税の障がい者又は配偶者の単一世帯を対象として、利用者の経済的負担軽減を目的に利用者負担の半分を助成する。

歳出積算根拠（金額）

利用者負担額 9,300円×1/2×6人×12月≒335千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

担当課	福祉課				
事業名	障がい者グループホーム設置運営支援				
予算科目	会計	一般	節		説明
	歳入歳出	歳出	区分	金額	
	款	3 民生費	19 負担金補助及び交付金	4,665	障がい者グループホーム等夜間世話人等設置事業費補助金 4,665
	項	1 社会福祉費			
	目	3 障がい者福祉費			

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
56	5,394	4,665		2,332			2,333

事業の概要、対象、意図など

障がい者の利用するグループホーム等に夜間世話人を配置している社会福祉法人等に対し、夜間世話人の人件費の一部補助を行うことにより、障がい者の地域移行の促進を図るもの。

歳出積算根拠（金額）

夜間世話人１人に対する利用者数と利用者の障がい程度区分に応じた単価あり
厚生事業団　6人　701千円　　和　　9人　2,267千円　　遊歩　　1人　230千円
みんなの家　1人　248千円　　仁厚会　4人　1,219千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

鳥取県障がい者夜間世話人配置事業補助金
　事業費 4,665千円×1/2≒2,332千円　　負担割合 県1/2、市1/2

担当課	福祉課
事業名	障がい者等交通費助成

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	11 需用費	231	消耗品費	231
	項	1 社会福祉費	20 扶助費	13,098	重度障がい者タクシー料金助成費	6,669
	目	3 障がい者福祉費			障がい者通院費助成費	6,429

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
56	12,814	13,329					13,329

事業の概要、対象、意図など

重度障がい者に対してタクシー料金月額1,500円分の乗車券を交付する。
人工透析患者等の通院費の助成を行う。

歳出積算根拠（金額）

消耗品費　タクシーチケット作成費　500円券　@300円×767冊≒　231千円
扶助費　タクシーチケット料金助成費　6,669千円
障がい者通院助成費　［人工透析患者］　2,040千円
［精神障がい者］　3,360千円
［難病患者］　1,029千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	福祉課
事業名	障がい児・者地域生活体験事業

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	20 扶助費	103	生活体験ホーム助成費	103
	項	1 社会福祉費				
	目	3 障がい者福祉費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
57	103	103		51			52

事業の概要、対象、意図など

指定生活体験事業所に障がい児・者に住宅の空き家を提供し、地域生活体験事業を実施した場合、生活体験ホーム利用者の一人当たりの日額単価に利用日数を乗じた額を給付する。

歳出積算根拠（金額）

生活体験ホーム助成費　1人×2回×12月×4,270円≒103千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

県障がい児・者地域生活体験事業補助金
事業費　102,480円×1/2＝51,240円
負担割合　県1/2　市/2

担当課	福祉課				
事業名	【新規】重度障がい児者支援事業				
予算科目	会計	一般	節		説明
	歳入歳出	歳出	区分	金額	
	款	3 民生費	19 負担金補助及び交付金	8,412	重度障がい児者支援事業費補助金 8,412
	項	1 社会福祉費			
	目	3 障がい者福祉費			

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
56		8,412		4,206			4,206

事業の概要、対象、意図など

重症心身障がい児者等の受入れを行う社会福祉法人等事業所の運営に要する経費補助。
生活介護事業所　利用者１人当たり　2,900円
放課後等デイサービス事業所　利用者１人当たり　1,900円
短期入所事業所　利用者１人当たり　6,700円

歳出積算根拠（金額）

重症心身障がい児者等日中支援事業
生活介護　１人当たり　2,900円×6人×15日×12月＝3,132千円
放課後等デイサービス　１人当たり　1,900円×2人×10日×12月＝　456千円
重症心身障がい児者等短期入所利用支援事業
短期入所　１人当たり　6,700円×6人×10日×12月＝4,824千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

重度障がい児者支援事業
事業費　8,412千円×1/2＝4,206千円
負担割合　県1/2　市/2

担当課	福祉課				
事業名	【新規】臨時福祉給付金				
予算科目	会計	一般	節		説明
	歳入歳出	歳出	区分	金額	
	款	3 民生費	3 職員手当等	3,000	時間外及び休日勤務手当 3,000
	項	1 社会福祉費	4 共済費	1,215	社会保険料 1,215
	目	9 臨時福祉給付金	7 賃金	7,755	事務賃金 7,755
			11 需用費	2,557	消耗品費、印刷製本費 2,557
			12 役務費	3,840	通信運搬費 3,840
			13 委託料	5,000	電算システム導入委託料 5,000
			14 使用料及び賃借料	1,600	機械借上料 1,600
			19 負担金補助及び交付金	200,000	臨時福祉給付金 200,000

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
62		224,967	224,967				0

事業の概要、対象、意図など

消費税率の引上げに際し、低所得者に与える負担の影響に鑑み、一体改革の枠組みの中で講じる社会保障の充実のための措置と併せ、低所得者に対する適切な配慮を行うため、暫定的・臨時的な措置として給付措置を行う。
給付対象者1人につき1万円給付する。ただし、老齢基礎年金受給者には5,000円を加算する。

歳出積算根拠（金額）

事務賃金　143,600円×9人×6月≒7,755千円
電算システム導入委託料　5,000千円
機械借上料(コピー機、電話機、パソコン、プリンター)　1,600千円
臨時福祉給付金　200,000千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

臨時福祉給付金給付
負担割合　国　10/10

担当課	福祉課
事業名	【一部新規】生活保護

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	3 民生費		1 報酬	4,612	嘱託、嘱託医	4,612
項	3 生活保護費		4 共済費	566	社会保険料	566
目	2 扶助費		9 旅費	180	普通旅費	180
			11 需用費	1,483	消耗品費、燃料費等	1,483
			12 役務費	2,630	通信運搬費、手数料	2,630
			13 委託料	8,880	システム改修委託料	7,383
					レセプト点検充実事業委託料	457
					要介護審査判定委託料	50
					職場適応訓練委託料	990
			14 使用料及び賃借料	1,184	自動車借上料	374
					機械借上料	810
			18 備品購入費	1,821	機械器具費	1,821
			20 扶助費	1,186,415	医療扶助費	566,930
					介護扶助費	27,953
					教育扶助費	7,728
					住宅扶助費	145,828
					出産扶助費	245
					生活扶助費	375,861
					生業扶助費	4,553
					葬祭扶助費	745
					保護施設事務費	48,372
					住宅手当	5,700
					就労自立給付金	2,500
			27 公課費	7	自動車重量税	7

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
72	1,266,052	1,207,778	890,778	46,793		8,850	261,357

事業の概要、対象、意図など

生活に困窮する方に対し、その困窮の程度に応じて必要な保護を行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長するための支援を行う。
【保護世帯数等】 H25.12月末現在　575世帯 782人（生活扶助費693人、住宅扶助費556人、医療扶助費571人）

*生活保護適正化推進員（1名）及び就労支援員（1名）配置
*不就労期間が長い等、直ちに就労が困難な保護受給者を対象に就業体験事業（職場適応訓練）を実施する。
*保護決定等に係る業務効率化のため、システム改修を実施する。
*離職により住居を喪失した者又は喪失するおそれのある者に対し、住宅支援給付事業を実施する。

歳出積算根拠（金額）

*生活保護法に基づく扶助費　1,180,715千円
*住宅支援給付　5,700千円（単身34,000円×15人×6月、複数44,000円×10人×6月）
*職場適応訓練委託料　（5人×22日/月×3ケ月）×3,000円=990千円
*【新規】就労自立給付金　2,500千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

【国庫】生活保護扶助費：国庫負担金3/4　877,586千円
　　警察OB人件費・職場適応訓練委託料・システム改修費等：国庫補助金10/10　13,192千円
　　システム改修に係る備品購入　1/2
【県費】生活保護扶助費（現在地保護分）：県負担金1/4　39,000千円
　　就労支援員人件費・住宅支援給付：県補助金10/10　7,793千円
【その他】生活保護費返還金　8,850千円

担当課		福祉課				
事業名		中国残留邦人等支援給付				
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	1 報酬	487	自立指導員	487
	項	3 生活保護費	9 旅費	32	費用弁償	32
	目	2 扶助費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
72	407	519	519				0

事業の概要、対象、意図など

生活保護を受給している中国帰国者の生活維持・向上を目的として、自立指導員（嘱託職員）1名を継続配置する。自立指導員は支援対象世帯に対し、担当ケースワーカーの家庭訪問に同行し、通訳等の必要な支援を実施する。

歳出積算根拠（金額）

*自立指導員報酬　9,360円×52日（週1日）＝ 486,720円
*自立指導員旅費　①＋②≒ 32千円
①自立指導員活動旅費　1,860円×5日=9,300円
②中四国ブロック中国帰国者支援者研修会旅費 22,300円（広島市：バス往復1泊）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

セーフティネット支援対策等事業費補助金（国庫補助金）519千円　補助率 10/10

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位:千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	再事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	3	1	6	1	1	子ども家庭課	婦人保護	1	2,364	1,945
〃	〃	3	2	1	2	1	子ども家庭課	【一部新規】児童福祉総務費	2	137,911	68,737
〃	〃	3	2	1	3	1	子ども家庭課	児童委員	3	2,015	2,015
〃	〃	3	2	1	4	1	子ども家庭課	児童手当給付	3	778,101	119,125
〃	〃	3	2	1	5	1	子ども家庭課	災害遺児手当給付	4	748	403
〃	〃	3	2	1	6	1	子ども家庭課	児童扶養手当	4	290,559	192,662
〃	〃	3	2	1	8	1	子ども家庭課	児童健全育成	5	38,952	13,874
〃	〃	3	2	1	9	1	子ども家庭課	ポプラ学級運営	5	8,793	3,135
〃	〃	3	2	1	10	1	子ども家庭課	高城児童クラブ運営	6	5,831	2,209
〃	〃	3	2	1	11	1	子ども家庭課	明倫児童クラブ運営	6	5,828	2,317
〃	〃	3	2	1	12	1	子ども家庭課	北谷児童クラブ運営	7	6,554	1,916
〃	〃	3	2	1	13	1	子ども家庭課	小鴨児童クラブ運営	7	7,730	2,911
〃	〃	3	2	1	14	1	子ども家庭課	関金児童クラブ運営	8	6,988	1,904
〃	〃	3	2	1	15	1	子ども家庭課	山守児童クラブ運営	8	4,682	2,130
〃	〃	3	2	1	16	1	子ども家庭課	【一部新規】障がい児支援給付事業	9	53,713	15,927
〃	〃	3	2	1	18	1	子ども家庭課	子育て支援事業	10	18,875	5,107
〃	〃	3	2	1	20	1	子ども家庭課	私学振興	10	10,350	10,350
〃	〃	3	2	1	23	1	子ども家庭課	幼稚園教育振興	11	17,594	13,758
〃	〃	3	2	1	27	1	子ども家庭課	子どもの発達支援体制整備	12	1,596	1,113
〃	〃	3	2	1	28	1	子ども家庭課	ファミリーサポートセンター事業	12	2,584	1,251
〃	〃	3	2	2	2	1	子ども家庭課	【一部新規】保育所運営費	13	1,646,247	527,522
〃	〃	3	2	2	9	1	子ども家庭課	病児保育事業	14	9,078	3,005
〃	〃	3	2	3	1	1	子ども家庭課	中央児童館運営	14	6,989	6,989
〃	〃	3	2	3	2	1	子ども家庭課	小鴨児童センター運営	15	9,161	9,161
〃	〃	3	2	3	3	1	子ども家庭課	高城児童センター運営	15	9,102	9,102
〃	〃	3	2	3	4	1	子ども家庭課	上米積児童センター運営	16	9,557	9,547
〃	〃	3	2	3	5	1	子ども家庭課	福吉児童センター運営	16	8,419	8,404
〃	〃	3	2	3	6	1	子ども家庭課	上井児童センター運営	17	9,763	9,763
〃	〃	3	2	3	7	1	子ども家庭課	関金児童館運営	17	6,728	6,728
〃	〃	3	2	4	1	1	子ども家庭課	【一部新規】母子福祉事務	18	11,535	5,221
〃	〃	3	2	5	1	1	子ども家庭課	児童集会所管理	18	819	779
〃	〃	3	2	6	1	1	子ども家庭課	家庭児童相談室運営	19	3,277	1,215
〃	〃	3	2	9	1	1	子ども家庭課	【新規】子育て世帯臨時特例給付金	20	56,033	0
								合計		3,188,476	1,060,225

担当課	子ども家庭課
事業名	婦人保護

予算科目		節		説明	
会計	一般	区分	金額		
歳入歳出	歳出				
款	3 民生費	1 報酬	1,941	婦人相談員	1,941
項	1 社会福祉費	4 共済費	307	社会保険料	307
目	6 婦人保護費	9 旅費	65	費用弁償	65
		11 需用費	10	消耗品費	10
		12 役務費	4	通信運搬費	4
		19 負担金補助及び交付金	2	鳥取県家庭相談員連絡協議会負担金	2
		20 扶助費	35	要保護女子移送費	35

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
60	2,359	2,364	419				1,945

事業の概要、対象、意図など

売春防止法、DV防止法に基づき、要保護女子の未然防止、保護更正を図るため、婦人相談員を配置するとともに、要保護女子等の発見、相談、指導、配偶者からの暴力等に係る相談、保護、自立支援を行うもの。

歳出積算根拠（金額）

・婦人相談員　報酬　1,941千円、社会保険料307千円（報酬×保険料率）
・婦人相談員の活動費（旅費、事務品費等）　79千円
・県家庭相談員連絡協議会負担金　2千円×１人
・要保護女子等の移送費　35千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

補助率（国1/2）
・婦人相談員　補助基準額　67,300円×12月×1/2 ≒404千円
・婦人相談員活動費　補助基準額 30,900円×1/2 ≒ 15千円

担当課	子ども家庭課
事業名	【一部新規】児童福祉総務費

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	1 報酬	782	保育料嘱託収納員 子ども・子育て会議委員	782
	項	2 児童福祉費	9 旅費	177	費用弁償、普通旅費	177
	目	1 児童福祉総務費	11 需用費	1,353	消耗品費、印刷製本費等	1,353
			12 役務費	240	通信運搬費、手数料等	240
			13 委託料	118,095	母子生活支援施設措置委託料等	118,095
			14 使用料及び賃借料	72	会場借上料、機械借上料	72
			19 負担金補助及び交付金	17,162	私立保育所育成費補助金等	17,162
			20 扶助費	30	要保護女子移送費	30

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
63	127,820	137,911	44,134	24,813		227	68,737

事業の概要、対象、意図など

児童福祉法に規定される児童、児童家庭の育成・支援及び児童の養護・保護等を実施することにより、児童の心身ともに健全な育成に資するため、関係施設・団体等に事業委託、助成等を行うもの。また、子ども・子育て支援新制度施行に向けて、子ども・子育て会議を設置し、事業計画の策定をするもの。
児童福祉施設併設型民間児童館事業委託（３施設）、母子生活支援施設措置委託（４施設）
【新規】母子生活支援施設入所者移送
助産措置委託料、特別児童扶養手当給付に関する事務、私立保育所育成費補助等
【新規】子ども・子育て会議設置、子ども・子育て支援事業計画策定

歳出積算根拠（金額）

○児童福祉施設併設型民間児童館事業委託	委託料（3施設） 29,853千円
○助産施設・母子生活支援施設措置委託	旅費 177千円、【新規】要保護女子移送費 30千円
	委託料（助産措置） 420千円
	委託料（母子生活支援施設） 87,822千円
○母子生活支援施設費補助	母子生活支援施設育成費補助金（2施設）486千円
○特別児童扶養手当給付事務	消耗品費、通信運搬費等 188千円
○私立保育所育成費補助	私立保育所育成費補助金(15園) 9,598千円
○地域組織活動育成費補助	地域組織活動育成費補助金（12団体） 2,268千円
○届出保育施設等運営費補助	届出保育施設等運営費補助金（1事業所）2,610千円
○放課後児童クラブ運営費補助	放課後児童クラブ運営費(5団体) 500千円
	長時間運営費補助金(8団体) 1,500千円
○アートスタート活動支援事業費補助	ｱｰﾄｽﾀｰﾄ活動支援事業費補助金(2団体) 200千円
○保育料賦課徴収等事務	報酬、消耗品費等 1,543千円
○学童保育連絡会会場使用料	会場使用料 18千円
【新規】子ども・子育て会議	委員報酬 280千円
	印刷製本費（子ども・子育て支援事業計画）418千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

○児童措置費負担金（徴収金） 226千円
○国庫負担金（児童措置費負担金） 負担率1/2
・母子生活支援施設措置委託料 43,797千円
・助産施設措置委託料 210千円
・特別児童扶養手当事務取扱交付金（国庫委託金） 127千円（事務費単価×受給権者数）
○県負担金（児童措置費負担金） 負担率1/4
・母子生活支援施設措置委託料 21,898千円
・助産施設措置委託料 105千円
○県補助金
・届出保育施設等運営費補助金 2,610千円(入所児童数に応じた限度額)
・アートスタート活動支援事業費補助金 200千円（対象事業費×1/2）
○児童福祉関係寄附金 1千円

担当課	子ども家庭課
事業名	児童委員

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	13 委託料	2,015	児童・母子実態調査委託料	2,015
	項	2 児童福祉費				
	目	1 児童福祉総務費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
64	1,991	2,015					2,015

事業の概要、対象、意図など

児童及びひとり親世帯を支援するため、民生児童委員に委託して日常的に児童母子等の実態把握を行うもの。

歳出積算根拠（金額）

・民生委員　1,000円×138人×12月＝　1,656千円
・地区会長　300円×13人×12月＝　47千円
・主任児童委員　1,000円×26人×12月＝　312千円　計2,015千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	子ども家庭課
事業名	児童手当給付

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	11 需要費	103	消耗品費・印刷製本費	103
	項	2 児童福祉費	12 役務費	818	通信運搬費・手数料	818
	目	1 児童福祉総務費	20 扶助費	777,180	児童手当	777,180

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
64	784,312	778,101	540,772	118,204			119,125

事業の概要、対象、意図など

家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資するため、児童を養育している者に児童手当を支給するもの。
【手当月額】３歳未満：15,000円、３歳以上小学校修了前（第1・2子）：10,000円
中学生　：10,000円、３歳以上小学校修了前（第3子以降）：15,000円
特例給付（所得制限限度額以上の受給者に対する給付）：
児童の年齢に関係なく一律5,000円

歳出積算根拠（金額）

児童手当
・３歳未満被用者（受給者が厚生年金加入者等）：　809人×15,000円×12か月＝145,620千円
・３歳未満非被用者（受給者が国民年金加入者等）：221人×15,000円×12か月＝ 39,780千円
・３歳以上小学校修了前（第1・2子）：　2,977人×10,000円×12か月＝357,240千円
・３歳以上小学校修了前（第3子以降）：　460人×15,000円×12か月＝ 82,800千円
・中学生：　1,197人×10,000円×12か月＝143,640千円
・特例給付：　135人×5,000円×12か月＝　8,100千円
事務費等　921千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

児童手当　（対象経費）　（国交付金）　（対象経費）　（県負担金）
・３歳未満被用者：145,620千円×37/45＝119,732千円、145,620千円×4/45＝12,944千円
・その他：　631,560千円× 2/3 ＝421,040千円、631,560千円×1/6＝105,260千円

担当課	子ども家庭課						
事業名	災害遺児手当給付						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	3 民生費	20 扶助費	748	災害遺児手当	748	
	項	2 児童福祉費					
	目	1 児童福祉総務費					

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
66	722	748		345			403

事業の概要、対象、意図など

災害遺児の健全な育成を図り、もってその福祉を増進するため、義務教育修了前の児童で、その養育者が天災または交通事故、自死、その他の事故により死亡又は障がいの状態となった場合に、災害遺児手当を支給するもの。

【支給額】 災害遺児1人あたり月額2,000円

【支払月】 ７月・１１月・３月

歳出積算根拠（金額）

扶助費（災害遺児手当）

・通年 ：2,000円×28人×12月＝672千円

・中学卒業者：2,000円× 2人× 1月＝ 4千円

・新規見込 ：2,000円× 3人×12月＝ 72千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

県補助金（1/2）※対象は所得税非課税世帯

690千円×1/2＝345千円

担当課	子ども家庭課						
事業名	児童扶養手当						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	3 民生費	11 需用費	77	消耗品費	77	
	項	2 児童福祉費	12 役務費	574	通信運搬費，手数料	574	
	目	1 児童福祉総務費	20 扶助費	289,908	児童扶養手当	289,908	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
64	299,432	290,559	96,636			1,261	192,662

事業の概要、対象、意図など

離婚等により父又は母と生計を同じくしていない児童（18歳の年度末まで。ただし、支給要件に該当する障がいがある場合は、20歳未満まで。）が育成される家庭の生活の安定と自立の促進に寄与するため、児童を育成する母又は父に児童扶養手当を支給するもの。

【手当月額】 全部支給 ：41,140円

一部支給 ：41,130円～9,710円までの10円刻みの額

２子加算 ：5,000円

３子以降加算 ：児童１人につき3,000円

【支払月】 ４月・８月・１２月

歳出積算根拠（金額）

○需用費 消耗品費 77千円

○役務費 通信運搬費…郵送料 120千円

手数料 …児童扶養手当システム保守料 454千円

○扶助費(児童扶養手当) 289,908千円

＜内訳＞全部支給： 41,140円×350人×12月＝172,788千円

一部支給（平均）： 30,000円×280人×12月＝100,800千円

2子加算： 5,000円×230人×12月＝ 13,800千円

3子以降加算 3,000円× 70人×12月＝ 2,520千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

・児童扶養手当給付費負担金（国1/3）

＜補助対象経費＞ 扶助費 289,908千円×1/3＝96,636千円

・児童扶養手当返還金 1,261千円

担当課	子ども家庭課						
事業名	児童健全育成						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	3 民生費	13 委託料	38,952	放課後児童健全育成事業委託料	38,952	
	項	2 児童福祉費					
	目	1 児童福祉総務費					

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
65	39,086	38,952		25,078			13,874

事業の概要、対象、意図など

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学する概ね10歳未満の児童の健全な育成を図るため、市内民間放課後児童クラブを対象に、授業の終了後に児童厚生施設等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供する事業を委託するもの。

歳出積算根拠（金額）

【対象団体】 8団体 合計 38,952,000円

ぶるーむ学級	7,701,000円	倉吉東学童クラブ	4,430,000円
みのりクラブ	6,306,000円	成徳学童クラブ	3,412,000円
上北条児童クラブ	3,494,000円	灘手児童クラブ	2,899,000円
上小鴨学童クラブ	5,587,000円	社児童クラブ	5,123,000円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

【国庫事業】補助率：国1/3 県1/3 市1/3
【単県事業】補助率：県1/2 市1/2

ぶるーむ学級	国庫	3,821千円	単県	984千円	計	4,805千円
倉吉東学童クラブ	国庫	2,685千円	単県	201千円	計	2,886千円
みのり学級	国庫	3,936千円	単県	201千円	計	4,137千円
成徳学童クラブ	国庫	2,007千円	単県	201千円	計	2,208千円
上北条児童クラブ	国庫	2,061千円	単県	201千円	計	2,262千円
灘手児童クラブ	国庫	1,297千円	単県	477千円	計	1,774千円
上小鴨学童クラブ	国庫	3,457千円	単県	201千円	計	3,658千円
社児童クラブ	国庫	3,147千円	単県	201千円	計	3,348千円

担当課	子ども家庭課						
事業名	ポプラ学級運営						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	3 民生費	1 報酬	1,727	指導員	1,727	
	項	2 児童福祉費	4 共済費	339	社会保険料	339	
	目	1 児童福祉総務費	7 賃金	5,418	事務賃金	5,418	
			9 旅費	18	費用弁償	18	
			11 需用費	1,164	消耗品費、食糧費等	1,164	
			12 役務費	83	通信運搬費、保険料	83	
			14 使用料及び賃借料	44	自動車借上料	44	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
63	7,785	8,793		4,266		1,392	3,135

事業の概要、対象、意図など

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学しているおおむね10歳未満の児童の健全な育成を図るため、授業の終了後に児童厚生施設等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供するもの。
実施場所 上井児童センター。登録児童数80名。障がい児受入。

歳出積算根拠（金額）

≪報酬≫	非常勤嘱託職員	1人	1,727千円
≪共済費≫	非常勤嘱託職員		278千円
	臨時職員	4人	61千円
≪賃金≫	臨時職員		5,418千円
≪その他運営経費≫			1,309千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

放課後児童健全育成事業費補助金（県2/3）	4,266千円
利用料	768千円
おやつ代・保険代	624千円

担当課	子ども家庭課
事業名	高城児童クラブ運営

予算科目		節		説明	
会計	一般				
歳入歳出	歳出	区分	金額		
款	3 民生費	1 報酬	1,727	指導員	1,727
項	2 児童福祉費	4 共済費	313	社会保険料	313
目	1 児童福祉総務費	7 賃金	3,086	事務賃金	3,086
		9 旅費	48	費用弁償	48
		11 需用費	622	消耗品費、食糧費	622
		12 役務費	35	通信運搬費、保険料	35

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
63	5,639	5,831		3,051		571	2,209

事業の概要、対象、意図など

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学しているおおむね10歳未満の児童の健全な育成を図るため、授業の終了後に児童厚生施設等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供するもの。
実施場所　高城児童センター。登録児童数33名。障がい児受入。

歳出積算根拠（金額）

≪報酬≫　非常勤嘱託職員　1人　1,727千円
≪共済費≫非常勤嘱託職員　278千円
　臨時職員　2人　31千円
　長期アルバイト　1人　4千円
≪賃金≫　臨時職員　2,745千円
　長期休暇アルバイト　341千円
≪その他運営経費≫　705千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

放課後児童健全育成事業費補助金（県2/3）　3,051千円
利用料　351千円
おやつ代・保険代　220千円

担当課	子ども家庭課
事業名	明倫児童クラブ運営

予算科目		節		説明	
会計	一般				
歳入歳出	歳出	区分	金額		
款	3 民生費	1 報酬	1,956	指導員	1,956
項	2 児童福祉費	4 共済費	349	社会保険料	349
目	1 児童福祉総務費	7 賃金	3,086	事務賃金	3,086
		9 旅費	12	費用弁償	12
		11 需用費	384	消耗品費、食糧費	384
		12 役務費	36	通信運搬費、保険料	36
		14 使用料及び賃借料	5	会場借上料	5

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
63	5,812	5,828		3,051		460	2,317

事業の概要、対象、意図など

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学しているおおむね10歳未満の児童の健全な育成を図るため、授業の終了後に児童厚生施設等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供するもの。
実施場所　中央児童館。登録児童数29名。障がい児受入。

歳出積算根拠（金額）

≪報酬≫　非常勤嘱託職員　1人　1,956千円
≪共済費≫非常勤嘱託職員　314千円
　臨時職員　2人　31千円
　長期休暇アルバイト　1人　4千円
≪賃金≫　臨時職員　2,745千円
　長期休暇アルバイト　341千円
≪その他運営経費≫　437千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

放課後児童健全育成事業費補助金（県2/3）　3,051千円
利用料　300千円
おやつ代・保険代　160千円

担当課	子ども家庭課
事業名	北谷児童クラブ運営

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	3	民生費	1 報酬	1,880	指導員	1,880
項	2	児童福祉費	4 共済費	341	社会保険料	341
目	1	児童福祉総務費	7 賃金	3,431	事務賃金	3,431
			9 旅費	60	費用弁償	60
			11 需用費	733	消耗品費	733
			12 役務費	44	通信運搬費、保険料	44
			14 使用料及び賃借料	65	自動車借上料	65

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
63	6,156	6,554		3,854		784	1,916

事業の概要、対象、意図など

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学しているおおむね10歳未満の児童の健全な育成を図るため、授業の終了後に児童厚生施設等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供するもの。
実施場所　北谷児童集会所。登録児童数45名。障がい児受入。

歳出積算根拠（金額）

≪報酬≫　非常勤嘱託職員　1人　1,880千円
≪共済費≫非常勤嘱託職員　302千円
臨時職員　2人　31千円
パート職員　1人　4千円
長期アルバイト　1人　4千円
≪賃金≫　臨時職員　2,745千円
パート職員　345千円
長期休暇アルバイト　341千円
≪その他運営経費≫　902千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

放課後児童健全育成事業費補助金（県2/3）　3,854千円
利用料　465千円
おやつ代・保険代　319千円

担当課	子ども家庭課
事業名	小鴨児童クラブ運営

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	3	民生費	1 報酬	1,880	指導員	1,880
項	2	児童福祉費	4 共済費	352	社会保険料	352
目	1	児童福祉総務費	7 賃金	4,419	事務賃金	4,419
			9 旅費	24	費用弁償	24
			11 需用費	857	消耗品費、食糧費	857
			12 役務費	90	通信運搬費、保険料	90
			14 使用料及び賃借料	108	自動車借上料	108

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
63	7,609	7,730		3,561		1,258	2,911

事業の概要、対象、意図など

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学しているおおむね10歳未満の児童の健全な育成を図るため、授業の終了後に児童厚生施設等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供するもの。
実施場所　小鴨児童センター。登録児童数90名。障がい児受入。

歳出積算根拠（金額）

≪報酬≫非常勤嘱託職員　1人　1,880千円
≪共済費≫非常勤嘱託職員　302千円
臨時職員　3人　46千円
長期アルバイト　1人　4千円
≪賃金≫　臨時職員　4,078千円
長期休暇アルバイト　341千円
≪その他運営経費≫　1,079千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

放課後児童健全育成事業費補助金（県2/3）　3,561千円
利用料　891千円
おやつ代・保険代　367千円

担当課	子ども家庭課
事業名	関金児童クラブ運営

予算科目		節		説明	
会計	一般	区分	金額		
歳入歳出	歳出				
款	3 民生費	1 報酬	1,845	指導員	1,845
項	2 児童福祉費	4 共済費	343	社会保険料	343
目	1 児童福祉総務費	7 賃金	4,084	事務賃金	4,084
		9 旅費	72	費用弁償	72
		11 需用費	558	消耗品費、食糧費	558
		12 役務費	44	通信運搬費、保険料	44
		14 使用料及び賃借料	42	自動車借上料	42

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
63	5,954	6,988		4,561		523	1,904

事業の概要、対象、意図など

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学しているおおむね10歳未満の児童の健全な育成を図るため、授業の終了後に児童厚生施設等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供するもの。
実施場所　関金児童館。登録児童数36名。障がい児受入。

歳出積算根拠（金額）

≪報酬≫　非常勤嘱託職員　1人　1,845千円
≪共済費≫非常勤嘱託職員　297千円
　　臨時職員　3人　46千円
≪賃金≫　臨時職員　4,084千円
≪その他運営経費≫　716千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

放課後児童健全育成事業費補助金（県2/3）　4,561千円
利用料　387千円
おやつ代・保険代　136千円

担当課	子ども家庭課
事業名	山守児童クラブ運営

予算科目		節		説明	
会計	一般	区分	金額		
歳入歳出	歳出				
款	3 民生費	1 報酬	1,803	指導員	1,803
項	2 児童福祉費	4 共済費	313	社会保険料	313
目	1 児童福祉総務費	7 賃金	2,098	事務賃金	2,098
		9 旅費	96	費用弁償	96
		11 需用費	304	消耗品費、食糧費	304
		12 役務費	68	通信運搬費、保険料	68

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
63	4,455	4,682		2,284		268	2,130

事業の概要、対象、意図など

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学しているおおむね10歳未満の児童の健全な育成を図るため、授業の終了後に児童厚生施設等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供するもの。
実施場所　山守小学校。登録児童数17名。

歳出積算根拠（金額）

≪報酬≫非常勤嘱託職員　1人　1,803千円
≪共済費≫非常勤嘱託職員　290千円
　　臨時職員　1人　15千円
　　パート職員　1人　4千円
　　長期休暇アルバイト　1人　4千円
≪賃金≫　臨時職員　1,412千円
　　パート職員　345千円
　　長期休暇アルバイト　341千円
≪その他運営経費≫　468千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

放課後児童健全育成事業費補助金（県2/3）　2,284千円
利用料　192千円
おやつ代・保険代　76千円

担当課	子ども家庭課
事業名	【一部新規】障がい児支援給付事業

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	11 需用費	31	消耗品費	31
	項	2 児童福祉費	12 役務費	215	通信運搬費	17
	目	1 児童福祉総務費			手数料	198
			19 負担金補助及び交付金	297	重症心身障がい児受け入れ事業所看護師配置負担金	297
			20 扶助費	53,170	自立支援医療給付費	2,410
					自立支援給付費	4,325
					地域生活支援給付費	16,743
					障害者総合支援法利用者負担支援費	56
					児童発達支援センター利用者負担支援費	30
					障害児通所給付費等	29,334
					在宅生活支援給付費	272

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
64	53,647	53,713	24,400	13,146		240	15,927

事業の概要、対象、意図など

障がい児が心身ともに健やかに成長し、地域で安心して生活できるようにするため、障がい児の保護者に対し、児童福祉法及び障害者総合支援法等に基づき必要な支援に対する給付費等を支給するもの。
○自立支援医療（育成医療）給付費の支給
○自立支援給付費の支給（居宅介護、短期入所等）
○地域生活支援給付費の支給（移動支援事業、日中一時支援事業等）
○障害児通所給付費等の支給（児童発達支援、放課後等ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ、保育所等訪問支援等）
○在宅生活支援給付費の支給（施設入所児在宅支援事業、難聴児補聴器購入助成）
○利用者負担の軽減、助成（通所支援費助成金、児童発達支援センター利用者負担支援費等）
○【新規】重症心身障がい児受入事業所看護師配置負担金（障がい児を受け入れる北栄町の事業所に対し経費補助）

歳出積算根拠（金額）

○需用費
・消耗品費　　受給者証他　31千円
○役務費
・通信運搬費　郵便料　17千円
・手数料　　支払審査手数料　198千円
○負担金補助及び交付金
・【新規】重症心身障がい児受け入れ事業所看護師配置負担金　　297千円
○扶助費
・自立支援医療（育成医療）給付費　2,410千円
・自立支援給付費　4,325千円
・地域生活支援給付費　16,743千円
・障害児通所給付費等　29,334千円
・在宅生活支援給付費　272千円
・利用者負担の軽減、助成　86千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

○日中一時支援事業利用料　240千円
○国庫負担金
・障害者医療費負担金　負担率1/2　1,205千円
・自立支援給付費負担金　負担率1/2　2,162千円
・障害児施設給付費等負担金　負担率1/2　14,377千円
○国庫補助金
・地域生活支援事業費補助金　6,656千円（児童分H25年度申請額）
○県負担金
・自立支援医療費負担金　負担率1/4　602千円
・自立支援給付費負担金　負担率1/4　1,081千円
・障害児通所給付費等負担金　負担率1/4　7,188千円
○県補助金
・地域生活支援事業費補助金　補助率1/4　4,125千円
・児童発達支援センター利用者負担金軽減事業費補助金　補助率1/2　15千円
・障がい児在宅生活支援事業費補助金　補助率1/2　135千円

担当課	子ども家庭課
事業名	子育て支援事業

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	4 共済費	1,561	社会保険料	1,561
	項	2 児童福祉費	7 賃金	9,896	事務賃金	9,896
	目	1 児童福祉総務費	8 報償費	130	報償金	130
			9 旅費	227	費用弁償・普通旅費	227
			11 需要費	1,433	消耗品費	500
					修繕料他	90
					光熱水費	843
			12 役務費	1,052	通信運搬費・手数料	1,052
			13 委託料	4,360	地域子育て支援センター業務委託料	4,360
			14 使用料及び賃借料	162	テレビ聴視料、機械借上料	162
			19 負担金補助及び交付金	54	研修会等参加費負担金	54

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
64	16,651	18,875		13,768			5,107

事業の概要、対象、意図など

子育ての負担感の緩和を図り、安心して子育て・子育ちができる環境を整備するため、子育て支援拠点として子育て支援センターを設置し、運営するもの。
【子育て支援センター】0歳～未就学児と保護者（倉吉市内在住の方）を対象に週５日開設。
・倉吉市子育て総合支援センター「おひさま」　・小鴨保育園地域子育て支援センター
・関金保育園地域子育て支援センター　・のびのび子育て支援センター（委託）

歳出積算根拠（金額）

臨時職員賃金・社会保険料：11,457千円　講習会講師等旅費・謝金：357千円
消耗品費・光熱水費他：1,433千円　通信運搬費・手数料（託児他）：1,052千円
地域子育て支援センター事業委託料：4,360千円　テレビ聴視料・機械借上料：162千円
研修会等参加負担金：54千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

【子育て応援市町村交付金】※交付金の対象経費は、基準単価（800千円）を上限とする。
・子育て家庭を支える子育てサービスの充実に関する事業（対象経費972千円）
　基準単価800千円×補助率1/2＝400千円
・子どもの生きる力の育成と教育の充実に関する事業（対象経費70千円）
　対象経費70千円×補助率1/2＝35千円
【鳥取県安心こども基金市町村子育て支援事業補助金】
　補助基本額20,000千円×補助率2/3＝13,333千円

担当課	子ども家庭課
事業名	私学振興

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	19 負担金補助及び交付金	10,350	私学振興費補助金	10,350
	項	2 児童福祉費				
	目	1 児童福祉総務費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
65	10,350	10,350					10,350

事業の概要、対象、意図など

学校教育法第4条第1項第3号に定める者の認可を受けている私立幼稚園の安定した運営を維持することにより、幼児教育の充実を図るため、運営経費の一部を補助するもの。
（市内私立幼稚園：3園）
予算額の40%を均等割、60%を園児数割でそれぞれ算出した額に対し、均等割で算出した額を私立幼稚園数で除した額に、園児数割で算出した額を園児数（当該年度5月1日学校基本調査による数）で按分した額を加えた額を交付する。

歳出積算根拠（金額）

平成22～平成24年度実績　10,350千円、平成25年度実績見込み　10,350千円

担当課	子ども家庭課					
事業名	幼稚園教育振興					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	19 負担金補助及び交付金	17,594	幼稚園就園奨励費補助金	16,029
	項	2 児童福祉費			幼稚園第３子保育料軽減子育て支援補助金	1,565
	目	1 児童福祉総務費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
65	17,223	17,594	3,836				13,758

事業の概要、対象、意図など

幼稚園に児童を入園させている保護者に対する経済的負担（保育料）の軽減を図り、幼稚園教育の振興に資するため、私立幼稚園が市内に住所を有する在園児の保護者に対して、その所得状況に応じて保育料を減免した場合に、幼稚園設置者に対して補助金を交付するもの。
（市内私立幼稚園：３園）

歳出積算根拠（金額）

○幼稚園就園奨励費補助金　　16,029千円
　保護者の市民税の課税状況により、補助額を決定。

○幼稚園第３子保育料軽減子育て支援補助金
　第３子以降の在園児の保育料を軽減　1,565千円
　（全体の保育料－幼稚園就園奨励費補助金等）×１／４

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

○国庫：幼稚園就園奨励費補助金　16,029千円×1/3×71.8%　≒ 3,836千円
（平成24年度実績　圧縮率71.8%）

担当課	子ども家庭課
事業名	子どもの発達支援体制整備

予算科目		節		説明	
会計	一般	区分	金額		
歳入歳出	歳出				
款	3 民生費	8 報償金	944	報償金	944
項	2 児童福祉費	9 旅費	96	普通旅費	96
目	1 児童福祉総務費	11 需用費	256	消耗品費	195
				食糧費	61
		13 委託料	80	巡回相談委託料	80
		14 使用料及び賃借料	155	会場借上料	130
				自動車借上料	25
		18 備品購入費	40	庁用器具費	40
		19 負担金補助及び交付金	25	研修会等参加負担金	25

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
64	3,061	1,596		483			1,113

事業の概要、対象、意図など

発達障害者支援法に基づき、発達障がい者（児）の自立及び社会参加に資するよう生活全般に渡る支援を行うため、継続した支援体制整備を図るもの。また、発達障がい者（児）の早期発見及び適切な支援を行うため、関係者の資質向上のための研修事業等を行うもの。
・各研修事業及び保育園・幼稚園の巡回指導。通所指導教室の実施。
・定住自立圏形成協定に伴う、子どもの発達支援に関わる研修会の実施。
・地域の支援ネットワークづくり（発達障がい支援体制整備検討会の実施）

歳出積算根拠（金額）

・巡回指導（報償費：作業療法士）	229千円
・医師巡回相談（委託料80千円、車借上料25千円）	105千円
・リーダー育成研修会、保育実践実技研修会（報償費）	471千円
・保育所職員研修会参加資料代（消耗品費　45千円）	45千円
・実践発表会【定住自立圏】（報償費145千円、会場借上料100千円）	245千円
・子どもの発達支援研修会【定住自立圏】（報償費98千円、会場借上料30千円）	128千円
・通所指導教室（きらり教室）（消耗品費等120千円）	120千円
・研修派遣(旅費78,000円、参加負担金25,000円)	103千円
・その他（旅費、消耗品費、備品購入費　等）	150千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

◇安心子ども基金特別対策事業補助金　※補助率：県1/2
・保育の質の向上のための研修事業　対象経費744千円×1/2　≒　372千円
◇子育て応援市町村交付金　※補助率 ※補助率：県1/2
・通所指導教室、研修旅費・負担金　対象経費223千円×1/2　≒　111千円

担当課	子ども家庭課
事業名	ファミリーサポートセンター事業

予算科目		節		説明	
会計	一般	区分	金額		
歳入歳出	歳出				
款	3 民生費	4 共済費	307	社会保険料	307
項	2 児童福祉費	7 賃金	1,942	事務賃金	1,942
目	1 児童福祉総務費	8 報償費	100	報償金	100
		9 旅費	18	普通旅費	18
		11 需要費	110	消耗品費・食糧費	110
		12 役務費	71	通信運搬費・保険料	71
		19 負担金補助及び交付金	36	研修会等参加費負担金	36

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
64	2,620	2,584		1,333			1,251

事業の概要、対象、意図など

地域の中で子育て家庭を支援するため、育児の援助を行いたい者と育児の支援を受けたい者を会員として組織し、会員相互の育児に関する援助活動を行うもの。

歳出積算根拠（金額）

臨時職員賃金、社会保険料：　2,249千円	提供会員養成講座講師謝金：100千円
ファミリーサポート面談管内旅費：18千円	消耗品費：　100千円
提供会員定例会、交流会用食糧費：10千円	通信運搬費（電話料）：　15千円
ファミリーサポートセンター補償保険料：56千円	研修会等参加費負担金：　36千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

【鳥取県安心こども基金市町村子育て支援事業補助金】
　補助基本額2,000千円×補助率2/3＝1,333千円

担当課	子ども家庭課					
事業名	【一部新規】保育所運営					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	1 報酬	1,133	嘱託医	1,133
	項	2 児童福祉費	4 共済費	27,935	社会保険料	27,935
	目	2 保育所費	7 賃金	186,827	事務賃金	186,827
			8 報償費	60	報償費	60
			9 旅費	263	普通旅費	263
			11 需用費	82,088	消耗品費、賄材料費等	82,088
			12 役務費	4,591	通信運搬費、役務費等	4,591
			13 委託料	1,221,129	保育所運営費委託料等	1,221,129
			14 使用料及び賃借料	1,745	機械借上料等	1,745
			16 原材料費	100	工事材料費	100
			18 備品購入費	500	庁用器具費	500
			19 負担金補助及び交付金	119,825	負担金、補助金	119,825
			27 公課費	51	自動車重量税	51

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
66	1,462,705	1,646,247	363,689	400,953	31,800	322,283	527,522

事業の概要、対象、意図など

保護者が就労や病気などで、家庭において十分に保育することができない児童を、家庭の保護者にかわって保育するため、公立保育園の運営及び私立保育園等へ委託を行うもの。
(公立保育園:10園、私立保育園等:16園)
【新規】保育所の建替・解体を行う私立保育所（上北条保育園：建築年Ｓ53年）に対し、建替・解体経費の補助を行うもの。

歳出積算根拠（金額）

○公立保育園に要する経費
職員に関する経費（臨時保育士、調理員の雇用、研修、細菌検査、旅費等）
215,734千円
入所児童の保育に要する経費（保育材料費、賄材料費、健康診断等）
63,397千円
運営に要する経費（光熱水費、電話代、修繕、備品購入、設備の点検、負担金等）
28,707千円
○私立保育園等に要する経費（運営費委託料、特別保育委託料、広域入所委託料、補助金）
1,331,384千円（うち【新規】保育所緊急整備事業補助金119,426千円）
○病後児保育事業に要する経費　7,025千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

国庫：　保育所運営費負担金　360,566千円、母子家庭自立支援給付金事業補助金　3,123千円
県：保育所運営費負担金　180,283千円、補助金 220,670千円(第3子保育料軽減、保育ｻｰﾋﾞｽ多様化促進、低年齢児受入保育士特別配置、保育対策等促進、子育て支援応援、家庭支援推進保育、産休等代替職員費、安心こども基金)
地方債：【新規】保育所整備事業債　31,800千円
若者の定住化促進基金からの繰入金　30,000千円
負担金：保育料（現年・滞納）、日本スポーツ振興センター保護者負担金　274,860千円
諸収入：職員共食費、広域入所、一時保育利用料、定住自立圏負担金（病後児保育、休日保育）等
17,423千円

担当課	子ども家庭課
事業名	病児保育事業

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	13 委託料	8,710	病児・病後児保育事業委託料	8,710
	項	2 児童福祉費	14 使用料及び賃借料	368	建物借上料	368
	目	2 保育所費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
68	9,018	9,078		4,473		1,600	3,005

事業の概要、対象、意図など

子育て支援の一環として、未就学児童で保育所等に通園している子どもが病気になった場合に、親が仕事を休むことなく安心して子どもをあずけることが出来るようにするため、厚生病院内に病児保育室（愛称：きらきら園）を設置し、運営するもの。（定住自立圏で実施。保育室の運営は委託により実施。）
〔利用料　1,500円／１日（受託者収受）、月曜日から金曜日（祝日を除く）〕

歳出積算根拠（金額）

○病児保育事業委託料　　8,710千円
　維持運営上必要とされる経費を負担。
　8,650千円（実施基本額2,400千円、利用人数加算額4,250千円）実施要綱500人利用補助額
　無料世帯利用料相当分　1,500円×40人＝60,000円
○厚生病院財産使用料　　61,200円×12月×１／２（減免）＝367,200円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

保育対策等促進事業費補助金
・病児保育事業　（2,400千円＋4,250円）×2/3（県）≒4,433千円
　無料世帯分　　（1,500×40人）×2/3（県）＝40千円
・病児保育事業負担金　　定住自立圏の事業利用按分等による　1,600千円

担当課	子ども家庭課
事業名	中央児童館運営

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	1 報酬	4,561	非常勤職員報酬	4,561
	項	2 児童福祉費	4 共済費	622	社会保険料	622
	目	3 児童館費	7 賃金	690	事務賃金	690
			8 報償費	24	報償金	24
			9 旅費	48	費用弁償	48
			11 需用費	536	消耗品費、燃料費等	536
			12 役務費	336	通信運搬費、手数料等	336
			14 使用料及び賃借料	148	会場借上料、機械借上料	148
			19 負担金補助及び交付金	24	児童館連絡協議会等負担金	24

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
68	7,007	6,989					6,989

事業の概要、対象、意図など

　児童に健全な遊びを与え、集団的・個別的に指導を行い、健康増進と情操を豊かにしていくとともに、諸活動を通じて人権尊重の精神を養い、その実践力を身につけた児童を育成するため、各種行事等の企画・運営、施設の管理、保全業務を行うもの。

歳出積算根拠（金額）

≪報酬≫　館長　　1人　　718千円
　　非常勤嘱託職員　2人　　3,843千円
≪共済費≫館長　　2千円
　　非常勤嘱託職員　　618千円
　　土曜パート　　1人　　2千円
≪賃金≫　土曜パート　　690千円
≪その他運営経費≫　　1,116千円

担当課	子ども家庭課
事業名	小鴨児童センター運営

予算科目		節		説明	
会計	一般	区分	金額		
歳入歳出	歳出				
款	3 民生費	1 報酬	6,517	非常勤職員報酬	6,517
項	2 児童福祉費	4 共済費	937	社会保険料	937
目	3 児童館費	7 賃金	690	事務賃金	690
		8 報償費	24	報償金	24
		9 旅費	108	費用弁償	108
		11 需用費	517	消耗品費、燃料費他	517
		12 役務費	199	通信運搬費、手数料等	199
		14 使用料及び賃借料	148	機械借上料	148
		19 負担金補助及び交付金	21	児童館連絡協議会等負担金	21

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
68	9,011	9,161					9,161

事業の概要、対象、意図など

児童に健全な遊びを与え、集団的・個別的に指導を行い、健康増進と情操を豊かにしていくとともに、諸活動を通じて人権尊重の精神を養い、その実践力を身につけた児童を育成するため、各種行事等の企画・運営、施設の管理、保全業務を行うもの。

歳出積算根拠（金額）

≪報酬≫	館長	1人	718千円
	非常勤嘱託職員	3人	5,799千円
≪共済費≫	館長		2千円
	非常勤嘱託職員		933千円
	土曜パート	1人	2千円
≪賃金≫	土曜パート		690千円
≪その他運営経費≫			1,017千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

担当課	子ども家庭課
事業名	高城児童センター運営

予算科目		節		説明	
会計	一般	区分	金額		
歳入歳出	歳出				
款	3 民生費	1 報酬	6,517	非常勤職員報酬	6,517
項	2 児童福祉費	4 共済費	937	社会保険料	937
目	3 児童館費	7 賃金	766	事務賃金	766
		8 報償費	24	報償金	24
		9 旅費	144	費用弁償	144
		11 需用費	445	消耗品費、燃料費他	445
		12 役務費	170	通信運搬費、手数料他	170
		14 使用料及び賃借料	78	機械借上料	78
		19 負担金補助及び交付金	21	児童館連絡協議会等負担金	21

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
68	9,085	9,102					9,102

事業の概要、対象、意図など

児童に健全な遊びを与え、集団的・個別的に指導を行い、健康増進と情操を豊かにしていくとともに、諸活動を通じて人権尊重の精神を養い、その実践力を身につけた児童を育成するため、各種行事等の企画・運営、施設の管理、保全業務を行うもの。

歳出積算根拠（金額）

≪報酬≫	館長	1人	718千円
	非常勤嘱託職員	3人	5,799千円
≪共済費≫	館長		2千円
	非常勤嘱託職員		933千円
	土曜パート	1人	2千円
≪賃金≫	土曜パート		766千円
≪その他運営経費≫			882千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

担当課	子ども家庭課
事業名	上米積児童センター運営

予算科目		節		説明	
会計	一般	区分	金額		
歳入歳出	歳出				
款	3 民生費	1 報酬	6,245	非常勤職員報酬	6,245
項	2 児童福祉費	4 共済費	894	社会保険料	894
目	3 児童館費	7 賃金	1,033	事務賃金	1,033
		8 報償費	24	報償金	24
		9 旅費	144	費用弁償	144
		11 需用費	732	消耗品費、燃料費等	732
		12 役務費	222	通信運搬費、手数料等	222
		14 使用料及び賃借料	242	機械借上料	242
		19 負担金補助及び交付金	21	児童館連絡協議会等負担金	21

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
68	9,382	9,557				10	9,547

事業の概要、対象、意図など

児童に健全な遊びを与え、集団的・個別的に指導を行い、健康増進と情操を豊かにしていくとともに、諸活動を通じて人権尊重の精神を養い、その実践力を身につけた児童を育成するため、各種行事等の企画・運営、施設の管理、保全業務を行うもの。

歳出積算根拠（金額）

≪報酬≫　館長　1人　718千円
　　非常勤嘱託職員　3人　5,527千円
≪共済費≫館長　2千円
　　非常勤嘱託職員　889千円
　　土曜パート　1人　2千円
　　長期休暇アルバイト　1人　1千円
≪賃金≫　土曜パート　692千円
　　長期休暇アルバイト　341千円
≪その他運営経費≫　1,385千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

乳幼児クラブ等参加費　10千円

担当課	子ども家庭課
事業名	福吉児童センター運営

予算科目		節		説明	
会計	一般	区分	金額		
歳入歳出	歳出				
款	3 民生費	1 報酬	5,375	非常勤職員報酬	5,375
項	2 児童福祉費	4 共済費	867	社会保険料	867
目	3 児童館費	7 賃金	1,031	事務賃金	1,031
		8 報償費	24	報償金	24
		9 旅費	90	費用弁償	90
		11 需用費	613	消耗品費、燃料費等	613
		12 役務費	363	通信運搬費、手数料等	363
		19 負担金補助及び交付金	56	児童館連絡協議会等負担金	56

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
69	9,650	8,419				15	8,404

事業の概要、対象、意図など

児童に健全な遊びを与え、集団的・個別的に指導を行い、健康増進と情操を豊かにしていくとともに、諸活動を通じて人権尊重の精神を養い、その実践力を身につけた児童を育成するため、各種行事等の企画・運営、施設の管理、保全業務を行うもの。

歳出積算根拠（金額）

≪報酬≫　非常勤嘱託職員　3人　5,375千円
≪共済費≫非常勤嘱託職員　864千円
　　土曜パート　1人　2千円
　　長期休暇アルバイト　1人　1千円
≪賃金≫　土曜パート　690千円
　　長期休暇アルバイト　341千円
≪その他運営経費≫　1,146千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

児童健全育成推進財団負担金（民間児童センター）5,000円×3施設

担当課	子ども家庭課						
事業名	上井児童センター運営						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	3 民生費	1 報酬	6,517	非常勤職員報酬	6,517	
	項	2 児童福祉費	4 共済費	937	社会保険料	937	
	目	3 児童館費	7 賃金	759	事務賃金	759	
			8 報償費	54	報償金	54	
			9 旅費	108	費用弁償	108	
			11 需用費	819	消耗品費、燃料費等	819	
			12 役務費	101	通信運搬費、保険料	101	
			14 使用料及び賃借料	404	機械借上料	404	
			18 備品購入費	43	庁用器具費	43	
			19 負担金補助及び交付金	21	児童館連絡協議会等負担金	21	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
68	9,799	9,763					9,763

事業の概要、対象、意図など

児童に健全な遊びを与え、集団的・個別的に指導を行い、健康増進と情操を豊かにしていくとともに、諸活動を通じて人権尊重の精神を養い、その実践力を身につけた児童を育成するため、各種行事等の企画・運営、施設の管理、保全業務を行うもの。

歳出積算根拠（金額）

≪報酬≫ 館長 1人 718千円
非常勤嘱託職員 3人 5,799千円
≪共済費≫館長 2千円
非常勤嘱託職員 932千円
土曜パート 1人 3千円
≪賃金≫ 土曜パート 759千円
≪その他運営経費≫ 1,550千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

担当課	子ども家庭課						
事業名	関金児童館運営						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	3 民生費	1 報酬	4,442	非常勤職員報酬	4,442	
	項	2 児童福祉費	4 共済費	603	社会保険料	603	
	目	3 児童館費	7 賃金	690	事務賃金	690	
			8 報償費	24	報償金	24	
			9 旅費	192	費用弁償	192	
			11 需用費	512	消耗品費、燃料費等	512	
			12 役務費	112	通信運搬費、手数料等	112	
			14 使用料及び賃借料	129	機械借上料	129	
			19 負担金補助及び交付金	24	児童館連絡協議会等負担金	24	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
68	7,709	6,728					6,728

事業の概要、対象、意図など

児童に健全な遊びを与え、集団的・個別的に指導を行い、健康増進と情操を豊かにしていくとともに、諸活動を通じて人権尊重の精神を養い、その実践力を身につけた児童を育成するため、各種行事等の企画・運営、施設の管理、保全業務を行うもの。

歳出積算根拠（金額）

≪報酬≫ 館長 1人 718千円
非常勤嘱託職員 2人 3,724千円
≪共済費≫館長 2千円
非常勤嘱託職員 599千円
土曜パート 1人 2千円
≪賃金≫ 土曜パート 690千円
≪その他運営経費≫ 993千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

担当課	子ども家庭課						
事業名	【一部新規】母子福祉事務						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	3 民生費	1 報酬	1,941	母子自立支援員	1,941	
	項	2 児童福祉費	4 共済費	308	社会保険料	308	
	目	4 母子福祉費	9 旅費	8	費用弁償	8	
			11 需用費	20	消耗品費	20	
			13 委託料	4,580	学習支援ボランティア事業委託料	4,580	
			19 負担金補助及び交付金	3,438	研修会等参加負担金	2	
					市連合母子会補助金	105	
					母子家庭自立支援給付補助金	3,331	
			20 扶助費	1,240	ひとり親家庭児童小中学校入学支度金	1,000	
					学習支援ボランティア事業通所助成費	240	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
69	8,286	11,535	2,479	3,835			5,221

事業の概要、対象、意図など

ひとり親及び寡婦家庭の生活基盤の安定を図るため、相談事業をはじめ、経済的自立の支援や就学時の支援等を行うもの。
【新規】学習支援ボランティア事業：ひとり親家庭の子どもたちに安心して学習に集中できる場を提供することにより、将来に希望と見通しを持ち、自立に向かって選択肢を広げていくことができるよう、ひとり親家庭の小・中学生を対象とし、塾形式で学習支援を行うもの。

歳出積算根拠（金額）

・報酬（母子自立支援員　1名）　1,941千円　　・共済費（社会保険料）　308千円
・研修会等参加（費用弁償、参加費）　10千円　　・消耗品費　20千円
・【新規】学習支援ボランティア事業委託料　4,580千円
・市母子寡婦福祉連合会補助金　105千円
・母子家庭自立支援教育訓練給付費・高等技能訓練促進費　3,331千円
・ひとり親家庭児童小中学校入学支度金　1,000千円
・【新規】学習支援ボランティア事業通所助成費　240千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

・母子家庭等対策総合支援事業費国庫負担金　※補助率3/4　2,479千円
・【新規】学習支援ボランティア事業補助金　※補助率（国1/2・県1/4）　3,435千円
・子育て応援市町村交付金　※補助率(県1/2)
　ひとり親家庭児童小中学校入学支度金　対象経費800千円×1/2＝400千円

担当課	子ども家庭課						
事業名	児童集会所管理						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	3 民生費	11 需用費	625	消耗品費、光熱水費等	625	
	項	2 児童福祉費	12 役務費	169	通信運搬費、手数料	169	
	目	5 児童福祉施設費	14 使用料及び賃借料	25	会場借上料	25	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
70	886	819				40	779

事業の概要、対象、意図など

児童の豊かな情操と健全なる心身の育成増進を図るため、児童集会所（北谷、中田）の適切な管理、運営を行うもの。

歳出積算根拠（金額）

○北谷児童集会所
　光熱水費　454千円
　電話代等　95千円
　手数料（消防設備保守点検等）　74千円
○中田児童集会所
　光熱水費　105千円
　会場借上料（浄化槽維持管理費）　25千円
○共通
　消耗品　24千円
　修繕（ガラス等）　42千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

上小鴨学童クラブ施設利用料　40千円

担当課	子ども家庭課
事業名	家庭児童相談室運営

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	8 報償費	2,053	報償金	2,053
	項	2 児童福祉費	9 旅費	312	費用弁償	39
	目	6 家庭児童相談室運営			普通旅費	273
			11 需用費	76	消耗品費	66
					食糧費	10
			12 役務費	51	手数料	51
			13 委託料	600	委託料	600
			14 使用料及び賃借料	30	会場借上料	30
			19 負担金補助及び交付金	155	研修会等参加負担金	155

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
70	3,000	3,277	175	1,877		10	1,215

事業の概要、対象、意図など

家庭における適正な児童養育、その他家庭児童福祉の向上を図るため、子どもに関わる各種関係機関と連携する中で、相談業務、乳幼児の全戸訪問、支援が必要な家庭への養育支援訪問、子育てに関する講座及び子育て支援短期利用事業等を実施するもの。
あわせて、児童福祉法に基づき設置している倉吉市要保護児童対策地域協議会の調整機関として、児童虐待の防止及び対応、支援が必要と思われる児童や特定妊婦に対する支援等を行うもの。

歳出積算根拠（金額）

・乳幼児全戸訪問（こんにちは赤ちゃん） 833千円
（訪問員謝金823千円、消耗品費10千円）
・養育支援訪問 1030千円
（訪問員謝金1,020千円、消耗品費10千円）
・子育て教室（ﾍﾟｱﾚﾝﾄﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ） 112千円
（謝金36千円、消耗品費20千円、食糧費5千円、託児手数料51千円）
・児童虐待防止等研修会 180千円
（講師謝金150千円、会場借上料30千円）
・子育て支援短期利用事業（ｼｮｰﾄｽﾃｲ、ﾄﾜｲﾗｲﾄｽﾃｲ） 600千円
（委託料600千円、児童養護施設等に委託）
・要保護児童対策地域協議会運営 29千円
（委員謝金24千円、消耗品費 5千円）
・研修派遣 459千円
（旅費298千円、資料代6千円、参加負担金155千円）
・家庭児童相談室運営 34千円
（旅費14千円、消耗品費15千円、食糧費 5千円）

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

◇安心子ども基金特別対策事業費補助金（補助率：県2/3）
・乳幼児全戸訪問事業 833千円×2/3 ≒ 555千円
・養育支援訪問事業 1,030千円×2/3≒ 686千円
・子育て支援短期利用事業 485千円（補助基準額）×2/3≒ 323千円
・地域ネットワーク機能強化 387千円×2/3≒ 258千円

◇児童虐待防止対策等支援事業費補助金（補助率：国1/2）
・研修派遣 351千円×1/2 ≒ 175千円
◇子育て応援市町村交付金（補助率：県1/2）
・子育て教室（ﾍﾟｱﾚﾝﾄﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ） 111千円×1/2 ≒ 55千円
◇子育て支援短期利用事業利用料 10千円

担当課	子ども家庭課					
事業名	【新規】子育て世帯臨時特例給付金					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	3 職員手当等	308	時間外及び休日勤務手当	308
	項	2 児童福祉費	4 共済費	540	社会保険料	540
	目	7 子育て世帯臨時特例給付費	7 賃金	3,447	事務賃金	3,447
			11 需用費	298	消耗品費、印刷製本費	298
			12 役務費	1,201	通信運搬費	1,201
			13 委託料	1,365	システム改修委託料	1,365
			14 使用料及び賃借料	64	機械借上料	64
			19 負担金補助及び交付金	48,810	子育て世帯臨時特例給付	48,810

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
71	0	56,033	56,033				0

事業の概要、対象、意図など

消費税率の引上げに際し子育て世帯への影響を緩和するため、平成26年1月分児童手当受給者に対し、児童1人につき1万円を支給するもの。支給は1回のみ。

歳出積算根拠（金額）

時間外及び休日勤務手当：308千円　　臨時職員賃金・社会保険料（2人）：3,987千円
通信運搬費：1,201千円　　児童手当システム改修委託料：1,365千円
機械借上料：64千円　　子育て世帯臨時特例給付金：48,810千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

国庫：子育て世帯臨時特例給付金支給事業費補助金
56,033千円（国10/10）

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位：千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	3	1	1	25	1	医療保険課	国民健康保険特別会計繰出	1	368,594	187,024
〃	〃	3	1	4	15	1	医療保険課	高齢者医療一般	1	761,469	655,768
〃	〃	3	1	5	1	1	医療保険課	特別医療助成	2	304,562	138,190

担当課	医療保険課						
事業名	国民健康保険特別会計繰出						

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	28 繰出金	368,594	国民健康保険事業特別会計へ繰出	368,594
	項	1 社会福祉費				
	目	1 社会福祉総務費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
55	361,646	368,594	20,460	161,110			187,024

事業の概要、対象、意図など

国民健康保険事業の健全な運営のため、保険料軽減等に応じて法定繰出を行うもの。
○保険基盤安定分
・保険料軽減分　保険料軽減世帯に係る保険料軽減相当額
・保険者支援分　平均保険料収納額/人×軽減対象被保険者数×一定割合(※)
（※一定割合：７割軽減世帯12%・５割軽減世帯６%）
○出産育児一時金に要する費用の2/3相当額　ほか

歳出積算根拠（金額）

・保険基盤安定繰入金【補助対象】　242,094千円
・事務費繰入金　40,000千円
・出産育児一時金繰入金　420千円×60人×2/3 ＝ 16,800千円
・地方単独事業による国庫補助金減額分　9,500千円
・財政安定化支援事業繰入金　60,000千円
・生きがい健康づくり事業分　2,000千円×1/10 ＝ 200千円　（計 368,594千円）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

・国民健康保険基盤安定負担金
【国庫負担金】保険者支援分　40,921千円×1/2 ≒ 20,460千円
【県負担金】　保険者支援分　40,921千円×1/4 ≒ 10,230千円
保険料軽減分　201,174千円×3/4 ≒ 150,880千円　（県 161,110千円）

担当課	医療保険課						
事業名	高齢者医療一般						

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	12 役務費	1	手数料	1
	項	1 社会福祉費	19 負担金補助及び交付金	612,581	後期高齢者医療療養給付費負担金	584,806
	目	4 老人福祉費			鳥取県後期高齢者医療広域連合負担金	27,775
			28 繰出金	148,887	後期高齢者医療事業特別会計へ繰出	148,887

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
57	765,970	761,469		105,699		2	655,768

事業の概要、対象、意図など

・鳥取県後期高齢者医療広域連合事業への市負担金の支出
・後期高齢者医療制度に係る療養給付分の市負担金の支出
・後期高齢者医療事業特別会計への事務費分、保険料軽減分の繰出

歳出積算根拠（金額）

・後期高齢者医療療養給付費負担金(療養給付費×1/12)　584,806千円
・鳥取県後期高齢者医療広域連合負担金
一般会計分＋特別会計分＝ 3,986＋23,789 ＝ 27,775千円
（負担割合：均等割5.26%・市町村人口割8.49%・高齢者人口割9.23%）
・後期高齢者医療事業特別会計へ繰出
①保険基盤安定分【補助対象】　140,933千円
※後期高齢者医療保険料軽減に対して県3/4、市1/4の割合で負担
②事務費分（一般管理費、徴収費、特定健診等事業費）　7,954千円　（計 148,887千円）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

・後期高齢者医療保険基盤安定負担金
【県負担金】　140,933千円×3/4 ≒ 105,699千円

担当課	医療保険課
事業名	特別医療助成

予算科目			節		説明	
会計	一般					
歳入歳出	歳出		区分	金額		
款	3 民生費		11 需用費	274	消耗品費	96
項	1 社会福祉費				印刷製本費	178
目	5 特別医療助成費		12 役務費	10,688	通信運搬費	154
					手数料	10,534
			20 扶助費	293,600	特別医療扶助費	293,600

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
60	330,964	304,562		132,686		33,686	138,190

事業の概要、対象、意図など

障がいのある方（身体・知的・精神）、特定疾病患者、中学校卒業までの小児、ひとり親家庭の児童及びその養育者について、健康の保持及び生活の安定をはかるため、医療費の助成を行うもの。

歳出積算根拠（金額）

・特別医療扶助費【県補助対象】
- ①重度身体障がい 129,875千円
- ②重度知的障がい 10,794千円
- ③精神障がい 6,249千円
- ④特定疾病 933千円
- ⑤ひとり親家庭 21,542千円
- ⑥小児 119,464千円
- 計(①～⑥) 288,857千円

・審査支払手数料【県補助対象】
- 国保連 3,875千円
- 支払基金 6,336千円 計 10,211千円

・特別医療扶助費【市単独】
- ①身体障がい(重度以外) 1,157千円
- ②知的障がい(重度以外) 1,768千円
- ③精神障がい(通院) 1,664千円
- ④小学生(H22まで) 154千円
- 計(①～④) 4,743千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

【県補助金】
・特別医療費補助金 （補助基本額×補助率1/2）
- ①身障 52,378千円 ④特定疾病 466千円
- ②知的 2,245千円 ⑤ひとり親 10,370千円
- ③精神 2,810千円 ⑥小児 59,312千円 計(①～⑥)127,581千円

・特別医療事務費補助金
審査支払手数料×補助率 ＝ 10,211千円× 1/2 ≒ 5,105千円

【雑入】
・高額療養費返納金 33,686千円

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位：千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	3	1	1	24	1	長寿社会課	伯耆しあわせの郷管理運営委託	1	50,200	50,079
〃	〃	3	1	4	1	1	長寿社会課	老人福祉一般	2	762,463	681,581
〃	〃	3	1	4	2	1	長寿社会課	措置	3	139,924	112,617
〃	〃	3	1	4	3	1	長寿社会課	在宅福祉(間接補助)	3	3,836	1,272
〃	〃	3	1	4	4	1	長寿社会課	敬老会及び敬老の日記念	4	15,858	15,858
〃	〃	3	1	4	6	1	長寿社会課	シルバー人材センター補助	4	10,455	10,455
〃	〃	3	1	4	7	1	長寿社会課	老人憩の家管理	5	1,492	1,491
〃	〃	3	1	4	8	1	長寿社会課	在宅福祉(単県補助)	5	1,899	1,779
〃	〃	3	1	4	10	1	長寿社会課	高齢者生活福祉センター管理運営委託	6	8,200	7,973
〃	〃	3	1	4	21	1	長寿社会課	認知症にかかる支援体制整備事業(定住自立圏)	7	1,239	1,239

担当課	長寿社会課
事業名	伯耆しあわせの郷管理運営委託

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	11 需用費	200	修繕料	200
	項	1 社会福祉費	13 委託料	50,000	伯耆しあわせの郷指定管理料	50,000
	目	1 社会福祉総務費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
54	50,716	50,200				121	50,079

事業の概要、対象、意図など

【事業目的】
伯耆しあわせの郷を拠点として、高齢者を中心とした地域住民の生活文化の向上及び健康増進を図る事業を積極的に実施し、活力と潤いのある倉吉市の形成に寄与する。

【事業概要】
指定管理者による伯耆しあわせの郷の管理運営。
委託期間：平成26年４月１日から平成31年３月31日（５年間）

歳出積算根拠（金額）

伯耆しあわせの郷指定管理料　50,000千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

特定財源　伯耆しあわせの郷使用料　1千円
伯耆しあわせの郷光熱水費（食堂ガス代）　120千円

担当課	長寿社会課
事業名	老人福祉一般

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	8 報償費	40	報償金	40
	項	1 社会福祉費	11 需用費	496	消耗品費、燃料費、修繕料ほか	496
	目	4 老人福祉費	12 役務費	559	通信運搬費、手数料	559
			13 委託料	7,687	緊急通報システム事業運営委託料ほか	7,687
			14 使用料及び賃借料	667	会場借上料、機械借上料	667
			18 備品購入費	1,539	機械器具費	1,539
			19 負担金補助及び交付金	80,245	老人福祉施設建設利子補助金	245
					地域介護・福祉空間整備等交付金	80,000
			20 扶助費	1,259	緊急通報装置給付費ほか	1,259
			27 公課費	48	自動車重量税	48
			28 繰出金	669,923	介護保険事業特別会計へ繰出	669,923

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
57	724,717	762,463	80,000			882	681,581

事業の概要、対象、意図など

【事業目的】
高齢者に対し、介護予防及び生活支援等のための各種高齢者福祉事業を実施することにより、高齢者の自立した生活を確保し、もって福祉の増進に寄与する。

【事業概要】
・介護予防及び生活支援事業
・緊急通報システム事業
・はり・きゅう・マッサージ施術費助成事業等
・特別会計への繰出

歳出積算根拠（金額）

緊急通報システム事業運営委託料　4,065千円
軽度生活援助事業委託料　1,141千円
生活管理指導員派遣事業委託料　1,947千円
生活管理指導短期宿泊事業委託料　534千円
機械器具費　緊急通報端末機購入費　25台　1,539千円
老人福祉施設建設利子補助金　1施設　245千円
地域介護・福祉空間整備等交付金　特別養護老人ホームユニット化改修事業１施設
2,000千円×40床＝80,000千円
介護保険事業特別会計へ繰出　669,923千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

特定財源　生活管理指導員派遣手数料　468千円
生活管理指導短期宿泊手数料　53千円
軽度生活援助手数料　360千円
老人福祉事業寄附金　1千円
国庫：地域介護・福祉空間整備等交付金　特別養護老人ホームユニット化改修事業１施設
2,000千円×40床＝80,000千円

担当課	長寿社会課					
事業名	措置					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	13 委託料	139,924	養護老人ホーム入所委託料ほか	139,924
	項	1 社会福祉費				
	目	4 老人福祉費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
58	138,356	139,924				27,307	112,617

事業の概要、対象、意図など

【事業目的】
65歳以上の高齢者で環境上・経済上の理由により、居宅で養護が受けられない人を養護老人ホームへ入所させる。
身体上又は精神上の障がいがあるために日常生活を営むことに支障がある65歳以上の高齢者で、契約によって必要な介護サービスを受けることが著しく困難な者に対して、居宅における介護等の措置又は入所等の措置を取る。
【事業概要】
・養護老人ホーム入所措置事業
・老人福祉法に基づくやむを得ない措置事業

歳出積算根拠（金額）

デイサービス事業措置事業委託料　117千円
ホームヘルパー派遣事業委託料　117千円
特別養護老人ホーム入所委託料　165千円
認知症対応型共同生活介護事業委託料　77千円
養護老人ホーム入所委託料
　シルバー倉吉　（平成26年度入所予定者　47人）103,785千円
　母来寮（平成26年度入所予定者　22人）35,517千円
老人短期入所運営事業委託料　146千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

老人保護措置費負担金　（現年度分・滞納分）　27,307千円

担当課	長寿社会課					
事業名	在宅福祉(間接補助)					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	19 負担金補助及び交付金	3,836	老人クラブ補助金ほか	3,836
	項	1 社会福祉費				
	目	4 老人福祉費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
59	3,891	3,836		2,564			1,272

事業の概要、対象、意図など

【事業目的】
高齢者の生きがいや健康づくりを推進すること及び生計困難者に対する介護保険サービスに係る利用者負担を減免し低所得利用者の生活の安定と介護保険制度を円滑に実施する。
【事業概要】
・社会福祉法人等により、生計困難者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額減免事業
・老人クラブ活動等補助事業

歳出積算根拠（金額）

社会福祉法人利用者減免措置負担金
　介護老人福祉施設利用分　100千円
老人クラブ補助金
　単位老人クラブ助成金　2,396千円
　老人クラブ連合会助成費　1,340千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

県補助金　介護保険利用者負担軽減事業費補助金　100,000円×3/4　75千円（間接補助）
　在宅福祉事業費補助金
　　老人クラブ活動事業　単位老人クラブ　1,596千円
　　老人クラブ連合会　893千円

担当課	長寿社会課
事業名	敬老会及び敬老の日記念品

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	11 需用費	655	消耗品費、印刷製本費	655
	項	1 社会福祉費	12 役務費	33	通信運搬費、筆耕翻訳料	33
	目	4 老人福祉費	13 委託料	15,050	敬老会委託料	15,050
			14 使用料及び賃借料	120	自動車借上料	120

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
57	16,015	15,858					15,858

事業の概要、対象、意図など

【事業目的】
市内の高齢者の交流の場、生きがいの場の提供を図るとともに、100歳以上の高齢者の長寿を祝す。また、事業を実施することにより市民に老人の福祉についての関心と理解を深めてもらうもの。
【事業概要】
・敬老会事業　・敬老の日記念事業

歳出積算根拠（金額）

消耗品　新100歳記念品、最高齢者記念品、敬老会施設入所者記念品ほか　408千円
通信運搬　敬老会案内状ほか　24千円
敬老会委託料　15,050千円
基準額　81,000円×13地区　1,053千円
加算額　出席者分　2,700円×8,600人×0.35　8,127千円
欠席者分　900円×8,600人×0.65　5,031千円
来賓者分　2,700円×5人×13地区　175千円
役員分1,500円×2人×221自治公　663千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	長寿社会課
事業名	シルバー人材センター補助

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	19 負担金補助及び交付金	10,455	シルバー人材センター補助金ほか	10,455
	項	1 社会福祉費				
	目	4 老人福祉費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
59	10,455	10,455					10,455

事業の概要、対象、意図など

【事業目的】
シルバー人材センターに対し補助金を交付することにより、高齢者の就労機会の場を提供し生きがいのある生活への支援を図るもの。
【事業概要】
・シルバー人材センター補助金

歳出積算根拠（金額）

県シルバー人材センター連合会負担金　30千円
全国シルバー人材センター事業協会負担金　50千円
シルバー人材センター補助金
運営費 9,100千円
介護サービス促進事業（企画提案）　1,275千円

担当課	長寿社会課					
事業名	老人憩の家管理					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	11 需用費	1,047	消耗品費、光熱水費、修繕料	1,047
	項	1 社会福祉費	12 役務費	415	通信運搬費、手数料	415
	目	4 老人福祉費	13 委託料	30	老人憩の家管理委託料ほか	30

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
57	1,975	1,492				1	1,491

事業の概要、対象、意図など

【事業目的】
地域の高齢者に対し、心身の健康の増進を図るため、教養の向上及びレクレーション等の場を提供する。
【事業概要】
老人憩の家管理事業
5カ所の老人憩の家管理(福吉、上小鴨、高城、上米積、北谷)

歳出積算根拠（金額）

光熱水費　ガス、電気、上下水道代　797千円
修繕料　　５施設　一般修繕　250千円
手数料　　消防設備保守点検料、清掃手数料ほか　383千円
老人憩の家管理委託料　高城老人憩の家　20千円
北谷老人憩の家　10千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

老人憩の家電話使用料　1千円

担当課	長寿社会課					
事業名	在宅福祉(単県補助)					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	3 民生費	20 扶助費	1,899	高齢者居住環境整備助成金ほか	1,899
	項	1 社会福祉費				
	目	4 老人福祉費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
59	1,899	1,899		120			1,779

事業の概要、対象、意図など

【事業目的】
高齢者が住み慣れた地域でいきいきと自立した生活を送れるために、住環境整備の実施及び年金を受け取ることができない外国人高齢者等に対し、給付金を支給するもの。
【事業概要】
・高齢者居住環境整備事業
・在住外国人高齢者・障害者特別給付金支給事業

歳出積算根拠（金額）

高齢者居住環境整備助成金　533,000円×3人＝1,599千円
在住外国人高齢者障害者特別給付金　300千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

県補助金　外国人等高齢者福祉給付金支給事業補助金　20,000円×1人×12月×1/2　120千円
（単県補助）

担当課	長寿社会課			
事業名	高齢者生活福祉センター管理運営委託			
予算科目	会計	一般	節	説明
	歳入歳出	歳出	区分 / 金額	
	款	3 民生費	13 委託料 / 8,200	高齢者生活福祉センター指定管理料 8,200
	項	1 社会福祉費		
	目	4 老人福祉費		

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
58	8,200	8,200				227	7,973

事業の概要、対象、意図など

【事業目的】
高齢者生活福祉センターを管理運営することにより、介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供し、高齢者等が安心して健康で明るい生活ができるよう支援するもの。

【事業概要】
指定管理者による倉吉市高齢者生活福祉センターの管理運営。
委託期間：平成24年４月１日から平成29年３月31日(５年間)

歳出積算根拠（金額）

高齢者生活福祉センター指定管理料　8,200千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

高齢者生活福祉センター行政財産使用料　227千円

担当課	長寿社会課						
事業名	認知症にかかる支援体制整備事業(定住自立圏)						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	3 民生費	8 報償費	30	報償金	30	
	項	1 社会福祉費	11 需用費	40	消耗品費	40	
	目	4 老人福祉費	13 委託料	1,169	成年後見支援センター設置委託料	1,169	

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
57	1,461	1,239					1,239

事業の概要、対象、意図など

【事業目的】
認知症の人を早期発見し、適切な医療や認知症予防事業に繋げることを目指し、医療機関と連携し、早期発見を行うための体制づくりを構築する。また、認知症に係る介護事業の充実を図るため、中部市町(定住自立圏)で連携し取り組みの検討を行うもの。

【事業概要】
・認知症診断システム構築事業
タッチパネルを活用し早期発見した認知症の方を認知症疾患センター等の専門機関に繋げる。
・タッチパネル整備活用事業
定住自立圏で購入整備したタッチパネル５台を活用し認知症の早期発見を行う。
・若年性認知症専用デイサービス設置運営事業
県と連携し若年性認知症の居場所づくりを行う。
・成年後見支援センター設置委託
認知症等により意思決定できず、成年後見が必要な者の各種相談を行う拠点を整備する。
委託先：（一般社団）成年後見ネットワーク倉吉
運営費：運営費見込み7,440千円の内、3,000千円を県、3,000千円を中部市町、
残りを事業収入で運営

歳出積算根拠（金額）

成年後見支援センター設置運営委託料　1,169千円
１市４町で、3,000,000円を均等割：人口割：実績割（相談件数、後見受任件数）を
２：３：５（４,1)で負担する。
倉吉市分　均等割：3,000,000円×0.2/5市町　120,000円
人口割：3,000,000円×0.3×46.6%　419,400円
実績割（相談）3,000,000円×155件/366件×0.4　508,800円
実績割（後見受任）3,000,000円×4件/10件×0.1　120,000円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位:千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	4	1	1	3	1	保健センター	【一部新規】保健衛生一般	1	18,796	18,796
〃	〃	4	1	1	4	1	保健センター	１歳６か月児健康診査	1	1,380	1,380
〃	〃	4	1	1	5	1	保健センター	矢櫃保健指導所	2	6,123	5,015
〃	〃	4	1	1	6	1	保健センター	妊産婦新生児等訪問指導	2	557	557
〃	〃	4	1	1	7	1	保健センター	６か月児健康診査	3	768	768
〃	〃	4	1	1	8	1	保健センター	５歳児発達相談	3	265	265
〃	〃	4	1	1	9	1	保健センター	３歳児健康診査	4	3,435	3,435
〃	〃	4	1	1	10	1	保健センター	妊産婦・乳幼児健康診査	4	43,580	43,580
〃	〃	4	1	1	11	1	保健センター	母子健康教室	5	3,570	3,339
〃	〃	4	1	1	12	1	保健センター	【一部新規】保健センター運営	5	9,517	9,517
〃	〃	4	1	1	13	1	保健センター	未熟児養育医療	6	3,123	703
〃	〃	4	1	2	1	1	保健センター	感染症予防	6	88	88
〃	〃	4	1	3	4	1	保健センター	個別予防接種	7	126,418	126,418
〃	〃	4	1	3	8	1	保健センター	風しんワクチン接種費助成事業	7	453	229
〃	〃	4	1	5	2	1	保健センター	がん検診	8	66,796	64,333
〃	〃	4	1	5	3	1	保健センター	健康教育	8	1,693	1,327
〃	〃	4	1	5	4	1	保健センター	健康相談	9	443	360
〃	〃	4	1	5	5	1	保健センター	健康診査	9	3,072	1,479
〃	〃	4	1	5	6	1	保健センター	訪問指導	10	453	419

担当課	保健センター
事業名	【一部新規】保健衛生一般

予算科目		節		説明	
会計	一般				
歳入歳出	歳出	区分	金額		
款	4 衛生費	1 報酬	40	健康づくり推進協議会委員	40
項	1 保健衛生費	11 需用費	342	消耗品・印刷製本費等	342
目	1 保健衛生総務費	12 役務費	106	手数料	106
		19 負担金補助及び交付金	18,308	負担金	12,182
				補助金	6,126

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
73	19,052	18,796					18,796

事業の概要、対象、意図など

●中部ふるさと広域連合負担金
　中部地区の救急医療体制を確保するため、鳥取中部ふるさと広域連合が業務委託を行い、本市をはじめとする中部市町が実績に応じて負担金を支払う。
【新規】病院群輪番制病院設備整備補助
　病院群輪番制病院の設備整備に補助を行う。
●中部口腔衛生センター運営費補助金
　歯科保健事業を推進することを目的として、鳥取県中部歯科医師会口腔衛生センターに運営補助金を交付する。
●不妊・不育治療費助成金
　不妊・不育治療を受けている夫婦に対して、その治療に要する費用の一部を助成する。

歳出積算根拠（金額）

●負担金（中部ふるさと広域連合負担金）　12,182千円
　（【新規】病院群輪番制病院設備整備補助　714千円）
●補助金　6,126千円
　中部口腔衛生センター運営費補助金　1,426千円
　不妊治療費助成金　4,700千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	保健センター
事業名	1歳６か月児健康診査

予算科目		節		説明	
会計	一般				
歳入歳出	歳出	区分	金額		
款	4 衛生費	8 報償費	669	報償金	669
項	1 保健衛生費	11 需用費	99	消耗品費等	99
目	1 保健衛生総務費	12 役務費	50	通信運搬費	50
		13 委託料	512	診査委託料	512
		14 使用料及び賃借料	50	自動車借上料	50

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
74	1,633	1,380					1,380

事業の概要、対象、意図など

　母子保健法第12条に基づき、幼児の健康の保持及び増進を図ることと、子育て支援を目的として、１歳６か月児を対象に健康診査を実施する。
　また、月1回「すこやか健診」を設け、健診受診後に継続して支援、フォローが必要な幼児を対象に脳神経小児科医師の診察、相談、指導を行う。

歳出積算根拠（金額）

●報償費(医師・看護師等)　669千円
●委託料（健康診査委託料）　512千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	保健センター
事業名	矢櫃保健指導所

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	4	衛生費	2 給料	3,281	一般職給	3,281
項	1	保健衛生費	3 職員手当等	1,370	各種手当	1,370
目	1	保健衛生総務費	4 共済費	1,092	共済組合負担金等	1,092
			11 需用費	362	消耗品費等	362
			12 役務費	9	通信運搬費・手数料	9
			27 公課費	9	自動車重量税	9

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳　（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
73	6,251	6,123		1,108			5,015

事業の概要、対象、意図など

へき地保健指導所運営事業に基づき、関金矢櫃に保健指導所を設置し、保健師が住民に対し保健指導を行い健康の保持増進を図ることを目的とする。

歳出積算根拠（金額）

●給料(一般職給(保健師1名))　3,281千円
●職員手当等(一般職給(保健師1名))　1,370千円
●共済費(一般職給(保健師1名))　1,092千円
●需要費（事務用品・燃料費）　362千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

へき地保健指導所運営事業費補助金　2,217,707円×1/2= 1,108,853円
（給与費（人件費の内80日/244日）、需要費・役務費については基準額336,000円）

担当課	保健センター
事業名	妊産婦新生児等訪問指導

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	4	衛生費	8 報償費	495	報償金	495
項	1	保健衛生費	9 旅費	6	費用弁償	6
目	1	保健衛生総務費	11 需用費	56	消耗品	56

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳　（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
74	556	557					557

事業の概要、対象、意図など

保健師又は母子保健推進員（保健師または助産師）が妊産婦、新生児、乳幼児等の家庭を訪問して母子の健康状態の確認、育児の指導、相談に応じる。

歳出積算根拠（金額）

●報償金　495千円
　妊産婦訪問指導　1,650円×150人
　乳幼児訪問指導　1,650円×150人
●消耗品（パンフレット等）　56千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	保健センター
事業名	６か月児健康診査

予算科目						
会計	一般	節		説明		
歳入歳出	歳出	区分	金額			
款	4 衛生費	8 報償費	475	報償金	475	
項	1 保健衛生費	11 需用費	220	消耗品・印刷製本費	220	
目	1 保健衛生総務費	12 役務費	43	通信運搬費	43	
		14 使用料及び賃借料	30	自動車借上料	30	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
74	763	768					768

事業の概要、対象、意図など

母子保健法第13条に基づき、乳児の健康の保持及び増進を図ることと、子育て支援を目的として、６か月児を対象に健康診査を実施する。

歳出積算根拠（金額）

●報償費　　475千円
　小児科医師　　18,000円×24回
　在宅栄養士　　4,700円×　9回
●消耗品費（母子健康手帳等）　　214千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	保健センター
事業名	５歳児発達相談

予算科目						
会計	一般	節		説明		
歳入歳出	歳出	区分	金額			
款	4 衛生費	8 報償費	240	報償金	240	
項	1 保健衛生費	9 旅費	9	費用弁償	9	
目	1 保健衛生総務費	11 需用費	11	消耗品・食糧費	11	
		12 役務費	5	通信運搬費	5	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
74	203	265					265

事業の概要、対象、意図など

５歳児のうち、集団の中でのルールの理解や、他人とのコミュニケーションのとり方等、集団生活をする中で支援が必要な幼児に対して、脳神経小児科医師による発達相談を行う。
相談者の選定については、保護者からのアンケートと集団生活の場である保育園・幼稚園からのアンケートを参考にする。

歳出積算根拠（金額）

●報償金　　240千円
　脳神経小児科医師　　8,000円×5回×6時間
●需用費（事務用品費等）　　11千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	保健センター
事業名	３歳児健康診査

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	4 衛生費	1・4 報酬・共済費	2,097	非常勤嘱託報酬・共済金	2,097
	項	1 保健衛生費	8 報償費	705	報奨金	705
	目	1 保健衛生総務費	9 旅費	10	費用弁償	10
			11 需用費	182	消耗品費等	182
			12 役務費	51	通信運搬費	51
			13 委託料	340	診査委託料	340
			14 使用料及び賃借料	50	自動車借上料	50

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
73	3,493	3,435					3,435

事業の概要、対象、意図など

母子保健法第12条に基づき、幼児の健康の保持及び増進を図ることと、子育て支援を目的として、３歳児を対象に健康診査を実施する。

歳出積算根拠（金額）

●報酬・共済費(非常勤職託職員)　2,097千円
●報奨金（医師・看護師・在宅栄養士）　705千円
●需用費（事務用品費等）　149千円
●委託料(3歳児検診)　340千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	保健センター
事業名	妊産婦・乳幼児健康診査

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	4 衛生費	11 需用費	66	消耗品・印刷製本費	66
	項	1 保健衛生費	12 役務費	603	手数料	603
	目	1 保健衛生総務費	13 委託料	42,428	診査委託料	42,428
			20 扶助費	483	妊婦健康診査助成費	483

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
74	44,300	43,580					43,580

事業の概要、対象、意図など

母子保健法第13条に基づき、妊婦・乳児の健康診査を実施する。
●妊婦健康診査
妊婦の安心・安全な出産に向け、妊婦を対象に14回の妊婦健康診査の公費助成を行う。
●乳児健康診査
医療機関において異常の早期発見と発達の確認、育児指導を行う。
歯科口腔保健の推進に関する法律第10条に基づき実施する。
●妊婦歯科検診
妊娠中に1回歯科医療機関において公費負担で歯科検診を実施する。

歳出積算根拠（金額）

●役務費（手数料、妊婦・乳児分）　603千円
●委託料　42,428円
妊婦一般健康診査委託料（14回分）　37,689千円
乳児健康診査（3～4か月児、9～10か月児健診）　4,264千円
妊婦歯科検診　324千円
多胎児妊婦健康診査　151千円
●扶助費（里帰り等で県外において妊婦一般健康診査実施分の助成）　483千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	保健センター
事業名	母子健康教室

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	4	衛生費	1･4 報酬・共済費	2,097	非常勤嘱託報酬・共済金	2,097
項	1	保健衛生費	8 報償費	116	報奨金	116
目	1	保健衛生総務費	11 需用費	316	消耗品・印刷製本費	316
			12 役務費	1,027	手数料等	1,027
			14 使用料及び賃借料	14	自動車・機会借上料	14

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
73	3,536	3,570		231			3,339

事業の概要、対象、意図など

母子保健法第13条に基づき、妊婦・出産又は育児に関する知識の普及を行う。
（母親学級・両親学級・離乳食講習会・親子集団発達教室（にこにこ教室）・親と子の食育教室・いのちの教育学校出前講座（小学校））

歳出積算根拠（金額）

●報酬・共済費(非常勤職託職員)　2,097千円
●報償費（医師・助産師）　116千円
●需用費(食育関係食材費)　316千円
●役務費(通信運搬費・託児等)　1,027千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

子育て応援市町村交付金　231千円
　育児教室　357,330円×1/2＝178千円
　母親・両親学級　106,600円×1/2＝53千円

担当課	保健センター
事業名	【一部新規】保健センター運営

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	4	衛生費	1･4 報酬・共済費	2,097	非常勤嘱託報酬・共済金	2,097
項	1	保健衛生費	9 旅費	102	費用弁償・普通旅費	102
目	1	保健衛生総務費	11 需用費	356	消耗品費・修繕料	356
			12 役務費	1,615	通信運搬費・手数料	1,615
			14 使用料及び賃借料	779	機機借上料	779
			18 備品購入費	337	機械器具費	337
			19 負担金補助及び交付金	4,231	負担金	4,231

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
73	9,322	9,517					9,517

事業の概要、対象、意図など

市民の健康保持、増進を図るため、乳幼児健診、がん検診、保健指導及び健康教育事業等、保健事業の拠点となる保健センターの管理運営を行う。

歳出積算根拠（金額）

●報酬・共済費(非常勤職託職員)　2,097千円
●旅費(市内旅費・保健指導従事者研修会)　102千円
●需用費（事務用品等）　356千円
●役務費(システムソフトウエア保守業務・通信運搬費)　1,615千円
●使用料及び賃借料（コピー機等賃貸料等）779千円
●備品購入費　337千円
　【新規】ＡＥＤ購入費
●負担金補助及び交付金　4,231千円
　研修会参加負担金　24千円
　保健センター維持管理費負担金　4,207千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	保健センター						
事業名	未熟児養育医療						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	4 衛生費	11 需用費	2	消耗品	2	
	項	1 保健衛生費	12 役務費	1	手数料	1	
	目	1 保健衛生総務費	20 扶助費	3,120	養育医療費	3,120	

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
74	4,134	3,123	1,396	698		326	703

事業の概要、対象、意図など

身体の発育が未熟のまま生まれた未熟児に対する医療の給付を行う。(医師に入院治療が必要と認められ、指定の医療機関で入院治療をする場合に、医療費の自己負担分を公費で助成する。養育医療の給付を行ったときは、扶養義務者から、その負担額に応じて当該措置に要する費用の一部を徴収する。)

歳出積算根拠(金額)

●役務費(審査支払手数料)　1千円
●扶助費　3,120千円
　一般　100,525円×19件＝1,909,975円
　生保　1,209,274円×　1件＝1,209,274円

歳入積算根拠(特定財源)　補助対象経費、補助率など

未熟児等養育医療費国庫負担金　1,396千円　(2,792,644円×補助率1/2)
未熟児等養育医療費県負担金　698千円　(2,792,644円×補助率1/4)
未熟児養育医療費個人負担金　326千円　(100,525円×19人×17.10%)

担当課	保健センター						
事業名	感染症予防費						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	4 衛生費	3 職員手当等	6	特殊勤務手当	6	
	項	1 保健衛生費	11 需用費	72	消耗品	72	
	目	1 保健衛生総務費	12 役務費	10	手数料	10	

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
74	87	88					88

事業の概要、対象、意図など

感染症の予防に関する啓発及び感染症の発生が疑われる区域等の消毒を行う。

歳出積算根拠(金額)

●特殊勤務手当(消毒)　6千円
●需用費(消毒液等)　72千円
●役務費(消毒用白衣クリーニング代)　10千円

歳入積算根拠(特定財源)　補助対象経費、補助率など

担当課	保健センター
事業名	個別予防接種

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	4 衛生費	1・9 報酬・旅費	8	予防接種健康被害調査委員	8
	項	1 保健衛生費	11 需用費	1,252	消耗品・印刷製本費	1,252
	目	1 保健衛生総務費	12 役務費	2,412	通信運搬費・保険料	2,412
			13 委託料	108,072	個別予防接種委託料	108,072
			20 扶助費	14,674	予防接種助成費	14,674

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
73	92,249	126,418					126,418

事業の概要、対象、意図など

協力医療機関において、各種予防接種を個別に実施することで、伝染のおそれのある疾病の発生及び蔓延を予防する。
・定期予防接種の費用助成
・任意予防接種費用の一部助成

歳出積算根拠（金額）

●報酬・旅費（予防接種健康被害調査委員） 8千円
●需要費（消耗品・印刷製本費） 1,252千円
●役務費（通信運搬費・保険料） 2,412千円
●委託料（個別予防接種・季節性インフルエンザ（高齢者）） 108,072千円
●扶助費 14,674千円
　定期予防接種 35千円
　季節性インフルエンザ予防接種助成費 10,796千円
　高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種助成費 1,050千円
　水痘ワクチン助成費 1,541千円
　おたふくかぜワクチン助成費 1,252千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

担当課	保健センター
事業名	風しんワクチン接種費助成事業

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	4 衛生費	12 役務費	5	通信運搬費	5
	項	1 保健衛生費	20 助成費	448	風しんワクチン接種助成費	448
	目	1 保健衛生総務費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
74		453		224			229

事業の概要、対象、意図など

風しんの流行を予防し、生まれてくる子どもを先天性風しん症候群（CRS）から守るための対策として、風しんワクチン接種への一部助成を行う。

歳出積算根拠（金額）

●役務費（通信運搬費） 5千円
●扶助費 448千円
　風しんワクチン接種助成費 妊娠を希望する女性のうち、抗体価の低い者
　90人×0.4×8,000円＝288,000円
　妊婦の夫 20人×8,000円＝160,000円

風しんワクチン接種費助成事業 448千円×1/2＝224千円

担当課	保健センター
事業名	がん検診

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	4 衛生費	1・4 報酬・共済費等	2,097	非常勤嘱託	2,097
	項	1 保健衛生費	8 報償費	19	報奨金	19
	目	5 健康増進費	11 需要費	1,511	消耗品・印刷製本費	1,511
			12 役務費	4,459	通信運搬費	4,459
			13 委託料	58,710	がん検診委託料	58,710

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
78	61,518	66,796	1,282	424		757	64,333

事業の概要、対象、意図など

倉吉市の死因の第1位はがんであり、各地区公及び医療機関等において、各種がん検診（胃・肺・大腸・子宮・乳・前立腺）を実施することにより、がんの早期発見及び死亡者数を減少させることを目的とする。

医療機関・産業保健との連携により、がん検診の必要性をＰＲするとともに、休日検診を実施。また、昨年に引き続き、検診開始年齢である40歳と退職により職場での検診機会のなくなる60歳の人の検診に係る自己負担額を無料とする。

26年度より３年間、中部福祉保健局の協力により、がん検診受診率向上モデル事業を実施し受診率の向上を目指す。

歳出積算根拠（金額）

●報酬・共済費(非常勤職託職員) 2,097千円
●報償費(看護師) 19千円
●需用費(消耗品・印刷製本費等) 1,511千円
●役務費(通信運搬費) 4,459千円
●委託料(がん検診委託料) 58,710千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

国：がん検診推進事業費補助金 2,564,679円×1/2=1,282,000円
県：休日がん検診実施支援費補助金 560,000円×2/3=373,000円
県：健康増進事業費補助金 75,600円×2/3=51,000円
その他：がん検診個人負担金（医療機関一括検診） 757,500円

担当課	保健センター
事業名	健康教育

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	4 衛生費	8 報償費	601	報償金	601
	項	1 保健衛生費	11 需用費	813	消耗品費	813
	目	5 健康増進費	12 役務費	194	通信運搬費・保険料	194
			13 委託料	85	血液検査委託料	85

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
78	1,171	1,693		366			1,327

事業の概要、対象、意図など

生活習慣病やこころの健康などに関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、健康保持や自死を未然に防止することを目的とする。

全市とともに、健康づくり推進員、食生活改善推進員、くらよし元気体操普及員、地区公民館等と連携して各地区での健康教育を実施する。

健診結果で要指導（高血圧、高脂血症、糖尿病等）となった人を対象にハイリスクアプローチとして病態教室を実施する。

歳出積算根拠（金額）

●報償費(講師謝金) 601千円
●需用費(地区健康教室等) 813千円
●役務費（くらよし元気体操ボランティア保険・通信運搬費） 194千円
●委託料(健康教室血液検査) 85千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

健康増進事業費補助金 550,333円×2/3=366,000円

担当課	保健センター						
事業名	健康相談						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	4 衛生費	11 需用費	402	消耗品	103	
	項	1 保健衛生費			燃料費	299	
	目	5 健康増進費	12 役務費	41	通信運搬費	41	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
78	440	443		83			360

事業の概要、対象、意図など

健康に関する個別の相談に応じ必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資することを目的とする。
定例の健康相談を保健センターで月１回開催し、保健師・栄養士が相談に応じるとともに、随時、保健師・栄養士・歯科衛生士等が地区に出かけて健康に関する相談に応じる。

歳出積算根拠（金額）

●需用費(消耗品・燃料費)　402千円
●役務費(通信運搬費)　41千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

健康増進事業費補助金　124,650円×2/3= 83,000円

担当課	保健センター						
事業名	健康診査						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	4 衛生費	8 報償費	19	報奨金	19	
	項	1 保健衛生費	11 需用費	102	消耗品・印刷製本費	102	
	目	5 健康増進費	12 役務費	112	通信運搬費	112	
			13 委託料	2,800	健康診査委託料	2,800	
			14 使用料及び賃借料	28	会場借上料	28	
			20 扶助費	11	肝炎ウイルス検査助成費	11	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
78	3,215	3,072		1,593			1,479

事業の概要、対象、意図など

倉吉市では、がんに次いで脳卒中や心疾患など循環器疾患により死亡する割合が高いことから、これら循環器疾患を早期に発見し、生活習慣の改善や適切な治療につなげることにより、生活習慣病、特にメタボリックシンドロームの予防を図ることを目的とする。
平日に健診を受けることの難しい20歳以上の人のために、休日健診を実施する等、概受診者の利便性向上に向けた取組みを推進する。
肝炎ウイルス検査を、40～74歳の未受診者を対象に実施する。
昨年に引き続き、高齢期における健康を維持し食べる楽しみを享受できるよう、歯の喪失を予防することを目的として40歳・50歳・60歳の人を対象に歯周疾患検診を行う。

歳出積算根拠（金額）

●報償費（看護師）　19千円
●需要費（消耗品費・印刷製本費）　102千円
●役務費（通信運搬費）　112千円
●委託料（健康診査・肝炎ウイルス検査・歯周疾患検診）　2,800千円
●使用料及び賃借料（休日検診会場借上料）　28千円
●扶助費（肝炎ウイルス検査助成費）　11千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

健康増進事業費補助金　2,389,790円×2/3= 1,593,000円

担当課	保健センター						
事業名	訪問指導						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	4 衛生費	11 需用費	347	消耗品費・修繕料	57	
	項	1 保健衛生費			修繕料	290	
	目	5 健康増進費	12 役務費	76	保険料	76	
			27 公課費	30	自動車重量税	30	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
78	448	453		34			419

事業の概要、対象、意図など

保健指導が必要と認められる人及びその家族に対して家庭訪問し、健康問題を総合的に把握し、必要な保健指導を行い、健康の保持増進を図ることを目的とする。

歳出積算根拠（金額）

●需用費　347千円
　事務用品　57千円
　公用車点検・修繕等　290千円
●役務費（自治体保健事業賠償保険）　76千円
●公課費（自動車重量税）　30千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

健康増進事業費補助金　52,000円×2/3=34,000円

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位：千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	2	1	6	13	1	農林課	ふるさと農村活性化基金	1	19	0
〃	〃	6	1	2	2	1	農林課	農林行政対策	1	1,146	1,066
〃	〃	6	1	2	4	1	農林課	久米農村広場維持管理	2	348	348
〃	〃	6	1	2	6	1	農林課	農村環境改善センター管理	2	6,519	5,563
〃	〃	6	1	3	3	1	農林課	特定野菜等価格安定対策	3	900	900
〃	〃	6	1	3	7	1	農林課	健康農園維持管理	3	597	0
〃	〃	6	1	3	9	1	農林課	担い手規模拡大促進事業	4	10,640	10,639
〃	〃	6	1	3	11	1	農林課	農業経営基盤強化資金利子補助事業	4	357	179
〃	〃	6	1	3	14	1	農林課	農地を守る直接支払	5	103,408	29,602
〃	〃	6	1	3	15	1	農林課	地産地消推進	5	996	996
〃	〃	6	1	3	19	1	農林課	特産品生産振興対策事業	6	888	888
〃	〃	6	1	3	21	1	農林課	担い手経営展開支援リース事業	6	526	526
〃	〃	6	1	3	23	1	農林課	梨産地活性化事業	7	16,832	6,139
〃	〃	6	1	3	31	1	農林課	小規模零細地域営農確率促進対策	8	3,071	1,447
〃	〃	6	1	3	33	1	農林課	就農条件整備事業	8	5,328	1,778
〃	〃	6	1	3	35	1	農林課	就農応援交付金事業	9	800	267
〃	〃	6	1	3	38	1	農林課	鳥獣被害総合対策事業	10	11,757	6,014
〃	〃	6	1	3	42	1	農林課	経営所得安定対策事業	11	6,668	0
〃	〃	6	1	3	45	1	農林課	青年就農給付金事業	11	13,500	0
〃	〃	6	1	3	46	1	農林課	耕作放棄地再生利用推進事業	12	2,925	2,925
〃	〃	6	1	3	48	1	農林課	人・農地問題解決推進事業	12	9,944	0
〃	〃	6	1	3	49	1	農林課	がんばる農家プラン事業	13	6,587	2,196
〃	〃	6	1	4	1	1	農林課	畜産経営改善	14	247	247
〃	〃	6	1	4	2	1	農林課	畜産振興対策事業	14	1,620	1,620
〃	〃	6	1	4	4	1	農林課	優良雌子牛購入資金貸付	15	1,610	425
〃	〃	6	1	4	5	1	農林課	優良乳用牛購入資金貸付	15	500	500
〃	〃	6	1	5	1	1	農林課	【一部新規】土地改良	16	93,419	35,318
〃	〃	6	1	5	13	1	農林課	農業農村整備事業	17	33,300	13,170
〃	〃	6	1	5	19	1	農林課	環境保全型農業直接支払対策事業	17	2,522	1,161
〃	〃	6	1	5	20	1	農林課	農地・水保全管理支払交付金事業	18	29,326	28,026
〃	〃	6	1	6	1	1	農林課	農道維持管理	18	36,308	35,658
〃	〃	6	2	1	2	1	農林課	林業行政対策	19	115	115
〃	〃	6	2	2	1	1	農林課	林業経営改善	19	657	657
〃	〃	6	2	2	2	1	農林課	林道維持管理	20	7,052	4,302
〃	〃	6	2	2	3	1	農林課	森林基幹道整備	20	4,500	500
〃	〃	6	2	2	4	1	農林課	森林整備担い手育成対策	21	493	247
〃	〃	6	2	2	5	1	農林課	林業労働者福祉向上推進	21	593	593
〃	〃	6	2	2	6	1	農林課	県単林道	22	20	20
〃	〃	6	2	2	7	1	農林課	森づくり作業道整備	22	2,280	856
〃	〃	6	2	2	8	1	農林課	造林	23	8,146	214
〃	〃	6	2	2	9	1	農林課	森林病害虫防除	23	2,433	933
〃	〃	6	2	2	10	1	農林課	森林整備地域活動支援交付金	24	1,500	375
〃	〃	6	2	2	12	1	農林課	緊急間伐	24	3,024	3,024
〃	〃	6	2	2	20	1	農林課	緑の産業再生プロジェクト事業	25	11,250	0
〃	〃	6	2	3	1	1	農林課	市行造林	25	4,600	0
〃	〃	6	3	1	4	1	農林課	漁業雇用促進対策事業	26	3,500	234
〃	〃	6	3	1	5	1	農林課	カワウ繁殖抑制実証事業	26	108	55
〃	〃	6	3	1	6	1	農林課	内水面ギンザケ稚魚育成支援事業	27	2,182	728
〃	〃	11	1	1	1	1	農林課	現年度補助災害復旧	27	30,000	70
〃	〃	11	1	2	1	1	農林課	現年度単独災害復旧	28	10,000	5,900
								合計		495,061	206,421

担当課	農林課
事業名	ふるさと農村活性化基金

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	25 積立金	19	ふるさと農村活性化基金積立金	19
	項	1 総務管理費				
	目	6 財産管理費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
38	11	19				19	0

事業の概要、対象、意図など

基金造成し、その運用益等を活用して土地改良施設や農地を中心とした様々な地域資源を保全する共同活動について、地域の合意形成や保全・整備に必要な資材の提供等に必要な経費として支援する。

歳出積算根拠（金額）

ふるさと農村活性化基金積立金
基金利子 （旧倉吉分） 10,828,780円× 0.15%＝16,244円
（旧関金町分） 7,083,153円×0.025%＝ 1,771円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

ふるさと農村活性化基金利子 ≒ 19,000円

担当課	農林課
事業名	農林行政対策

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業費	1 報酬	48	市農林振興協議会報酬	48
	項	1 農業費	9 旅費	134	スイカ販売キャンペーンほか	134
	目	2 農業総務費	11 需用費	259	消耗品・燃料費・修繕料	259
			12 役務費	30	通信運搬費	30
			14 使用料及び賃借料	582	自動車借上料・機械借上料	582
			19 負担金補助及び交付金	93	倉吉地区農業士会負担金	63
					倉吉市農業再生協議会事務費負担金	30

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
83	1,444	1,146				80	1,066

事業の概要、対象、意図など

農林水産業の振興にかかる総務経費及び倉吉市農林振興協議会の開催、倉吉地区農業士会の負担金

歳出積算根拠（金額）

・報酬 2,000円×12人×2回＝48,000円
市農林振興協議会委員14名のうち、県職員2名を除く12名
・旅費 スイカ販売キャンペーン（市長）72,140円／ＩＪＵターン相談会（2回）61,240円
・需用費 消耗品費、公用車ガソリン、公用車修繕
・役務費 通信運搬費（郵送料） 30,000円
・公用車借上料 17,800円×12月×1.08＝230,688円
・機械借上料 複写機（2台）・パフォーマンスチャージ料等 350,670円
・倉吉地区農業士会負担金 農業士7人×9,000円＝63,000円
・倉吉市農業再生協議会事務費負担金 30,000円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

コピー使用料 1千円
農業費寄附金 1千円
建物総合共済分担金 78千円

担当課	農林課
事業名	久米農村広場維持管理

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業費	11 需用費	200	修繕料	200
	項	1 農業費	13 委託料	148	久米農村広場指定管理料	148
	目	2 農業総務費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
84	518	348					348

事業の概要、対象、意図など

農業者の健康及び福祉を増進するとともに地域住民の相互交流による連帯意識を高め、農業の振興に資することを目的に設置した久米農村広場の維持管理を指定管理者（北谷地区自治公民館協議会）に委託し、広場を適正かつ円滑に管理するもの。

また、破損しているフェンスを修繕を実施する。

歳出積算根拠（金額）

・修繕料　　フェンス修繕工事一式外　　200,000円
・指定管理料（平成26年度から5年間）　　148,000円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	農林課
事業名	農村環境改善センター管理

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業費	1 報酬	3,640	非常勤職員報酬	3,640
	項	1 農業費	4 共済費	585	社会保険料	585
	目	2 農業総務費	11 需用費	1,463	消耗品費、光熱水費等	1,463
			12 役務費	222	通信運搬費	87
					手数料	135
			13 委託料	463	警備委託料	143
					消防設備保守管理委託料	141
					清掃等委託料	179
			14 使用料及び賃借料	16	テレビ聴視料	16
			18 備品購入費	130	庁用器具費	130

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
83	6,501	6,519				956	5,563

事業の概要、対象、意図など

農家生活の改善及び合理化、農業者等農村在住者の健康推進、地域連帯感の増進と地域文化の向上を図ることを目的に建設された農村環境改善センターの管理運営を行う。

歳出積算根拠（金額）

施設運営維持管理費
- 非常勤職員報酬　3,640,000円（3人×12か月）
- 光熱水費　1,121,000円（上下水道56,000円　電気1,031,000円　ガス34,000円 ）
- 除雪作業手数料　135,000円（5回）
- 警備委託料　143,000円（夜間・休日警備）
- 消防設備保守管理委託料　141,000円（作動・外観・機能点検6ヶ月点検1回及び総合点検年1回）
- 清掃委託料　179,000円（年2回定期清掃・年1回特別清掃）
- 庁用器具費　130,000円（事務室エアコン）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

使用料
- 農村環境改善センター使用料　840,000円
- 行政財産使用料（自動販売機）　12,000円

諸収入
- 施設等充当協力金　102,000円
（自動販売機の売上の5%＋電気代）
- 公衆電話料　1,000円
- コピー使用料　1,000円

担当課	農林課						
事業名	特定野菜等価格安定対策						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	6 農林水産業費	19 負担金補助及び交付金	900	ブランド野菜価格安定対策事業費補助金	900	
	項	1 農業費					
	目	3 農業振興費					

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
86	799	900					900

事業の概要、対象、意図など

県が指定した対象産地が対象市場群に計画出荷したものに対して補償基準を下回った場合、生産者に価格差補給金を交付し、経営に及ぼす影響の緩和を図る。

歳出積算根拠（金額）

ブランド野菜価格安定対策事業【県 50%、市 15%、全農とっとり 10%、農協 25%】
・春ねぎ 4,204,800円×15%＝630,720円
・夏秋きゅうり（７～９月出荷） 952,400円×15%＝142,860円
・夏秋きゅうり（10～11月出荷） 839,100円×15%＝125,865円 合 計 899,445円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

担当課	農林課						
事業名	健康農園維持管理						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	6 農林水産業費	11 需用費	115	消耗品・電気・水道ほか	115	
	項	1 農業費	12 役務費	32	郵送料	32	
	目	3 農業振興費	13 委託料	72	関金健康農園管理委託料	72	
			14 使用料及び賃借料	378	土地賃借料	378	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
85	819	597				597	0

事業の概要、対象、意図など

野菜や花き等を栽培して自然と触れ合うとともに、農業に対する興味と理解を深める農業体験の場となる健康農園を市内に２ヶ所設置し、農園の運営・維持管理を行う。

歳出積算根拠（金額）

【消耗品費】消耗品 20,000円 【光熱水費】電気代・上下水道代 35,000円
【修繕費】ナンバープレート・案内看板修繕 60,000円 【役務費】郵送料 32,000円
【委託料】関金健康農園管理委託料 72,000円
【土地借上料】倉吉健康農園 333,001円 関金健康農園 44,903円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

健康農園入園料 597千円

担当課	農林課
事業名	担い手規模拡大促進事業

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業費	19 負担金補助及び交付金	10,640	担い手規模拡大促進事業費補助金	10,640
	項	1 農業費				
	目	3 農業振興費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
86	13,200	10,640				1	10,639

事業の概要、対象、意図など

認定農業者等の規模拡大意欲を喚起し、農地の集積と耕作放棄地の未然防止を図るとともに、将来地域の担い手となりうる特定農業団体等を育成する。
①認定農業者、準認定農業者が農業振興地域内にある農地について３年以上の賃貸借権設定を行った場合、②特定農業団体等が３種類以上の基幹的農作業を３年以上継続して受託した場合に要する経費に対して助成する。

歳出積算根拠（金額）

担い手規模拡大促進事業費補助金
・区分　　賃貸借（3年以上）
・助成単価　　8,000円/10a（賃貸借面積）
・対象面積　　13,300a×8,000円/10a＝10,640,000円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担い手規模拡大促進事業費補助金過年度返還金　1千円

担当課	農林課
事業名	農業経営基盤強化資金利子補助事業

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業費	19 負担金補助及び交付金	357	農業経営基盤強化資金利子補助金	357
	項	1 農業費				
	目	3 農業振興費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
86	386	357		178			179

事業の概要、対象、意図など

認定農業者が効率的・安定的な経営を目指し、農業経営基盤強化資金を借り受けた場合において、当該農業者の利子負担を軽減し、農家の経営安定を図る。

歳出積算根拠（金額）

農業経営基盤強化資金利子補助金
・継続分利子補助金　　226,311円
・平成26年度借入予定分　50,000千円×365/365日×0.26%＝130,000円　　合計　356,311円

県負担　356,311円×1/2＝178,155円　　178千円

担当課	農林課						
事業名	農地を守る直接支払						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	6 農林水産業費	4 共済費	90	社会保険料	90	
	項	1 農業費	7 賃金	575	事務賃金	575	
	目	3 農業振興費	11 需用費	183	消耗品費	143	
					燃料費	40	
			12 役務費	30	通信運搬費	30	
			14 使用料及び賃借料	151	機械借上料	151	
			19 負担金補助及び交付金	102,379	農地を守る直接支払交付金	102,379	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
85	103,204	103,408		73,806			29,602

事業の概要、対象、意図など

平成22年度から平成26年度までの5年間にわたり耕作放棄地を出さないことを約束すること（協定の締結）を条件に、農地の生産条件、耕作面積に応じた交付金を交付。
自立的かつ継続的な農業生産活動等の前向きな取組等を推進するため交付要件との交付金の単価等を設定。平成25年度　集落協定数　52協定

歳出積算根拠（金額）

●推進事務費　　1,029千円
●農地を守る直接支払交付金
・通常地域
　急傾斜（田）3,177.71a×21,000円/10a×0.8＋17,226.71a×21,000円/10a=41,514,642円
　緩傾斜（田）1,583.45a×8,000円/10a×0.8＋15,740.01a×8,000円/10a=13,605,415円
　緩傾斜（畑）　15.90a×3,500円/10a×0.8＋97.06a×3,500円/10a=38,458円
・知事特認地域
　急傾斜（田）996.27a×21,000円/10a×0.8＋18,379.18a×21,000円/10a=40,270,010円
　緩傾斜（田）484.03a×8,000円/10a×0.8＋8,300.01a×8,000円/10a=6,950,067円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

鳥取県農地を守る直接支払交付金等
・推進交付金　　1,029千円（交付対象経費1,029千円　　交付率　10/10）
・直接支払交付金　　72,777千円（交付対象経費102,379千円 交付率　通常地域：県3/4、市1/4、知事特認地域：県2/3、市1/3）

担当課	農林課						
事業名	地産地消推進						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	6 農林水産業費	8 報償費	88	市地産地消推進会議委員報償費	40	
	項	1 農業費					
	目	3 農業振興費			定住自立圏域地産地消推進協・委員報償費	48	
			11 需用費	72	消耗品・印刷製本費	72	
			19 負担金補助及び交付金	836	中部発！食のみやこフェスティバル負担金	836	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
85	1,070	996					996

事業の概要、対象、意図など

地産地消の推進を図るため、市地産地消推進協議会及び定住自立圏にかかる地産地消推進協議会の活動及び中部発！食のみやこフェスティバルの市負担金

歳出積算根拠（金額）

・市地産地消推進協議会　委員報酬　　2,000円×10人×2回＝40千円
・定住自立圏にかかる推進協議会委員報酬　2,000円×12人×2回＝48千円
・消耗品（市地産地消　協力店認証関係）　　27千円
・印刷製本費（市地産地消　協力店認証関係）　　45千円
・中部発！食のみやこフェスティバル市負担金（人口比・標準財政規模参照）　836千円

担当課	農林課				
事業名	特産品生産振興対策事業				
予算科目	会計	一般	節		説明
	歳入歳出	歳出	区分	金額	
	款	6 農林水産業費	19 負担金補助及び交付金	888	果樹共済補助金 888
	項	1 農業費			
	目	3 農業振興費			

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
86	1,117	888					888

事業の概要、対象、意図など

特産品である梨の生産振興及び栽培農家の経営安定を目的とし、果樹共済掛金の農家負担額の20%の任意助成を行う。

歳出積算根拠（金額）

共済加入農家負担額掛金：4,435,607円(H24年度実績)×助成率20%＝887,122円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

担当課	農林課				
事業名	担い手経営展開支援リース事業				
予算科目	会計	一般	節		説明
	歳入歳出	歳出	区分	金額	
	款	6 農林水産業費	19 負担金補助及び交付金	526	担い手経営展開支援リース助成金 526
	項	1 農業費			
	目	3 農業振興費			

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
86	526	526					526

事業の概要、対象、意図など

担い手の創意工夫や主体的な判断を尊重しつつ、その経営改善努力を側面から促すとともに、地域の関係者の合意形成を踏まえながら経営規模の拡大や集落営農組織の立ち上げなど地域農業の構造改革を促して担い手への支援の集中化・重点化を図るため、地域計画を踏まえた形で経営規模等の拡大に取り組む農業者、規模拡大等により経営改善に取り組む集落営農組織に対して、必要とする機械・施設のリース方式による導入を支援する。

歳出積算根拠（金額）

担い手経営展開支援リース助成金
・農事組合法人（助成期間平成21～27年度） 320,985円
・農業法人（助成期間平成21～27年度） 204,750円 合計 525,735円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

担当課	農林課
事業名	梨産地活性化

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業費	19 負担金補助及び交付金	16,832	次世代鳥取梨ブランド創出事業費補助金	7,157
	項	1 農業費				
	目	3 農業振興費			鳥取二十世紀梨ブランドリバイバル事業費補助金	9,675

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
86	6,981	16,832		10,693			6,139

事業の概要、対象、意図など

■次世代鳥取梨ブランド創出事業：梨新品種の導入、生産基盤の整備、戦略的な出荷販売を行うことにより、新たな鳥取梨ブランドの創出、鳥取県梨産地活性化ビジョンの実現化を図る。
【やらいや果樹園整備】やらいや果樹園に登録された園の果樹棚、網掛け施設等整備に係る経費補助（県3/4）
【生産基盤対策】新植・改植に係る経費補助（県2/3）、高接ぎに係る補助（県1/2）
果樹棚・網掛け施設・かん水施設等の整備に係る経費補助（県1/2）
【育成促進対策】新植・改植を行った者へ200千円/10a、高接ぎを行った者へ106千円/10aの奨励金を交付（県1/2、市1/2）
■鳥取二十世紀梨ブランドリバイバル事業：二十世紀梨の市場単価が再生産価格を下回った場合に価格補填（県1/3、市1/3）

歳出積算根拠（金額）

■次世代鳥取梨ブランド創出事業費補助金
・やらいや果樹園整備（県3/4）
果樹棚整備　50a　3,329,000円×3/4＝2,496,750円
・生産基盤対策（県2/3）
新植・改植(220a)　720本×2,500円/本＝1,800,000円×2/3＝1,200,000円
果樹棚整備　30a　1,290,000円×2/3＝860,000円
・育成促進対策（県1/2、市1/2）
新植・改植(130a)　130a×200,000円/10a＝2,600,000円
合　計　7,156,750円
■鳥取二十世紀梨ブランドリバイバル事業費補助金
価格補填単価200円／ケース（上限額）
対象ケース数72,556ケース×200円/ケース×2/3＝9,674,134円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

■次世代鳥取梨ブランド創出事業費補助金
・やらいや果樹園整備　3,329,000円×3/4＝2,496,750円
・生産基盤対策　3,090,000円×2/3＝2,060,000円
・育成促進対策　2,600,000円×1/2＝1,300,000円
■鳥取二十世紀梨ブランドリバイバル事業費補助金
72,556ケース×200円/ケース×1/3＝4,837,066円

担当課	農林課
事業名	小規模零細地域営農確立促進対策事業

予算科目						
会計	一般	節		説明		
歳入歳出	歳出	区分	金額			
款	6 農林水産業費	11 需用費	2,362	修繕料	2,362	
項	1 農業費	12 役務費	431	通信運搬費	214	
目	3 農業振興費			手数料	217	
		13 委託料	270	電気保安業務委託料	270	
		14 使用料及び賃借料	8	土地借上料	8	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
85	1,694	3,071				1,624	1,447

事業の概要、対象、意図など

●倉吉水耕栽培施設の保守点検、維持管理に係る経費
●上米積共同作業所兼集荷所の保守点検、維持管理に係る経費
●第２フルーピア防除用導水管埋設に伴う土地借上料

歳出積算根拠（金額）

●倉吉水耕栽培施設
災害修繕料・高圧受変電設備等修繕2,145千円／電話使用料214千円／
浄化槽法定検査・保守点検・清掃手数料131千円／電気保安業務委託料270千円
●上米積共同作業所兼集荷所
自動火災報知設備修繕217千円／消火器取替手数料・消防設備等保守点検手数料86千円
●第２フルーピア
防除用導水管埋設に伴う土地借上料８千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

●倉吉水耕栽培施設
建物総合損害共済災害共済金1,000千円／電話使用料214千円／
浄化槽法定検査・保守点検・清掃手数料131千円／電気保安管理料270千円
●第２フルーピア
受益者負担金８千円

担当課	農林課
事業名	就農条件整備事業

予算科目						
会計	一般	節		説明		
歳入歳出	歳出	区分	金額			
款	6 農林水産業費	19 負担金補助及び交付金	5,328	就農条件整備事業費補助金	5,328	
項	1 農業費					
目	3 農業振興費					

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
86	6,055	5,328		3,550			1,778

事業の概要、対象、意図など

本市の効率的かつ安定的な農業経営の担い手となるのにふさわしい青年等の就農の促進及び自立を支援するため、認定就農者等が就農及び就農時から５年以内（平成23年度以降就農の認定就農者等については３年以内）に新たに必要な機械及び施設を自ら整備する事業に対する補助を行うことにより、就農初期の経営基盤整備の負担軽減を図るもの。

歳出積算根拠（金額）

就農条件整備事業費補助金（県1/3、市1/6）

①長ネギ皮剥機、コンプレッサー、管理機導入	1,150,000円	× 1/2	＝	575,000円
②トラクター一式導入	2,920,000円	× 1/2	＝	1,460,000円
③ハウス移設（6m×25m）	760,000円	× 1/2	＝	380,000円
④トラクター、ネギ移植機導入	3,000,000円	× 1/2	＝	1,500,000円
⑤ネギ管理機一式、ネギ皮剥機一式、動力噴霧機一式導入	2,000,000円	×1/2	＝	1,000,000円
⑥動力噴霧機一式導入	825,300円	× 1/2	＝	412,650円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

鳥取県就農条件整備事業補助金（県1/3）

①1,150,000円×1/3	≒ 383,000円	②2,920,000円×1/3	≒ 973,000円
③ 760,000円×1/3	≒ 253,000円	④3,000,000円×1/3	≒ 1,000,000円
⑤2,000,000円×1/3	≒ 666,000円	⑥ 825,300円×1/3	≒ 275,000円

担当課	農林課
事業名	就農応援交付金事業

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業費	19 負担金補助及び交付金	800	就農応援事業費補助金	800
	項	1 農業費				
	目	3 農業振興費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
86	480	800		533			267

事業の概要、対象、意図など

認定就農者に対して、就農後最大３年間就農初期に係る運転資金・基盤整備費等に活用できる交付金を交付する。
【交付額】就農１年目：月額100千円・就農就農２年目：月額65千円・就農３年目：月額40千円
【負担区分】県2/3・市1/3

歳出積算根拠（金額）

就農応援事業費補助金
・平成26年８月就農予定者　100,000円×8ヶ月＝800,000円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

県負担　800,000円×2/3＝533,333円　　533千円

担当課	農林課
事業名	鳥獣被害総合対策事業

予算科目						
会計	一般	節		説明		
歳入歳出	歳出	区分	金額			
款	6 農林水産業費	8 報償費	2,600	報奨金	2,600	
項	1 農業費	11 需用費	25	消耗品費	25	
目	3 農業振興費	13 委託料	144	委託料	144	
		19 負担金補助及び交付金	8,988	鳥獣被害総合対策事業費補助金	8,988	

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
85	10,364	11,757		5,743			6,014

事業の概要、対象、意図など

イノシシ等の有害鳥獣の捕獲とその被害を防ぐための施設の設置を支援するとともに、捕獲奨励金を交付することにより、野生鳥獣による農林水産物等への被害を総合的に防止する。

【鳥獣被害総合対策事業費補助金】
・侵入を防止する対策･･･侵入防止柵の整備、緊急対応用として配備する侵入防止柵の資材
・個体数を減らす対策･･･捕獲班員の活動費、捕獲奨励金、捕獲班員の育成・確保

【有害鳥獣捕獲奨励金】
イノシシ・シカ・アライグマ 10,000円/頭、ヌートリア 3,000円/頭

歳出積算根拠（金額）

【報償金】
①有害鳥獣捕獲奨励金（県1/2、市1/2）
イノシシ　10,000円×150頭＝1,500,000円
シカ　10,000円×10頭＝100,000円
ヌートリア　3,000円×300頭＝900,000円
アライグマ　10,000円×0頭＝0円
計　2,500,000円
②有害鳥獣捕獲奨励金（猟期内）（市10/10）
イノシシ（保護区）　10,000円×10頭＝100,000円

【委託料】
有害鳥獣捕獲委託料
カワウ繁殖抑制実証事業に係るカワウ捕獲
8,000円×3人×6回＝144,000円

【消耗品】
罠用標識、事務用品等　25,000円（市10/10）

【鳥獣被害総合対策事業費補助金】
①侵入を防ぐ対策（県1/3、市1/3）
電気柵　L=10,000m　2,600,000円
ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ柵　L=5,000m　5,000,000円
計　7,600,000円×2/3＝5,066,667円
②個体数を減らす対策（捕獲班員の人件費及び砲弾代等の消耗品費）
JA　5,312,000円×2/3＝3,541,334円
その他 544,000円×2/3＝362,667円
③捕獲員の育成確保（狩猟免許取得に係る経費）
5,000円×５人×2/3＝16,667円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

・鳥獣被害総合対策事業費補助金
侵入を防ぐ対策　7,600,000円×1/3＝2,533,333円
有害鳥獣の捕獲　5,856,000円×1/3≒1,952,000円
捕獲員の育成確保　25,000円×1/3＝8,333円
有害鳥獣捕獲奨励金　2,500,000円×1/2＝1,250,000円

担当課	農林課				
事業名	経営所得安定対策事業				
予算科目	会計	一般	節		説明
	歳入歳出	歳出	区分	金額	
	款	6 農林水産業費	19 負担金補助及び交付金	6,668	経営所得安定対策推進事業費補助金 6,668
	項	1 農業費			
	目	3 農業振興費			

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
86	6,668	6,668		6,668			0

事業の概要、対象、意図など

経営所得安定対策制度の円滑な実施を図るため、実施主体である倉吉市農業再生協議会に対し、活動に要する経費を補助する。
・実施主体の活動内容
①農業者の生産数量目標の配分の実施
②産地交付金の要件の検討
③作付面積・作物等の確認
④農地集積・耕作放棄地解消のための推進活動

歳出積算根拠（金額）

補助金
・経営所得安定対策推進事業費補助金　6,668,000円（倉吉市農業再生協議会へ）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

経営所得安定対策推進事業費補助金　　6,668,000円（国費　県を通して）

担当課	農林課				
事業名	青年就農給付金事業				
予算科目	会計	一般	節		説明
	歳入歳出	歳出	区分	金額	
	款	6 農林水産業費	19 負担金補助及び交付金	13,500	青年就農給付事業費補助金 13,500
	項	1 農業費			
	目	3 農業振興費			

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
86	9,000	13,500		13,500			0

事業の概要、対象、意図など

市の人・農地プランに位置付けられている（又は位置づけられると見込まれる）原則45歳未満の独立・自営就農者に対して経営が不安定な就農直後（５年以内）の所得を確保する給付金を交付し、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。
・年間 150万円を給付
・最長５年間（市等が適切な就農をしていないと判断した場合は打ち切り）
・所得が250万円以上ある場合は給付しない

歳出積算根拠（金額）

青年就農給付金（経営開始型）
・前年度からの継続給付者　　1,500,000円×5人＝7,500,000円
・平成26年に給付要件を満たす予定の者　1,500,000円×4人＝6,000,000円　　合計　13,500,000円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

国費負担（県経由）　10/10

担当課	農林課						
事業名	耕作放棄地再生利用推進事業						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	6 農林水産業費	19 負担金補助及び交付金	2,925	耕作放棄地再生利用推進事業費補助金	2,925	
	項	1 農業費					
	目	3 農業振興費					

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
86	5,288	2,925					2,925

事業の概要、対象、意図など

市内耕作放棄地の早期解消を図るため、耕作放棄地を引き受けて再生作業及び施設等補完整備を行う農業者を支援する倉吉市農業再生協議会に対し、補助金を交付する。

歳出積算根拠（金額）

耕作放棄地再生利用推進事業費補助金（国1/2、県1/4、市1/4）
※国、県負担分は、鳥取県農業再生協議会を通して倉吉市農業再生協議会に交付。
事業実施主体：倉吉市農業再生協議会
再生予定地：下福田、国府、横田ほか
再生予定面積：2.6ha
事業費：450,000円/10a × 2.6ha ＝ 11,700,000円
助成額：11,700,000円 × 1/4 ＝ 2,925,000円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

担当課	農林課					
事業名	人・農地問題解決推進事業					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業費	9 旅費	14	普通旅費	14
	項	1 農業費	11 需用費	210	消耗品費	170
	目	3 農業振興費			燃料費	40
			12 役務費	40	通信運搬費	40
			14 使用料及び賃借料	80	機械借上料	80
			19 負担金補助及び交付金	9,600	農地集積協力金事業費補助金	8,100
					規模拡大事業費補助金	1,500

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
85	8,444	9,944		9,944			0

事業の概要、対象、意図など

●人・農地プラン作成事業
集落レベルでの話し合いに基づき、農地集積を含む地域農業のあり方を記載した人・農地プラン（地域農業マスタープラン）を作成する。
●農地集積協力金交付事業及び規模拡大交付金交付事業
人・農地プランに基づく農地集積に協力する農地の所有者及び規模拡大を行う地域の中心となる経営体に対して、農地集積協力金又は規模拡大交付金を交付する。

歳出積算根拠（金額）

●人・農地プラン作成事業〔国10/10〕 344千円
●農地集積協力金交付事業〔国10/10〕
・経営転換協力金 0.5ha以下 300,000円/戸×６戸＝1,800千円
・経営転換 協力金0.5ha超2.0ha以下 500,000円/戸×12戸＝6,000千円
・分散錯圃協力金 5,000円/10a×6.0ha＝ 300千円
●規模拡大交付金交付事業〔国10/10〕
・規模拡大交付金 20,000円/10a×7.5ha＝1,500千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

鳥取県人・農地問題解決推進事業費補助金（国10/10）
●人・農地プラン作成事業 344千円
●農地集積協力金交付事業 8,100千円
●規模拡大交付金交付事業 1,500千円

担当課	農林課
事業名	がんばる農家プラン事業

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業費	19 負担金補助及び交付金	6,587	がんばる農家プラン事業費補助金	6,587
	項	1 農業費				
	目	3 農業振興費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
86	33,287	6,587		4,391			2,196

事業の概要、対象、意図など

やる気のある農業者等が作成した、生産、流通等に関する計画（がんばる農家プラン）を県が認定し、プランの実現に必用な支援を県と市が行うことにより元気な農業者を育成するとともに地域農業の振興を図る。
（補助率：県1/3、市1/3）

※鳥取県版「農」の雇用緊急支援事業に関連する場合は（県1/2、市1/6）

歳出積算根拠（金額）

①後継者育成と新規雇用による規模拡大プラン（認定農業者A）
・乾燥作業場　6,649,000円　→補助金　6,649,000円×1/2(県1/3、市1/6)=3,324,500円

②地域から荒廃農地をなくすんだ！地域よし！くらしよし！！
～地域の担い手と決意した農業増産プラン～（認定農業者B）

・色彩選別機　　１台　2,505,000円
・田植機（８条）１台　4,020,000円　→補助金　6,525,000円×1/2（県1/3、市1/6)＝3,262,500円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

がんばる農家プラン事業費補助金
①認定農業者A　6,649,000円×1/3＝2,216,333円
②認定農業者B　6,525,000円×1/3＝2,175,000円

担当課	農林課					
事業名	畜産経営改善					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業費	8 報償費	210	報償金	210
	項	1 農業費	19 負担金補助及び交付金	37	県畜産推進機構負担金	37
	目	4 畜産業費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
86	246	247					247

事業の概要、対象、意図など

畜産に関する生産振興及び経営技術の指導、情報提供等による生産技術及び知識の普及啓発並びに家畜排せつ物の管理に関する技術の指導を行うとともに、肉用子牛生産者補給金の交付等により家畜等の価格の安定を図り、あわせて畜産物の消費及び流通の促進等を行うことにより、倉吉市の畜産振興に寄与する。

歳出積算根拠（金額）

○報償金
家畜の繁殖と飼養管理技術の改善を促し、畜産農家の生産意欲の向上を図るために開催される各共進会の出品者に対し、1頭あたり5,000円を支払い。
・中部畜産共進会出品報償金　　出品和牛20頭 × 5,000円/1頭 ＝ 100,000円
・鳥取県畜産共進会出品報償金　出品牛(和牛17頭＋乳牛5頭) × 5,000円/1頭 ＝ 110,000円

○県畜産推進機構負担金
鳥取県畜産推進機構会費（均等割20%、戸数割40%、頭羽数割40%で算出）　年度会費：36,100円

担当課	農林課					
事業名	畜産振興対策事業					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業費	19 負担金補助及び交付金	1,620	優良子牛生産対策事業費補助金	250
	項	1 農業費			肉用牛肥育経営安定対策事業費補助金	642
	目	4 畜産業費			和牛子牛改良促進事業費補助金	235
					養豚経営安定対策事業費補助金	267
					養豚疾病予防対策事後湯費補助金	226

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
87	1,603	1,620					1,620

事業の概要、対象、意図など

本市の畜産振興及び畜産農家の経営の維持・発展を図るため、繁殖等に係る費用について助成を行う。

歳出積算根拠（金額）

○優良子牛生産対策事業費補助金（市1/4）
優良精液の導入に係る費用を助成。
事業費：200頭 × 5,000円 ＝ 1,000,000円　　補助金：1,000,000円 × 1/4 ＝ 250,000円
○肉用牛肥育経営安定対策事業費補助金
肉用牛枝肉価格低落等による所得低下時に補填金を支出する基金に積立てている額の生産者負担の10%を補助
・肉用種：12,000円 × 10% × 140頭 ＝ 168,000円
・交雑種：20,000円 × 10% × 170頭 ＝ 340,000円
・乳用種：16,700円 × 10% × 80頭 ＝ 133,600円
○和牛子牛改良促進事業費補助金（市1/3）
牛の改良・増殖に必要な受精卵移植における採卵に要する経費を助成
事業費：43,900円/頭 × 16頭 ＝ 702,400円　補助金：702,400円 × 1/3 ＝ 234,134円
○養豚経営安定対策事業費補助金
豚肉価格低落等による所得低下時に補填金を支出する基金に積み立てている額の生産者負担の10%を補助
667円 ×10% × 4,000頭 ＝ 266,800円
○養豚疾病予防対策事後湯費補助金
従来の豚サーコウイルスワクチンから新開発された豚マイコプラズマ・サーコウイルス混合ワクチンへの切り替えを推進するにあたり、価格の上昇が推進の弊害となるため、差額の一部を助成
従来：16,500円　　新開発：25,000円　　差額：8,500円
8,500円 × 80本（4,000頭分） × 1/3 ≒ 226,000円

担当課	農林課
事業名	優良雌子牛購入資金貸付

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業費	8 報償費	10	報償金	10
	項	1 農業費	21 貸付金	1,600	優良雌子牛購入資金貸付金	1,600
	目	4 畜産業費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
86	1,610	1,610				1,185	425

事業の概要、対象、意図など

繁殖農家に対して優良繁殖用雌子牛の購入資金を貸付することにより、繁殖雌牛の能力向上を図り、経済性の高い畜種の生産確保と改良増殖の促進を図る。

【貸付条件】
- 貸付利息：無利子
- 貸付期間：5年以内

歳出積算根拠（金額）

○貸付審査会審査報償金
貸付申込時の審査会に出席を依頼するJA和牛生産部支部長に対し、1回あたり2,000円を支払い。
2,000円 × 1人 × 5回 ＝ 10,000円

○優良雌子牛購入資金貸付金
貸付金額：400,000円/1頭（1農家3頭まで）
400,000円 × 4頭 ＝ 1,600,000円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

貸付期間満了に伴う貸付金の償還
【平成21年度貸付分】
- 385,350円/1頭 × 1頭 ＝ 385,350円（貸付期限：H26.6.7）
- 400,000円/1頭 × 1頭 ＝ 400,000円（貸付期限：H26.12.6）
- 400,000円/1頭 × 1頭 ＝ 400,000円（貸付期限：H26.10.21）

担当課	農林課
事業名	優良乳用牛購入資金貸付

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業費	21 貸付金	500	優良乳用牛購入資金貸付金	500
	項	1 農業費				
	目	4 畜産業費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
87	500	500					500

事業の概要、対象、意図など

農業経営者に対して優良乳用雌牛の購入資金を貸付することにより、乳用雌牛の品質改良を促進し、酪農経営の発展を図る。

【貸付条件】
- 貸付利息：無利子
- 貸付期間：5年以内

歳出積算根拠（金額）

優良乳用牛購入資金貸付金
貸付金額：500,000円/1頭（1農家3頭まで）
500,000円 × 1頭 ＝ 500,000円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

担当課	農林課
事業名	【一部新規】土地改良

予算科目

会計	一般
歳入歳出	歳出
款	6 農林水産業費
項	1 農業費
目	5 農地費

節 区分	金額	説明	
7 賃金	463	労務賃金	463
11 需用費	240	消耗品費	150
		燃料費	40
		印刷製本費	10
		修繕料	40
12 役務費	120	手数料	120
14 使用料及び賃借料	3,967	自動車借上料	427
		機械借上料	3,540
15 工事請負費	6,588	整備工事	6,588
16 原材料費	4,500	工事材料費	4,500
19 負担金補助及び交付金	77,541	県農業農村整備事業推進協議会負担金	24
		県営特定農業用管水路等特別対策事業費負担金	4,500
		県営農業用河川工作物応急対策事業費負担金	396
		東伯中央地区広域農道市町精算負担金	20,636
		県営地域ため池総合整備事業費負担金	22,260
		中部土地改良事業推進協議会負担金	16
		県営農業農村小水力発電施設導入事業負担金	24,684
		県土地改良事業団体連合会負担金	412
		土地改良事業費補助金	4,613

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
87	41,340	93,419	3,600	3,750	33,800	16,951	35,318

事業の概要、対象、意図など

農地の保全及び農業経営の発展のために、農業用施設の適正な維持管理を図るもの。
・農業用施設等の補修整備を行う団体(自治公民館、改良区等)を対象に、これに要する資材の支給及び建設機械等の借上げを実施。
・土地改良事業費補助金交付(債務負担行為)
・県営事業費負担金
・団体営土地改良費補助金

歳出積算根拠（金額）

・機械借上料　農業用施設補修用重機等の借上　上限110千円(税込)
・【新規】横手地区農業基盤整備事業　6,588千円
・原材料支給　農業用補修施設材料　上限130千円(税込)
・土地改良事業費補助金　債務負担行為
・県営事業負担金
『鳥取県農林水産部所管事業に係る市町村負担金通知要領』に基づき協議、市負担金を決定。

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

・地元負担金
『鳥取県県営土地改良事業に係る受益者分担金通知要領』に基づき協議、地元負担金を決定。
・土地改良事業債（10万円未満切捨）　計33,800千円

担当課	農林課
事業名	農業農村整備事業

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業費	13 委託料	3,500	測量設計委託料	3,500
	項	1 農業費	15 工事請負費	29,800	整備工事	29,800
	目	5 農地費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
88	39,000	33,300		13,470		6,660	13,170

事業の概要、対象、意図など

老朽化した農業用施設の改修整備を行い、農業経営の安定化と維持管理の軽減を図るもの。

歳出積算根拠（金額）

・測量設計委託料　一式　3,500,000円
・農業農村整備事業

関金町堀水路改修	L＝100m	2,500,000円	西鴨放水路設置	L＝30m	1,500,000円
黒見水路改修	L＝ 80m	1,500,000円	野添水路改修	L＝80m	1,500,000円
大谷水路底張り	一式	5,500,000円	大宮樋門改修	一式	1,500,000円
中野簡易区画変更	一式	1,500,000円	小鴨水路改修	L＝80m	1,500,000円
上神ため池補修	一式	2,800,000円	上神ため池補修	一式	1,500,000円
中河原水路改修	L＝100m	2,000,000円	福守町水路改修	L＝100m	2,500,000円
穴窪水路目地補修	L＝100m	2,500,000円	天神野土地暗渠	一式	1,500,000円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

・しっかり守る農林基盤交付金（単県補助金）　補助率　40%及び50%　13,470,000円
・土地改良事業費分担金　負担率　20%　6,660,000円

担当課	農林課
事業名	環境保全型農業直接支援対策事業

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業費	11 需用費	70	消耗品費	35
	項	1 農業費			燃料費	35
	目	5 農地費	12 役務費	30	通信運搬費	30
			14 使用料及び賃借料	100	機械借上料	100
			19 負担金補助及び交付金	2,322	環境保全型農業直接支援対策事業費補助金	2,322

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
87	2,640	2,522		1,361			1,161

事業の概要、対象、意図など

農業者が、化学肥料・化学合成農薬の使用を県慣行基準の５割以上低減した上で地球温暖化や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む場合、取組面積に応じた支援を行う。
・支援対象者　販売農家、集落営農組織　等
・支援取組　カバークロップの作付け、リビングマルチの実施、有機農業の実施　等
・支援水準　8,000円/10a（国から農家への直接交付＋県・市の補助金）
内訳：国4,000円/10a（直接交付）、県2,000円/10a、市2,000円/10a

歳出積算根拠（金額）

・消耗品費　事務用消耗品　35,000円
・燃料代　公用車ガソリン代　35,000円（H25決算見込　35,000円）
・郵便料　30,000円（H25決算見込　30,000円）
・機械借上料　コピー機借上料　40,000円（普通複写機　10,000円×4月、カラー複写機6月）
・補助金　2,322,000円（交付対象6,300a×8,000円≒4,644,000円×1/2）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

環境保全型農業直接支払交付金
・補助金　1,161,000円（総事業費　4,644,000円×1/4＝1,161,000円）
環境保全型農業直接支払推進交付金
・補助金　200,000円（推進事務費　200,000円）

担当課	農林課						
事業名	農地・水保全管理支払交付金事業						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	6 農林水産業費	4 共済費	68	社会保険料	68	
	項	1 農業費	7 賃金	431	事務賃金	431	
	目	5 農地費	9 旅費	40	普通旅費	40	
			11 需用費	341	消耗品費	134	
					燃料費	207	
			12 役務費	120	通信運搬費	120	
			14 使用料及び賃借料	300	機械借上料	300	
			19 負担金補助及び交付金	28,026	農地・水保全管理支払交付金事業負担金	28,026	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
87	26,476	29,326		1,300			28,026

事業の概要、対象、意図など

地域の手で農地、農業用水や地域環境を守る取り組みについて支援を行う。
平成24年度から第2期として平成28年度までの5年間対策として継続。
【共同活動】　水路の草刈、泥上、農道の砂利補修など「農地、水路等の資源の管理」を支援。
【向上活動】　老朽化が進む農業用用排水路等の長寿命化のための補修、更新を行う組織を支援。

歳出積算根拠（金額）

・農地・水保全管理支払交付金：協定対象農用地の面積に応じて交付金を交付
【共同活動】　単　　価：水田5,400円/10a　畑3,440円/10a　草地490円/10a
負担割合：国1/2、県1/4、市1/4
（日本型直接支払制度への移行を見込み、予算を算出）
【向上活動】　単　　価：水田4,400円/10a　畑2,000円/10a　草地400円/10a
負担割合：国1/2、県1/4、市1/4

・市町村推進交付金：事業推進に際し、各組織への指導・助言等に係る費用　：　1,300千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

・市町村推進交付金：事務費の10/10（国）が助成される。

担当課	農林課						
事業名	農道維持管理						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	6 農林水産業費	4 共済費	405	社会保険料	405	
	項	1 農業費	7 賃金	2,786	労務賃金	2,786	
	目	6 農道整備事業費	11 需用費	1,189	消耗品費	241	
					燃料費	150	
					光熱水費	88	
					修繕料	710	
			13 委託料	29,843	清掃等委託料	2,000	
					農道管理委託料	27,843	
			14 使用料及び賃借料	98	自動車借上料	98	
			15 工事請負費	1,000	整備工事	1,000	
			16 原材料費	300	工事材料費	300	
			18 備品購入費	171	機械器具費	171	
			19 負担金補助及び交付金	516	農道台帳管理費負担金	516	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
89	36,646	36,308		650			35,658

事業の概要、対象、意図など

市管理農道を常に良好な状態に管理し、農道としての機能を十分に発揮させる。
農道としての機能を維持するため、巡視するとともに維持管理（委託を含む）を行う。
・3名の維持管理作業員を雇用(6か月)し、市の管理責任にある農道の維持管理を行う。

歳出積算根拠（金額）

維持管理作業員の雇用関係　　3,721千円
農道維持管理関係　　28,684千円
しっかり守る農林基盤交付金対象　1,300千円（・整備工事1,000,000円、工事材料費300,000円）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

しっかり守る農林基盤交付金
（1,000,000円　＋　300,000円）× 1/2　＝650千円

担当課	農林課
事業名	林業行政対策

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業	19 負担金補助及び交付金	115	広域基幹林道円谷広瀬線緑を守り育てる会負担金	45
	項	2 林業費				
	目	1 林業総務費			県緑化推進委員会負担金	70

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
90	115	115					115

事業の概要、対象、意図など

林業の振興を図ることを目的とし、団体運営事業費を負担するもの。

歳出積算根拠（金額）

・広域基幹林道円谷広瀬線緑を守り育てる会負担金　45,000円
・県緑化推進委員会負担金　69,500円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	農林課
事業名	林業経営改善

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業	11 需用費	75	消耗品費	25
	項	2 林業費			修繕料	50
	目	2 林業振興費	12 役務費	161	保険料	161
			13 委託料	309	清掃等委託料	214
					高城山休養施設維持管理業務委託料	25
					四王寺山山村広場施設維持管理業務委託料	70
			19 負担金補助及び交付金	112	県治山林道協会負担金	112

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
90	374	657					657

事業の概要、対象、意図など

緑地休養施設等の維持管理を行い、人と森林のふれいの促進を図ることを目的とし、各施設の維持管理、団体運営事業費の負担を行うもの。

歳出積算根拠（金額）

・主なもの
　・市行造林国営保険　160,789円
　・高城山休養施設維持管理業務委託料　25,000円
　・四王寺山山村広場施設維持管理業務委託料　70,000円
　・【新規】県治山工事支障木処理業務（市管理部分）　213,840円
　・県治山林道協会負担金　112,000円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	農林課						
事業名	林道維持管理						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	6 農林水産業	7 賃金	1,314	労務賃金	1,314	
	項	2 林業費	11 需用費	1,020	消耗品費	10	
	目	2 林業振興費			燃料費	10	
					修繕料	1,000	
			12 役務費	218	保険料	218	
			14 使用料及び賃借料	1,000	機械借上料	1,000	
			15 工事請負費	2,500	維持補修工事	2,500	
			16 原材料費	1,000	工事材料費	1,000	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
90	14,706	7,052		2,750			4,302

事業の概要、対象、意図など

市管理林道を常に良好な状態に管理し、林道としての機能を十分に発揮させることを目的とし、市管理林道について、倒木処理・側溝清掃・除草作業を行うとともに、地元管理林道及び作業道について、補修を行おうとする地区に対して、機械借上料、砕石、生コンを支給するもの。

歳出積算根拠（金額）

・林道維持管理費（除草・倒木処理・側溝清掃） 1,313,200円
・市管理林道維持管理消耗品費（草刈機ﾁｯﾌﾟｿｰ等） 10,000円
・市管理林道維持管理燃料費（草木機用混合油等） 10,000円
・管理林道除草業務損害総合保険料 217,460円
〈しっかり守る農林基盤交付金対象〉
・市管理林道修繕費（路肩修繕等） 1,000,000円
・林道補修用重機借上料 1,000,000円
・林道維持補修工事 2,500,000円
・林道補修材料 1,000,000円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

・しっかり守る農林基盤交付金
（H26県への要望事業費）5,500,000円 × 1/2 ＝2,750,000円

担当課	農林課						
事業名	森林基幹道整備						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	6 農林水産業	19 負担金補助及び交付金	4,500	広域基幹林道整備事業費負担金	4,500	
	項	2 林業費					
	目	2 林業振興費					

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
91	7,500	4,500			4,000		500

事業の概要、対象、意図など

森林整備の基礎となる骨格的な林道を開設し、民有林の合理的な管理経営及び公益的機能の維持増進し、地域振興に寄与し山村及び林業の活性化を図るため。
事業主体 鳥取県
事業計画 平成8年度から平成26年度まで
全体事業量 L＝11,900m

歳出積算根拠（金額）

・広域基幹林道（山守矢送線）整備事業費負担金
工事費 6,000,000円 × 負担率7.5% ＝ 4,500,000円
・平成26年度計画 法面工 延長＝806m

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

・林道整備事業債（10万円未満切捨て）
4,500,000円 × 90% ≒ 4,000,000円

担当課	農林課
事業名	森林整備担い手育成対策

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業費	19 負担金補助及び交付金	493	森林整備担い手育成対策事業費補助金	493
	項	2 林業費				
	目	2 林業振興費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
91	1,410	493		246			247

事業の概要、対象、意図など

森林整備の担い手である林業労働者を育成・確保するため、林業労働者の技術向上、労働条件の改善を図る。林業労働者の社会保険料に係る事業主負担分の1/2を補助。

歳出積算根拠（金額）

・助成対象労働者　３団体（３名分）
・事業主負担社会保険料　計　986,000円×1/2(県1/4、市1/4)　＝　493千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

・森林整備担い手育成対策事業費補助金
　986,000円　×　1/4　≒　246千円

担当課	農林課
事業名	林業労働者福祉向上推進

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業費	19 負担金補助及び交付金	493	林業労働者福祉向上推進事業費補助金	593
	項	2 林業費				
	目	2 林業振興費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
91	581	593					593

事業の概要、対象、意図など

林業労働者の年金への加入を促進するとともに年末一時金を完全支給することにより、生活の安定と福祉の向上を推進し、林業労働者の安定的確保を図る。
財団法人鳥取県森林担い手育成財団の取り扱う共済年金および年末一時金の支給に要する経費の4/10を県内市町村が共同して補助。

歳出積算根拠（金額）

・事業費　：14,632,000円
・負担割合：県4/10、関係市町村4/10、林業団体2/10
　→関係市町村のうち、倉吉市の負担割合10.12273%(林業就労促進基金への拠出金額割合)
・補助金　：14,632,000円　×　4/10　×　10.12273%　≒　593千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	農林課
事業名	県単林道

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業費	17 公有財産購入費	10	土地購入費	10
	項	2 林業費	22 補償補填及び賠償金	10	補償金	10
	目	2 林業振興費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
91	0	20					20

事業の概要、対象、意図など

山村及び林業の活性化の促進を図るため森林整備の基礎となる森林基幹林道を開設することを目的とし、森林基幹林道山守矢送線開設工事に伴う、用地を取得し立木を補償するもの。

歳出積算根拠（金額）

・基幹林道山守矢送線用地購入費　　9,375円
・基幹林道山守矢送線開設工事立木補償費（対象本数3本）　10,000円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	農林課
事業名	森づくり作業道

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業費	19 負担金補助及び交付金	2,280	森づくり作業道整備事業補助金	2,280
	項	2 林業費				
	目	2 林業振興費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
91	1,280	2,280		1,424			856

事業の概要、対象、意図など

小規模な森林所有者に対し、作業道整備の道を開くことにより、健全な森づくりへの積極的な取組みを促進し、労働負荷や搬出コストの低減を図ることを目的とし、健全な森づくりの推進及び木材生産棟の林業生産活動を行うため、作業道の開設を行う者に対し、事業費の8/10（県5/10、市3/10）の補助を行うもの。

歳出積算根拠（金額）

・事業内容　2路線　W＝3.0m　L＝1,050m（杉野700m、般若350m）
・事業費　　2路線　2,849,000円
・補助金　　2,849,000円　×　8/10　＝　2,279,200円（県5/10、市3/10）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

・森づくり作業道整備事業費補助金（県5/10）
　2,849,000円　×　5/10　＝　1,424,500円

担当課	農林課					
事業名	造林					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業費	11 需用費	400	消耗品費	280
	項	2 林業費			燃料費	120
	目	2 林業振興費	19 負担金補助及び交付金	7,746	森林保護樹林帯造成事業費補助金	133
					竹林整備事業費補助金	7,613

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
90	6,273	8,146		7,932			214

事業の概要、対象、意図など

【松林保護樹林帯造成事業】
森林病害虫等の被害のまん延防止及び森林の保全を行う（マツから他種への樹種転換事業費の9%を補助）
【竹林整備事業】 （※森林環境保全税（県税）を財源とする事業）
森林が持つ公益的機能を持続的に発揮させるため、荒廃竹林の整備推進及び事業後の適正管理を行う（荒廃した竹林をタケノコ、竹材生産林、景観竹林として整備する費用の8/10を助成）

歳出積算根拠（金額）

〈松林保護樹林帯造成事業〉
事業主体：鳥取県中部森林組合　事業量：1.0ha（大河内ほか）
補助金　：1.0ha　×　1,471,000/ha　×　9%　＝　132,390円
〈竹林整備事業〉
事業主体：森林所有者、森林組合、NPO等　4団体　事業量：計3.7ha（黒見ほか5か所）
事業費　：計9,516,000円
補助金　：9,516,000円　×　8/10　＝　7,612,800円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

・森林環境保全税関連事業費補助金（県補助金）
・竹林整備事業費　9,516,000円　×　補助率8/10　＝　7,612,800円
・付帯事務費　400,000円　×　補助率8/10　＝　320,000円

担当課	農林課					
事業名	森林病害虫等防除					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業費	11 需用費	150	消耗品費・燃料費・修繕料	150
	項	2 林業費	12 役務費	11	通信運搬費	11
	目	2 林業振興費	13 委託料	1,800	松くい虫防除事業委託料	600
					ナラ枯れ防除事業委託料	1,200
			14 使用料及び賃借料	227	自動車借上料・機械借上料	227
			19 負担金補助及び交付金	245	枯松伐採促進事業費補助金	245

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
90	1,867	2,433		1,500			933

事業の概要、対象、意図など

松くい虫等の森林病害虫を早期に且つ徹底的に駆除し、まん延防止を徹底し、森林の保全を図る。
松くい虫等による被害木の伐倒・薬剤処理を行う。

歳出積算根拠（金額）

【松くい虫防除事業】伐倒駆除＜負担割合：県1/2(補助金)、市1/2＞　600千円
40㎥（被害材面積）×15,000円/㎥（単価）＝　600,000円
【ナラ枯れ防除事業】樹幹注入＜負担割合：国1/2、県1/2＞　1,200千円
200本（被害本数）　×　6,000円/本（単価）＝1,200,000円
【枯松伐採促進事業費補助金】　245千円
枯れ松を個人等で伐採する際、伐採経費の合計から5,000円を控除した金額の3/10を助成
【その他関係事務費（需用費、郵便料、自動車借上料、コピー機借上料ほか）　388千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

・松くい虫等防除事業費補助金　1,500千円
・松くい虫防除　600,000円×1/2（県1/2）＝　300,000円
・ナラ枯れ防除　1,200,000円×10/10（国5/10、県5/10）　＝　1,200,000円

担当課	農林課
事業名	森林整備地域活動支援交付金

予算科目	会計	一般	節		説明
	歳入歳出	歳出	区分	金額	
	款	6 農林水産業費	19 負担金補助及び交付金	1,500	森林整備地域活動支援交付金 1,500
	項	2 林業費			
	目	2 林業振興費			

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
91	6,900	1,500		1,125			375

事業の概要、対象、意図など

木材の安定供給を進めていくために森林の経営の委託を受けて森林経営計画を作成し集約化された施業を行うことで、生産コストの低減を図るもの。
森林所有者、森林組合等が行う森林施業の集約化に必要な森林情報の収集、境界確認等の諸活動を行うため、作業路網の改良実施に対し支援を行う。

歳出積算根拠（金額）

○森林整備地域活動支援交付金（国1/2、県1/4、市1/4）
・事業内容：作業路網の改良
・助成単価：4,000円/ha(上限1,500千円)
・事業費　：1,500,000円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

○森林整備地域活動支援交付金
作業路網の改良　1,500,000円　×　3/4（国1/2、県1/4）　＝　1,125千円

担当課	農林課
事業名	緊急間伐

予算科目	会計	一般	節		説明
	歳入歳出	歳出	区分	金額	
	款	6 農林水産業費	19 負担金補助及び交付金	3,024	緊急間伐事業費補助金 3,024
	項	2 林業費			
	目	2 林業振興費			

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
91	3,020	3,024					3,024

事業の概要、対象、意図など

間伐の遅れによる森林の公益的機能の低下を防ぐため公益的機能の高い森林の計画的かつ一体的な間伐の推進を図るもの。
造林事業（国県事業）で規定する機能増進保育による間伐に要する経費の8%を補助

歳出積算根拠（金額）

・事業量　：70ha(河来見・関金町福原ほか)
・事業費　：540,000円/ha　×　70ha　＝　37,800,000円
・補助金　：37,800,000円　×　8%　≒　3,024千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	農林課
事業名	緑の産業再生プロジェクト事業

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業費	19 負担金補助及び交付金	11,250	緑の産業再生プロジェクト事業費補助金	11,250
	項	2 林業費				
	目	2 林業振興費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
91	113,756	11,250		11,250			0

事業の概要、対象、意図など

森林施業における低コスト化、生産性の向上を図り、効率的な森林施業システムを確立する。
Ｈ２５国１次補正により配分される交付金を活用し、森林施業の基礎となる森林境界の明確化事業を推進するもの。（国10/10補助）

歳出積算根拠（金額）

○緑の産業再生ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ事業費補助金
◆森林境界の明確化　11,250千円
事業量：250ha（桜ほか）（国10/10）　45,000円/ha × 250ha = 11,250,000円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

○緑の産業再生プロジェクト事業費補助金
◆森林境界の明確化（10/10）　11,250千円

担当課	農林課
事業名	市行造林

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業費	4 共済費	37	社会保険料	37
	項	2 林業費	7 賃金	600	労務賃金	600
	目	3 市行造林事業費	11 需用費	44	消耗品費	28
					燃料費	16
			13 委託料	3,919	造林委託料	3,919

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
92	4,600	4,600			4,600		0

事業の概要、対象、意図など

昭和48年度より植林を始め「造林思想の啓発普及を図り、あわせて森林資源の造成を期すること」を目的とし、植林約200haの森林を造成し、それぞれの森林に対し、年次的に適切な保育を行うもの。

歳出積算根拠（金額）

〈保育業務〉直接雇用
社会保険料：37,000円
労務賃金　：50人役　×　単価12,000円　＝600,000円

〈保育業務〉業者委託
事業計画：除伐6.0ha、間伐6.0ha、枝打6.0ha
事業費　：計3,919,000円

〈需用費〉
消耗品費、燃料費　44,000円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

・市行造林事業債（100%）
公有林事業債　4,600,000円　×　100%　＝　4,600,000円

担当課	農林課					
事業名	漁業雇用促進対策事業					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業費	19 負担金補助及び交付金	3,500	漁業雇用促進対策事業費補助金	3,500
	項	3 水産業費				
	目	1 水産業振興費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
92	2,261	3,500		3,266			234

事業の概要、対象、意図など

水産動植物の畜養・養殖を行う漁業者が、新規就業希望者を新たに雇用し、漁労研修を実施することにより、漁労者の円滑な確保及び雇用機会の創出を図る。
小泉川養魚場が平成23年度からギンザケ稚魚の養殖に取り組んでおり、平成24年度に1人雇用、平成25年度中途より1人雇用。平成26年度も新たに1人雇用予定。（26年度2人雇用 12月＋8月＝20月）

歳出積算根拠（金額）

最低賃金相当額	139,000円/月×20		＝2,780,000円	〔県10/10〕
住居・通勤手当	33,000円/月×12		＝ 396,000円	〔県10/10〕
	11,300円/月× 8		＝ 90,400円	〔県10/10〕
健康保険料	8,483円/月×12	×1/2＝	50,898円	〔市 1/2 〕
	7,485円/月× 8	×1/2＝	29,940円	〔市 1/2 〕
厚生年金保険料	14,552円/月×12	×1/2＝	87,312円	〔市 1/2 〕
	12,840円/月× 8	×1/2＝	51,360円	〔市 1/2 〕
雇用保険料	(139,000円＋33,000円)/月×12×8.5/1,000×1/2＝		8,772円	〔市 1/2 〕
	(139,000円＋11,300円)/月×12×8.5/1,000×1/2＝		5,108円	〔市 1/2 〕

●最低賃金相当額、住居・通勤手当 県10/10 ●保険料 市1/2

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

鳥取県漁業雇用促進対策事業費補助金 3,266,400円
●対象経費 最低賃金相当額、住居・通勤手当（県10/10）
保険料等（市1/2）

担当課	農林課					
事業名	カワウ繁殖抑制実証事業					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業費	13 委託料	108	委託料	108
	項	3 水産業費				
	目	1 水産業振興費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
92	197	108		53			55

事業の概要、対象、意図など

カワウによる魚類の食害を軽減するため、市内向山で確認されているカワウの営巣地で親鳥の捕獲により繁殖を抑制し、その効果を測定し、内水面漁業の振興を図る。

歳出積算根拠（金額）

（経費内訳）
モニタリング調査に係る委託料
・モニタリング 2,000円/日・人×6回×3人＝36,000円
・交通費 ガソリン代149円/ﾘｯﾄﾙ×７ﾘｯﾄﾙ×6回×3人＝18,774円
・消耗品費 野帳、合羽等 15,000円×3人＝45,000円
計 99,774円×1.08（消費税）＝107,756円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

カワウ漁業被害軽減モデル事業費補助金
補助率：1/2

担当課	農林課					
事業名	内水面ギンザケ稚魚育成支援事業					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業費	19 負担金補助及び交付金	2,182	内水面ギンザケ稚魚育成支援事業費補助金	2,182
	項	3 水産業費				
	目	1 水産業振興費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
92	2,319	2,182		1,454			728

事業の概要、対象、意図など

大手水産企業と連携して、ギンザケ養殖に取り組む市内内水面養殖業者が実施するギンザケ稚魚育成池の整備に対して支援することにより、ギンザケ養殖の本格事業化を促進し、内水面漁業の振興を図る。

歳出積算根拠（金額）

ギンザケ稚魚育成池の整備　コンクリート製多角池　１基
　事業費：　5,198,000円　H26事業費限度額：4,363,900円
　補助金額：4,363,900円×1/2＝2,181,950円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

内水面ギンザケ稚魚育成支援事業費補助金
　補助率：県1/3　市1/6
　同一事業限度額：9,000,000円　H25事業費：4,636,100円
　H26事業費限度額：4,363,900円
　　4,363,900円×1/3＝1,454,633円

担当課	農林課					
事業名	現年度補助災害復旧					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	11 災害復旧費	15 工事請負費	30,000	災害復旧工事	30,000
	項	1 農林水産業施設災害復旧費				
	目	1 農林水産業施設補助災害復旧費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
134	10,000	30,000		17,700	11,000	1,230	70

事業の概要、対象、意図など

被災した農地及び農業用施設等の復旧を図り、被災農家等の安定的な農業生産活動の回復に資する。
（国庫補助事業）

歳出積算根拠（金額）

・農地農業用施設災害復旧工事
　農地　　12,000,000円
　農業用施設　　18,000,000円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

・災害復旧事業費分担金
　農地　　事業費　12,000,000円×　5%＝600,000円
　農業用施設　事業費　18,000,000円×3.5%＝630,000円

・農林水産業施設災害復旧費補助金
　農地　　事業費　12,000,000円×50%＝ 6,000,000円
　農業用施設　事業費　18,000,000円×65%＝11,700,000円

・農林水産業施設補助災害復旧事業債
　農地　　（事業費　12,000,000円－補助金 6,000,000円）×90%＝5,400,000円
　農業用施設（事業費　18,000,000円－補助金11,700,000円）×90%≒5,600,000円

担当課		農林課				
事業名		現年度単独災害復旧				
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	11 災害復旧費	15 工事請負費	10,000	災害復旧工事	10,000
	項	1 農林水産業施設災害復旧費				
	目	2 農林水産業施設単独災害復旧費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
134	4,000	10,000				4,100	5,900

事業の概要、対象、意図など

被災した農地及び農業用施設等の復旧を図り、被災農家等の安定的な農業生産活動の回復に資する。
（市単独事業）

歳出積算根拠（金額）

・農地農業用施設災害復旧工事
　農地　　4,000,000円
　農業用施設　　6,000,000円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

・災害復旧事業費分担金
　農地　　事業費　4,000,000円×50%＝2,000,000円
　農業用施設　事業費　6,000,000円×35%＝2,100,000円

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位：千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	2	1	6	26	1	商工課	企業立地推進基金積立金	1	451	0
〃	〃	5	1	1	1	1	商工課	勤労者福祉	1	50	50
〃	〃	5	1	1	27	1	商工課	地域資源活用商品開発促進事業(起業支援型地域雇用創造事業)	2	3,794	0
〃	〃	5	1	1	29	1	商工課	【新規】地域産業活性化推進員育成事業（地域人づくり事業）	2	8,454	0
〃	〃	7	1	1	2	1	商工課	商工総括事業	3	1,437	1,421
〃	〃	7	1	2	1	1	商工課	同和対策	3	413	413
〃	〃	7	1	2	2	1	商工課	商工業振興	4	494	494
〃	〃	7	1	2	3	1	商工課	企業誘致	4	670,192	240,836
〃	〃	7	1	2	5	1	商工課	地場産業振興	5	4,045	2,845
〃	〃	7	1	2	6	1	商工課	【一部新規】金融対策	5	2,216,819	4,079
〃	〃	7	1	2	7	1	商工課	商店街等活性化	6	8,630	4,885
〃	〃	7	1	2	8	1	商工課	関西事務所運営費	6	2,117	2,117
〃	〃	7	1	2	13	1	商工課	倉吉市くらしよし産業元気条例推進事業	7	133	133
〃	〃	7	1	2	16	1	商工課	市場開拓支援事業	7	3,891	3,891
〃	〃	7	1	2	17	1	商工課	起業家育成事業	8	344	344
〃	〃	7	1	2	23	1	商工課	地域資源活用新事業創出支援事業	8	1,200	1,200
〃	〃	7	1	3	4	1	商工課	まちかどステーション管理	9	1,324	1,324
〃	〃	7	1	3	7	1	商工課	飲食・物販施設管理	9	14,144	0

担当課	商工課
事業名	企業立地推進基金積立金

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	25 積立金	451	企業立地推進基金積立金	451
	項	1 総務管理費				
	目	6 財産管理費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
38	360	451				451	0

事業の概要、対象、意図など

企業立地による雇用の創出については、本市における最重要の取り組みとしてその促進を図っている。新規企業誘致や既存企業の規模拡大等による今後の企業立地に伴う補助金の増加に対応するため、企業立地推進基金を設置している。
基金の運用による運用益金を、基金に繰り入れるものとする。

歳出積算根拠（金額）

積立金（利子分）　451千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

基金利子　300,360,000円×0.150%×365/365≒451千円

担当課	商工課
事業名	勤労者福祉

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	5 労働費	19 負担金補助及び交付金	50	労働者福祉協議会補助金	50
	項	1 労働諸費				
	目	1 労働諸費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
82	50	50					50

事業の概要、対象、意図など

労働者福祉の向上を図ることを目的として、労働者福祉協議会の活動支援として補助金を交付するもの。

歳出積算根拠（金額）

労働者福祉協議会補助金　50千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	商工課
事業名	地域資源活用商品開発促進事業(起業支援型地域雇用創造事業)

予算科目					
会計	一般	節		説明	
歳入歳出	歳出	区分	金額		
款	5 労働費	13 委託料	3,794	地域資源活用商品開発促進事業委託料	3,794
項	1 労働諸費				
目	1 労働諸費				

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
82	3,292	3,794		3,794			0

事業の概要、対象、意図など

地域に根差した起業後10年以内の市内事業者等へ委託し、地域産業振興のため、倉吉ブランド化に資する、地元資源を活用した商品の開発・商品化を行うもの。(市内2事業者に委託)

歳出積算根拠(金額)

地域資源活用商品開発促進事業委託料　3,794千円(2事業者)
(算定基礎)
・人件費　1,994千円
・事務費　1,800千円

歳入積算根拠(特定財源)　補助対象経費、補助率など

緊急雇用創出事業臨時特例基金事業費補助金　3,794千円　補助率　10/10

担当課	商工課
事業名	【新規】地域産業活性化推進員育成事業(地域人づくり事業)

予算科目					
会計	一般	節		説明	
歳入歳出	歳出	区分	金額		
款	5 労働費	13 委託料	8,454	地域産業活性化推進員育成事業委託料	8,454
項	1 労働諸費				
目	1 労働諸費				

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
82	0	8,454		8,454			0

事業の概要、対象、意図など

地域産業活性化のため、地域産業を包括的に支援(主な支援内容は専門家による地域商品開発講座の開催・運営、販路開拓・プロモーション支援、空き店舗調査及びマッチング、空き店舗を活用したイベントと各種商店街イベントの情報発信、起業者育成体制の構築など)する地域産業活性化推進員を育成し、就業につなげるもの。

歳出積算根拠(金額)

地域産業活性化推進員育成事業委託料　8,454千円
(算定基礎)
・人件費　5,494千円
・事務費　2,960千円

歳入積算根拠(特定財源)　補助対象経費、補助率など

緊急雇用創出事業臨時特例基金事業費補助金　8,454千円　補助率10/10

担当課	商工課
事業名	商工総括事業

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	7 商工費		1 報酬	30	商工観光対策協議会委員	30
項	1 商工費		9 旅費	4	費用弁償	4
目	1 商工総務費		11 需用費	303	消耗品費、燃料費ほか	303
			12 役務費	29	通信運搬費	29
			14 使用料及び賃貸料	208	自動車借上料	208
			19 負担金補助及び交付金	863	日本貿易振興機構鳥取貿易情報センター運営負担金	346
					県中小企業団体中央会補助金	250
					中小企業相談所補助金	267

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
92	1,421	1,437				16	1,421

事業の概要、対象、意図など

事業所の事業拡大・販路開拓、中小企業組合の運営の支援、中小企業者の経営上の諸課題解決等の相談に対応し、市内企業の定着・発展を図るもの。
・商工業の振興に関して必要な一般事業費。
・日本貿易振興機構鳥取貿易情報センター（ジェトロ鳥取）の負担金
・鳥取県中小企業団体中央会補助金
・倉吉中小企業相談所補助金

歳出積算根拠

倉吉市商工観光対策協議会委員報酬	30千円
倉吉市商工観光対策協議会委員旅費	4千円
需用費（事務用消耗品費等）	303千円
役務費（郵便料・切手代等）	29千円
自動車借上料	208千円
ジェトロ鳥取運営負担金	346千円
鳥取県中小企業団体中央会補助金	250千円
倉吉市中小企業相談所補助金	267千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

商工関係証明手数料（営業証明手数料） 15千円
寄附金 1千円

担当課	商工課
事業名	同和対策

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	7 商工費		19 負担金補助及び交付金	413	同和問題企業連絡会補助金	413
項	1 商工費					
目	2 商工業振興費					

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
95	413	413					413

事業の概要、対象、意図など

倉吉市同和問題企業連絡会の会員相互が連携し、主体性を持って、企業の立場から同和問題に対する正しい認識と理解を深め、同和問題の解決に資するため、倉吉市同和問題企業連絡会に対して補助金を交付するもの。

歳出積算根拠（金額）

倉吉市同和問題企業連絡会補助金 413千円

担当課	商工課						
事業名	商工業振興						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	7 商工費	8 報償費	60	報償金	60	
	項	1 商工費	13 委託料	20	消防設備保守管理委託料	20	
	目	2 商工業振興費	19 負担金補助及び交付金	414	県産業振興機構負担金他	414	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
94	668	494					494

事業の概要、対象、意図など

・地域産業の活性化と西倉吉工業団地の立地企業の定着・発展のため、産業支援機関及び各種団体等の会員として連携した取組みを行うもの。
・商業街路灯の維持の取組みを支援し、地域産業の振興を図るもの。

歳出積算根拠（金額）

○報償費　60千円
　倉吉駅周辺活性化協議会委員謝金　　60千円
○負担金補助及び交付金　414千円
　県産業振興機構負担金　20千円
　西倉吉工業団地共栄会負担金 100千円
　鳥取大学振興協力会負担金 15千円
　商業街路灯維持費補助金　倉吉地区 97千円・関金温泉 32千円
　倉吉商店会連合会補助金　150千円

担当課	商工課						
事業名	企業誘致						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	7 商工費	9 旅費	1,300	普通旅費	1,300	
	項	1 商工費	11 需用費	351	消耗品費	140	
	目	2 商工業振興費			印刷製本費	189	
					修繕料	22	
			12 役務費	180	手数料	180	
			13 委託料	4,842	測量設計監理等委託料	4,842	
			14 使用料及び賃借料	20	会場借上料	20	
			15 工事請負費	106,328	整備工事	106,328	
			19 負担金補助及び交付金	557,171	下水道受益者負担金	497	
					企業立地促進補助金	535,293	
					情報通信関連企業立地促進補助金他	21,381	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
94	714,096	670,192		79,356		350,000	240,836

事業の概要、対象、意図など

企業立地による雇用の創出については、本市における最重要の取り組みとしてその促進を図っている。
市内外の企業訪問による企業誘致活動、立地に対する補助金の交付、工場用地の整備、貸工場の整備を行うもの。

歳出積算根拠（金額）

○企業誘致活動　1,651千円
○西倉吉工業団地貸工場整備
〈内容〉◇測量設計監督業務　4,842千円
　　◇貸工場整備工事　106,328千円
○企業立地促進補助金(7社) 535,293千円
○情報通信関連企業立地促進補助金(1社)　10,325千円
○事務管理関連雇用事業費補助金(2社)　11,056千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

西倉吉工業団地再整備事業補助金　79,356千円
企業立地推進基金　300,000千円
若者の定住化促進基金　50,000千円

担当課	商工課
事業名	地場産業振興

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	7 商工費	19 負担金補助及び交付金	4,045	ふるさと産業規模拡大事業費補助金	1,000
	項	1 商工費			倉吉絣後継者育成事業補助金	145
	目	2 商工業振興費			はこた人形後継者育成事業補助金	500
					ふるさと産業支援事業後継者育成補助金	2,400

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
95	3,597	4,045		1,200			2,845

事業の概要、対象、意図など

ふるさと産業の保存、振興、規模拡大を図るため、事業者、団体等に対する補助等を行うもの。

歳出積算根拠（金額）

○補助金　・ふるさと産業規模拡大事業費補助金　1,000千円
・倉吉絣後継者育成事業費補助金　145千円
・倉吉はこた人形保存会補助金　500千円
・ふるさと産業支援事業後継者育成補助金　2,400千円
（内訳）研修者100千円×12月×2人=2,400千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

ふるさと産業支援事業費(後継者育成)補助金　1,200千円　補助率　1/2
（内訳）研修者100千円×12月×2人×1/2=1,200千円

担当課	商工課
事業名	【一部新規】金融対策

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	7 商工費	11 需用費	10	消耗品費	10
	項	1 商工費	13 委託料	4,020	制度融資事務委託料	4,020
	目	2 商工業振興費	19 負担金補助及び交付金	50	信用保証料負担軽減補助金	50
			21 貸付金	2,212,739	特別金融対策資金貸付金ほか	2,212,739

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
94	1,806,114	2,216,819			364,900	1,847,840	4,079

事業の概要、対象、意図など

市内の中小企業者の経営安定化、経営基盤強化のための金融支援を行うもの。
○長期・低利の制度融資を実施するため、資金貸付を行う金融機関に対し、その資金の一部を預託する。（※金融機関への預託は年度当初または融資実行後に行い、年度末に一括償還）
○【新規】地域総合整備資金貸付（ふるさと融資）　1件

歳出積算根拠（金額）

○制度融資事務委託料　4,020千円
○信用保証料負担軽減補助金　50千円
○貸付金　2,212,739千円
・ＮＰＯ等市民まちづくり団体活動支援資金貸付金　5,000千円
・企業立地促進資金貸付金　144,444千円
・商工組合中央金庫貸付金　90,000千円
・小口融資資金貸付金　107,654千円
・新分野進出・雇用創出等促進資金貸付金　1,714千円
・倉吉市短期融資貸付金　11,250千円
・【新規】地域総合整備資金貸付金（ふるさと融資）364,900千円
・中国労働金庫貸付金　150,000千円
・【一部新規】特別金融対策資金貸付金　1,237,533千円
・新規参入資金貸付金　100,244千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

○商工振興資金貸付金元利収入（制度融資等貸付金元金）1,847,840千円
○【新規】地域総合整備資金貸付事業債　364,900千円

担当課	商工課						
事業名	商店街等活性化						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	7 商工費	13 委託料	1,300	チャレンジショップ設置運営事務委託料	1,300	
	項	1 商工費	19 負担金補助及び交付金	7,330	にぎわいのある商店街づくり事業費補助金	7,080	
	目	2 商工業振興費			中心市街地にぎわい創出事業費補助金	250	

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
94	5,330	8,630	745	3,000			4,885

事業の概要、対象、意図など

商店街等の活性化を図り、にぎわいのあるまちづくりのため下記の事業を実施するもの。
・チャレンジショップ設置運営事業（空店舗を活用し、本格的な起業に向け支援）
・にぎわいのある商店街づくり事業費補助金
（伝建群内の空店舗を活用し新規に商業活動を行う者等に対し、家賃・店舗改装費の一部を補助）
・中心市街地にぎわい創出事業費補助金（「あきない中心倉」活動支援）

歳出積算根拠（金額）

○チャレンジショップ設置運営事務委託料　1,300千円
［家賃］34,300円×12ヶ月＝411,600円
［未入居店舗、広報費、店舗管理費及び会議事務費］888,400円以内（未入居店舗家賃優先）
○にぎわいのある商店街づくり事業補助金　7,080千円
［家賃］18,000円×12月×5件＝1,080千円
［店舗改装］2,000,000円×3件＝6,000千円
○中心市街地にぎわい創出事業補助金　250千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備交付金）745千円
【補助率】 1/2
【補助対象経費】
・チャレンジショップ家賃（34,300円*12月）×1/2＝205千円
・にぎわいのある商店街づくり事業　［家賃補助（18,000円/月×12月×5件）］×1/2＝540千円
まちなか振興ビジネス活性化支援事業費補助金
【補助率】 1/2
【補助対象経費】
・にぎわいのある商店街づくり事業　［店舗改装補助　2,000,000円×3件］×1/2＝3,000千円

担当課	商工課						
事業名	関西事務所運営費						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	7 商工費	9 旅費	575	普通旅費	575	
	項	1 商工費	10 交際費	100	交際費	100	
	目	2 商工業振興費	11 需用費	169	消耗品費	169	
			12 役務費	342	通信運搬費	312	
					手数料	30	
			14 使用料及び賃借料	818	会場借上料	661	
					自動車借上料	30	
					機械借上料	63	
					建物借上料	64	
			19 負担金補助及び交付金	113	県関西本部共益費負担金	113	

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
94	2,247	2,117					2,117

事業の概要、対象、意図など

近畿圏から本市への企業誘致を推進し、本市経済の活性化と雇用創出を図るため、近畿圏における企業誘致活動を実施するもの。

歳出積算根拠（金額）

○企業訪問活動　874千円
○関西事務所運営　582千円
○関西機械要素技術展出展料　661千円

担当課	商工課						
事業名	倉吉市くらしよし産業元気条例推進事業						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	7 商工費	1 報酬	112	倉吉地域産業振興戦略会議委員	112	
	項	1 商工費					
	目	2 商工業振興費	9 旅費	21	費用弁償	21	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
93	119	133					133

事業の概要、対象、意図など

市民、事業者、産学金官が協力して地域産業の振興に取り組むため、倉吉市地域産業振興戦略会議を開催し、地域産業振興ビジョンの進捗状況の管理、成果の評価等を行うもの。

歳出積算根拠（金額）

地域産業振興戦略会議委員報酬　2,000円×14人×4回 ＝ 112千円
〃　委員旅費　1,740円×3人×4回 ＝ 21千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	商工課						
事業名	市場開拓支援事業						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	7 商工費	9 旅費	500	普通旅費	500	
	項	1 商工費	11 需用費	140	消耗品費ほか	140	
	目	2 商工業振興費	12 役務費	80	通信運搬費	80	
			14 使用料及び賃借料	171	会場借上料ほか	171	
			19 負担金補助及び交付金	3,000	商品等販路開拓支援事業費補助金	3,000	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
94	4,008	3,891					3,891

事業の概要、対象、意図など

○地域産品の認知度の向上を図るため、首都圏・関西圏等の物産展等に参加し、地域及び産品のＰＲ・プロモーション活動をするもの。
○市内中小企業者等の事業拡大を支援するため、商談会等への出展など新たな販売ルートの開拓を行う中小企業者等に対し、その経費の一部を助成するもの。

歳出積算根拠（金額）

普通旅費（東京都・大阪市など）　500千円
需用費（物産展参加に係る消耗品等・燃料費）　140千円
通信運搬費（商品搬送費）　80千円
会場借上料（物産展等出店料）　29千円
自動車借上料（物産展等参加に係るレンタカー代・高速道路料金）　72千円
器具借上料（物産展参加に係る冷蔵庫等借上げ）　60千円
機械借上料（チラシカラー印刷）　10千円
商品等販路開拓支援事業費補助金（300,000円×10件）　3,000千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	商工課
事業名	起業家育成事業

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	7 商工費	8 報償費	40	報償金	40
	項	1 商工費	11 需用費	304	消耗品費	294
	目	2 商工業振興費			食糧費	10

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
94	495	344					344

事業の概要、対象、意図など

小学6年生から中学3年生を対象に、社会や仕事について考えるための授業(体験型プログラム)を行うもの。

歳出積算根拠（金額）

○起業家教育促進事業　　344千円
・講師謝金　・教材費　・昼食代

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	商工課
事業名	地域資源活用新事業創出支援事業

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	7 商工費	19 負担金補助及び交付金	1,200	地域資源活用新事業創出事業費補助金	1,200
	項	1 商工費				
	目	2 商工業振興費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
96	1,200	1,200					1,200

事業の概要、対象、意図など

中小企業者等による農商工連携、異業種企業連携等による新事業（新商品・新サービス）創出に向けた取組みを促進するため、地域資源を活用した新規性・独自性のある商品・サービスの開発に要する経費について、補助を行うもの。

歳出積算根拠（金額）

[新商品等開発補助]
（連携型）200,000円×3件＝600千円
（単独型）100,000円×1件＝100千円
[連携体支援補助]
500,000円×1件＝500千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	商工課
事業名	まちかどステーション管理

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	7 商工費	11 需用費	200	修繕料	200
	項	1 商工費	12 役務費	800	手数料	800
	目	3 観光費	13 委託料	324	まちかどステーション等指定管理料	324

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
97	915	1,324					1,324

事業の概要、対象、意図など

まちかどステーションおよび倉吉線鉄道記念館の運営・維持管理を行うもの

歳出積算根拠（金額）

○修繕料　200千円
○まちかどステーション内部点検業務　800千円
○指定管理委託料　324千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	商工課
事業名	飲食・物販施設管理

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	7 商工費	11 需用費	12,179	光熱水費ほか	12,179
	項	1 商工費	12 役務費	63	手数料	63
	目	3 観光費	13 委託料	1,863	消防設備保守管理委託料	117
					清掃等委託料	1,650
					電気保安業務委託料	96
			14 使用料及び賃借料	39	器具借上料	39

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
97	17,269	14,144				14,144	0

事業の概要、対象、意図など

飲食・物販施設（倉吉パークスクエア食彩館）の維持・管理を行うもの。

歳出積算根拠（金額）

○需用費　12,179千円
・消耗品費　60千円　・光熱水費　11,119千円
・修繕料　1,000千円
○手数料　63千円
・催事室グリストラップ清掃手数料　25千円
・排水管洗浄　38千円
○委託料　1,863千円
・消防用設備警備委託料　117千円　・食彩館清掃委託料　1,650千円
・自家用電気工作物保安管理　96千円
○トイレ洗浄脱臭器具借上料　39千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

○飲食・物販施設使用料　9,323千円
○食彩館使用料（光熱費等）　4,821千円

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位：千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	4	1	1	13	1	環境課	衛生総務	1	271	270
〃	〃	4	1	1	17	1	環境課	動物愛護事業	1	1,200	0
〃	〃	4	1	3	1	1	環境課	狂犬病予防事業	2	347	0
〃	〃	4	1	4	1	1	環境課	環境衛生事業	2	19,579	19,579
〃	〃	4	1	4	2	1	環境課	公衆浴場確保対策事業	3	550	300
〃	〃	4	1	4	3	1	環境課	市民町内清掃支援事業	3	9,763	9,763
〃	〃	4	1	4	4	1	環境課	市有墓地維持管理事業	4	320	320
〃	〃	4	1	4	6	1	環境課	こどもエコクラブ事業	4	1,050	525
〃	〃	4	1	4	7	1	環境課	住宅用太陽光発電システム導入促進事業	5	16,000	8,000
〃	〃	4	1	4	9	1	環境課	ＥＶ導入推進事業	5	974	974
〃	〃	4	1	4	10	1	環境課	家庭用燃料電池導入促進事業	6	540	270
〃	〃	4	1	6	1	1	環境課	公害対策事業	6	5,144	4,736
〃	〃	4	2	1	2	1	環境課	清掃総務	7	1,107	1,056
〃	〃	4	2	2	1	1	環境課	【一部新規】塵芥処理事業	7	810,574	514,423
〃	〃	4	2	2	2	1	環境課	川をきれいにする運動	8	230	230
〃	〃	4	2	2	3	1	環境課	廃棄物減量等推進事業	8	45,759	42,843
〃	〃	4	2	2	4	1	環境課	環境美化促進対策事業	9	3,010	1,510
〃	〃	4	2	3	1	1	環境課	し尿処理事業	9	60,152	33,701
〃	〃	4	3	1	1	1	環境課	簡易水道の上水道統合	10	17,341	17,341
〃	〃	4	3	2	1	1	環境課	簡易水道・小規模水道等整備事業	10	88,174	85,044
〃	〃	4	3	2	2	1	環境課	飲用井戸等整備資金融資事業	11	2,786	36

担当課	環境課
事業名	衛生総務

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	4	衛生費	11 需用費	263	消耗品費	50
項	1	保健衛生費			燃料費	93
目	1	保健衛生総務費			修繕料	120
			27 公課費	8	自動車重量税	8

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳　（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
74	377	271				1	270

事業の概要、対象、意図など

衛生行政の総務的事務費用

歳出積算根拠（金額）

ＰＰＣ用紙等消耗品　　50千円
公用車ガソリン　　93千円
公用車車検修理費　　120千円
自動車重量税　　8千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

環境保全事業費寄附金　1千円

担当課	環境課
事業名	動物愛護事業

予算科目			節		説明	
会計	一般会計		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	4	衛生費	11 需用費	110	消耗品費	20
項	1	保健衛生費			印刷製本費	90
目	1	保健衛生総務費	18 備品購入費	40	機械器具（捕獲檻）費	40
			19 負担金補助及び交付金	1,050	動物愛護事業費補助金	1,050

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳　（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
74	0	1,200				1,200	0

事業の概要、対象、意図など

傷病動物の治療や飼い主不明の犬・猫等の保護、動物愛護の啓発等を実施する団体等に補助金を交付するもの

歳出積算根拠（金額）

動物捕獲檻購入費（２台）　　40千円
動物愛護活動事業費補助金　　1,050千円
（財源の範囲以内）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

動物愛護事業費寄附金　　1,200千円

担当課	環境課
事業名	狂犬病予防事業

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	4 衛生費	11 需用費	165	消耗品費	69
	項	1 保健衛生費			印刷製本費	96
	目	3 予防費	12 役務費	182	通信運搬費	182

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
76	260	347				347	0

事業の概要、対象、意図など

狂犬病を予防するため、狂犬病予防法に基づく犬の登録や狂犬病予防注射を実施するもの

歳出積算根拠（金額）

犬鑑札等消耗品費　　69千円
登録申請書等印刷費　　96千円
郵送料（予防注射の通知）182千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

犬の登録手数料　347千円

担当課	環境課
事業名	環境衛生事業

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	4 衛生費	9 旅費	5	普通旅費	5
	項	1 保健衛生費	11 需用費	37	消耗品費	37
	目	4 環境衛生費	19 負担金補助及び交付金	19,537	中部広域連合負担金	19,537

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
77	26,557	19,579					19,579

事業の概要、対象、意図など

中部ふるさと広域連合が運営する斎場に係る経費を負担するもの

歳出積算根拠（金額）

中部ふるさと広域連合負担金（火葬場費）　19,537千円《連合当初予算見込》

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	環境課
事業名	公衆浴場確保対策事業

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	4 衛生費	19 負担金補助及び交付金	550	公衆浴場確保対策費補助金	550
	項	1 保健衛生費				
	目	4 環境衛生費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
77	550	550		250			300

事業の概要、対象、意図など

公衆衛生の向上を図るため、公衆浴場に対する補助金を交付するもの

歳出積算根拠（金額）

公衆浴場確保対策費補助金　　550千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

【県】鳥取県公衆浴場確保対策費補助金　　500千円*1/2＝250千円

担当課	環境課
事業名	市民町内清掃支援事業

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	4 衛生費	13 委託料	8,640	生活排水溝清掃土砂運搬委託料	8,640
	項	1 保健衛生費				
	目	4 環境衛生費	14 使用料及び賃借料	1,123	自動車借上料	1,123

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
77	9,491	9,763					9,763

事業の概要、対象、意図など

公衆衛生の向上を図るため、生活排水溝の維持管理活動等を支援するもの

歳出積算根拠（金額）

生活排水溝清掃土砂運搬委託料　　8,640千円
フックロールコンテナ車借上料　　1,123千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	環境課
事業名	市有墓地維持管理事業

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	4 衛生費	12 役務費	300	立木伐採事業費手数料	300
	項	1 保健衛生費	16 原材料費	20	工事材料費	20
	目	4 環境衛生費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
77	320	320					320

事業の概要、対象、意図など

市有墓地の維持管理を行うもの

歳出積算根拠（金額）

市有墓地立木伐採事業費手数料 300千円
参道改善等に伴う工事材料費 20千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

担当課	環境課
事業名	こどもエコクラブ事業

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	4 衛生費	19 負担金補助及び交付金	1,050	こどもエコクラブ活動支援費補助金	1,050
	項	1 保健衛生費				
	目	4 環境衛生費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
77	840	1,050		525			525

事業の概要、対象、意図など

人間と環境の関わりへの理解を深め、将来にわたる環境保全への高い意識を醸成するため、こどもエコクラブに登録した団体に対し補助金を交付するもの

歳出積算根拠（金額）

こどもエコクラブ活動支援費補助金 1,050千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

【県】鳥取県こどもエコクラブ活動支援費補助金 1,050千円*1/2＝525千円

担当課	環境課					
事業名	住宅用太陽光発電システム導入促進事業					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	4 衛生費	19 負担金補助及び交付金	16,000	住宅用太陽光発電システム導入促進事業費補助金	16,000
	項	1 保健衛生費				
	目	4 環境衛生費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
78	28,000	16,000		8,000			8,000

事業の概要、対象、意図など

環境負荷の少ない自然エネルギーの導入促進と環境保全意識の向上を図るため、住宅用太陽光発電システム導入費に対し補助金を交付するもの

歳出積算根拠（金額）

住宅用太陽光発電システム導入促進事業費補助金　　200千円*80件＝16,000千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

【県】鳥取県住宅用太陽光発電システム導入促進事業費補助金　16,000千円*1/2＝8,000千円

担当課	環境課					
事業名	ＥＶ導入推進事業					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	4 衛生費	11 需用費	879	光熱水費	579
	項	1 保健衛生費			修繕料	300
	目	4 環境衛生費	13 委託料	95	ＥＶ急速充電器保守管理	95

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
77	1,041	974					974

事業の概要、対象、意図など

環境負荷の少ないＥＶ（電気自動車）の普及を促進し、ＣＯ2削減による地球温暖化対策に貢献するために導入したＥＶ及びＥＶ充電設備の維持管理を行うもの

歳出積算根拠（金額）

急速充電器電気代　　579千円
急速充電器、ＥＶ修繕料　　300千円
急速充電器保守管理料　　95千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	環境課
事業名	家庭用燃料電池導入促進事業

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	4 衛生費	19 負担金補助及び交付金	540	家庭用燃料電池導入促進事業費補助金	540
	項	1 保健衛生費				
	目	4 環境衛生費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
78	480	540		270			270

事業の概要、対象、意図など

家庭用燃料電池導入による環境保全意識の向上を図るため、家庭用燃料電池導入費に対して補助金を交付するもの

歳出積算根拠（金額）

家庭用燃料電池導入促進事業費補助金　180千円*３件＝540千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

【県】鳥取県家庭用燃料電池導入促進事業費補助金　540千円*1/2＝270千円

担当課	環境課
事業名	公害対策事業

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	4 衛生費	1 報酬	60	環境審議会委員報酬	60
	項	1 保健衛生費	11 需用費	101	消耗品費	101
	目	6 公害対策費	12 手数料	953	アスベスト検査手数料等	953
			13 委託料	4,030	環境測定業務委託料	4,030

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
78	5,788	5,144	408				4,736

事業の概要、対象、意図など

公害の未然防止を図るため、水質・悪臭・アスベスト等の環境検査・測定の実施、公共用水域の水質汚濁の状況等を監視するもの

歳出積算根拠（金額）

アスベスト検査手数料　　953千円（国費対象６箇所、市費８箇所）
公共用水域水質検査、事業所排水水質検査、自動車騒音監視業務等　4,030千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

【国】アスベスト緊急撤去支援交付金　国費対象経費（６箇所）　408千円

担当課	環境課						
事業名	清掃総務						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	4 衛生費	11 需用費	10	消耗品費	10	
	項	2 清掃費	12 役務費	19	通信運搬費	19	
	目	1 清掃総務費	14 使用料及び賃借料	1,078	自動車借上料	522	
					機械借上料	556	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
79	942	1,107				51	1,056

事業の概要、対象、意図など

散乱した空き缶やごみを町内から一掃するため、ごみゼロ全市一斉清掃を実施するもの
・主催：倉吉市・倉吉市自治公民館連合会　・時期：春期・秋期（10月）
また、一般廃棄物の適正処理を図るため、一般廃棄物処理業の許可に係る事務や家庭ごみの排出状況の点検（環境パトロール）を行うもの

歳出積算根拠（金額）

ごみゼロ収集運搬車輌借上料等 522千円　コピー機保守料556千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

一般廃棄物処理業許可申請手数料　3,000円/件*17件＝51千円

担当課	環境課						
事業名	【一部新規】塵芥処理事業						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	4 衛生費	11 需用費	24,497	消耗品費他	24,497	
	項	2 清掃費	12 役務費	4,122	ごみ袋販売手数料他	4,122	
	目	2 塵芥処理費	13 委託料	162,099	ごみ収集委託料等	162,099	
			19 負担金補助及び交付金	619,831	中部広域連合負担金	619,131	
					ごみ集積場整備費補助金	700	
			27 公課費	25	自動車重量税	25	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
80	745,189	810,574		451	243,500	52,200	514,423

事業の概要、対象、意図など

生活環境の保全を図るため、一般廃棄物（ごみ）の適正処理を行うもの
ほうきリサイクルセンター基幹的改良事業
・事業主体：鳥取中部ふるさと広域連合　・総事業費：19.21億円　・事業期間：平成24～26年度

歳出積算根拠（金額）

指定ごみ袋　23,121千円（障がい者就労施設からの物品調達を含む）
【新規】分別パンフレット、冊子（手引き）作成　903千円（リサイクルフロンティア事業）
ごみ袋販売手数料　4,000千円
一般廃棄物収集運搬業務　155,234千円
びん処理業務　3,456千円
ごみ袋配送業務　3,409千円
中部ふるさと広域連合負担金　619,131千円《連合当初予算見込》
（ごみ処理費　121,986千円、ごみ処理施設建設費　270,563千円、最終処分場建設費　67,489千円、
交付税措置分　159,093千円）
ごみ集積場整備費補助金　700千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

ごみ処理手数料　52,200千円
【起債】一般廃棄物事業債　270,563千円*90%≒243,500千円
【県】鳥取県リサイクルフロンティア推進交付金　903千円*1/2≒451千円

担当課	環境課				
事業名	川をきれいにする運動				
予算科目	会計	一般	節		説明
	歳入歳出	歳出	区分	金額	
	款	4 衛生費	12 役務費	230	手数料 230
	項	2 清掃費			
	目	2 塵芥処理費			

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
80	230	230					230

事業の概要、対象、意図など

河川美化による生活環境の向上を図るため、河川奉仕清掃の支援を行うもの

歳出積算根拠（金額）

玉川清掃手数料　230千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	環境課				
事業名	廃棄物減量等推進事業				
予算科目	会計	一般	節		説明
	歳入歳出	歳出	区分	金額	
	款	4 衛生費	1 報酬	40	廃棄物減量委員報酬 40
	項	2 清掃費	8 報償金	2,383	資源ごみ回収報償金 2,383
	目	2 塵芥処理費	9 旅費	52	普通旅費 52
			11 需用費	297	消耗品費・印刷製本費 297
			12 役務費	99	通信運搬費 99
			13 委託料	42,888	再生資源収集業務等 42,888

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
79	45,172	45,759				2,916	42,843

事業の概要、対象、意図など

生活環境の向上を図るため、ごみの減量及び再資源化（リサイクル）を推進するもの
・再生資源の回収
・ごみ減量推進員を設置し、ごみの分別を徹底

歳出積算根拠（金額）

子供会等が実施する資源回収に対する報償金　2,383千円
ペットボトル、古紙等再生資源収集業務　39,188千円
発泡スチロール処理業務　3,700千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

再生資源買上代金　2,916千円

担当課	環境課						
事業名	環境美化促進対策事業						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	4 衛生費	11 需用費	10	消耗品費	10	
	項	2 清掃費	13 委託料	3,000	不法投棄産業廃棄物処理委託料	3,000	
	目	2 塵芥処理費					

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
80	3,142	3,010		1,500			1,510

事業の概要、対象、意図など

生活環境の保全を図るため、不法投棄禁止の啓発、不法投棄事案の処理を行うもの
・廃棄物不法投棄事案の処理
・看板設置等による不法投棄禁止の啓発

歳出積算根拠（金額）

不法投棄廃棄物処理委託料　3,000千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

【県】鳥取県投棄廃棄物処理事業費補助金　3,000千円*1/2＝1,500千円

担当課	環境課						
事業名	し尿処理事業						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	4 衛生費	1 報酬	20	手数料審議会委員報酬	20	
	項	2 清掃費	11 需用費	185	消耗品費・印刷製本費	185	
	目	3 し尿処理費	12 役務費	818	通信運搬費・販売手数料	818	
			13 委託料	26,450	し尿汲取委託料	26,450	
			19 負担金補助及び交付金	32,679	中部広域連合負担金	32,679	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
80	73,119	60,152				26,451	33,701

事業の概要、対象、意図など

生活環境の保全を図るため、一般廃棄物（し尿）の適正処理を行うもの

歳出積算根拠（金額）

し尿処理券販売手数料　794千円
し尿汲取委託料　26,450千円
中部ふるさと広域連合負担金（し尿：クリーンセンター）32,679千円《連合当初予算見込》

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

し尿処理手数料　26,450千円（90ﾘｯﾄﾙにつき977円）
し尿汲取用旗売払代　1千円

担当課	環境課
事業名	簡易水道の上水道統合

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	4	衛生費	19 負担金補助及び交付金	17,341	水道料金免除負担金	75
項	3	水道費			簡易水道統合事業費補助金	17,266
目	1	上水道費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳　（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
81	17,851	17,341					17,341

事業の概要、対象、意図など

上水道に統合された小規模水道の起債償還金について、水道局に補助するもの
（灘手・大鴨・栗尾・半坂）

歳出積算根拠（金額）

簡易水道統合費補助金　　17,266千円
（元金　13,683千円　　利息　3,583千円）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	環境課
事業名	簡易水道・小規模水道等整備事業

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	4	衛生費	11 需用費	691	消耗品費・修繕料	691
項	3	水道費	13 委託料	5,942	水道施設管理委託料	5,942
目	2	簡易水道費	15 工事請負費	1,000	修繕工事	1,000
			19 負担金補助及び交付金	2,004	水道施設管理負担金	1,004
					飲料水供給施設整備費補助金	1,000
			28 繰出金	78,537	特別会計繰出金	78,537

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳　（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
81	101,323	88,174				3,130	85,044

事業の概要、対象、意図など

小規模水道の安全な水の確保を図るため、施設の維持管理を行うもの

歳出積算根拠（金額）

消毒液等消耗品	471千円
水道施設管理委託料	5,942千円
用水施設（野添・福原）修繕工事	1,000千円
専用水道・小規模水道衛生管理等負担金他	1,004千円
飲料水供給施設整備費補助金	1,000千円
簡易水道事業特別会計繰出金	78,537千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

小規模水道整備地元負担金	853千円
衛生管理地元負担金	2,277千円

担当課	環境課
事業名	飲用井戸等整備資金融資

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	4 衛生費	12 役務費	36	融資事務手数料	36
	項	3 水道費	21 貸付金	2,750	飲用井戸等整備資金貸付金	2,750
	目	2 簡易水道費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
81	2,785	2,786				2,750	36

事業の概要、対象、意図など

飲用井戸を整備する個人に対し、融資をするもの

歳出積算根拠（金額）

融資事務手数料（融資額の1.2%） 36千円
飲用井戸等整備資金貸付金 2,750千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

飲用井戸等整備資金貸付金元金収入 2,750千円

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位：千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	8	2	1	1	1	管理課	道路橋梁総務（管理）	1	8,294	8,294
〃	〃	8	2	2	1	1	管理課	境界確定	1	350	350
〃	〃	8	3	1	3	1	管理課	河川管理総務	2	50	50
〃	〃	8	4	1	6	1	管理課	都市計画総務（管理）	2	522	522
〃	〃	8	4	2	1	1	管理課	打吹公園管理	3	26,797	25,421
〃	〃	8	4	2	2	1	管理課	トイレ管理	3	4,698	4,698
〃	〃	8	4	2	3	1	管理課	まちづくり管理	4	1,843	1,843
〃	〃	8	4	2	4	1	管理課	公園管理事業	4	8,393	8,393
〃	〃	8	4	2	5	1	管理課	都市公園管理	5	7,627	7,627

担当課	管理課					
事業名	道路橋梁総務（管理）					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	8 土木費	9 旅費	500	普通旅費	500
	項	2 道路橋梁費	12 需用費	300	消耗品費	300
	目	1 道路橋梁総務費	13 委託料	6,998	道路台帳システム等保守委託料	1,998
					道路台帳作成及び修正委託料	5,000
			14 使用料及び賃借料	20	自動車借上料	20
			19 負担金補助及び交付金	476	道路改良期成会等負担金	476

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
101	8,754	8,294					8,294

事業の概要、対象、意図など

道路台帳の作成・修正及びシステム管理等により、市道の適正な管理を行う。
国・県道整備に係る期成会等に参画し、事業の整備促進を図る。

歳出積算根拠（金額）

・道路台帳システム等保守委託料	1,998千円
・道路台帳作成及び修正委託料	5,000千円
・道路関係期成会等負担金（10機関）	476千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

担当課	管理課					
事業名	境界確定					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	8 土木費	11 需用費	150	消耗品費外	150
	項	2 道路橋梁費	12 役務費	200	手数料	200
	目	2 道路維持費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
102	1,142	350					350

事業の概要、対象、意図など

市道及び法定外公共物の境界確定に係る事務費

歳出積算根拠（金額）

・公用車維持管理費（１台） 燃料費、修繕料等	100千円
・地積測量図等作成費（１件）	200千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

担当課	管理課					
事業名	河川管理総務					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	8 土木費	11 需用費	50	消耗品費	50
	項	3 河川費				
	目	1 河川総務費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
104	150	50					50

事業の概要、対象、意図など

準用河川台帳の管理

歳出積算根拠（金額）

・準用河川台帳管理事務費　50千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	管理課					
事業名	都市計画総務（管理）					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	8 土木費	11 需用費	80	消耗品費	80
	項	4 都市計画費	12 役務費	28	通信運搬費他	28
	目	1 都市計画総務費	14 使用料及び賃借料	414	機械借上料	273
					情報サービス使用料	141

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
106	633	522					522

事業の概要、対象、意図など

建設工事及び測量等業務に係る指名、入札等に関する業務を一元化して行っており、入札及び契約等の適正化並びに公共工事の品質確保を図る。

歳出積算根拠（金額）

・入札関係事務費　522千円
　消耗品費、通信運搬費、研修手数料
　コピー機借上料（１台）
　工事等実績情報システム使用料

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	管理課
事業名	打吹公園管理

予算科目			節		説明	
会計	一般					
歳入歳出	歳出		区分	金額		
款	8	土木費	1 報酬	9,798	非常勤嘱託報酬	9,798
項	4	都市計画費	4 共済費	1,546	社会保険料	1,546
目	2	公園費	11 需用費	5,949	消耗品費・光熱水費他	5,949
			12 役務費	2,540	通信運搬費・手数料	2,540
			13 委託料	6,572	植栽管理委託料	2,100
					公園清掃等委託料	4,472
			14 使用料及び賃借料	272	土地借上料・自動車借上料	272
			16 原材料費	100	工事材料費	100
			19 負担金補助及び交付金	20	大山国立公園協会負担金	20

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
106	29,015	26,797		89		1,287	25,421

事業の概要、対象、意図など

市民全般の休息・散歩・観賞等総合的に利用され、国の登録有形文化財である飛龍閣を有する打吹公園の維持管理。
○公園内トイレ清掃及び遊具の点検・維持補修　○公園内の除草・樹木剪定
○動物舎の動物飼養・動物舎清掃及び維持管理　○飛龍閣の維持管理

歳出積算根拠（金額）

○公園清掃等委託料
トｲﾚ清掃 1,688,400円＋園内清掃 1,810,340円＋ｺﾞﾐ収集 370,240円＋
諸経費 386,892円=4,255,872円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

○公園占用・使用料	1,161千円
○飛龍閣使用料	78千円
○中国自然歩道管理費委託金	89千円
○打吹公園整備事業費寄附金	1千円
○打吹公園水道使用料	47千円

担当課	管理課
事業名	トイレ管理

予算科目			節		説明	
会計	一般					
歳入歳出	歳出		区分	金額		
款	8	土木費	11 需用費	2,629	消耗品費・光熱水費他	2,629
項	4	都市計画費	12 役務費	50	手数料	50
目	2	公園費	13 委託料	2,019	公園清掃等委託料	2,019

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
106	3,767	4,698					4,698

事業の概要、対象、意図など

市内の公衆用トイレ施設4ヶ所（さわやかトイレ・上灘多目的施設・明倫ふれあい広場前トイレ・西倉吉ターミナルトイレ）の維持管理。
○各施設清掃委託　○施設定期清掃委託　○各施設定期点検及び修繕

歳出積算根拠（金額）

○公園清掃等委託料
さわやかトイレ 609,700円＋西倉吉ターミナルトイレ 419,420円＋
上灘多目的施設トイレ 209,040円＋明倫ふれあい広場前トイレ 156,780円
諸経費 139,488円 = 1,534,428円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	管理課
事業名	まちづくり管理

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	8 土木費	11 需用費	1,129	光熱水費他	1,129
	項	4 都市計画費	12 役務費	80	手数料	80
	目	2 公園費	13 委託料	634	植栽管理委託料	634

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
106	1,588	1,843					1,843

事業の概要、対象、意図など

プロムナード公園(プロムナード池周辺)・西武者緑地、小鴨地区広場・絵下谷川側道桜並木、倉吉駅南広場・伯耆回廊みちしるべ案内所、C11蒸気機関車展示場(明治町2丁目)の維持管理。
○各施設除草、樹木剪定及び伐採　○各施設定期点検及び修繕

歳出積算根拠（金額）

○植栽管理委託料
　桜害虫防除業務(絵下谷川側道桜並木)　224,000円×1.08×2回 = 483,840円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	管理課
事業名	公園管理事業

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	8 土木費	11 需用費	2,948	消耗品費・光熱水費他	2,948
	項	4 都市計画費	12 役務費	1,117	通信運搬費・手数料	1,117
	目	2 公園費	13 委託料	4,039	公園管理委託料他	4,039
			14 使用料及び賃借料	189	自動車借上料	189
			16 原材料費	100	工事材料費	100

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
106	8,467	8,393					8,393

事業の概要、対象、意図など

都市公園以外の公園施設の維持管理。
○公園管理委託（地元公民館等）○大平山公園（トイレ清掃委託/除草、樹木剪定及び伐採/浄化槽維持管理/水質検査）○園内清掃（研屋町公園）○ゴミ収集委託（3ケ所）○各施設定期点検及び修繕　○公園内行為及び占用許可

歳出積算根拠（金額）

○公園清掃等委託料
　トイレ清掃・園内清掃 481,730円＋ゴミ収集 64,080円＋諸経費 54,574円=600,384円
○水質検査委託料
　大平山公園水質検査業務　250,000円×1.08 = 270,000円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課		管理課				
事業名		都市公園管理				
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	8 土木費	11 需用費	1,860	消耗品費・光熱水費他	1,860
	項	4 都市計画費	12 役務費	1,470	通信運搬費・手数料	1,470
	目	2 公園費	13 委託料	4,217	植栽管理委託料他	4,217
			16 原材料費	80	工事材料費	80

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
106	8,468	7,627					7,627

事業の概要、対象、意図など

都市公園(20ヶ所)の維持管理。
○公園管理委託（地元公民館等）○ゴミ収集委託　○トイレ及び園内清掃委託　○各施設除草・樹木剪定及び伐採　○各施設定期点検及び修繕　○公園内行為及び占用許可

歳出積算根拠（金額）

○公園清掃等委託料
ﾄｲﾚ清掃及び園内清掃2,177,500円＋ｺﾞﾐ収集160,200円＋諸経費233,768円 = 2,571,468円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位：千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	8	1	1	2	1	建設課	土木総務（建設）	1	588	524
〃	〃	8	2	1	2	1	建設課	道路橋梁総務（建設）	1	8,955	8,528
〃	〃	8	2	1	3	1	建設課	除雪対策	2	34,919	34,396
〃	〃	8	2	2	2	1	建設課	道路維持（建設）	2	120,827	110,827
〃	〃	8	2	3	2	1	建設課	一般道路新設改良	3	72,211	6,411
〃	〃	8	2	3	3	1	建設課	地方道路整備事業（地域活力基盤創造交付金）	3	174,600	8,250
〃	〃	8	2	3	11	1	建設課	安全・安心生活空間の整備（社会資本整備総合交付金）	4	110,200	5,200
〃	〃	8	2	4	1	1	建設課	橋梁維持補修	4	311	311
〃	〃	8	3	1	1	1	建設課	河川総務及び維持	5	7,294	5,058
〃	〃	8	3	2	1	1	建設課	急傾斜地崩壊対策	5	4,000	0
〃	〃	8	3	2	2	1	建設課	小規模急傾斜地崩壊対策	6	50,000	1,050
〃	〃	8	3	2	3	1	建設課	【新規】自然災害防止対策	6	48,000	1,000
〃	〃	11	2	1	1	1	建設課	公共土木補助災害復旧	7	51,500	1,050
〃	〃	11	2	2	1	1	建設課	公共土木単独災害復旧	7	10,000	10,000

担当課	建設課					
事業名	土木総務（建設）					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	8 土木費	9 旅費	200	普通旅費	200
	項	1 土木管理費	11 需用費	50	消耗品、印刷製本費	50
	目	1 土木総務費	12 役務費	211	手数料	211
			18 備品購入費	85	庁用器具費	85
			19 負担金補助及び交付金	42	砂防協議会負担金外	42

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
100	1,748	588				64	524

事業の概要、対象、意図など

各種要望活動への参加旅費及び大会等負担金（全国治水砂防協会・中国治水期成同盟会）
工事図面等作成システム保守料

歳出積算根拠（金額）

全国治水砂防協会総会等旅費　　200千円、工事図面等作成システム保守料　　195千円
土木積算システム用パソコン１台　85千円、砂防協会負担金等　　42千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

工事図面等作成システム保守料に係る水道局の負担分　64千円

担当課	建設課					
事業名	道路橋梁総務（建設）					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	8 土木費	11 需用費	4,235	光熱水費、修繕料	4,235
	項	2 道路橋梁費	15 工事請負費	1,200	整備工事	1,200
	目	1 道路橋梁総務費	19 負担金補助及び交付金	3,520	防犯街灯設置費補助金	3,520

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
101	8,250	8,955		426		1	8,528

事業の概要、対象、意図など

市内の街灯の維持修繕のため
防犯街灯を設置する自治公民館に対する補助

歳出積算根拠（金額）

市内街灯電気代・修繕料　4,235千円
ＬＥＤ切替工事　　1,200千円
防犯街灯設置補助金　　3,520千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

ＬＥＤ防犯街灯設置促進事業費補助金（県補助金）1/3　　426千円
道路事業費寄附金　　1千円

担当課	建設課
事業名	除雪対策

予算科目						
会計	一般	節		説明		
歳入歳出	歳出	区分	金額			
款	8 土木費	7 賃金	1,439	労務賃金	1,439	
項	2 道路橋梁費	11 需用費	8,382	消耗品費、燃料費、修繕料外	8,382	
目	1 道路橋梁総務費	12 役務費	1,117	手数料、保険料	1,117	
		13 委託料	2,800	除雪オペ委託料外	2,800	
		14 使用料及び賃借料	21,080	土地借上料、自動車借上料	21,080	
		27 公課費	101	自動車重量税	101	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
101	34,511	34,919	300	223			34,396

事業の概要、対象、意図など

市道及び歩道の除雪の実施。市保有除雪車台数６台・業者委託１９業者。歩道について、歩道用除雪機２７台を地元に貸出し対応（市所有分１９台。県からの貸借分８台）

歳出積算根拠（金額）

除雪オペレーター賃金　　1,439千円
凍結防止剤、除雪車燃料費、車検、和田東町井手畑線外融雪装置修繕　　8,382千円
大型免許教習料、歩道用除雪機保険料　1,117千円
除雪作業支障箇所伐採修繕、融雪装置管理業務2,800千円
除雪車車庫敷地、除雪車借上料　21,080千円
除雪車重量税　101千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

社会資本整備総合交付金（除雪分）　300千円
歩道除雪費委託金（県）223千円（15時間×14,900円）

担当課	建設課
事業名	道路維持（建設）

予算科目						
会計	一般	節		説明		
歳入歳出	歳出	区分	金額			
款	8 土木費	7 賃金	804	労務賃金	804	
項	2 道路橋梁費	11 需用費	1,105	消耗品費、燃料費、修繕料	1,105	
目	2 道路維持費	12 役務費	20	手数料	20	
		13 委託料	35,000	道路維持等業務委託料	35,000	
		14 使用料及び賃借料	6,600	自動車借上料	6,600	
		15 工事請負費	69,000	維持補修工事、整備工事	69,000	
		16 原材料費	8,277	工事材料費	8,277	
		27 公課費	21	自動車重量税	21	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
102	95,512	120,827				10,000	110,827

事業の概要、対象、意図など

市道の維持管理のため。市道清掃・除草、市道維持補修工事、交通安全施設整備工事、道路補修用原材料支給等

歳出積算根拠（金額）

労務賃金　市道補修作業員（公民館除草業務）　804千円　　道路維持消耗品　燃料費（軽油・ガソリン）等　修繕料（４台分）　1,105千円　　市道清掃及び維持管理、植樹管理、堤防除草業務　35,000千円　建設機械借上料（原材料支給）6,600千円　　市道舗装・側溝維持修繕工事69,000千円　市道補修用原材料　8,277千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

地域の元気づくり基金繰入金　10,000千円

担当課	建設課
事業名	一般道路新設改良

予算科目		節		説明	
会計	一般				
歳入歳出	歳出	区分	金額		
款	8 土木費	11 需用費	297	消耗品費、燃料費、修繕料	297
項	2 道路橋梁費	12 役務費	1,266	通信運搬費他	1,266
目	3 道路新設改良費	13 委託料	2,300	測量設計委託料	2,300
		14 使用料及び賃借料	620	機械借上料	620
		15 工事請負費	63,500	改良工事	63,500
		19 負担金補助及び交付金	4,228	市道整備事業費負担金	4,228

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
103	51,602	72,211				65,800	6,411

事業の概要、対象、意図など

市道の新設及び改良を行い、車両通行の円滑化や歩行者の安全確保を図る

歳出積算根拠（金額）

市道上井中央線外測量設計業務　2,300千円
市道大平山線道路改良工事　30,000千円　市道上余戸栗尾線道路改良工事　30,000千円　栗尾水路整備工事　3,500千円
久米ヶ原地区道路整備事業負担金　4,228千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

地域の元気づくり基金繰入金　65,800千円

担当課	建設課
事業名	地方道路整備事業（地域活力基盤創造交付金）

予算科目		節		説明	
会計	一般				
歳入歳出	歳出	区分	金額		
款	8 土木費	4 共済費	270	社会保険料	270
項	2 道路橋梁費	7 賃金	1,724	事務賃金	1,724
目	3 道路新設改良費	11 需用費	1,365	消耗品費、燃料費	1,365
		13 委託料	8,000	測量設計委託料	8,000
		14 使用料及び賃借料	2,241	自動車借上料、機械借上料	2,241
		15 工事請負費	112,000	改良工事	112,000
		17 公有財産購入費	14,078	土地購入費	14,078
		19 負担金補助及び交付金	6,000	工事負担金	6,000
		22 補償補填及び賠償金	28,922	補償金	28,922

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
103	222,390	174,600	92,950		73,400		8,250

事業の概要、対象、意図など

市道の改良工事を実施するため
＜H26年度対象市道＞
市道西倉吉町北野線、市道八屋福庭線、市道瀬崎町鍛冶町２丁目線、市道西倉吉町不入岡線、市道大谷中央線

歳出積算根拠（金額）

市道西倉吉町北野線道路改良工事に係る測量設計業務　8,000千円
市道八屋福庭線・市道瀬崎町鍛冶町２丁目線・市道西倉吉町不入岡線・市道大谷中央線道路改良工事112,000千円、市道瀬崎町鍛冶町２丁目線・市道大谷中央線土地購入費　14,078千円
市道天神野福光線に係る県工事負担金　6,000千円、道路改良工事に係る移転補償　28,922千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

社会資本整備総合交付金　92,950千円、地方債　73,400千円

担当課	建設課
事業名	安全・安心生活空間の整備（社会資本整備総合交付金）

予算科目			節		説明	
会計	一般					
歳入歳出	歳出		区分	金額		
款	8 土木費		4 共済費	225	社会保険料	225
項	2 道路橋梁費		7 賃金	1,436	事務賃金	1,436
目	3 道路新設改良費		11 需用費	892	消耗品費	892
			13 委託料	10,000	測量設計委託料外	10,000
			14 使用料及び賃借料	1,647	自動車借上料、機械借上料	1,647
			15 工事請負費	94,000	整備工事	94,000
			17 公有財産購入費	1,000	土地購入費	1,000
			22 補償補填及び賠償金	1,000	補償金	1,000

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
103		110,200	58,300		46,700		5,200

事業の概要、対象、意図など

みどり町法面整備：みどり町の法面を整備し、避難路等の確保を図る。
市道舗装補修：道路ストック調査により修繕が必要な箇所の舗装補修を実施。

歳出積算根拠（金額）

市道舗装補修に伴う測量設計業務　10,000千円
みどり町法面整備工事　54,000千円、市道舗装補修工事　40,000千円
みどり町法面整備工事に伴う用地費　1,000千円
みどり町法面整備工事に伴う補償費　1,000千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

社会資本整備総合交付金　　58,300千円
安全安心生活空間整備事業債　46,700千円

担当課	建設課
事業名	橋梁維持補修

予算科目			節		説明	
会計	一般					
歳入歳出	歳出		区分	金額		
款	8 土木費		11 需用費	311	修繕料	311
項	2 道路橋梁費					
目	4 橋梁維持費					

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
104	10,811	311					311

事業の概要、対象、意図など

橋梁修繕の緊急対応のため

歳出積算根拠（金額）

橋梁補修修繕料　311千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	建設課
事業名	河川総務及び維持

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	8	土木費	1 報酬	1,355	非常勤職員報酬	1,355
項	3	河川費	11 需用費	90	消耗品費、光熱水費	90
目	1	河川総務費	12 役務費	69	保険料	69
			13 委託料	2,884	清掃等委託料他	2,884
			14 使用料及び賃貸料	650	自動車借上料他	650
			15 工事請負費	1,500	維持補修工事	1,500
			16 原材料	142	工事材料費	142
			19 負担金補助及び交付金	604	基幹水利施設補修事業費負担金他	604

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
104	6,340	7,294	1,766	470			5,058

事業の概要、対象、意図など

河川・水路浚渫業務や国・県所管樋門（33ヵ所）の操作等行うため

歳出積算根拠（金額）

樋門操作員点検・操作	1,355千円、	除草・浚渫業務	2,000千円
樋門操作委託	884千円、	河川工作物等維持工事	1,500千円
基幹水利施設補修事業費負担金	435千円、	天神川改修期成同盟会等負担金	169千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

排水機場等委託金（国） 1,766千円
樋門管理費委託金（県） 470千円

担当課	建設課
事業名	急傾斜地崩壊対策

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	8	土木費	19 負担金補助及び交付金	4,000	急傾斜地崩壊対策事業費地元負担金	4,000
項	3	河川費				
目	2	砂防費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
105	3,000	4,000			3,000	1,000	0

事業の概要、対象、意図など

県が行う急傾斜地崩壊対策事業について事業費の一部を市が負担するもの
（巌城地区（三明寺））

歳出積算根拠（金額）

事業費 40,000千円（市負担率 10%）
負担金 4,000千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

受益者分担金 4,000千円×1/4＝1,000千円（負担割合：市3/4、地元1/4）
自然災害防止事業債 4,000千円×3/4×100%＝3,000千円

担当課	建設課
事業名	小規模急傾斜地崩壊対策

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	8 土木費	13 委託料	5,000	調査委託料、測量設計委託料	5,000
	項	3 河川費	15 工事請負費	45,000	整備工事	45,000
	目	2 砂防費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
104	10,000	50,000		21,850	21,800	5,300	1,050

事業の概要、対象、意図など

国庫補助事業及び単県急傾斜地崩壊対策事業の対象とならない５戸未満の急傾斜地において、
崩壊防止対策事業を推進することにより住民の人命及び財産の保護を図るため。

歳出積算根拠（金額）

調査委託料　1,000千円（補助対象外）
測量設計委託料　4,000千円（補助対象）
椋波小規模急傾斜地崩壊対策工事　45,000千円（補助対象）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

受益者分担金　4,000千円×20%＝800千円
45,000千円×10%＝4,500千円　計 5,300千円
鳥取県小規模急傾斜地崩壊対策事業補助金（県1/2）
（4,000千円-800千円）×1/2＝1,600千円
（45,000千円-4,500千円）×1/2＝20,250千円　計 21,850千円
自然災害防止事業債　（49,000千円-5,300千円-21,850千円）×100%≒21,800千円

担当課	建設課
事業名	【新規】自然災害防止対策

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	8 土木費	13 委託料	2,500	調査委託料、測量設計委託料	2,500
	項	3 河川費	15 工事請負費	43,500	整備工事	43,500
	目	2 砂防費	17 公有財産購入費	1,000	土地購入費	1,000
			22 補償補填及び賠償金	1,000	補償金	1,000

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
104	0	48,000			47,000		1,000

事業の概要、対象、意図など

みどり町地区の急傾斜地崩壊対策事業を実施し、市民の安全を確保する。
県が現在湊町で行っている砂防工事の流末部分を改良し、流末での浸水防止を図る。

歳出積算根拠（金額）

みどり町地区急傾斜地崩壊対策事業に伴う工損調査委託料　1,000千円
葵東谷川河川改良工事に伴う測量設計業務委託料　1,500千円
みどり町地区急傾斜地崩壊対策工事　30,000千円、葵東谷川普通河川改良工事　13,500千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

自然災害防止事業債　47,000千円

担当課	建設課						
事業名	公共土木補助災害復旧						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	11 災害復旧費	11 需用費	500	消耗品費	500	
	項	2 公共土木施設災害復旧費	13 委託料	1,000	測量設計監理等委託料	1,000	
	目	1 公共土木施設補助災害復旧費	15 工事請負費	50,000	災害復旧工事	50,000	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
135	11,500	51,500	33,350		17,100		1,050

事業の概要、対象、意図など

平成２６年度に発生した災害復旧のため（国庫負担金対象分）

歳出積算根拠（金額）

公共土木補助災害復旧事業に係る測量設計監理委託料　1,000千円
公共土木補助災害復旧工事　50,000千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

公共土木補助災害復旧国庫負担金（工事費の2/3）　33,350千円
公共土木補助災害復旧事業債（補助残の100%）　17,100千円

担当課	建設課						
事業名	公共土木単独災害復旧						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	11 災害復旧費	13 委託料	3,800	測量設計監理等委託料外	3,800	
	項	2 公共土木施設災害復旧費	15 工事請負費	6,000	災害復旧工事	6,000	
	目	2 公共土木施設単独災害復旧費	16 原材料費	200	工事材料費	200	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
135	3,000	10,000					10,000

事業の概要、対象、意図など

平成２６年度に発生した災害復旧のため（国庫負担金対象外分）

歳出積算根拠（金額）

公共土木単独災害復旧事業に係る測量設計監理委託料　400千円
公共土木単独災害復旧事業に係る土砂等撤去委託料　3,400千円
公共土木単独災害復旧工事　6,000千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位：千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	2	1	6	14	1	下水道課	集落排水事業推進基金積立金	1	7,832	0
一般	歳出	4	1	4	5	1	下水道課	合併処理浄化槽設置推進	1	20,335	6,348
一般	歳出	6	1	5	12	1	下水道課	集落排水事業特別会計繰出金	2	336,765	290,020
一般	歳出	8	4	1	2	1	下水道課	下水道繰出	2	1,066,321	1,066,321

担当課	下水道課
事業名	集落排水事業推進基金積立金

予算科目		節		説明	
会計	一般				
歳入歳出	歳出	区分	金額		
款	2 総務費	25 積立金	7,832	集落排水事業推進基金積立金	7,832
項	1 総務管理費				
目	6 財産管理費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
38	7,450	7,832		7,289		543	0

事業の概要、対象、意図など

集落排水事業の整備に必要な経費を鳥取県の補助金を基金に積み立て、その運用益を費用の一部を確保することで、集落排水事業の安定した執行を図る。

歳出積算根拠（金額）

・基金造成事業補助金の積立及びその運用等による利息の積立。

鳥取県農林漁業集落排水事業推進基金造成事業費補助金	7,289	千円
繰替運用利息	543	千円
計	7,832	千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

鳥取県農林漁業集落排水事業推進基金造成事業費補助金	7,289	千円
集落排水事業推進基金 繰替運用利子	543	千円

担当課	下水道課
事業名	合併処理浄化槽設置推進

予算科目		節		説明	
会計	一般				
歳入歳出	歳出	区分	金額		
款	4 衛生費	11 需用費	30	消耗品、印刷製本	30
項	1 保健衛生費	12 役務費	198	通信運搬費、手数料	198
目	4 環境衛生費	19 負担金補助及び交付金	9,107	合併処理浄化槽設置費補助金	9,107
		21 貸付金	11,000	排水設備改造資金貸付金	11,000

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
77	21,872	20,335	1,245	1,742		11,000	6,348

事業の概要、対象、意図など

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、工事期間も短期間で費用も比較的少なく設置でき、中山間地域等の人口散在地区において効率的な汚水処理システムである合併処理浄化槽の設置を促進しており、「倉吉市浄化槽設置事業補助金交付要綱」に定めるところにより補助金を交付し、浄化槽の整備促進を図る。また、下水道認可区域の変更に伴う浄化槽への転換を促進するための水路整備を行う。

歳出積算根拠（金額）

事業費内訳

合併処理浄化槽設置補助金（改築・新築等 13基）、負担金	9,107	千円
排水設備改造資金貸付金（残高平均見込 4件、新規見込 7件）	11,000	千円
事務経費	228	千円
計	20,335	千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

国庫補助金	（循環型社会形成推進交付金）	1,245	千円
県支出金	（合併処理浄化槽設置費補助金）	1,742	千円
貸付金元利収入	（排水設備改造資金貸付金元利収入）	11,000	千円

担当課	下水道課
事業名	集落排水事業特別会計繰出金

予算科目	会計	一般	節		説明
	歳入歳出	歳出	区分	金額	
	款	6 農林水産費	28 繰出金	336,765	集落排水事業特別会計へ繰出 336,765
	項	1 農業費			
	目	5 農地費			

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
89	313,945	336,765				46,745	290,020

事業の概要、対象、意図など

集落排水事業特別会計の安定運営を確保する。
・集落排水特別会計における赤字補填分に充当する。
・事業の性質上、公共的部分に係る経費の一部を一般会計が負担する。

歳出積算根拠（金額）

農業集落排水事業	334,711 千円
林業集落排水事業	2,054 千円
計	336,765 千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

基金繰入金（集落排水事業推進基金繰入金） 46,745 千円

担当課	下水道課
事業名	下水道繰出

予算科目	会計	一般	節		説明
	歳入歳出	歳出	区分	金額	
	款	8 土木費	28 繰出金	1,066,321	下水道事業特別会計へ繰出 1,066,321
	項	4 都市計画費			
	目	1 都市計画総務費			

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
106	1,086,370	1,066,321					1,066,321

事業の概要、対象、意図など

下水道事業特別会計の安定運営を確保する。
・下水道特別会計における赤字補填分に充当する。
・事業の性質上、公共的部分に係る経費の一部を一般会計が負担する。

歳出積算根拠（金額）

公共下水道（倉吉）	965,620 千円
特定環境保全公共下水道（関金）	100,701 千円
計	1,066,321 千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位：千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	8	1	2	1	1	景観まちづくり課	建築指導	1	32,301	8,521
〃	〃	8	1	2	3	1	景観まちづくり課	営繕	1	370	370
〃	〃	8	1	2	4	1	景観まちづくり課	【新規】空き家対策	2	2,638	1,638
〃	〃	8	4	1	3	1	景観まちづくり課	都市計画総務（景観）	2	120	0
〃	〃	8	4	1	4	1	景観まちづくり課	倉吉打吹地区街なみ環境整備	3	10,894	5,294
〃	〃	8	5	1	2	1	景観まちづくり課	【一部新規】市営住宅維持管理	4	25,923	3,008
〃	〃	8	5	1	7	1	景観まちづくり課	県営住宅維持管理	4	2,624	0

担当課	景観まちづくり課
事業名	建築指導

予算科目						
会計	一般会計	節		説明		
歳入歳出	歳出	区分	金額			
款	8 土木費	1 報酬	1,869	建築審査会委員・嘱託	1,869	
項	1 土木管理費	4 共済費	287	社会保険料	287	
目	2 建築指導費	9 旅費	267	費用弁償・普通旅費	267	
		11 需用費	370	消耗品費・燃料費ほか	370	
		12 役務費	3,349	通信運搬費・手数料	3,349	
		19 負担金補助及び交付金	26,159	震災に強いまちづくり促進事業費補助金ほか	26,159	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
100	26,032	32,301	12,000	7,000		4,780	8,521

事業の概要、対象、意図など

建築基準法の規定に基づく、建築確認等の建築行政及び地震や土砂災害時の被害を軽減を目的とし助成。市民の生命、健康及び財産の保護を図り、公共に福祉を推進することを目的とする。
■建築行政事務（建築確認、許認可、違反建築物の摘発、福祉のまちづくりへの指導）
■市内建築物の耐震化への助成
■アスベスト除却の為の助成
■土砂災害特別警戒区域内建替事業費補助

歳出積算根拠（金額）

○負担金補助及び交付金26,159千円
震災に強いまちづくり促進事業補助金　24,000千円
土砂災害特別警戒区域内建替等事業費補助金　2,000千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

○負担金補助及び交付金26,159千円
震災に強いまちづくり促進事業補助金24,000千円　負担割合　国1/2、県1/4、市1/4
土砂災害特別警戒区域内建替等事業費補助金2,000千円　負担割合　県1/2、市1/2
○確認申請手数料他4,780千円

担当課	景観まちづくり課
事業名	営繕

予算科目						
会計	一般会計	節		説明		
歳入歳出	歳出	区分	金額			
款	8 土木費	9 旅費	32	普通旅費	32	
項	1 土木管理費	11 需要費	142	消耗品費・印刷製本費	142	
目	2 建築指導費	12 役務費	146	手数料	146	
		19 負担金補助及び交付金	50	負担金	50	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
101	2,877	370					370

事業の概要、対象、意図など

■営繕業務に関する設計、監理及び設計等の委託業務の指導、監理を行う。

歳出積算根拠（金額）

○負担金
建築積算基準講習会負担金　20千円
工事監理指針講習会負担金（建・電・機）　30千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	景観まちづくり課
事業名	【新規】空き家対策

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	8 土木費	1 報酬	200	委員報酬	200
	項	1 土木管理費	4 共済費	270	社会保険料	270
	目	2 建築指導費	7 賃金	1,724	事務賃金	1,724
			9 旅費	30	普通旅費	30
			11 需要費	70	消耗品費・印刷製本費	70
			12 役務費	344	通信運搬費・手数料	344

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
100		2,638		1,000			1,638

事業の概要、対象、意図など

倉吉市空き家等の適正管理に関する条例が平成26年4月1日から施行され、危険家屋を含めた管理不全な状態にある空き家等について行政指導、行政処分を行い、空き家の老朽化による倒壊などの管理不全な状態となることを防止し、市民の生活環境の保全と安全の確保を目的とする。

歳出積算根拠（金額）

○臨時職員1名　　賃金1,724千円　社会保険料270千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

空き家等実態調査支援事業　限度額1,000千円　県1/2、市1/2

担当課	景観まちづくり課
事業名	都市計画総務（景観）

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	8 土木費	1 報酬	60	委員報酬	60
	項	4 都市計画費	11 需要費	60	消耗品費ほか	60
	目	1 都市計画総務費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
105	1,097	120				120	0

事業の概要、対象、意図など

都市計画審議会の開催（審議内容：都市計画・景観計画・屋外広告物）

歳出積算根拠（金額）

都市計画審議会委員報酬　　2,000円×10人×3回　＝ 60千円
事務費　60千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

屋外広告物表示許可申請手数料　120千円

担当課	景観まちづくり課
事業名	倉吉打吹地区街なみ環境整備

予算科目						
会計	一般	節		説明		
歳入歳出	歳出	区分	金額			
款	8 土木費	8 報償費	70	審査会委員報酬	70	
項	4 都市計画費	9 旅費	60	普通旅費	60	
目	1 都市計画総務費	11 需要費	142	消耗品費、燃料費等	142	
		12 役務費	60	通信運搬費	60	
		14 使用料及び賃借料	750	機械借上料	750	
		19 負担金及び補助金	9,812	街なみ環境整備事業費補助金等	9,812	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
106	28,772	10,894	4,200	1,400			5,294

事業の概要、対象、意図など

「遥かな街との出会い」をテーマに地区の街なみが統一、調和され倉吉特有の歴史（文化、香、水、緑）の要素を取入れ、先人が築きあげた八橋往来、玉川沿いの歴史的建造物などの街なみを活かし、生活感があり快適で現代的要素も加味しながら街なみ環境整備を行う。

■主な整備内容等

住宅の外壁、屋根等に係る改修工事への補助（7件）

歳出積算根拠（金額）

○補助金

街なみ環境整備事業費補助金

1,800千円×7/9×7件＝9,800,000円

研修会等参加負担金　12,000円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

○社会資本整備総合交付金

街なみ環境整備　4,200,000円

修景補助　1,800,000円×3/9×7件＝4,200,000円

○街なみ環境整備等促進事業費補助金（県）

街なみ環境整備　1,800,000円×1/9×7件＝1,400,000円

担当課	景観まちづくり課
事業名	【一部新規】市営住宅維持管理

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	8	土木費	1 報酬	1,345	非常勤職員報酬	1,345
項	5	住宅費	4 共済費	90	社会保険料	90
目	1	住宅管理費	7 賃金	575	事務賃金	575
			8 報償費	340	報奨金	340
			9 旅費	43	普通旅費	43
			11 需用費	12,124	修繕料外	12,124
			12 役務費	5,372	通信運搬費・手数料	5,372
			13 委託料	2,538	保守点検委託料外	2,538
			14 使用料及び賃借料	139	自動車借上料・機械借上料	139
			15 工事請負費	3,008	維持補修費	3,008
			19 負担金補助及び交付金	349	下水道受益者負担金外	349

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳　（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
107	23,834	25,923	4,320			18,595	3,008

事業の概要、対象、意図など

公営住宅法に基づく公営住宅、改良住宅、市単独住宅、特定公共賃貸住宅及び都市再生住宅の適正な維持管理

歳出積算根拠（金額）

住宅維持管理修繕料11,640千円
受水槽清掃手数料1,279千円
消防用設備保守点検料1,800千円
エレーベータ保守管理委託料1,902千円
【新規】みどり町住宅擁壁変状補修工事3,008千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

住宅使用料15,986千円
住宅手数料　9千円
公的賃貸住宅家賃調整補助金4,320千円
退居に伴う修繕（入居者負担分）2,600千円

担当課	景観まちづくり課
事業名	県営住宅維持管理

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	8	土木費	2 給料	340	一般職給	340
項	5	住宅費	4 共済費	205	共済組合費他	205
目	1	住宅管理費	7 賃金	575	事務賃金	575
			9 旅費	47	普通旅費	47
			11 需用費	1,205	修繕料他	1,205
			12 役務費	164	通信運搬費他	164
			14 使用料及び賃借料	69	自動車借上料	69
			19 負担金補助及び交付金	19	研修会等参加負担金	19

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳　（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
107	2,478	2,624		2,624			0

事業の概要、対象、意図など

県より管理代行している県営住宅6団地71戸の維持管理及び関係する事務経費
○三明寺団地・北野団地・小鴨団地・東和田団地・高城第１団地・高城第３団地

歳出積算根拠（金額）

県営住宅6団地71戸の維持管理及び関係する事務経費2,624千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

県営住宅管理費委託金2,624千円

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位：千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	2	1	6	15	1	教育総務課	教育振興基金積立金	1	1,933	0
〃	〃	10	1	1	1	1	教育総務課	教育委員会	1	2,535	2,535
〃	〃	10	1	2	2	1	教育総務課	教育委員会事務局	2	46,741	45,539
〃	〃	10	1	2	5	1	教育総務課	輝く人育成	2	1,200	20
〃	〃	10	2	1	2	1	教育総務課	小学校運営（総務）	3	146,679	145,504
〃	〃	10	2	2	1	1	教育総務課	小学校教材整備	3	63,013	61,733
〃	〃	10	2	3	3	1	教育総務課	上灘小学校耐震補強事業	4	22,392	1,192
〃	〃	10	2	3	8	1	教育総務課	河北小学校校舎増築事業	4	176,744	13,272
〃	〃	10	3	1	2	1	教育総務課	中学校運営（総務）	5	72,540	71,979
〃	〃	10	3	2	1	1	教育総務課	中学校教材整備	5	35,485	34,985

担当課	教育総務課
事業名	教育振興基金積立金

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	25 積立金	1,933	教育振興基金積立金	1,933
	項	1 総務管理費				
	目	6 財産管理費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
38	1,651	1,933				1,933	0

事業の概要、対象、意図など

平成５年度に故石谷文海氏の遺志による寄附を受けた1億5千万円を原資として、次代を担う児童、生徒等のスポーツの奨励、文化活動の振興及び国際交流の促進を目的とした「教育振興基金」を創設した。

この基金の運用利息及びふるさと納税による寄附金を基金に積み立て、一部を児童生徒のスポーツ・文化活動振興等のために活用するもの。

歳出積算根拠（金額）

教育振興基金から生じた利息等を基金に積み立てる。

・教育振興基金積立金　1,933千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

財産収入

教育振興基金利子

・元金：国債（預入期間10年）150,000,000円×1.1%＝　1,650,000円

・運用資金：8,437,689円×0.025%×365/365＝ 2,109円　　計 1,652,109円

寄附金　280,000円

担当課	教育総務課
事業名	教育委員会

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	1 報酬	2,448	教育委員会委員	2,448
	項	1 教育委員会費	9 旅費	14	費用弁償	14
	目	1 教育委員会	11 需用費	34	消耗品費	34
			19 負担金補助及び交付金	39	市町村教育委員会研究協議会負担金	39

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
112	2,534	2,535					2,535

事業の概要、対象、意図など

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき設置されている教育委員会の委員の活動や、研修等に係る経費を計上するもの。

歳出積算根拠（金額）

・教育委員報酬　委員長　　63,000円/月×12月×1人

　　委　員　　47,000円/月×12月×3人　　計　2,448千円

・費用弁償　市町村教育委員会委員研修会（鳥取市）1,740円×2回×4人　　14千円

・参考図書　34千円

・鳥取県市町村教育委員会研究協議会負担金　39千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	教育総務課
事業名	教育委員会事務局

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	10 教育費		1 報酬	1,817	嘱託	1,817
項	1 教育総務費		4 共済費	5,229	社会保険料	5,229
目	2 事務局費		5 災害補償費	20	療養補償費他	20
			7 賃金	31,018	事務賃金	31,018
			8 報償費	15	報償金	15
			9 旅費	908	普通旅費	908
			10 交際費	50	交際費	50
			11 需用費	1,086	消耗品費他	1,086
			12 役務費	147	通信運搬費他	147
			14 使用料及び賃借料	1,002	機械借上料	1,002
			19 負担金補助及び交付金	49	会議等参加負担金他	49
			21 貸付金	5,400	奨学資金貸与金	5,400

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
112	46,106	46,741				1,202	45,539

事業の概要、対象、意図など

・教育委員会事務局の運営
・臨時職員（学校主事等）の雇用
・経済的理由により修学が困難な大学生等を対象とする奨学金の貸与等を行うもの。

歳出積算根拠（金額）

・嘱託職員報酬（建築技師）　1,817千円
・臨時・嘱託職員社会保険料（19人）　5,229千円
・臨時職員(学校主事)賃金（18人）　31,018千円
・全国教育長協議会他旅費　248千円
・倉吉市奨学資金貸与金（大学生等9人）　5,400千円　他

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

・諸収入　奨学資金貸与金元利収入（9人分）　1,200千円　ほか

担当課	教育総務課
事業名	輝く人育成

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	10 教育費		8 報償費	1,150	報償金	1,150
項	1 教育総務費		11 需用費	50	消耗品費	10
目	2 事務局費				印刷製本費	40

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
113	1,300	1,200				1,180	20

事業の概要、対象、意図など

故石谷文海氏の遺志による１億５千万円の寄附金を原資とした教育振興基金の果実を活用し、スポーツ・文化活動の振興とともに、次代を担う人材の育成を図るもの。
・打吹公園だんご教育奨励賞の授与
・児童生徒全国大会出場激励費の支給

歳出積算根拠（金額）

・教育奨励賞　個人副賞（トロフィーほか）　10,000円×19人　190千円
・児童・生徒大会出場激励費（中国大会・全国大会へ出場する団体・個人）　960千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

【繰入金】
教育振興基金繰入金　1,200千円①－20千円②= 1,180千円
・H26年度「輝く人育成事業費」歳出予算額 1,200千円…①
・平成21年度に寄附を受けた100千円を５年間に分けて充当　20千円…②

担当課	教育総務課
事業名	小学校運営（総務）

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	10 教育費	11 需用費		98,203	光熱水費他	98,203
項	2 小学校費	12 役務費		11,906	手数料他	11,906
目	1 学校管理費	13 委託料		14,491	建築物定期点検委託料他	14,491
		14 使用料及び賃借料		3,051	機械借上料他	3,051
		15 工事請負費		11,000	維持補修工事	11,000
		16 原材料費		675	工事材料費	675
		18 備品購入費		7,350	庁用器具費	7,350
		19 負担金補助及び交付金		3	土地改良区賦課金	3

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
115	137,819	146,679				1,175	145,504

事業の概要、対象、意図など

倉吉市が設置する小学校１５校（うち分校１校）を管理運営し、効率的な学校運営及び学校機能の保全を図るとともに、児童・教職員に良好な教育環境を確保するもの。

歳出積算根拠（金額）

○管理運営経費

・事務用消耗品他（学校配当分含む）	11,990千円	
・燃料費（暖房、草刈機用、除雪機等）	12,410千円	
・電気・上下水道使用料他	50,767千円	
・建物等修理代他（学校配当分含む）	20,613千円	
・通信運搬費（インターネット接続料・電話料他）	3,827千円	
・手数料（学校配当分含む）	7,991千円	
・委託料（建築物定期点検委託料他）	14,491千円	
・維持補修工事	11,000千円	
・庁用器具（机・椅子ほか、学校配当分含む）	7,350千円	ほか

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

・使用料及び手数料　校舎等使用料　1,050千円
・諸収入　小学校電話使用料ほか　125千円

担当課	教育総務課
事業名	小学校教材整備

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	10 教育費	11 需用費		16,114	消耗品費他	16,114
項	2 小学校費	12 役務費		494	手数料	494
目	2 教育振興費	14 使用料及び賃借料		30,668	機械借上料他	30,668
		18 備品購入費		15,737	教材備品費他	15,737

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
116	72,415	63,013	1,280				61,733

事業の概要、対象、意図など

小学校における教育活動（授業）の充実及び読書活動の推進
教材備品、児童用図書の計画的な購入整備により、良好な教育環境を創り、更なる学校教育の充実に資するもの。

歳出積算根拠（金額）

・消耗品費（学校配当教授用消耗品他）	14,756千円
・情報教育用ＬＡＮシステム借上料	28,806千円
・ウイルス対策ソフト使用料ほか	1,862千円
・教材備品購入（学校配当分教材備品他）	8,976千円
・理科教育振興設備費〔国庫補助対象〕	2,569千円
・児童用図書（学校配当分）	4,192千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

・国庫支出金　理科教育振興費国庫補助金　2,569千円×1/2≒ 1,280千円

担当課	教育総務課
事業名	上灘小学校耐震補強事業

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	13 委託料	22,392	設計業務委託料	22,392
	項	2 小学校費				
	目	3 学校建設費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
117	40,870	22,392			21,200		1,192

事業の概要、対象、意図など

児童生徒及び地域の災害時避難場所の安全確保のため、耐震性の不足する施設の耐震補強と、老朽改修及び環境改善工事をあわせて行うもの。
【上灘小学校耐震補強事業計画】
①特別・普通教室棟耐震補強事業　H26補強・実施設計、H27耐震補強工事(予定)
（Is値0.52　S55年建築　RC造3階建　延床面積1,127㎡）
②屋内運動場改築事業　H26耐力度調査・実施設計、H27改築工事(予定)
（Is値0.51　S46年改築　S造平屋建ほか　延床面積741㎡）

歳出積算根拠（金額）

①特別・普通教室棟耐震補強事業　3,986千円
・実施設計業務委託料　3,986千円
②屋内運動場改築事業　18,406千円
・耐震調査委託料　2,023千円　・実施設計業務委託料　16,383千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

【地方債】合併特例事業債　21,200千円（充当率95%）

担当課	教育総務課
事業名	河北小学校校舎増築事業

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	13 委託料	5,034	監理委託料	5,034
	項	2 小学校費	15 工事請負費	170,710	維持補修工事	170,710
	目	3 学校建設費	18 備品購入費	1,000	庁用器具費	1,000

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
117		176,744	38,772		30,200	94,500	13,272

事業の概要、対象、意図など

恒常的な教室不足を解消し、細やかな指導が行えるよう、普通教室、少人数指導教室棟を増築し、教育環境の整備を行うもの。また、増築に伴い車いすでの円滑な移動を可能とするため、エレベーターの設置を行う。
【河北小学校校舎増築事業計画　増築工事、エレベータ設置】
H25実施設計、H26増築工事
・増築校舎　RC造2階建、普通教室2、少人数指導教室、PC教室
・エレベーター棟　S造3階建(本校舎へ設置)
・机、いすなどの備品類の整備

歳出積算根拠（金額）

・工事監理業務委託料　5,034千円
・校舎増築工事(建築・電気・機械)　170,710千円
・庁用器具費(机、いす、ロッカー等)　1,000千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

【国庫支出金】
・公立学校施設整備事業費負担金
増築工事補助対象経費　67,894千円×交付率1/2＋事務費1%≒34,286千円
・学校施設環境改善交付金
エレベーター設置補助対象経費　13,328千円×交付率1/3＋事務費1%≒4,486千円
【地方債】
・学校教育施設等整備事業債
(負担金対象経費67,894千円－負担金34,286千円)×90%≒30,200千円
【その他】
・地域の元気づくり基金繰入金　94,500千円

担当課	教育総務課						
事業名	中学校運営（総務）						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	10 教育費	11 需用費	47,554	光熱水費他	47,554	
	項	3 中学校費	12 役務費	5,702	手数料他	5,702	
	目	1 学校管理費	13 委託料	6,220	建築物定期点検委託料他	6,220	
			14 使用料及び賃借料	1,447	機械借上料他	1,447	
			15 工事請負費	4,800	維持補修工事	4,800	
			16 原材料費	373	工事材料費	373	
			18 備品購入費	6,444	庁用器具費	6,444	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
118	62,091	72,540				561	71,979

事業の概要、対象、意図など

倉吉市が設置する中学校５校を管理運営し、効率的な学校運営及び学校機能の保全を図るとともに、生徒・教職員に良好な教育環境を確保するもの。

歳出積算根拠（金額）

○管理運営経費

・事務用消耗品他（学校配当分含む）	6,369千円	
・燃料費（暖房、草刈機用、除雪機等）	5,760千円	
・電気・上下水道使用料他	24,170千円	
・建物等修理代他（学校配当分含む）	9,756千円	
・通信運搬費（インターネット接続料・電話料他）	1,900千円	
・手数料（学校配当分含む）	3,762千円	
・委託料（建築物定期点検委託料他）	6,220千円	
・維持補修工事	4,800千円	
・庁用器具（机・椅子ほか、学校配当分含む）	6,444千円	ほか

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

・使用料及び手数料　校舎等使用料　501千円
・諸収入　中学校電話使用料ほか　60千円

担当課	教育総務課						
事業名	中学校教材整備						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	10 教育費	11 需用費	6,238	消耗品費他	6,238	
	項	3 中学校費	12 役務費	142	手数料	142	
	目	2 教育振興費	14 使用料及び賃借料	18,975	機械借上料他	18,975	
			18 備品購入費	10,130	教材備品費他	10,130	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
119	35,528	35,485	500				34,985

事業の概要、対象、意図など

中学校における教育活動（授業）の充実及び読書活動の推進
教材備品、生徒用図書の計画的な購入整備により、良好な教育環境を創り、更なる学校教育の充実に資するもの。

歳出積算根拠（金額）

・消耗品費（学校配当教授用消耗品他）	5,302千円	
・情報教育用ＬＡＮシステム借上料	18,510千円	
・ウイルス対策ソフト使用料ほか	465千円	
・教材備品購入（学校配当分教材備品他）	6,630千円	
・理科教育振興設備費〔国庫補助対象〕	1,000千円	
・児童用図書（学校配当分）	2,500千円	ほか

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

・国庫支出金　理科教育振興費国庫補助金　1,000千円×1/2＝ 500千円

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位：千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	10	1	2	3	1	学校教育課	教育総務	1	4,755	4,755
〃	〃	10	1	2	10	1	学校教育課	児童生徒舞台芸術鑑賞	1	1,038	1,038
〃	〃	10	1	2	15	1	学校教育課	スクールソーシャルワーカー活用	2	3,194	1,066
〃	〃	10	1	2	17	1	学校教育課	倉吉学校支援ボランティア	2	3,416	0
〃	〃	10	1	2	18	1	学校教育課	人権同和教育推進	3	3,202	3,202
〃	〃	10	1	2	22	1	学校教育課	元気はつらつプラン	3	17,282	17,282
〃	〃	10	1	2	23	1	学校教育課	ふるさと鳥取見学（県学）支援事業	4	138	0
〃	〃	10	1	2	26	1	学校教育課	【新規】授業改革ステップアップ事業	4	1,000	0
〃	〃	10	2	1	3	1	学校教育課	小学校運営（学校）	5	59,806	59,806
〃	〃	10	2	1	4	1	学校教育課	小学校保健	5	8,784	7,667
〃	〃	10	2	2	4	1	学校教育課	小学校遠距離通学費補助	6	723	723
〃	〃	10	2	2	5	1	学校教育課	小学校給食	6	606	606
〃	〃	10	2	2	6	1	学校教育課	小学校教育研修	7	4,416	4,415
〃	〃	10	2	2	7	1	学校教育課	初等教育研究	7	3,060	3,060
〃	〃	10	2	2	8	1	学校教育課	小学校就学援助	8	7,741	6,606
〃	〃	10	2	2	10	1	学校教育課	小学校図書館ネットワーク事業	8	3,864	3,864
〃	〃	10	3	1	3	1	学校教育課	中学校運営（学校）	9	14,496	14,496
〃	〃	10	3	1	4	1	学校教育課	中学校保健	9	3,932	3,361
〃	〃	10	3	2	4	1	学校教育課	中学校遠距離通学費補助	10	4,976	4,976
〃	〃	10	3	2	5	1	学校教育課	中学校給食	10	88	88
〃	〃	10	3	2	6	1	学校教育課	中学校教育研修	11	5,507	5,506
〃	〃	10	3	2	7	1	学校教育課	中学校教育研究	11	8,701	8,701
〃	〃	10	3	2	8	1	学校教育課	中学校就学援助	12	9,406	8,639
〃	〃	10	3	2	10	1	学校教育課	中学校図書館ネットワーク事業	12	1,824	1,824
〃	〃	10	3	2	11	1	学校教育課	中学校寄宿舎運営	13	1,041	709
〃	〃	10	3	2	12	1	学校教育課	語学指導等外国青年招致	13	11,395	10,639
〃	〃	10	3	2	13	1	学校教育課	心の教室相談	14	4,013	4,013

担当課	学校教育課
事業名	教育総務

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	01 報酬	104	委員報酬	104
	項	1 教育総務費	08 報償費	40	報償金	40
	目	2 事務局費	09 旅費	120	普通旅費	120
			11 需用費	709	消耗品費他	709
			14 使用料及び賃借料	221	会場借上料他	221
			19 負担金補助及び交付金	3,553	中部子ども支援センター負担金他	3,553
			27 公課費	8	自動車重量税	8

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
112	4,648	4,755					4,755

事業の概要、対象、意図など

・審議会を開催し、本市学校教育課題を明らかにし、解決を図る。
・「菜の花プロジェクト」を継続実施し、本市に愛着を持ち豊かな心をもつ児童生徒の育成を図る。
・児童生徒の不登校状態の改善を図る。（中部子ども支援センター開設）
・教職員の資質向上推進を図る。
・年度末人事協議を行い適正な教職員配置を推進する。

歳出積算根拠（金額）

（主な項目）
・審議会委員報酬　2,000円×13人×4回　104千円
・「菜の花プロジェクト」関係（講師謝金、種子・肥料代、会場費等）　223千円
・不登校対策（中部子ども支援センター負担金）　3,468千円
・人事協議関係　32千円
・その他、学校教育課業務に必要な需用費等

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	学校教育課
事業名	児童生徒舞台芸術鑑賞

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	11 需用費	40	消耗品費	40
	項	1 教育総務費	12 役務費	34	手数料	34
	目	2 事務局費	13 委託料	964	青少年劇場巡回公演委託料	310
					青少年劇場小公演委託料	216
					芸術鑑賞教室委託料	438

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
113	1,012	1,038					1,038

事業の概要、対象、意図など

　次世代を担う子どもたちに対し、本物の舞台芸術を鑑賞する機会を提供することで文化芸術に親しみ、豊かな心を育む情操教育を推進するため。
　本物の芸術に生で触れる機会が多くない本市の児童生徒にとって、質の高い芸術を鑑賞できると好評で、毎年学校から予定を超える希望がある。

歳出積算根拠（金額）

消耗品　40千円（本物の舞台芸術、青少年劇場巡回公演）
手数料　34千円（ピアノ調律12千円×2公演、手話通訳10千円）
委託料　964千円（青少年劇場（巡回公演・小公演×2校）、芸術鑑賞教室）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

実施経費については、鳥取県市町村交付金の対象となっている。

担当課	学校教育課					
事業名	スクールソーシャルワーカー活用					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	07 賃金	3,079	事務賃金	3,079
	項	1 教育総務費	09 旅費	115	費用弁償	115
	目	2 事務局費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
113	3,652	3,194		2,128			1,066

事業の概要、対象、意図など

不登校を含む長期欠席者の出現率が高い本市の課題克服のため、社会福祉士等の資格を有する者を雇用し、学校や児童生徒、保護者への支援を行うもの。
研修については、県内で研修する機会が限られており、県外での研修が必要な状況があるため。

歳出積算根拠（金額）

・賃金（週12時間×21週、週13時間×31週）　社会福祉士 2,700円×655時間×1人 ＝ 1,769千円
　教員経験者 2,000円×655時間×1人 ＝ 1,310千円
・研修会参加（東京1泊2日）　57,300円×2人 ≒ 115千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

・スクールソーシャルワーカー活用事業費補助金（県補助率 2/3）　2,128千円

担当課	学校教育課					
事業名	倉吉学校支援ボランティア					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	08 報償費	2,280	報償金	2,280
	項	1 教育総務費	11 需用費	1,052	消耗品費	732
	目	2 事務局費			食糧費	320
			12 役務費	84	保険料	84

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
113	3,451	3,416		3,416			0

事業の概要、対象、意図など

・学校支援ボランティアを活用し子どもたちの学習意欲を高め、確かな学力を身につけさせる。また、豊かな人間性と生きる力、ふるさとを愛する心を育成する。
・地域の子どもは地域で育てる意識を高めると共に、元気な地域を作るきっかけとする。
・本市が定める「地域学校委員会」の取り組みの柱として位置づけている。

歳出積算根拠（金額）

報償金　2,280千円（コーディネーター謝金10,000円×12ヶ月×19校）
需用費　1,052千円（消耗品費732千円、食糧費320千円）
役務費　84千円（保険料300円×278人）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

地域で育む学校支援ボランティア事業費補助金（10/10）　3,416千円

担当課	学校教育課						
事業名	人権同和教育推進						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	10 教育費	08 報償費	2,207	報償金	2,207	
	項	1 教育総務費	11 需用費	740	消耗品費	740	
	目	2 事務局費	13 委託料	225	人権同和教育委託料	225	
			19 負担金補助及び交付金	30	中部地区人権教育懇談会負担金	30	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
113	3,202	3,202					3,202

事業の概要、対象、意図など

本市学校教育における人権同和教育の、より一層の推進に資するもの。
本市が制定した「第4次倉吉市あらゆる差別をなくする総合計画」を基本とし、様々な人権問題を主体的に解決する力を育成することをめざすため。

歳出積算根拠（金額）

報償費　2,207千円(学校教員地域進出1,000円×延1,967人、講師謝金6,000円×40人)
需用費　740千円(研修会消耗品、地区学習会消耗品)
委託料　225千円(人権同和教育委託料45,000円×5校区)
負担金　30千円(中部地区人権教育懇談会)

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	学校教育課						
事業名	元気はつらつプラン						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	10 教育費	04 共済費	197	社会保険料	197	
	項	1 教育総務費	07 賃金	17,085	事務賃金	17,085	
	目	2 事務局費					

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
113	8,069	17,282					17,282

事業の概要、対象、意図など

市内の小中学校には、発達障がいや基本的な生活習慣が身についていない等の理由から個別の支援を必要とする児童生徒がいる。
「元気はつらつプラン」で教員補助職員を配置することにより個別の支援を行うことができ、当該児童生徒が落ち着いて学習・生活できるようになる。その結果、学級全体も落ち着いた状況となる。

歳出積算根拠（金額）

社会保険料（雇用保険、労災保険）　17,084千円×(8.5＋3.0)／1,000　＝ 197千円
事務賃金　880円×28.25ｈ×4週×11月×15人　＝ 16,408千円
　　通勤手当　4,100円×15人×11月　＝ 677千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	学校教育課						
事業名	ふるさと鳥取見学（県学）支援事業						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	10 教育費	14 使用料及び賃借料	138	自動車借上料	138	
	項	1 教育総務費					
	目	2 事務局費					

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
114	0	138		138			0

事業の概要、対象、意図など

小学校が実施する社会科見学で次の要件を満たす事業に対する補助
・見学先に県内の公共施設、文化財、建造物、工場、観光地等が含まれている。
・学校から最も遠い見学先までの片道経路の距離が概ね40km以上である。
・9月12日の「県民の日」関連行事として、概ね9月から10月までに実施。
補助事業に要するバス借上経費を対象とし、バス1台当り84,000円を上限として補助するもの。
（補助率1/2）

歳出積算根拠（金額）

バス借上料
明倫小学校　5年　60,000円×1/2
北谷小学校　5.6年　54,000円×1/2
高城小学校　4.5年　84,000円×1/2
成徳小学校　5年　76,680円×1/2

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

ふるさと鳥取見学（県学）支援事業費補助金　（県10/10）　138千円

担当課	学校教育課						
事業名	【新規】授業改革ステップアップ事業						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	10 教育費	08 報償費	344	報償金	344	
	項	1 教育総務費	09 旅費	375	費用弁償	300	
	目	2 事務局費			普通旅費	75	
			11 需用費	281	消耗品費	281	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
113	0	1,000		1,000			0

事業の概要、対象、意図など

中学校区の小中学校が連携して、子どもたちが抱える課題を共有し解消するための授業改革を行う。「とっとりの授業改革　10の視点」に基づいて授業研究を行い、検証改善を行いながら、授業改革のステップアップによる学びの質の向上を推進する。

歳出積算根拠（金額）

講師謝金	43千円×4回×2校区	344千円
旅費	先進地視察　京阪神　37,500円×5人×2校区	375千円
消耗品費	印刷用消耗品等	281千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

授業改革ステップアップ事業費補助金　県10/10　1,000千円

担当課	学校教育課
事業名	小学校運営（学校）

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	10 教育費		01 報酬	32,300	委員報酬	18
項	2 小学校費				非常勤職員報酬	32,282
目	1 学校管理費		04 共済費	4,400	社会保険料	4,400
			07 賃金	240	事務賃金	240
			08 報償費	10	報償金	10
			09 旅費	371	費用弁償	371
			11 需用費	230	消耗品費他	230
			12 役務費	72	通信運搬費他	72
			13 委託料	183	眼科検診委託料	183
			26 寄附金	22,000	教員加配費用協力金	22,000

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
114	57,404	59,806					59,806

事業の概要、対象、意図など

・適正な就学を図るため就学指導委員会開催
・学校医、学校薬剤師、学校歯科医、学校耳鼻科医、学校眼科医を各校１名ずつ委嘱
・学校図書館司書（非常勤職員）を全小学校へ配置
・35人学級実施、複式学級解消のための教員を加配（5人）
・情報教育指導員を配置（1人）

歳出積算根拠（金額）

・就学指導委員報酬及び診断手数料　　53千円
・学校医等の報酬　　4,910千円
・学校図書館司書の報酬（社会保険料、旅費を含む）　29,785千円
・加配教員を配置するための協力金（5名分）　22,000千円
・情報教育指導員の報酬（社会保険料、旅費を含む）　2,358千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	学校教育課
事業名	小学校保健

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	10 教育費		01 報酬	968	非常勤職員報酬	968
項	2 小学校費		11 需用費	398	消耗品費他	398
目	1 学校管理費		12 役務費	4,436	手数料他	4,436
			14 使用料及び賃借料	320	自動車借上料	320
			18 備品購入費	200	庁用器具費	200
			19 負担金補助及び交付金	2,462	日本スポーツ振興センター負担金	2,338
					中部学校保健会負担金	124

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
115	8,786	8,784				1,117	7,667

事業の概要、対象、意図など

学校における保健管理及び安全管理を行うとともに、児童及び教職員の健康の維持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資するため

歳出積算根拠（金額）

就学時健康診断学校医等報酬　968千円
児童検診・教職員健康診断・プール水質検査等手数料　4,217千円
保健室用品備品　200千円
日本スポーツ振興センター共済掛金・中部学校保健会負担金　2,462千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

日本スポーツ振興センター保護者負担金　1,117千円
　一般　460円×2,248人　≒　1,034千円　　準要保護　345円×（171+70）人　≒　83千円

担当課	学校教育課					
事業名	小学校遠距離通学費補助					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	19 負担金補助及び交付金	723	遠距離通学費補助金	723
	項	2 小学校費				
	目	2 教育振興費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
117	527	723					723

事業の概要、対象、意図など

片道の通学距離が 4km以上となる児童の保護者に対して、
バス通学定期利用者の月額は 3ヶ月通学定期乗車券×1/3×80%、
その他の通学方法の月額は 1,200円、
補助月数は、11ヶ月（8月を除く）を補助するもの。

歳出積算根拠（金額）

該当校	上小鴨小学校	3人	40千円		
	北谷小学校	8人	263千円		
	高城小学校	7人	169千円		
	社小学校	5人	66千円		
	関金小学校	5人	66千円		
	山守小学校	9人	119千円	計 37人	723千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

担当課	学校教育課					
事業名	小学校給食					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	11 需用費	238	消耗品費	238
	項	2 小学校費	18 備品購入費	368	庁用器具費	368
	目	2 教育振興費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
116	597	606					606

事業の概要、対象、意図など

学校給食の普及・充実を図るために、給食用消耗品の支援や給食用牛乳保管庫の購入を行うもの。

歳出積算根拠（金額）

給食用消耗品 2,000円×119普通学級 238千円
給食用牛乳保管庫 1台 ※上小鴨小学校設置予定 368千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

担当課	学校教育課						
事業名	小学校教育研修						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	10 教育費	08 報償費	84	報償金	84	
	項	2 小学校費	11 需用費	1,952	消耗品費	1,952	
	目	2 教育振興費	12 役務費	1,734	手数料	1,734	
			14 使用料及び賃借料	646	自動車借上料	646	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
116	4,045	4,416				1	4,415

事業の概要、対象、意図など

・児童の学力実態を図り、学力向上を推進するための諸検査を実施する。
・いじめ等の問題行動の未然防止を図るための集団適応検査を実施する。
・喫煙の弊害を指導することにより心身ともに健康な児童の育成を目指すための外部講師招聘を行う。
・諸行事の運営に対し適切な補助を行い、保護者の負担軽減を図る。

歳出積算根拠（金額）

（主な項目）

・各種学力調査用紙代、診断料（知能検査2,4,6年　ＮＲＴ4,5,6年）	2,153千円
・集団適応検査用紙代、診断料（4,5,6年　年2回）	1,102千円
・喫煙防止教育講師謝金　6,000円×14校	84千円
・宿泊訓練バス借上料（5年）・集合学習バス借上料	646千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

小学校費寄附金　1千円

担当課	学校教育課						
事業名	初等教育研究						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	10 教育費	08 報償費	50	報償金	50	
	項	2 小学校費	11 需用費	150	消耗品費	150	
	目	2 教育振興費	14 使用料及び賃借料	628	自動車借上料	628	
			19 負担金補助及び交付金	2,232	教育研究等負担金	164	
					教育研究等補助金	2,068	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
116	3,069	3,060					3,060

事業の概要、対象、意図など

各教育関係機関に対する支援を行い、義務教育の充実に資する。また各学校が児童や地域の課題解決をめざすとともに、独自の特色ある学校づくりを推進する。

歳出積算根拠（金額）

研究部会・研修会講師謝金　5,000円×10人	50千円
金管バンド指揮者制服等、児童体育祭消耗品	150千円
中部水泳大会、県水泳大会、県陸上大会自動車借上料	628千円
県学校図書館協議会、中部特別支援教育研究会、中部小学校体育連盟	
難聴・言語障がい教育研究協議会負担金	164千円
初等教育研究会研究活動費補助金	302千円
児童大会派遣費補助金	688千円
創意と特色ある学校づくり推進事業補助金	1,078千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	学校教育課						
事業名	小学校就学援助						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	10 教育費	20 扶助費	7,741	特別支援教育就学奨励費扶助費	2,135	
	項	2 小学校費					
	目	2 教育振興費			要準要保護児童就学援助費	5,606	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
117	7,539	7,741	1,135				6,606

事業の概要、対象、意図など

学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって就学困難と認められる児童の保護者に対し、必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資する。
また、特別支援学級に在籍する児童の保護者の経済的な負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、特別支援学級への就学に必要な援助をし、特別支援教育の振興に資する。

歳出積算根拠（金額）

特別支援教育就学奨励費扶助費（特別支援学級入級者）　2,135千円
新入学学用品･通学用品購入費、学用品･通学用品購入費、
校外活動等参加費、修学旅行費、学校給食費
要準要保護児童就学援助費　5,606千円
新入学学用品･通学用品購入費、学用品･通学用品購入費、
校外活動等参加費、修学旅行費、学校給食費、医療費等

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

要保護児童就学援助費補助金　（国補助率　1/2）　68千円
修学旅行費、医療費
特別支援教育就学奨励費補助金　（国補助率　1/2）　1,067千円

担当課	学校教育課						
事業名	小学校図書館ネットワーク事業						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	10 教育費	12 役務費	28	手数料	28	
	項	2 小学校費	14 使用料及び賃借料	3,124	機械借上料	2,670	
	目	2 教育振興費			著作権使用料	454	
			18 備品購入費	712	庁用器具費	712	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
116	4,223	3,864					3,864

事業の概要、対象、意図など

学校図書館の蔵書をデータベース化し、コンピューターによる貸し出しや蔵書管理を可能とする。さらに、市立図書館とネットワークを結ぶことで、より利便性を向上させる。
内容は、機器借り上げ及び維持管理、図書館ネットワークを使用するために必要な権利料の支出、平成16年度から利用している学校図書館業務用パソコンの買い替え。

歳出積算根拠（金額）

サーバーウィルス対策更新料　37,260円×14/19校　28千円
機械借上料　2,670千円
TRC使用ライセンス料　454千円
学校図書館業務用パソコン（周辺機器一式含む）3校分　712千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	学校教育課						
事業名	中学校運営（学校）						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	10 教育費	01 報酬	10,423	非常勤職員報酬	10,423	
	項	3 中学校費	04 共済費	1,382	社会保険料	1,382	
	目	1 学校管理費	07 賃金	240	事務賃金	240	
			9 旅費	116	費用弁償	116	
			11 需用費	139	消耗品費他	139	
			12 役務費	41	通信運搬費	41	
			13 委託料	155	眼科検診委託料	111	
					耳鼻科健診委託料	44	
			26 寄附金	2,000	教員加配費用協力金	2,000	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
117	24,622	14,496					14,496

事業の概要、対象、意図など

・学校医、学校薬剤師、学校歯科医、学校耳鼻科医、学校眼科医を各校１名ずつ委嘱するもの
・学校図書館司書（非常勤職員）を全中学校に配置するもの
・35人学級実施のための教員を加配するもの（1人）

歳出積算根拠（金額）

・学校医等の報酬　1,826千円
・学校図書館司書の報酬（社会保険料、旅費を含む）　10,095千円
・教員加配のための協力金（1人）　2,000千円
・その他、検診に係る費用等

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	学校教育課						
事業名	中学校保健						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	10 教育費	11 需用費	173	消耗品費他	173	
	項	3 中学校費	12 役務費	2,091	手数料他	2,091	
	目	1 学校管理費	14 使用料及び賃借料	150	自動車借上料	150	
			18 備品購入費	250	庁用器具費	250	
			19 負担金補助及び交付金	1,268	日本スポーツ振興センター負担金	1,204	
					中部学校保健会負担金	64	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
118	3,911	3,932				571	3,361

事業の概要、対象、意図など

学校における保健管理及び安全管理を行うとともに、生徒及び教職員の健康の維持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資する。

歳出積算根拠（金額）

生徒検診・教職員健康診断・プール水質検査等手数料　1,998千円
保健室用品備品　250千円
日本スポーツ振興センター共済掛金・中部学校保健会負担金　1,268千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

日本スポーツ振興センター保護者負担金　571千円
　一般　460円×1,115人　≒　513千円
　準要保護　345円×（120+50）人　≒　58千円

担当課	学校教育課					
事業名	中学校遠距離通学費補助					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	19 負担金補助及び交付金	4,976	遠距離通学費補助金	4,976
	項	3 中学校費				
	目	2 教育振興費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
120	4,407	4,976					4,976

事業の概要、対象、意図など

片道の通学距離が 6km以上となる生徒の保護者に対して、
バス通学定期利用者の月額は 3ヶ月通学定期乗車券×1/3×80%、
その他の通学方法の月額は 1,500円。
補助月数 は12ヶ月 （8月を含む） を補助する。

歳出積算根拠（金額）

該当校　東中学校　21人　2,644千円
　　西中学校　11人　198千円
　　久米中学校　25人　450千円
　　鴨川中学校　19人　1,684千円　　計　76人　4,976千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	学校教育課					
事業名	中学校給食					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	11 需用費	88	消耗品費	88
	項	3 中学校費				
	目	2 教育振興費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
119	88	88					88

事業の概要、対象、意図など

学校給食の普及・充実を図るために、給食用消耗品の支援を行うもの。

歳出積算根拠（金額）

給食用消耗品　2,000円×44普通学級　88千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	学校教育課
事業名	中学校教育研修

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	08 報償費	80	報償金	80
	項	3 中学校費	11 需用費	1,910	消耗品費	1,910
	目	2 教育振興費	12 役務費	1,943	手数料他	1,943
			13 委託料	1,145	学力到達度調査業務委託料	1,145
			14 使用料及び賃借料	429	自動車借上料	429

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
119	5,349	5,507				1	5,506

事業の概要、対象、意図など

・生徒の学力実態を図り、学力向上を推進するための諸検査を実施する。
・いじめ等の問題行動の未然防止を図るための集団適応検査を実施する。
・喫煙の弊害を指導するとともに、性への正しい理解を図ることによる心身ともに健康な生徒の育成を目指すための外部講師招聘を行う。
・諸行事の運営に対し適切な補助を行い、保護者の負担軽減を図る。

歳出積算根拠（金額）

（主な項目）
・各種学力調査用紙代、診断料（知能検査1,3年　ＮＲＴ全学年　目標準拠調査1,2年）　3,465千円
・集団適応検査用紙代、診断料（全学年　年2回）　1,145千円
・講師謝金（性教育 10千円×5校、喫煙防止教育 6千円×5校）　80千円
・職場体験活動賠償責任保険　250円×426人（2年）　107千円
・宿泊訓練バス借上料　1,000円×429人（1年）　429千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

中学校費寄附金　1千円

担当課	学校教育課
事業名	中学校教育研究

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	08 報償費	50	報償金	50
	項	3 中学校費	14 使用料及び賃借料	3,620	自動車借上料	3,620
	目	2 教育振興費	19 負担金補助及び交付金	5,031	教育研究等負担金	879
					教育研究等補助金	4,152

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
119	8,723	8,701					8,701

事業の概要、対象、意図など

　各教育関係機関に対する支援を行い、義務教育の充実に資する。また各学校が生徒の学力等の課題解決をめざし、独自の特色ある学校づくりを推進する。

歳出積算根拠（金額）

領域教科研究会助言者謝金　5,000円×10教科	50千円
県内体育文化関係大会バス借上料	3,620千円
中部・県中学校体育連盟、県中学校文化連盟、県学校図書館協議会	
中部特別支援教育研究会、県中学校指導部連盟負担金	879千円
中学校教育振興会研究活動費補助金	270千円
中学校文化事業費補助金	59千円
生徒大会派遣費補助金	3,360千円
創意と特色ある学校づくり推進事業補助金	463千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	学校教育課							
事業名	中学校就学援助							
予算科目	会計	一般	節		説明			
	歳入歳出	歳出	区分	金額				
	款	10 教育費	20 扶助費	9,406	特別支援教育就学奨励費扶助費	1,324		
	項	3 中学校費						
	目	2 教育振興費			要準要保護生徒就学援助費	8,082		

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
120	9,540	9,406	767				8,639

事業の概要、対象、意図など

学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって就学困難と認められる生徒の保護者に対し、必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資する。
また、特別支援学級に在籍する生徒の保護者の経済的な負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、特別支援学級への就学に必要な援助をし、特別支援教育の振興に資する。

歳出積算根拠（金額）

特別支援教育就学奨励費扶助費（特別支援学級入級者）　1,324千円
新入学学用品･通学用品購入費、学用品･通学用品購入費、
校外活動等参加費、修学旅行費、学校給食費
要準要保護生徒就学援助費　8,082千円
新入学学用品･通学用品購入費、学用品･通学用品購入費、
校外活動等参加費、修学旅行費、学校給食費、医療費等

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

要保護生徒就学援助費補助金　（国補助率　1/2）　106千円
修学旅行費、医療費
特別支援教育就学奨励費補助金　（国補助率　1/2）　661千円

担当課	学校教育課							
事業名	中学校図書館ネットワーク事業							
予算科目	会計	一般	節		説明			
	歳入歳出	歳出	区分	金額				
	款	10 教育費	12 役務費	10	手数料	10		
	項	3 中学校費	14 使用料及び賃借料	1,106	機械借上料	944		
	目	2 教育振興費			著作権使用料	162		
			18 備品購入費	708	庁用器具費	708		

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
120	1,552	1,824					1,824

事業の概要、対象、意図など

学校図書館の蔵書をデータベース化し、コンピューターによる貸し出しや蔵書管理を可能とするもの。さらに、市立図書館とネットワークを結ぶことで、より利便性を向上させる。
内容は、機器借り上げ及び維持管理、図書館ネットワークを使用するために必要な権利料の支出、平成16年度から利用している学校図書館業務用パソコンの買い替え。

歳出積算根拠（金額）

サーバーウィルス対策更新料　37,260円×5/19校　10千円
機械借上料　944千円
TRC使用ライセンス料　162千円
学校図書館業務用パソコン（周辺機器一式含む）3校分　708千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	学校教育課
事業名	中学校寄宿舎運営

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	04 共済費	3	社会保険料	3
	項	3 中学校費	07 賃金	185	労務賃金	185
	目	2 教育振興費	11 需用費	828	光熱水費他	492
					賄材料費	336
			12 役務費	22	手数料	22
			14 使用料及び賃借料	3	テレビ聴視料	3

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
119	997	1,041	304			28	709

事業の概要、対象、意図など

片道の通学距離が 6km以上となる生徒の通学の負担を軽減するため、冬季間寄宿舎を運営する。調理員1名を配置し、生徒が充実した寄宿舎生活を送るために必要な措置を講じる。
（開設予定期間：H27 1/6～2/28　入舎予定生徒約12名）

歳出積算根拠（金額）

社会保険料　3千円　　賃金　185千円
日用消耗品　50千円　　暖房等燃料費　147千円
光熱水費　195千円　　修繕料　100千円
賄材料費　336千円　　寝具等クリーニング代、調理員細菌検査手数料　22千円
ＮＨＫ受信料　3千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

へき地児童生徒援助費補助金（交付要綱　国庫補助限度額）　304千円
寄宿舎舎監共食費　28千円

担当課	学校教育課
事業名	語学指導等外国青年招致

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	01 報酬	8,160	非常勤職員報酬	8,160
	項	3 中学校費	04 共済費	1,312	社会保険料	1,312
	目	2 教育振興費	09 旅費	96	費用弁償	96
			11 需用費	120	消耗品費他	120
			14 使用料及び賃借料	1,512	建物借上料	1,512
			19 負担金補助及び交付金	195	外国青年傷害保険負担金	51
					自治体国際化協会負担金	144

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
119	11,965	11,395				756	10,639

事業の概要、対象、意図など

外国青年を招致し、外国語教育の充実を図る。小中学校における英語教育の推進を図る。
英語指導助手（ALT）2名雇用

歳出積算根拠（金額）

英語指導助手の報酬等　9,472千円
英語指導助手の旅費等　96千円
英語指導助手の賃貸住宅に係る経費　1,632千円
負担金（外国青年傷害保険負担金・自治体国際化協会負担金）195千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

建物借上個人負担　756千円

担当課		学校教育課				
事業名		心の教室相談				
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	07 賃金	4,013	事務賃金	4,013
	項	3 中学校費				
	目	2 教育振興費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
119	4,013	4,013					4,013

事業の概要、対象、意図など

市内全中学校に相談員を配置し、生徒指導上の諸問題の解決、改善に資する。
生徒の学校への適応を援助したり、悩み等を気楽に話せるようにすることで生徒のストレスを和らげたりするために配置する。

歳出積算根拠（金額）

・賃金　880円×6ｈ×4日×38週×5人　　4,013千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位：千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	10	4	1	2	1	生涯学習課	社会教育総務	1	18,987	18,987
〃	〃	10	4	1	3	1	生涯学習課	成人式	1	1,697	1,697
〃	〃	10	4	2	1	1	生涯学習課	生涯学習推進	2	560	560
〃	〃	10	4	2	2	1	生涯学習課	成人教育	2	701	506
〃	〃	10	4	4	1	1	生涯学習課	【一部新規】公民館管理	3	112,608	112,567
〃	〃	10	4	4	2	1	生涯学習課	公民館活動	3	1,526	1,526
〃	〃	10	4	8	5	1	生涯学習課	青少年教育	4	643	643
〃	〃	10	4	8	6	1	生涯学習課	放課後子ども教室推進事業	4	3,275	1,199
〃	〃	10	5	1	2	1	生涯学習課	社会体育総務	5	931	930
〃	〃	10	5	1	3	1	生涯学習課	学校体育施設開放	5	1,471	1,471
〃	〃	10	5	1	4	1	生涯学習課	生涯スポーツ振興	6	576	576
〃	〃	10	5	1	5	1	生涯学習課	くらよし女子駅伝競走大会	6	5,168	5,168
〃	〃	10	5	1	7	1	生涯学習課	【一部新規】社会体育振興	7	9,560	9,560
〃	〃	10	5	2	1	1	生涯学習課	【一部新規】体育施設維持管理	8	12,176	12,176
〃	〃	10	5	2	2	1	生涯学習課	【新規】市営野球場整備	8	851	851
〃	〃	10	5	2	3	1	生涯学習課	【一部新規】体育施設管理運営	9	68,110	68,110
〃	〃	10	5	2	6	1	生涯学習課	関金Ｂ＆Ｇ海洋センター管理	9	3,397	3,169

担当課	生涯学習課
事業名	社会教育総務

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	10 教育費		1 報酬	15,620	委員報酬	66
項	4 社会教育				公民館長	15,554
目	1 社会教育総務		8 報償費	78	報償金	78
			9 旅費	22	費用弁償・普通旅費	22
			11 需用費	233	消耗品費・燃料費・修繕費	233
			12 役務費	21	通信運搬費	21
			13 委託料	589	青少年育成協議会委託料	589
			14 使用料及び賃借料	119	機械借上料	119
			19 負担金補助及び交付金	2,296	県社会教育委員連絡協議会負担金	12
					倉吉地区青少年補導センター負担金	2,284
			27 公課費	9	自動車重量税	9

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
121	18,980	18,987					18,987

事業の概要、対象、意図など

生涯学習全般についての助言、会議を開催（社会教育委員協議会、公民館管理委員長会）するもの。　公民館長の配置、職員の研修を行い、各地域の生涯学習内容の充実を図るもの。また、青少年の健全育成を図るための環境づくりを推進するもの。

歳出積算根拠（金額）

委員報酬66千円、公民館長報酬15,554千円　公民館管理委員長謝金78千円
普通旅費22千円　消耗品費109千円、燃料費79千円、修繕料45千円
通信運搬費 21千円　青少年育成協議会委託料589千円　プリンタパフォーマンスチャージ料119千円
県社会教育委員連絡協議会負担金12千円
倉吉地区青少年補導センター負担金2,284千円（3,426,000円の2/3負担）　自動車重量税9千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	生涯学習課
事業名	成人式

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	10 教育費		8 報償費	11	報償金	11
項	4 社会教育		11 需用費	578	消耗品費・食糧費・印刷製本費	578
目	1 社会教育総務		12 役務費	208	通信運搬費	208
			13 委託料	700	成人式運営委託料	700
			14 使用料及び賃借料	200	会場使用料	200

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
121	1,712	1,697					1,697

事業の概要、対象、意図など

毎年1月3日に新成人をお祝いする式典を開催するもの。テーマ「多くの市民で新成人をお祝いしましょう！」　実行委員会により企画運営する。

歳出積算根拠（金額）

報償金11千円　消耗品費44千円、食糧費18千円、印刷製本費516千円
通信運搬費208千円　成人式運営委託料700千円　会場借上料200千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	生涯学習課						
事業名	生涯学習推進						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	10 教育費	8 報償費	520	報償金	520	
	項	4 社会教育	11 需用費	40	消耗品費	40	
	目	2 成人教育					

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
122	559	560					560

事業の概要、対象、意図など

子ども会や自治公民館など、市内の地域活動団体や教育機関の実施する諸活動、学級・講座等に優れた知識や技能を習得された市民を指導者として活用することで、学習活動の支援、内容の充実を図るもの。

歳出積算根拠（金額）

報償金520千円（人材銀行指導者謝金@4,000円×130人）
消耗品費40千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

担当課	生涯学習課						
事業名	成人教育						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	10 教育費	8 報償費	150	報償金	150	
	項	4 社会教育	9 旅費	16	費用弁償・普通旅費	16	
	目	2 成人教育	11 需用費	35	消耗品費	35	
			13 委託料	500	鳥取短期大学公開講座委託料	500	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
122	701	701				195	506

事業の概要、対象、意図など

生涯学習環境の確保を図るため、市民の高度な学習要求に対応し、大学の専門的な教育の提供（短大公開講座）や成人を対象に広く市民に学習機会を提供する（生涯学習講座）。また、女性団体等の市民団体活動の支援を行うもの。

歳出積算根拠（金額）

報償金150千円　　費用弁償11千円、普通旅費5千円　　消耗品費35千円
鳥取短期大学公開講座委託料500千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

生涯学習講座受講費　　年間受講料 1,000円×150人＝150,000円
1回受講料　 500円× 90人＝ 45,000円　計　195,000円

担当課	生涯学習課
事業名	【一部新規】公民館管理

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	10 教育費		11 需用費	711	消耗品費	211
項	4 社会教育費				修繕料	500
目	4 公民館費		13 委託料	109,204	建物調査委託料	837
					消防設備保守管理委託料	724
					清掃委託料	2,360
					設計監理委託料	594
					地区公民館指定管理料	104,689
			15 工事請負費	1,966	維持補修工事	1,966
			18 備品購入費	674	機械器具費	674
			19 負担金補助及び交付金	53	県社会教育協議会負担金	27
					県公民館連合会負担金	26

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳　（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
124	114,184	112,608				41	112,567

事業の概要、対象、意図など

13地区の公民館が、生涯学習の場として学習を継続できるよう活動を推進するとともに、公民館の維持管理運営を行うもの。

歳出積算根拠（金額）

消耗品費2115千円（誘導灯ほか）　修繕料500千円（エアコン修繕ほか）　建物調査委託料837千円
消防設備保守管理委託料724千円　清掃等委託料2,360千円
【新規】設計監理委託料594千円（高城公民館トイレ改修工事設計監理委託料）
地区公民館指定管理委託料104,689千円　【新規】維持補修工事1,966千円（高城公民館トイレ改修工事）
機械器具費674千円（AED購入費　2個）
県社会教育協議会負担金27千円（一律2,000円＋人口割25,000円）
【新規】県公民館連合会負担金26千円（2,000円×13館）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

・教育使用料（行政財産使用料・高城公民館　NPOたかしろ）34,620円…34千円
・雑入（公民館光熱水費・高城公民館　NPOたかしろ前年実績）7,737円…7千円

担当課	生涯学習課
事業名	公民館活動

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	10 教育費		9 旅費	7	普通旅費	7
項	4 社会教育費		11 需用費	9	消耗品費	9
目	4 公民館費		13 委託料	1,510	公民館まつり委託料	600
					公民館研究指定事業委託料	910

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳　（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
124	1,812	1,526					1,526

事業の概要、対象、意図など

地域における多様な生涯学習活動を推進するため、地域課題や現代的課題に関する教室を各地区公民館で地域住民対象に開催する。又、各地区公民館での日ごろの活動、学習の成果を広く市民に発表する「公民館まつり」を開催するもの。

歳出積算根拠（金額）

普通旅費7千円　　消耗品費9千円　　公民館まつり委託料600千円
公民館研究指定事業委託料910千円（13公民館@70,000円）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	生涯学習課
事業名	青少年教育

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	10 教育費		8 報償費	49	報償金	49
項	4 社会教育費		11 需用費	20	消耗品費	20
目	8 生涯学習費		12 役務費	5	通信運搬費	5
			14 使用料及び賃借料	168	自動車借上料	168
			19 負担金補助及び交付金	401	ものづくり道場負担金	401

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
129	746	643					643

事業の概要、対象、意図など

青少年の健全育成を図るための体験活動や研修会の活動支援、「倉吉の子育て十か条」の推進・啓発、中学生活動グループの育成支援、子ども会等青少年団体の支援等実施するもの。

歳出積算根拠（金額）

報償金49千円　　消耗品費20千円　通信運搬費5千円　　自動車借上料168千円
ものづくり道場負担金401千円（事業推進費1,563千円を鳥取、倉吉、米子で各1/3、その内指導者謝金120千円を除く）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	生涯学習課
事業名	放課後子ども教室推進事業

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	10 教育費		8 報償費	2,013	報償金	2,013
項	4 社会教育費		11 需用費	431	消耗品費・印刷製本費	431
目	8 生涯学習費		12 役務費	592	通信運搬費・保険料	592
			14 使用料及び賃借料	239	会場借上料・自動車借上料・器具借上料	239

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
129	3,213	3,275		2,076			1,199

事業の概要、対象、意図など

安全・安心な子どもの活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て文化・スポーツ活動、交流活動を推進するもの。また、各地区で体験活動を実施し、次世代に文化を伝え、子どもたちが実体験を通して社会規範や基本的生活習慣を身につけることを目的とし、各地区で事業を推進するもの。（運営委員会、放課後子ども教室、各地区での体験活動、通学合宿など）

歳出積算根拠（金額）

報償費2,013千円（謝金：運営委員@2000円、コーディネーター、アドバイザー@1,080円、安全管理員@740円、講師@8,000円）
消耗品費418千円、印刷製本費13千円　　通信運搬費77千円、保険料515千円
会場借上料40千円、自動車借上料120千円、器具借上料79千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

県補助金…学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金（国、県、市各1/3）
補助対象事業費3,115,000円×2/3＝2,076,000円

担当課	生涯学習課					
事業名	社会体育総務					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	11 需用費	402	消耗品費	220
	項	5 保健体育費			燃料費	152
	目	1 保健体育総務費			修繕料	30
			14 使用料及び賃借料	529	自動車借上料	383
					機械借上料	146

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
130	944	931				1	930

事業の概要、対象、意図など

スポーツを振興し、以て市民の心身の健全な発達に寄与するもの。
事務局に係る経費を計上するもの。

歳出積算根拠（金額）

消耗品費（一般事務用品） 220千円、燃料費 152千円、公用車修繕 30千円
公用車リース料 383千円（リース期間5年の内3年目）
パフォーマンスチャージ料 146千円（白黒：81千円、カラー：65千円）

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

青年会議所　　青年会議会議所相撲関係者寄附金　1,000円

担当課	生涯学習課					
事業名	学校体育施設開放					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	13 委託料	1,471	学校体育施設開放企画運営委託料	1,471
	項	5 保健体育費				
	目	1 保健体育総務費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
131	1,425	1,471					1,471

事業の概要、対象、意図など

地域の実情に応じた事業展開を図るため、各地区学校体育施設開放企画運営委員会（16委員会）に調整及び維持管理を委託するもの。

歳出積算根拠（金額）

学校体育施設開放企画運営委託料1,471千円
　内訳　会議費　5,143円×16委員会
　　維持管理費　72,000円×14小学校＋76,115円×5中学校

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

担当課	生涯学習課					
事業名	生涯スポーツ振興					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	8 報償費	260	報償金	260
	項	5 保健体育費	11 需用費	306	消耗品費	306
	目	1 保健体育総務費	12 役務費	10	保険料	10

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
130	570	576					576

事業の概要、対象、意図など

生涯スポーツの普及促進を図るため、スポーツ活動参加への動機づけ並びに継続活動の基盤となる各地区公民館単位でのスポーツ教室の開催するもの。（13地区14教室）

歳出積算根拠（金額）

スポーツ教室講師謝金 260千円（20千円×13地区）
スポーツ教室教材費等 306千円（スポーツ教室 300千円、ニュースポーツ交流会 6千円）
ニュースポーツ交流会参加者保険料 10千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

担当課	生涯学習課					
事業名	くらよし女子駅伝競走大会					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	11 需用費	25	消耗品費	25
	項	5 保健体育費	13 委託料	5,143	女子駅伝競走大会開催委託料	5,143
	目	1 保健体育総務費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
130	5,000	5,168					5,168

事業の概要、対象、意図など

第29回くらよし女子駅伝競走大会及び第34回日本海駅伝競走大会は、年末の全国高校駅伝の前哨戦として定着し、平成25年度は参加チームのうち女子21校、男子23校が各地の予選を勝ち抜いて全国大会の出場を決めている。全国から強豪チームが参加しているため、地元の高校生チームにとってもよい刺激となっている。

また、沿道の自治体・経済界が一体となって「応援おもてなしプロジェクト」を発足して4年目となり大会を盛り上げているとともに、これらの大会により選手・監督をはじめとする大会関係者の宿泊者は2000名を超え、中部地区に大きな経済効果をもたらしている。

本事業は、日本海駅伝競走大会を運営する新日本海新聞社にくらよし女子駅伝競走大会の開催を委託し、運営業務の効率化、経費の軽減を図るもの。

歳出積算根拠（金額）

消耗品費 25千円（歓迎レセプション参加者記念品）
委託料 5,143千円（くらよし女子駅伝競走大会開催費委託料）

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

担当課	生涯学習課
事業名	【一部新規】社会体育振興

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	1 報酬	1,588	スポーツ推進審議会委員	24
	項	5 保健体育費			スポーツ推進委員	1,564
	目	1 保健体育総務費	8 報償費	196	報償金	196
			9 旅費	71	費用弁償	71
			11 需用費	40	消耗品費	40
			12 役務費	112	広告料	10
					保険料	102
			14 使用料及び賃借料	4	自動車借上料	4
			19 負担金補助及び交付金	7,549	負担金	129
					補助金	7,420

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
130	8,915	9,560					9,560

事業の概要、対象、意図など

●スポーツ基本法に基づくスポーツ推進審議会を開催するもの。
●スポーツ推進委員の資質向上を図るため、研修会（講習会・実技研修等）を実施するもの。
●ガイナーレ鳥取の倉吉市ホームタウンデイ（年1回）開催に伴う、ピッチ・会場内でのＰＲに係る経費
●スポーツ団体の育成を目的とし、所要の補助を行うもの。
①郷土が生んだ横綱琴桜の顕彰と相撲を通じて青少年の心身の健全な育成に資することを目的とし、櫻杯争奪相撲選手権大会の運営支援を行うもの。
②倉吉市体育協会が競技力向上、スポーツの普及並びに市民の健康増進・体力向上を担う役割を果たすための活動、市民体育大会、スポーツ表彰の開催等運営の支援を行うもの。
③倉吉市の代表として本市の児童又は生徒が全国的な規模及び水準で開催されるスポーツ競技大会へ出場するために必要な旅行経費を助成することにより保護者の経済的負担の軽減を図るもの。
④今回で３４回目となり、近年では高校生が参加チームの大半を占め、年末の全国高校駅伝の前哨戦として定着している。全国のトップレベルの走りを間近で体験することができる日本海駅伝競走大会の開催・運営の支援を行うもの。
【新規】⑤全国から70歳以上の野球愛好家が集う第24回全日本古希軟式野球大会（H26.10.17～21）が倉吉市営野球場を主会場に、関金野球場を含む中部地区の7会場で開催され、全国から56チーム約1,200人が参加予定。その大会の開催・運営を支援するもの。

歳出積算根拠（金額）

●【新規】広告料 10千円(米子鳥取間駅伝競走大会に係る広告料)
●【新規】自動車借上料 4千円（中国地区ｽﾎﾟｰﾂ推進委員研修会に係る高速道路利用料）
●負担金 129千円
①鳥取県体育協会負担金 25千円
②鳥取県県スポーツ推進委員協議会負担金 78千円
③全国スポーツ推進委員連合負担金 26千円
●補助金 7,420千円
①櫻杯争奪相撲選手権大会事業補助金 218千円
②倉吉市体育協会補助金 4,030千円
③倉吉市児童生徒全国大会出場補助金 1,600千円
④日本海駅伝競走大会補助金 972千円
⑤【新規】第24回全日本古希軟式野球大会補助金 600千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	生涯学習課
事業名	【一部新規】体育施設維持管理

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	11 需用費	7,500	光熱水費	4,500
	項	5 保健体育費			修繕料	3,000
	目	2 体育施設費	12 役務費	63	通信運搬費	63
			13 委託料	3,140	警備委託料	1,286
					施設管理委託料	1,512
					電気工作物保安管理業務委託料	342
			14 使用料及び賃借料	99	建物借上料	99
			16 原材料費	173	工事材料費	173
			18 備品購入費	1,201	庁用器具費	864
					機械器具費	337

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
132	9,301	12,176					12,176

事業の概要、対象、意図など

体育施設等・温水プールの老朽化・経年劣化による修繕・整備、維持管理を行うもの。
●体育施設の維持修繕
●市営体育施設等の経年劣化による補修及び設備を更新するもの。
【新規】●市営温水プール休館中（直営期間）の維持管理を行うため。

歳出積算根拠（金額）

【新規】市営温水プールの休館中（直営期間：H26.10月～H27.3月）に係る経費
●光熱水費 4,500千円（電気使用料 4,100千円、水道使用料 400千円）
●通信運搬費 63千円（電話回線使用料）
●委託料 5,239千円（警備委託 1,286千円、ろ過機の機能保全委託 1,512千円、キュービクル保安業務 169千円）
体育施設等整備
●委託料 173千円（電気工作物保安管理業務　久米中・西中ナイター照明）
●備品購入費 1,201千円（陸上競技用ハードル 864千円、自動体外式除細動器 337千円）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	生涯学習課
事業名	【新規】市営野球場整備

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	14 使用料及び賃借料	851	器具借上料	538
	項	5 保健体育費			建物借上料	313
	目	2 体育施設費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
132	105	851					851

事業の概要、対象、意図など

【新規】全国高校野球選手権鳥取大会（夏の大会）開催に伴う必要設備の整備を行うもの。
リースにより必要設備を大会期間中（準備期間含む。）のみ設置するため。

歳出積算根拠（金額）

新　全国高校野球選手権鳥取県大会
●借上料 851千円（スコアボード内エアコン４台 538千円、救護用コンテナハウス２棟 313千円）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	生涯学習課							
事業名	【一部新規】体育施設管理運営							
予算科目	会計	一般	節		説明			
	歳入歳出	歳出	区分	金額				
	款	10 教育費	1 報酬	30	指定管理候補者選定委員会委員	30		
	項	5 保健体育費	13 委託料	68,080	市営温水プール指定管理料	20,080		
	目	2 体育施設費			体育施設指定管理料	48,000		

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
131	85,195	68,110					68,110

事業の概要、対象、意図など

指定管理者による体育施設、温水プールの管理運営するもの。
高齢者の健康増進に寄与するとともに施設の利活用を促進する。
【新規】平成27年度以降の市営温水プールの指定管理候補者の選定委員会を開催するもの。

歳出積算根拠（金額）

新 報酬 30千円（市営温水プール指定管理候補者選定委員会３回）
●委託料 68,080千円
市営温水プール 20,080千円（指定管理料（4～9月）19,000千円、高齢者健康増進対策 1,080千円）
体育施設 48,000千円

担当課	生涯学習課					
事業名	関金Ｂ＆Ｇ海洋センター管理					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	4 共済費	343	社会保険料	343
	項	5 保健体育費	7 賃金	2,171	労務賃金	2,171
	目	2 体育施設費	9 旅費	95	普通旅費	95
			11 需用費	265	消耗品費	100
					燃料費	10
					光熱水費	45
					修繕料	100
					医薬材料費	10
			12 役務費	148	通信運搬費	33
					手数料	88
					保険料	27
			18 備品購入費	300	教材備品費	300
			19 負担金補助及び交付金	75	負担金	75

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
131	20,456	3,397				228	3,169

事業の概要、対象、意図など

●平成26年度も直営で管理運営を行い、青少年の健全育成及びスポーツ活動の活性化を図る。
●平成27年度からの指定管理者制度導入を目指し、艇庫の改修計画を策定する。なお、改修についてはB&G財団から補助を受ける予定。
●競技用パドルを鳥取県カヌー協会から借用し使用しているが、県協会から返却を迫られているため、平成25年度から2ヵ年で教室10名分を設置する。
●平成26年度から鳥取県連絡協議会事務局が輪番制で2ヵ年。平成27年度から中国ブロック連絡協議会を1ヵ年輪番制で担当する。

歳出積算根拠（金額）

●社会保険料 343千円：2,170,800円×157.72/1,000
●労務賃金 2,171千円：監視員賃金(6,700円×108日×3人)
●普通旅費 95千円：全国サミット(首長等会議) 79,160円、中国地区ブロック幹事引継 15,400円
●教材備品 300千円：パドル 小・中学生競技用（50,000円×4本）、一般（講師用）競技用（50,000円×2本）※輸入品なので為替レートで本数が変更となる可能性あり。
●負担金 75千円：鳥取県地域海洋センター連絡協議会負担金 25千円、大山池管理負担金 50千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

海洋センター利用料 200千円
カヌー教室個人負担金 27千円
コインロッカー使用料 1千円

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位：千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	5	1	2	8	1	文化財課	倉吉淀屋管理事業(地域人づくり事業)	1	3,500	0
〃	〃	10	4	3	1	1	文化財課	文化財保護	1	1,785	1,774
〃	〃	10	4	3	2	1	文化財課	市内遺跡分布調査	2	9,000	2,250
〃	〃	10	4	3	3	1	文化財課	市内埋蔵文化財緊急発掘調査	2	2,000	0
〃	〃	10	4	3	4	1	文化財課	史跡維持管理	3	12,170	11,880
〃	〃	10	4	3	5	1	文化財課	伝統的建造物群保存地区保存事業	3	48,673	17,033
〃	〃	10	4	3	6	1	文化財課	指定文化財保存整備	4	4,654	3,897
〃	〃	10	4	3	31	1	文化財課	大平山遺跡群発掘調査	5	12,520	12,520
〃	〃	10	4	3	35	1	文化財課	ドウ々平遺跡発掘調査	5	6,400	0

担当課	文化財課
事業名	倉吉淀屋管理事業（地域人づくり事業）

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	5 労働費	13 委託料	3,500	建物管理委託料	3,500
	項	1 労働諸費				
	目	1 労働諸費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
82	2,800	3,500		3,500			0

事業の概要、対象、意図など

歴史的建造物である「倉吉淀屋」を維持管理・公開する中で、地域の歴史や文化財・伝統文化等の知識を習得し、文化遺産を活かした観光振興のための人材を育成する。併せて、地域の高齢者等に「倉吉淀屋」が文化活動の場となるよう交流機会を提供することのできる人材としても育成を行い、就業につなげる。

江戸時代豪商の建築物の見学できる、倉吉の町並みを散策する観光ルートとして定着してきており、建物解説はかかせないものとなっている。委託先：倉吉淀屋運営委員会

歳出積算根拠（金額）

・共済費　雇用・労災保険料　31千円
・賃金　6700円×17日×12カ月×2人　2,734千円
・旅費　研修旅費　169千円
（倉敷市・大田市・大阪市）
・需用費　消耗品・燃料費等　318千円　・役務費　通信運搬費等　40千円
・使用料及び賃借料　108千円　・備品購入費　100千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

【県】緊急雇用創出事業「地域人づくり事業」（補助率100%）

担当課	文化財課
事業名	文化財保護

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	1 報酬	60	委員報酬	60
	項	4 社会教育費	8 報償費	454	報償金	454
	目	3 文化事業費	9 旅費	28	普通旅費	28
			11 需用費	600	消耗品費等	600
			12 役務費	15	通信運搬費・保険料	15
			13 委託料	169	案内看板設置委託料	169
			14 使用料及び賃借料	276	機械借上料	276
			19 負担金補助及び交付金	150	全国史跡整備市町村協議会負担金	50
					保存保護事業費補助金	100
			27 公課費	33	自動車重量税	33

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
122	1,840	1,785				11	1,774

事業の概要、対象、意図など

文化財保護審議会を開催（3回）。国県市指定及び国登録有形文化財等未指定文化財を調査し、保護措置を図る。倉吉文化財協会等市民団体と協働した文化財の啓発・活用活動の推進。伝統文化活動への支援。

歳出積算根拠（金額）

委員報酬　2,000円×10人×3回　60千円
指定文化財管理者報償費　454千円
委託料　案内看板設置委託料　169千円
補助金　2014住まい職人の技in倉吉事業費補助金　100千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

書籍販売収入ほか　11千円

担当課	文化財課						
事業名	市内遺跡分布調査						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	10 教育費	4 共済費	43	社会保険料	43	
	項	4 社会教育費	7 賃金	7,588	労務賃金	7,588	
	目	3 文化事業費	11 需用費	579	消耗品費、燃料費等	579	
			12 役務費	12	手数料	12	
			14 使用料及び賃借料	778	器具借上料	184	
					機械借上料	594	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳　（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
122	8,000	9,000	4,500	2,250			2,250

事業の概要、対象、意図など

埋蔵文化財包蔵地で計画される開発事業について、事前に試掘・確認調査を実施し、埋蔵文化財の保護と開発事業との調整を行う。
調査予定地区　　小鴨地区（国道関係）、上神地区・小鴨地区（県道関係）
調査予定面積　　合計720㎡

歳出積算根拠（金額）

労務賃金（発掘作業員賃金7,000円/日×754人、内務作業員賃金7,000円/日×330人　計7,588千円）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

国庫支出金（国宝重要文化財等保存整備費補助金）　事業費×1/2
県支出金　（鳥取県文化財等保存・保護事業費補助金）　事業費×1/4

担当課	文化財課						
事業名	市内埋蔵文化財緊急発掘調査						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	10 教育費	4 共済費	8	社会保険料	8	
	項	4 社会教育費	7 賃金	1,435	労務賃金	1,435	
	目	3 文化事業費	9 旅費	2	費用弁償	2	
			11 需用費	514	消耗品費、燃料費等	514	
			12 役務費	4	手数料	4	
			14 使用料及び賃借料	37	器具借上料	37	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳　（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
122	2,000	2,000				2,000	0

事業の概要、対象、意図など

当初計画にない開発事業に対応し、緊急に発掘調査を実施する。
発掘面積400㎡の想定。

歳出積算根拠（金額）

労務賃金（発掘作業員賃金7,000円/日×155人、内務作業員賃金7,000円/日×50人　計1,435千円）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

開発事業者からの受託収入

担当課	文化財課
事業名	史跡維持管理

予算科目		節		説明	
会計	一般	区分	金額		
歳入歳出	歳出				
款	10 教育費	1 報酬	924	非常勤職員報酬	924
項	4 社会教育費	9 旅費	86	普通旅費	86
目	3 文化事業費	11 需用費	772	消耗品費外	772
		12 役務費	1,187	手数料	1,187
		13 委託料	9,172	除草等委託料	9,172
		16 原材料費	29	工事材料費	29

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
122	11,786	12,170				290	11,880

事業の概要、対象、意図など

本市には６か所（約134千㎡）の史跡があり、保全管理を行っている。買い上げ等により、逐次、歴史公園等に環境整備され、利活用が図られてきた。歴史公園等に整備された伯耆国分寺跡・法華寺畑遺跡・大御堂廃寺跡についてはトイレ等の清掃業務及び植栽樹芝管理等を業務委託し管理を行っている。また、未整備地である伯耆国庁跡・阿弥大寺古墳群については除草等業務を地区住民と一緒になって維持管理に努めている。

歳出積算根拠（金額）

除草委託料（伯耆国庁跡）925千円
清掃等委託料（伯耆国分寺跡・法華寺畑遺跡・大御堂廃寺）1,108千円
植栽樹芝管理委託料（伯耆国分寺跡・法華寺畑遺跡・大御堂廃寺）7,139千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

大御堂廃寺トイレ電気使用料他　290千円

担当課	文化財課
事業名	伝統的建造物群保存地区保存事業

予算科目		節		説明	
会計	一般	区分	金額		
歳入歳出	歳出				
款	10 教育費	1 報酬	126	伝建審議会委員	126
項	4 社会教育費	9 旅費	321	費用弁償	160
目	3 文化事業費			普通旅費	161
		11 需用費	108	消耗品費等	108
		12 役務費	10	通信運搬費	10
		13 委託料	898	建築物調査委託料	648
				建物管理委託料	250
		14 使用料及び賃借料	14	会場借上料	14
		19 負担金補助及び交付金	47,196	全国伝建協議会負担金	50
				修理修景事業費補助金	47,146

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
122	29,073	48,673	23,660	7,886		94	17,033

事業の概要、対象、意図など

・伝建地区内の歴史的景観を守るため、伝統的建造物の修理７件を文化庁の指導を受けて実施する。地区内建造物が修理時期にきており修理修景希望が50件を越えている。
・歴史的建造物でありながら伝統的建造物に特定されていない物件の建物調査を３件委託する。

歳出積算根拠（金額）

○建築物調査委託料　200千円×3件×1.08　　648千円
○防災センターくら用心管理業務委託料　695円/日×359日　250千円
○建築物保存修理修景事業費補助金　修理7件　47,146千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

【国・県】伝統的建造物群保存事業費補助金
　事業費　47,320千円　国23,660千円　県7,886千円
（負担割合　国1/2、県1/2×1/3、市1/2×2/3）
・防災センターくら用心使用料（見込み）
　1090円/日×7日/月×12カ月+土蔵460円×1日/月×6カ月　94千円

担当課	文化財課
事業名	指定文化財保存整備

予算科目		節		説明	
会計	一般	区分	金額		
歳入歳出	歳出				
款	10 教育費	11 需用費	424	消耗品費他	424
項	4 社会教育費	12 役務費	50	手数料	50
目	3 文化事業費	13 委託料	215	消防設備保守管理委託料	85
				剪定除草委託料	130
		19 負担金補助及び交付金	3,965	建築物保存修理修景事業費補助金	2,252
				長谷寺厨子管理補助金	12
				県指定保護文化財防災施設事業費補助金	1,426
				文化財保存・保護事業費補助金	275

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
123	5,936	4,654		721		36	3,897

事業の概要、対象、意図など

国県市指定の建造物、工芸品等の文化財の保護、保存修理及び整備を行い、広く一般市民に対して、指定文化財が身近なものとしての公開活用に向けて保存整備を図る。特に今年度は、県保護文化財の保存修理工事・県有形民俗文化財の公開展示に対しての補助を行うほか、文化財を火災、犯罪から守り後世に伝えて行くため防災・防犯対策事業に係る経費の補助を行う。

その他、市所有の指定文化財「倉吉淀屋・鳥飼家住宅・関金のシイ」の維持管理を行う。

歳出積算根拠（金額）

○県指定保護文化財保存修理事業
【新規】建築物保存修理修景事業費補助金（1件）
対象経費9,007,200円×1/2(県)×1/2（市）＝2,252千円
○文化財保存・保護事業
県指定保護文化財防災・防犯対策事業費補助金（２件） 対象経費3,169,260円×45%＝1,426千円
【新規】長谷寺絵馬群堂内展示事業補助金 対象経費1,100,000円×1/2(県)×1/2（市）＝275千円
○市所有指定文化財「倉吉淀屋・鳥飼家住宅・関金のシイ」の維持管理経費他 689千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

・天然記念物関金のシイ樹勢回復事業
事業費 265千円×1/3（県）＝ 88千円
・県指定文化財防犯対策事業補助金（県間接補助・２件）
1,426,000円×20/45＝633千円
・倉吉淀屋・鳥飼家住宅使用料 36千円

担当課	文化財課						
事業名	大平山遺跡群発掘調査						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	10 教育費	4 共済費	58	社会保険料	58	
	項	4 社会教育費	7 賃金	11,375	労務賃金	11,375	
	目	3 文化事業費	11 需用費	243	消耗品費、燃料費等	243	
			12 役務費	10	手数料	10	
			14 使用料及び賃借料	834	器具借上料	258	
					機械借上料	576	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
122	15,000	12,520					12,520

事業の概要、対象、意図など

市道八屋福庭線道路改良事業に伴い影響を受ける範囲について発掘調査を実施し、記録を保存する。
縄文時代晩期の集落跡　　H26年度　現地調査800㎡（７ヶ月）、遺物・図面整理作業
H27年度　遺物・図面整理作業、調査報告書刊行

歳出積算根拠（金額）

労務賃金（発掘作業員賃金7,000円/日×1,245人、内務作業員賃金7,000円/日×380人　計11,375千円）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	文化財課						
事業名	【新規】ドウ々平遺跡発掘調査						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	10 教育費	4 共済費	35	社会保険料	35	
	項	4 社会教育費	7 賃金	5,600	労務賃金	5,600	
	目	3 文化事業費	11 需用費	413	消耗品費、燃料費等	413	
			12 役務費	4	手数料	4	
			14 使用料及び賃借料	348	器具借上料	111	
					機械借上料	237	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
122		6,400				6,400	0

事業の概要、対象、意図など

県道仙隠岡田線（北野バイパス）改良工事に伴い影響を受ける範囲について発掘調査を実施し、記録を保存する。
古墳時代から奈良時代の集落跡　調査面積700㎡（３ヶ月）、遺物・図面整理作業、調査報告書刊行

歳出積算根拠（金額）

労務賃金　（発掘作業員賃金　7,000円/日×506人、内務作業員賃金　7,000円/日×294人　計5,600千円）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

開発事業者（県土整備局）からの受託収入

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位：千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	10	4	7	2	1	図書館	図書館運営	1	49,688	49,568
〃	〃	10	4	7	3	2	図書館	読書活動推進	1	1,331	1,165
〃	〃	10	4	7	4	3	図書館	パークスクエア管理	2	13,134	12,904
〃	〃	10	4	7	5	4	図書館	交流プラザ総務管理	2	33,764	30,828
〃	〃	10	4	7	9	5	図書館	山上憶良短歌募集	3	313	313

担当課	倉吉市立図書館
事業名	図書館運営

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	1 報酬	10,530	非常勤職員報酬	10,530
	項	4 社会教育費	7 賃金	14,972	事務（臨職）賃金	14,972
	目	7 図書館費	11 需用費	3,288	雑誌・新聞等	3,288
			14 使用料及び賃借料	6,270	借上・情報使用料	6,270
			18 備品購入費	8,000	図書購入費	8,000
			共済費・役務費ほか	6,628	嘱託保険・システム保守等	6,628

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳　（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
127	49,916	49,688				120	49,568

事業の概要、対象、意図など

倉吉市立図書館・せきがね図書館運営
①図書貸出情報提供業務（登録・閲覧・貸出・返却・予約・相互貸借・複写・レファレンス・リクエスト）②対象者別業務（障がい者サービス・児童サービス・ヤングアダルトサービス・ビジネス支援サービス・高齢者サービス　ボランティア、学校図書館、類縁機関等との連携）③図書館システム維持管理業務
④統計・広報・職員研修業務

歳出積算根拠（金額）

１報酬：非常勤職員報酬（嘱託6人）10,530千円、４共済費：非常勤・嘱託4,008千円、７賃金：臨職14,972千円
11需用費：雑誌等3,288千円、12役務費：（図書システム保守他）2,591千円、
14使用料及び賃貸料：機械借上料5,646千円、情報サービス等使用料624千円
18図書購入費（図書5,300冊等）8,000千円　　9旅費・19負担金：29千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

コピー使用料　120千円

担当課	倉吉市立図書館
事業名	読書活動推進

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	8 報償費	345	報償金	345
	項	4 社会教育課	9 旅費	70	費用弁償	70
	目	7 図書館費	11 需用費	888	消耗品費ほか	888
			12 役務費	25	手数料ほか	25
			14 使用料及び賃借料	3	著作権使用料	3

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳　（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
128	1,267	1,331		146		20	1,165

事業の概要、対象、意図など

①ブックスタート事業：6か月児及び1歳6か月児健診時に絵本、読み聞かせガイドブック
バッグなどをプレゼント、読み聞かせ実演・指導、あかちゃんのおはなしかいを実施
②作家講演会：
人気作家の講演。作品の紹介、展示
→読書の関心喚起→読書習慣の定着、図書館利用及び学習活動の活発化

歳出積算根拠（金額）

８報償費：報償金345千円（講演会講師謝金300千円、運営ボランティア謝金45千円）
９旅費：費用弁償70千円（講師旅費70千円）
11需用費：消耗品費764千円（ブックスタート・おはなし会・読書週間等消耗品ほか）、印刷製本費123千円、食糧費1千円
12役務費・使用料：28千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

子育て応援市町村交付金：146千円、工作教室参加費：20千円

担当課	図書館
事業名	パークスクエア管理

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	11 需用費	3,948	光熱水費、修繕料他	3,948
	項	4 社会教育費	12 役務費	1,677	除草、剪定他	1,677
	目	7 図書館費	13 委託料	7,464	清掃、警備、機械保守	7,464
			使用料及び賃借料他	45	機会借上料ほか	45

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
128	13,698	13,134				230	12,904

事業の概要、対象、意図など

倉吉パークスクエアの維持管理運営
①広場の貸出（予約・申請受付、許可、鍵・電気・水道等設備の対応、終了後の確認等）
②使用料の徴収（使用料計算、領収書の発行等）
③維持管理（植栽の維持管理、噴水・池の維持管理、トイレ・広場・池の清掃、ゴミ処理
警備業務委託、リス飼育管理、遊具・外灯・施設修理等）
④パークスクエア内施設間の調整（駐車場・サイン・除雪、総合案内・迷子・落とし物）

歳出積算根拠（金額）

11.需用費：光熱水費2,393千円、修繕料（遊具等）968千円、飼料・消耗品587千円
12.役務費：遊具点検234千円、剪定・除草991千円、除雪・検診等452千円
13.委託料：清掃等委託3,713千円、警備委託2,606千円、池等管理1,145千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

パークスクエア広場使用料：230千円

担当課	図書館
事業名	交流プラザ総務管理

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	11 需用費	19,147	光熱水費、修繕料他	19,147
	項	4 社会教育費	12 役務費	1,771	設備の保守点検	1,771
	目	7 図書館費	13 委託料	11,304	清掃、建物総合管理	11,304
			賃金、賃借料他	1,542	管理賃金、コピー等借上	1,542

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
128	28,914	33,764				2,936	30,828

事業の概要、対象、意図など

①貸館業務（予約・申請受付・許可書発送、鍵・空調・音響・照明・ピアノ等の対応）
②使用料の徴収業務（使用料計算、領収書発行、市金庫への入金）
③維持管理（清掃・照明・可動席・電話・ピアノ保守、建物総合管理委託、修繕等）
④利用促進に向けた取り組み（パークスクエア情報の発行、市報・ホームページへ掲載）

歳出積算根拠（金額）

11.需用費：光熱水費11,934千円、燃料3,809千円、消耗品・修繕等3,404千円
12.役務費：照明、電話、可動席管理等1,225千円、通信費461千円、保険料85千円
13.委託料：建物総合管理7,177千円、清掃3,672千円、電気設備455千円
14.使用料・賃借料：コピー機329千円、印刷機151千円、テレビ視聴32千円
その他（看守賃金・備品・重量税等）1,030千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

交流プラザ使用料：2,400千円（200千円×12月）、市民交流室（実費）：200千円
パークスクエア利用促進協力金等：336千円

担当課	倉吉市立図書館					
事業名	山上憶良短歌募集					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	8 報償費	78	報償金	78
	項	4 社会教育課	11 需用費	185	消耗品費	90
	目	7 図書館費			印刷製本費	95
			12 役務費	50	通信運搬・手数料	50

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
128	244	313					313

事業の概要、対象、意図など

①山上憶良にちなみ優れた歴史文化遺産を擁する倉吉を全国発信するため、そのノウハウを蓄積するためにて短歌作品を県内公募する。②応募作品を一般、小中高部門ごとに審査し優秀な作品を表彰する。③山上憶良の事績、倉吉の貴重な歴史文化遺産、憶良と倉吉の深い関係について関心を喚起し全国公募の土台づくりを行う。

歳出積算根拠（金額）

１報償費：報償金（選者、受賞者）78千円
２需用費：消耗品90千円　短歌作品集印刷費95千円
12役務費：通信運搬費17千円、作品データ入力手数料33千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位：千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	2	1	6	16	1	博物館	博物館資料整備基金	1	3,612	0
〃	〃	10	4	3	12	1	博物館	市展	1	901	478
〃	〃	10	4	3	13	1	博物館	創作文華展	2	236	25
〃	〃	10	4	3	14	1	博物館	県展	2	492	352
〃	〃	10	4	5	2	1	博物館	博物館維持管理	3	26,117	26,031
〃	〃	10	4	5	3	1	博物館	博物館普及活動	3	265	259
〃	〃	10	4	5	4	1	博物館	博物館調査研究活動	4	216	216
〃	〃	10	4	5	5	1	博物館	博物館資料収集保存活動	4	988	988
〃	〃	10	4	5	6	1	博物館	自然科学	5	668	668
〃	〃	10	4	5	7	1	博物館	特別展　前田寛治大賞展	6	9,215	4,865
〃	〃	10	4	5	13	1	博物館	博物館展示活動	7	1,311	311
〃	〃	10	4	5	27	1	博物館	特別展　大伯耆国展	7	5,441	3,221
〃	〃	10	4	5	29	1	博物館	【新規】特別展「与勇輝展～昭和の情景～」	8	2,001	2,001
〃	〃	10	4	6	1	1	博物館	資料館維持管理	8	3,051	3,051
〃	〃	10	4	6	2	1	博物館	資料館展示活動	9	295	295
〃	〃	10	4	6	3	1	博物館	資料館調査研究活動	9	60	60
〃	〃	10	4	6	4	1	博物館	資料館資料収集保存活動	10	404	404
〃	〃	10	4	6	5	1	博物館	関金資料館維持管理	10	635	635

担当課	博物館
事業名	博物館資料整備基金

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	25 積立金	3,612	博物館資料整備基金積立金	3,612
	項	1 総務管理費				
	目	6 財産管理費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
38	2,002	3,612				3,612	0

事業の概要、対象、意図など

博物館資料の整備、充実化を目指して広く寄附を募り、その寄附を積み立てて資料購入に充てるもの。平成24年度寄附金1,275千円、平成25年度寄附金770千円（11月末現在）。近年は、県外者からのふるさと納税による寄附が多く見られる。

歳出積算根拠（金額）

博物館資料整備基金　利息　　2千円
博物館資料整備基金寄附金　3,610千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

博物館資料整備基金利子　　2千円
博物館資料整備基金寄附金　3,610千円

担当課	博物館
事業名	市展

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	7 賃金	268	事務賃金	268
	項	4 社会教育費	8 報償費	188	報償金	104
	目	3 文化事業費			賞賜金	84
			11 需用費	94	消耗品費	5
					印刷製本費	89
			12 役務費	33	通信運搬費	20
					筆耕翻訳料	13
			13 委託料	318	展示作業委託料	318

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
122	883	901				423	478

事業の概要、対象、意図など

中部圏域唯一の８部門(日本画・洋画・版画・彫刻・工芸・書道・写真・デザイン)からなる総合美術展。
一般応募作品のうち入選作品と無鑑査・審査員・招待作家の作品約300点を前後期に分けて展示。
平成26年度は第60回記念展として開催。記念特別展示（市展ゆかりの物故者などの作品展示)などを実施。

歳出積算根拠（金額）

賃　金：事務賃金268千円（展示監視員賃金）
報償費：報償金104千円（運営委員・審査員謝金）、賞賜金84千円（特賞・市展賞）
需用費：消耗品費5千円（展示用品他）、印刷製本費89千円（出品目録他）
役務費：通信運搬費20千円（審査結果通知はがき他）、筆耕翻訳料13千円（表彰状筆耕）
委託料：展示作業委託料318千円（展示物運搬）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

出品料@1,000円×303点＝303千円（一般・無鑑査270点、審査員33点）
入館料@160円×750人＝120千円

担当課	博物館
事業名	創作文華展

予算科目							
会計	一般	節		説明	
歳入歳出	歳出	区分	金額		
款	10 教育費	7 賃金	67	事務賃金	67
項	4 社会教育費	8 報償費	36	報償金	12
目	3 文化事業費			賞賜金	24
		11 需用費	44	消耗品費	3
				印刷製本費	41
		12 役務費	20	通信運搬費	18
				筆耕翻訳料	2
		13 委託料	69	展示作業委託料	69

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
122	229	236				211	25

事業の概要、対象、意図など

倉吉市美術展覧会以外の部門で創作活動をする人たちに発表の場を提供し、幅広い美術振興を図る。俳画・水墨画・ちぎり絵・切り絵・絵手紙・押し絵・押し花絵・その他の部門からなる美術展。新たな創作者を育成するため会期中には実技教室も開催する。

歳出積算根拠（金額）

賃　金：事務賃金67千円（展示監視員賃金）
報償費：報償金12千円（運営委員謝金）、賞賜金24千円（副賞の額）
需用費：消耗品費3千円（展示用品他）、印刷製本費41千円（出品目録他）
役務費：通信運搬費18千円（審査結果通知はがき他）、筆耕翻訳料2千円（表彰状筆耕）
委託料：展示作業委託料69千円（展示物運搬）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

出品料@1,000円×180点＝180千円
入館料@　210円×150人＝31千円

担当課	博物館
事業名	県展

予算科目							
会計	一般	節		説明	
歳入歳出	歳出	区分	金額		
款	10 教育費	7 賃金	282	事務賃金	282
項	4 社会教育費	11 需用費	5	消耗品費	3
目	3 文化事業費			印刷製本費	2
		13 委託料	205	展示作業委託料	205

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
122	476	492				140	352

事業の概要、対象、意図など

鳥取県全域を対象とした美術展の巡回で、洋画・日本画・版画・彫刻・工芸・書道・写真・デザインの８部門からなる。各部門の県展賞と入選作以上の作品を前後期に分けて展示する。鳥取県と会場館が協同で行い、展示監視員経費の半額を鳥取県が負担する。

歳出積算根拠（金額）

賃　金：事務賃金282千円（展示監視員賃金）
需用費：消耗品費3千円（展示用品他）、印刷製本費2千円（写真現像他）
委託料：展示作業委託料205千円（展示物運搬）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

鳥取県美術展覧会倉吉会場監視員賃金負担金（県負担率1/2）140千円

担当課	博物館
事業名	博物館維持管理

予算科目			節		説明	
会計	一般					
歳入歳出	歳出		区分	金額		
款	10 教育費		1 報酬	5,932	委員・非常勤嘱託報酬	5,932
項	4 社会教育費		4 共済費	947	社会保険料	947
目	5 博物館費		8 報償費	200	報償金	200
			9 旅費	308	費用弁償・普通旅費	308
			11 需用費	13,658	消耗品費等	13,658
			12 役務費	628	通信運搬費等	628
			13 委託料	4,238	警備委託料等	4,238
			14 使用料及び賃借料	138	テレビ聴視料等	138
			19 負担金補助及び交付金	60	博物館協会等負担金等	60
			27 公課費	8	自動車重量税	8

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
125	39,434	26,117				86	26,031

事業の概要、対象、意図など

博物館の運営並びに施設維持管理に係る事業。昭和49年5月の開館以来、40年が経過し設備機器類には開館当初のものもあり、老朽化が深刻で早急な取替え整備が必要。博物館の運営について博物館協議会委員・専門委員・嘱託学芸員・嘱託職員等を配置して進める。

歳出積算根拠（金額）

報酬　：委員報酬68千円（専門委員、協議会委員）、非常勤職員5,864千円（嘱託）
共済費：社会保険料947千円
報償費：報償金200千円（文化顧問）
旅費　：費用弁償138千円（文化顧問関係）、普通旅費170千円（全国博物館館長会議他）
需用費：消耗品費615千円、燃料費2,817千円、印刷製本費107千円、光熱水費8,641千円、修繕料1,478千円
役務費：通信運搬費264千円、（電話料他）、手数料364千円（貯水槽清掃他）
委託料：警備、消防設備保守、植栽、清掃、空調機保守、簡易リフト保守、電気設備、エレベーター保守管理
使用料及び賃借料：テレビ聴視料、機械借上料
負担金補助金及び交付金：負担金60千円（日本博物館協会会費、全国美術館協会会費）
公課費：自動車重量税8千円（公用車車検）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

博物館会場使用料@4,320円×20日＝86千円

担当課	博物館
事業名	博物館普及活動

予算科目			節		説明	
会計	一般					
歳入歳出	歳出		区分	金額		
款	10 教育費		8 報償費	175	報償金	175
項	4 社会教育費		11 需用費	77	消耗品費等	77
目	5 博物館費		12 役務費	13	通信運搬費等	13

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
125	352	265				6	259

事業の概要、対象、意図など

博物館所蔵資料を基に教育普及活動を進めることで博物館に親しみ、関心を持ってもらう。博物館講座：博物館資料をもとに各地区公民館などに出向き、資料の調査研究の成果を分かり易く解説する講座を開催。
博物館開館40周年記念イベント：開館40周年を記念し、講演会等を開催する。

歳出積算根拠（金額）

報償費：報償金175千円（講師謝金）
需用費：消耗品費62千円（図書他）、燃料費10千円（ガソリン）、印刷製本費5千円（パネル印刷）
役務費：通信運搬費5千円（郵便料）、保険料8千円（子ども博物館・博物館講座）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

博物館講座他受講料@300円×20人＝6千円

担当課	博物館
事業名	博物館調査研究活動

予算科目		節		説明	
会計	一般				
歳入歳出	歳出	区分	金額		
款	10 教育費	8 報償費	50	報償金	50
項	4 社会教育費	9 旅費	96	普通旅費	96
目	5 博物館費	11 需用費	35	消耗品費	20
				印刷製本費	15
		12 役務費	5	通信運搬費	5
		18 備品購入費	30	図書購入費	30

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳　（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
125	590	216					216

事業の概要、対象、意図など

博物館資料を広く市民に公開するため、専門的な調査研究を進めていく。博物館資料（美術・考古・歴史・自然分野）と文化遺産・文化資源との有機的な連携を図るための調査研究を進め、身近な文化資源に対して理解を深めていく活動を展開する。

歳出積算根拠（金額）

報償費：報償金50千円（資料調査協力者謝金）
旅　費：普通旅費96千円（公開承認施設会議）
需用費：消耗品費20千円（文具他）、印刷製本費15千円（写真現像他）
役務費：通信運搬費5千円（郵便料）
備品購入費：図書購入費30千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	博物館
事業名	博物館資料収集保存活動

予算科目		節		説明	
会計	一般				
歳入歳出	歳出	区分	金額		
款	10 教育費	11 需用費	515	消耗品費	60
項	4 社会教育費			印刷製本費	5
目	5 博物館費			修繕料	450
		12 役務費	473	通信運搬費	110
				手数料	363

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳　（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
125	696	988					988

事業の概要、対象、意図など

博物館資料の充実化を進めるとともに資料の保全を目的として修復および燻蒸を行い健全な状態で保存し、大切な文化遺産を後世に継承していく。
絵画修復：公開頻度が高くかつ経年劣化が進んでいる資料から年次的に修復作業を行う。
燻蒸作業：展示室、収蔵庫、荷捌室等の展示・収蔵環境維持と資料保全のため燻蒸を行う。

歳出積算根拠（金額）

需用費：消耗品費60千円（額縁他）、印刷製本費5千円（現像他）、修繕料450千円（絵画修復洋画1点）
役務費：通信運搬費110千円（運送料他）、手数料363千円（資料燻蒸）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	博物館					
事業名	自然科学					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	7 賃金	114	事務賃金	114
	項	4 社会教育費	8 報償費	110	報償金	110
	目	5 博物館費	11 需用費	193	消耗品費等	193
			12 役務費	51	通信運搬費等	51
			13 委託料	100	展示作業委託料	100
			14 使用料及び借上料	100	展示物借上料	100

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
125	664	668					668

事業の概要、対象、意図など

自然科学分野の展示・調査研究及び教育普及活動を行い、動植物・天体観察を通して身近な自然に触れ合う機会をつくり、自然環境に親しんでもらう。
自然科学展：夏休み期間中に、倉吉自然科学研究会の所蔵品を主体に行う。
自然ウォッチング：動物観察４回、植物観察４回、天体観測３回の合計11回を計画。各回とも自然科学研究会による専門解説を行う。

歳出積算根拠（金額）

賃　金：事務賃金114千円（展示監視員賃金）
報償費：報償金110千円（自然ウォッチング講師謝金）
需用費：消耗品費89千円、印刷製本費84千円（ポスター他）、修繕料20千円（天体望遠鏡修理）
役務費：通信運搬費5千円、手数料8千円、保険料38千円（自然ウォッチング1日保険、天体望遠鏡動産保険）
委託料：展示作業委託料100千円
使用料及び賃借料：展示物借上料100千円

担当課	博物館
事業名	特別展　前田寛治大賞展

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	10 教育費		7 賃金	349	事務賃金	349
項	4 社会教育費		8 報償費	3,070	報償金	3,070
目	5 博物館費		9 旅費	774	費用弁償	423
					普通旅費	351
			11 需用費	1,988	消耗品費	35
					印刷製本費	1,953
			12 役務費	417	通信運搬費	30
					手数料	387
			13 委託料	2,597	展示作業委託料	2,597
			14 使用料及び賃借料	20	自動車借上料	20

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳　（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
125	877	9,215				4,350	4,865

事業の概要、対象、意図など

博物館美術部門の柱、前田寛治の顕彰を行い、その画業を未来へ継承するための展示活動を行うと共に、一慣した写実絵画コレクションの形成を図る。
東京会場：平成26年7月16日（水）～7月22日（木）会期中無休
倉吉会場：平成26年9月6日（土）～10月5日（日）休館日：9/8、16、22、29
イベント：9/6に表彰式及び審査員・受賞者のギャラリートーク
指名された洋画家32名の作品を審査し大賞・佳作賞を選定し東京及び倉吉会場で展示を行い、本市の前田寛治顕彰活動の周知を図る。会期中には市民の人気投票による市民賞も選定する。

歳出積算根拠（金額）

賃　金：事務賃金349千円（展示監視員賃金）
報償費：報償金3,070千円（審査員謝金500千円、大賞買上料1,500千円、市民賞買上料1,000千円、受賞記念品70千円）
旅　費：費用弁償423千円（受賞者・審査員表彰式）普通旅費351千円（東京会場撮影審査立会、展示撤収）
需用費：消耗品費35千円（インク他）、印刷製本費1,953千円（図録、ポスター、チラシ、チケット、写真現像）
役務費：通信運搬費30千円（郵便料）、手数料387千円（撮影料）
委託料：展示作業委託料2,597千円（作品運送・展示・撤収一式）
使用料及び賃借料：自動車借上料20千円（審査員送迎）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

特別展　前田寛治大賞展入館料@500円×1,500人＝750千円
特別展　前田寛治大賞展図録販売代@2,000円×400部＝800千円
特別展　前田寛治大賞展印刷物広告掲載料600千円、
前田寛治大賞展寄附金200千円、博物館資料整備基金繰入金2,000千円

担当課	博物館
事業名	博物館展示活動

予算科目		節		説明	
会計	一般	区分	金額		
歳入歳出	歳出				
款	10 教育費	8 報償費	160	報償金	160
項	4 社会教育費	11 需用費	173	消耗品費	10
目	5 博物館費			印刷製本費	5
				修繕料	158
		12 役務費	48	通信運搬費	15
				手数料	33
		13 委託料	930	展示作業委託料	930

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
125	1,241	1,311				1,000	311

事業の概要、対象、意図など

博物館の美術・考古・歴史・自然の各部門の所蔵資料を中心に調査研究を行った成果を市民はじめ多くの人に分かり易く伝えるため展示公開活動を行う。常設展示替え、美術部門：年6回・考古部門：年2回行う。

寄託資料は、寄託者と協議し資料の保全を図かりながら常設展示等で公開していく。また、展示環境を維持するための展示器具等の補修・整備も行う。

歳出積算根拠（金額）

報償費：報償金160千円（展示資料借用協力者謝金10千円、常設展示用寄託作品謝金150千円）
需用費：消耗品費10千円（文具他）、印刷製本費5千円（写真現像他）、修繕料158千円（展示設備小修理）
役務費：通信運搬費15千円（郵便料）、手数料33千円（国際写真サロン展立看板）
委託料：展示作業委託料930千円（美術常設展612千円、考古常設展136千円、常設企画展182千円）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

常設入館料600千円、過年度特別展等図録販売代400千円

担当課	博物館
事業名	特別展　大伯耆国展

予算科目		節		説明	
会計	一般	区分	金額		
歳入歳出	歳出				
款	10 教育費	7 賃金	349	事務賃金	349
項	4 社会教育費	8 報償費	163	報償金	163
目	5 博物館費	9 旅費	217	普通旅費	217
		11 需用費	992	消耗品費	20
				印刷製本費	972
		12 役務費	251	通信運搬費	20
				手数料	231
		13 委託料	3,319	展示作業委託料	3,319
		14 使用料及び賃借料	150	展示物借上料	150

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
125	692	5,441				2,220	3,221

事業の概要、対象、意図など

特別展「大伯耆国展」は、奈良時代に繁栄した当地に焦点を当て、古墳時代、伯耆国庁跡や伯耆国分寺跡の出土品を中心に展示し、伯耆国の中心都市として先人が築いてきた歴史を振り返る博物館開館40周年の記念展として開催する。
会期：平成26年5月17日（土）～6月15日（日）
関連イベント：開館40周年記念特別講演会の開催
展示品解説：会期中に展示品解説を実施

歳出積算根拠（金額）

賃　金：事務賃金349千円（展示監視員賃金）
報償費：報償金163千円（講演会講師謝金）
旅　費：普通旅費217千円（借用交渉62千円、作品借用・返納155千円）
需用費：消耗品費20千円（文具他）、印刷製本費972千円（図録代）
役務費：通信運搬費20千円（郵便料）、手数料231千円（立看板・パネル81千円、撮影料150千円）
委託料：展示作業委託料3,319千円（作品運送・展示・撤収一式）
使用料及び賃借料：展示物借上料150千円（資料借上料）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

特別展 大伯耆国展入館料@500円×3,000人＝1,500千円
特別展 大伯耆国展図録販売代@1,800円×400部＝720千円

担当課	博物館				
事業名	【新規】特別展「与勇輝展～昭和の情景～」				
予算科目	会計	一般	節		説明
	歳入歳出	歳出	区分	金額	
	款	10 教育費	7 賃金	610	事務賃金 610
	項	4 社会教育費	19 負担金補助及び交付金	1,391	特別展開催負担金 1,391
	目	5 博物館費			

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
125		2,001					2,001

事業の概要、対象、意図など

国内外で活躍する人形作家・与勇輝（あたえ ゆうき）氏の作品展示。「昭和の情景」をサブテーマとし、昭和前期の"質素だが明るく希望にあふれている"イメージをテーマとした作品を中心に展示。白壁土蔵群周辺の懐かしい町並み散策も一緒に楽しんでもらうことを目的とする。
会期：平成26年4月12日（土）～5月11日（日）27日間
展示数：約100点「昭和の情景」をテーマとした作品を中心に、近作を含む作品展示と創作過程を映像で紹介する。会期中に作家による展示解説とサイン会を実施。
新日本海新聞社と共催で実施する展覧会であり、総事業費のうち展示監視員賃金及び負担金（合計200万円）を倉吉市が負担する。

歳出積算根拠（金額）

賃　金：事務賃金610千円（展示監視員賃金）
負担金補助及び交付金：1,391千円（特別展開催負担金）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	博物館				
事業名	資料館維持管理				
予算科目	会計	一般	節		説明
	歳入歳出	歳出	区分	金額	
	款	10 教育費	11 需用費	1,742	消耗品費等 1,742
	項	4 社会教育費	12 役務費	70	通信運搬費等 70
	目	6 歴史民俗資料館費	13 委託料	1,237	消防設備保守管理委託料 147
					清掃等委託料 984
					空調機保守管理委託料 106
			19 負担金補助及び交付金	2	博物館協会等負担金 2

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
127	2,816	3,051					3,051

事業の概要、対象、意図など

昭和57年の開館以来31年が経過し、施設及び設備の老朽化が見られる。平成25年度に引き続き非常照明器具の取替えを行う。民俗資料館の維持管理については、消防設備点検・清掃・空調点検等を委託し事業を進めていく。

歳出積算根拠（金額）

需用費：消耗品費85千円（文具類他）、燃料費10千円（ガソリン）、光熱水費547千円（上下水道料）、修繕料1,100千円（非常照明器具取替965千円、電気水道施設小修理他135千円）
役務費：通信運搬費5千円（郵便料）、手数料65千円（貯水槽清掃）
委託料：消防設備保守管理147千円、清掃984千円、空調機保守管理106千円
負担金補助及び交付金：負担金2千円（鳥取県ミュージアムネットワーク会費）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	博物館						
事業名	資料館展示活動						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	10 教育費	13 委託料	295	展示作業委託料	295	
	項	4 社会教育費					
	目	6 歴史民俗資料館費					

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
127	273	295					295

事業の概要、対象、意図など

倉吉の伝統文化・産業・風俗などについて、歴史民俗資料館が所蔵する資料を中心として調査研究を行った成果を市民をはじめ多くの人に分かり易く伝えるため展示公開活動を行う。
平成26年度は、年間4回の常設展示替えを行う。

歳出積算根拠（金額）

委託料：展示作業委託料（展示物運搬）295千円（常設展示227千円、企画展示68千円）

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

担当課	博物館						
事業名	資料館調査研究活動						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	10 教育費	8 報償費	25	報償金	25	
	項	4 社会教育費	11 需用費	35	消耗品費	20	
	目	6 歴史民俗資料館費			印刷製本費	15	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
127	60	60					60

事業の概要、対象、意図など

民俗資料館が収蔵する資料を市民はじめ多くの人に展示公開するため、学芸員による専門的な調査研究を進めていく。

歳出積算根拠（金額）

報償費：報償金25千円（調査協力者謝金）
需用費：消耗品費20千円（文具類他）、印刷製本費15千円（現像プリント）

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

担当課	博物館
事業名	資料館資料収集保存活動

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	11 需用費	10	消耗品費	5
	項	4 社会教育費			印刷製本費	5
	目	6 歴史民俗資料館費	12 役務費	394	手数料	394

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
127	409	404					404

事業の概要、対象、意図など

民俗資料館の充実をはかり収蔵する資料の保全を目的として燻蒸を行い、資料を健全な状態で保存して後世に継承していく。
展示室・収蔵庫・燻蒸室・書庫・資料庫の燻蒸作業を実施する。収蔵する民俗資料や新たに収集する資料は、害虫による被害を受けているものもあり殺虫・防虫・防カビ処理が必要である。収蔵庫内も外気の影響でカビが発生する恐れがあり、定期的な燻蒸処理が不可欠である。平成26年度は、防虫・防カビを中心に燻蒸作業を実施する。

歳出積算根拠（金額）

需用費：消耗品費5千円（フィルム他）、印刷製本費5千円（フィルム現像）
役務費：手数料394千円（資料燻蒸一式）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	博物館
事業名	関金資料館維持管理

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	11 需用費	27	光熱水費	27
	項	4 社会教育費	12 役務費	30	通信運搬費	30
	目	6 歴史民俗資料館費	13 委託料	578	警備委託料	59
					展示作業委託料	519

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
127	1,770	635					635

事業の概要、対象、意図など

関金資料館は、平成17年3月に関金町と合併により倉吉博物館が運営を行ってきた。資料館の建物は、公共施設として建設されたものではなく、民家を修復したもので築40年以上経過し老朽化が著しく、これまでに、雨漏り対策などの小修繕を行ってきたが、資料展示は限界にきている。修繕等の維持管理も多額の費用がかかり検討した結果、平成26年3月31日で廃止とするもの。
関金資料館の資料については、廃止後に関金支所に移動させる。資料移動にかかる経費を計上する。

歳出積算根拠（金額）

需用費：光熱水費27千円（上下水道料・電気代　資料館廃止後資料移動まで）
役務費：通信運搬費30千円（電話代　資料館廃止後資料移動まで）
委託料：警備委託料59千円（資料館廃止後資料移動まで）、展示作業委託料519千円（資料移管作業委託一式　関金支庁舎へ移動）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位：千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	10	5	3	2	1	学校給食センター	給食センター	1	507,160	176,467

担当課	学校給食センター					
事業名	給食センター					
予算科目	会計	一般会計	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	10 教育費	1 報酬	408	収納嘱託員	408
	項	5 保健体育費	8 報償費	222	報償金	222
	目	3 学校給食センター費	9 旅費	30	普通旅費	30
			11 需用費	273,833	燃料費・光熱水費等	24,115
					賄材料費	249,718
			12 役務費	5,074	手数料他	5,074
			13 委託料	118,341	調理等業務委託料他	118,341
			14 使用料及び賃借料	456	機械借上料他	456
			15 工事請負費	108,285	維持補修工事	108,285
			18 備品購入費	500	機械器具費	500
			19 負担金補助及び交付金	3	学校給食会事務連絡協議会負担金	3
			27 公課費	8	軽自動車重量税	8

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
132	447,836	507,160			105,700	224,993	176,467

事業の概要、対象、意図など

市内の小学校14校と中学校5校に、安全・安心で栄養バランスの取れた給食を提供する。
老朽化した施設設備を年次的に更新する。

歳出積算根拠（金額）

施設・設備の入替等（合併特例債対象）
設備機器入替工事（コンテナ洗浄機及び蒸気配管）45,144千円　左記工事監理委託料　591千円
施設改修工事（屋根、外壁、ドライ床）58,609千円　左記工事監理委託料　1,907千円
施設改修工事（スポットエアコン設置）4,532千円　左記工事設計監理委託料　529千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

学校給食費　224,954千円
合併特例事業債　111,308,460円　×　95%　≒　105,700千円

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位：千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	2	1	5	1	1	会計課	出納事務	1	1,877	1,877
〃	〃	2	1	6	17	1	会計課	用品調達基金	1	2,650	50

担当課	会計課
事業名	出納事務

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	11 需用費	621	消耗品費	329
	項	1 総務管理費			燃料費	61
	目	5 会計管理費			印刷製本費	231
			12 役務費	1,106	通信運搬費	820
					手数料	286
			14 使用料及び賃借料	150	会場借上料	2
					機械借上料	148

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
37	1,885	1,877					1,877

事業の概要、対象、意図など

公金支払事務、公金管理事務、決算調整事務、物品の出納及び保管、指定金融機関に関すること。

歳出積算根拠（金額）

上記事務に要する主な経費

公金振込通知書郵送料	820千円
ファームバンキング、コンビニ収納ほか手数料	286千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

担当課	会計課
事業名	用品調達基金

予算科目			節		説明	
	会計	一般				
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	28 繰出金	2,650	用品調達基金へ繰出	2,650
	項	1 総務管理費				
	目	6 財産管理費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
39	2,700	2,650				2,600	50

事業の概要、対象、意図など

行政事務で使用する用品の集中購買を実施することにより、用品の取得及び管理事務を円滑かつ効率的に行うために用品調達基金を設け、基金運用により物品の調達を行う。
基金額500万円で、平成25年度積立金235万円に対し不足額265万円を一般会計から用品調達基金へ繰出し、基金運用を行う。また5万円を基金へ積み立てる。

歳出積算根拠（金額）

基金の額	5,000千円
平成25年度積立金	2,350千円
差引	2,650千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

用品調達基金へ繰出し	2,650千円
平成26年度基金積立	50千円
差引（用品調達基金へ繰入）	2,600千円

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位：千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	1	1	1	2	1	議会事務局	【一部新規】議会事務局費	1	177,571	177,571

担当課	議会事務局						
事業名	【一部新規】議会事務局費						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	1 議会費	1 報酬	81,240	議員報酬	81,240	
	項	1 議会費	3 職員手当等	28,434	議員期末手当	28,434	
	目	1 議会費	4 共済費	42,229	共済組合負担金	42,229	
			9 旅費	8,888	費用弁償・普通旅費	8,888	
			10 交際費	600	交際費	600	
			11 需用費	1,005	消耗品費、燃料費ほか	1,005	
			12 役務費	308	通信運搬費ほか	308	
			13 委託料	7,318	テレビ中継委託料ほか	7,318	
			14 使用料及び賃借料	398	自動車借上料ほか	398	
			18 備品購入費	4,300	庁用器具費	4,300	
			19 負担金補助及び交付金	2,800	政務活動費補助金ほか	2,800	
			27 公課費	51	自動車重量税	51	

予算説明書（ページ）	金額						
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
31	192,302	177,571					177,571

事業の概要、対象、意図など

市民の代表である議員が、市民の立場に立って、倉吉市の政治方策を決定し、市民の福祉向上を図り、住みよい「倉吉市」を実現するため諸活動を行う。議員定数は17人。
議長公用車が購入後17年経過して修理が増えたため新たに購入する。
・定例会4回、臨時会
・議会運営委員会、常任委員会、特別委員会
・行政視察、政務調査費、全国議長会等
・会議録作成、ホームページでの公開、議会テレビ中継

歳出積算根拠(金額)

報酬(月額) 議長 500,000円、副議長 420,000円、議員 390,000円
議員期末手当(6月) 議長 980,000円、副議長 823,200円、議員 764,400円
(12月) 議長 1,120,000円、副議長 940,800円、議員 873,600円
政務活動費補助金 月額 10,000円×12月(議員個人ごと)
【新規】議長車（付属品含む）4,300,000円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位：千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	2	6	1	2	1	監査委員事務局	監査事務	1	2,519	2,519

担当課	監査委員事務局					
事業名	監査事務					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	1 報酬	2,004	委員報酬	2,004
	項	6 監査委員費	7 賃金	208	事務賃金	208
	目	1 監査委員費	9 旅費	199	費用弁償・普通旅費	199
			11 需用費	50	消耗品費	50
			19 負担金補助及び交付金	58	研修会等参加負担金	16
					監査委員負担金	42

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
52	2,811	2,519					2,519

事業の概要、対象、意図など

・決算審査、定期監査、例月出納検査、財政援助団体等監査等の実施
・各都市監査委員会参加（全国、西日本、中国、山陰）

歳出積算根拠（金額）

・監査委員報酬
　代表監査委員　71千円×12月＝852千円、　識見監査委員　66千円×12月＝792千円
　議選監査委員　30千円×12月＝360千円
・旅費
　全国都市監査委員会総会・研修会（熊本市）60千円、中国都市監査委員会（廿日市市）38千円、
　西日本都市監査事務研修会（岡山市）54千円、山陰都市監査委員会定例会（出雲市）22千円等
・負担金　　研修会等参加負担金　　16千円、　監査委員負担金　　42千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位：千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	2	4	1	2	1	選挙管理委員会事務局	選挙管理委員会費	1	1,920	1,906
〃	〃	2	4	2	1	1	選挙管理委員会事務局	選挙啓発費	1	680	680
〃	〃	2	4	3	1	1	選挙管理委員会事務局	鳥取県知事選挙費	2	4,479	0
〃	〃	2	4	4	1	1	選挙管理委員会事務局	鳥取県議会議員一般選挙費	2	1,964	0
〃	〃	2	4	5	1	1	選挙管理委員会事務局	市長選挙費	3	3,268	3,268
〃	〃	2	4	6	1	1	選挙管理委員会事務局	土地改良区総代選挙費	3	142	0
〃	〃	2	4	7	1	1	選挙管理委員会事務局	農業委員会委員選挙費	4	7,386	7,386

担当課	選挙管理委員会事務局					
事業名	選挙管理委員会費					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 選挙費	1 報酬	1,308	選挙管理委員会委員	1,308
	項	4 選挙費	9 旅費	86	費用弁償、普通旅費	86
	目	1 選挙管理委員会費	11 需用費	93	消耗品費	93
			12 通信運搬費	339	通信運搬費、手数料	339
			18 備品購入費	18	庁用器具費	18
			19 負担金補助及び交付金	76	選挙管理委員会連合会負担金	76

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
47	1,820	1,920		14			1,906

事業の概要、対象、意図など

選挙管理委員会の適正、円滑な運営をするもの。
選挙管理委員会開催。選挙人名簿調整。裁判員候補者予定者・検察審査員候補者予定者選定事務。

歳出積算根拠（金額）

・選挙管理委員会委員長、3委員報酬　1,308千円
・各種連合会理事会・総会等旅費　86千円
・委員会事務用品、選挙人名簿抄本印刷、郵便料、電話料等　450千円
・各種連合会負担金（全国・中国支部・県）　76千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

県：在外選挙人名簿登録事務費委託金　14千円

担当課	選挙管理委員会事務局					
事業名	選挙啓発費					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 選挙費	9 旅費	40	費用弁償	40
	項	4 選挙費	11 需要費	120	消耗品費	120
	目	2 選挙啓発費	12 役務費	38	通信運搬費	38
			13 委託料	476	明るい選挙推進事業委託料	476
			19 負担金補助及び交付金	6	県明るい選挙推進協議会連合会負担金	6

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
48	700	680					680

事業の概要、対象、意図など

政治意識の向上と明るい選挙の推進のための啓発を図るもの。
研修会参加。啓発資料配布。地区推進協議会事業委託。

歳出積算根拠（金額）

・明るい選挙推進協議会理事会、フォーラム参加旅費　40千円
・啓発資料、郵便料　158千円
・明るい選挙推進事業委託料（13地区）　476千円
・県明るい選挙推進協議会連合会負担金　6千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	選挙管理委員会事務局
事業名	鳥取県知事選挙費

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	2	選挙費	1 報酬	221	非常勤職員報酬	221
項	4	選挙費	3 職員手当等	649	特殊勤務手当等	649
目	3	鳥取県知事選挙費	4 共済費	113	社会保険料	113
			7 賃金	1,116	事務賃金	1,116
			11 需用費	936	消耗品等	936
			12 役務費	538	通信運搬費等	538
			13 委託料	789	ポスター掲示場設置管理等委託料	789
			14 使用料及び賃借料	117	会場借上料	117

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳　（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
48	0	4,479		4,479			0

事業の概要、対象、意図など

鳥取県知事選挙を執行するもの
任期　平成27年4月12日

歳出積算根拠（金額）

選挙長・選挙立会人・選挙事務従事者報酬	221千円
投・開票所の職務代理者及び事務従事職員手当	649千円
臨時職員の事務賃金等	1,229千円
ポスター掲示場設置管理等委託料（平成26～27年度債務負担行為）	789千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

県委　　鳥取県知事選挙費委託金　4,479千円

担当課	選挙管理委員会事務局
事業名	鳥取県議会議員一般選挙費

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	2	選挙費	4 共済費	113	社会保険料	113
項	4	選挙費	7 賃金	773	事務賃金	773
目	4	鳥取県議会議員一般選挙費	11 需用費	174	消耗品等	174
			12 役務費	115	通信運搬費等	115
			13 委託料	789	ポスター掲示場設置管理等委託料	789

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳　（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
49	0	1,964		1,964			0

事業の概要、対象、意図など

鳥取県議会議員一般選挙を執行するもの
任期　平成27年4月29日

歳出積算根拠（金額）

臨時職員の事務賃金等	886千円
ポスター掲示場設置管理等委託料（平成26～27年度債務負担行為）	789千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

県委　　鳥取県議会議員一般選挙費委託金　1,964千円

担当課	選挙管理委員会事務局						
事業名	市長選挙費						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	2 選挙費	4 共済費	2	社会保険料	2	
	項	4 選挙費	7 賃金	134	事務賃金	134	
	目	5 市長選挙費	11 需要費	10	消耗品	10	
			13 委託料	3,122	ポスター掲示場設置管理等委託料	3,122	

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
49	20,396	3,268					3,268

事業の概要、対象、意図など

市長選挙を執行するもの

歳出積算根拠（金額）

臨時職員の事務賃金等　146千円
ポスター掲示場設置管理等委託料　3,122千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	選挙管理委員会事務局						
事業名	土地改良区総代選挙費						
予算科目	会計	一般	節		説明		
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	2 選挙費	1 報酬	65	選挙長ほか	65	
	項	4 選挙費	8 報償費	22	報償金	22	
	目	6 土地改良区総代選挙費	9 旅費	4	普通旅費	4	
			11 需用費	23	消耗品ほか	23	
			12 役務費	23	通信運搬費ほか	23	
			14 使用料及び賃借料	5	会場借上料	5	

予算説明書(ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
50	407	142				142	0

事業の概要、対象、意図など

土地改良区総代選挙を執行するもの
　大鴨土地改良区　　任期　平成26年7月25日　3選挙区　総代37人

歳出積算根拠（金額）

選挙長・選挙立会人・選挙事務従事者報酬　　142千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

諸受　土地改良区総代選挙受託収入　　142千円

担当課	選挙管理委員会事務局					
事業名	農業委員会委員選挙費					
予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 選挙費	1 報酬	1,539	非常勤職員報酬	1,539
	項	4 選挙費	3 職員手当等	3,534	特殊勤務手当等	3,534
	目	7 農業委員会委員選挙費	4 共済費	135	社会保険料	135
			7 賃金	882	事務賃金	882
			11 需要費	294	消耗品等	294
			12 役務費	798	通信運搬費等	798
			14 使用料及び賃借料	204	会場等借上料	204

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
50	0	7,386					7,386

事業の概要、対象、意図など

農業委員会委員一般選挙を執行するもの

任　期　　平成26年7月19日（任期3年）
選挙区　　5選挙区
委員数　　各選挙区　5人　　計25人
投票区　　28投票区

歳出積算根拠（金額）

投票管理者及び立会人等報酬	1,539千円
投・開票所の職務代理者及び事務従事職員手当	3,534千円
臨時職員の事務賃金等	1,017千円
入場券郵送料、不在者投票事務手数料	798千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位：千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	2	1	8	1	1	公平委員会	公平委員会	1	993	993

担当課	公平委員会
事業名	公平委員会

予算科目			節		説明	
会計	一般		区分	金額		
歳入歳出	歳出					
款	2	総務費	1 報酬	822	委員報酬	822
項	1	総務管理費	9 旅費	114	費用弁償	91
目	8	公平委員会費			普通旅費	23
			11 需用費	16	消耗品費	16
			19 負担金補助及び交付金	41	会議等参加負担金	17
					公平委員会連合会負担金	24

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳　（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
41	1,022	993					993

事業の概要、対象、意図など

公平委員会の開催並びに事例研究。
全国公平委員会連合会等各種会議・研修会への参加。

歳出積算根拠（金額）

・報酬
　委員長 24,500円×12月、委員 22,000円×12月×2名
・旅費
　全国公平委員会連合会本部研究会（東京）
　全国公平委員会連合会中国支部理事会・総会（雲南市）
　鳥取県公平委員会連合会総会（鳥取市）　114千円
・消耗品費
　参考図書、事務用消耗品　16千円
・負担金
　研究会等出席者負担金　17千円
　公平委員会連合会負担金　24千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

平　成　26　年　度　予　算　事　業　一　覧　表

（単位：千円）

会計名	歳入歳出	款	項	目	事業	細事業	担当課	事業名	ページ	予算額	一般財源
一般	歳出	6	1	1	2	1	農業委員会事務局	農業委員会	1	14,420	10,167
〃	〃	6	1	1	3	1	農業委員会事務局	農地法に基づく許認可・利用調整	1	115	115
〃	〃	6	1	1	4	1	農業委員会事務局	農業者年金業務	2	415	0
〃	〃	6	1	1	5	1	農業委員会事務局	農地保有合理化促進	2	78	0
〃	〃	6	1	1	6	1	農業委員会事務局	国有農地の管理・処分	3	25	0
〃	〃	6	1	1	7	1	農業委員会事務局	農用地利用権設定等促進	3	1,384	1,384
〃	〃	6	1	1	8	1	農業委員会事務局	農地調整事務処理	4	15	0

担当課	農業委員会事務局
事業名	農業委員会

予算科目						
会計	一般	節		説明		
歳入歳出	歳出	区分	金額			
款	6 農林水産業費	1 報酬	11,502	農業委員会委員	11,502	
項	1 農業費	8 報償費	239	報奨金	239	
目	1 農業委員会費	9 旅費	591	費用弁償他	591	
		10 交際費	30	交際費	30	
		11 需用費	332	消耗品費他	332	
		12 役務費	356	手数料他	356	
		14 使用料及び賃借料	955	自動車借上料他	955	
		19 負担金補助及び交付金	415	県農委会長協議会負担金	17	
				県農業会議負担金	281	
				中部農業委員会協議会負担金	117	

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳　（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
82	14,475	14,420		4,208		45	10,167

事業の概要、対象、意図など

農業委員会等に関する法律並びに農業委員会憲章等に沿って農業の発展、農民の地位向上に努めるため、農業委員会組織運営にあたる。
農地移動の適正管理、農業委員会の組織運営、特別委員会等の開催、農業委員研修、職員実務研究会等への参加。

歳出積算根拠（金額）

農業委員会委員報酬（農業委員　３２名）　11,502千円
報奨金　239千円
　くらよし農家相談会　　24千円
　選挙人名簿調査員謝金　215千円
旅費　　591千円
　全国会長大会、全国農業委員会会長代表者集会、農業委員県外視察研修、山陰12市事務局長会議
印刷製本費　92千円
　農業委員会だより　他
役務費　356千円
　農家台帳システム保守料　324千円
　農業委員公務災害補償保険料　32千円
使用料及び賃借料　955千円
　自動車借上料　250千円
　農地地図情報システム借上料　216千円
　農地地図情報システムデータ更新料　108千円
　電子複写機トータルサービス料　381千円
負担金　415千円
　鳥取県会長協議会負担金　　17千円
　鳥取県農業会議負担金　　281千円
　中部農業委員会協議会負担金　117千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

農業委員会費補助金　定額　4,208千円
農業関係証明手数料　300円＊150件　45千円

担当課	農業委員会事務局
事業名	農地法に基づく許認可・利用調整

予算科目						
会計	一般	節		説明		
歳入歳出	歳出	区分	金額			
款	6 農林水産業費	8 報償費	60	報奨金	60	
項	1 農業費	11 需用費	55	消耗品費他	55	
目	1 農業委員会費					

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳　（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
82	115	115					115

事業の概要、対象、意図など

農地法に基づく農地の権利移動・設定関係の許認可、利用調整事務を行う。

歳出積算根拠（金額）

報奨金　農地転用現地調査　　60千円　（1,000円/回＊５人＊１２月）
食糧費　農地転用現地調査昼食　36千円　（600円/回＊５人＊１２月）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	農業委員会事務局
事業名	農業者年金業務

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業費	2 給料	340	一般職給	340
	項	1 農業費	11 需用費	25	消耗品費	25
	目	1 農業委員会費	12 役務費	50	通信運搬費	50

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
82	460	415				415	0

事業の概要、対象、意図など

農業者年金基金からの受託により農業者年金の加入推進、脱退、死亡等の諸手続き及び経営移譲年金等の裁定手続き、農業者年金友の会事務局を行う。

歳出積算根拠（金額）

消耗品費　参考図書、事務用品　70千円
通信運搬費　郵便料、電話料　50千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

農業者年金基金
農業者年金業務委託料　10/10　415千円

担当課	農業委員会事務局
事業名	農地保有合理化促進

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業費	11 需用費	50	消耗品費	50
	項	1 農業費	12 役務費	28	通信運搬費	28
	目	1 農業委員会費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
83	78	78				78	0

事業の概要、対象、意図など

公益財団法人鳥取県農業農村担い手育成機構が実施する農地保有合理化促進事業の受託事務で、農地の売買・賃貸借等の調整、契約・登記手続き、書類の収集、連絡調整を行う。

歳出積算根拠（金額）

消耗品費　事務用消耗品　50千円
通信運搬費　郵便料、電話料　28千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

公益財団法人鳥取県農業農村担い手育成機構が実施する農地保有合理化促進事業の受託
買い入れ　5,000円/件＊1件
売り渡し　5,000円/件＊1件
借り入れ　3,000円/件＊20件
貸し付け　1,000円/件＊3件
農作業受託　5,000円/件＊1件

担当課	農業委員会事務局
事業名	国有農地の管理・処分

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業費	11 需用費	15	消耗品費	15
	項	1 農業費	12 役務費	10	通信運搬費	10
	目	1 農業委員会費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
83	25	25		25			0

事業の概要、対象、意図など

自作農創設特別措置法等に基づき、国有農地の管理・処分の事務を行う。
農地対価徴収令に基づき、農地等対価徴収事務を行う。

歳出積算根拠（金額）

消耗品費　参考図書、事務用品　15千円
通信運搬費　郵便料、電話料　10千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

農業経営基盤強化事業事務取扱交付金　10/10　25千円

担当課	農業委員会事務局
事業名	農用地利用権設定等促進

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業費	8 報償費	50	報奨金	50
	項	1 農業費	11 需用費	275	消耗品費	255
	目	1 農業委員会費			食糧費	20
			12 役務費	59	通信運搬費	59
			19 負担金補助及び交付金	1,000	遊休農地解消対策事業助成金	1,000

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
82	1,283	1,384					1,384

事業の概要、対象、意図など

農地の有効利用のため、農地の利用集積、遊休農地の発生防止、解消対策等に取り組む。
農業経営基盤強化促進法に基づき利用権の設定・所有権移転の受付・登記事務を行う。
遊休農地、違反転用の調査のため、農地パトロールを実施する。
遊休農地解消対策のため、遊休農地解消対策助成金を交付する。

歳出積算根拠（金額）

報償金　50千円
　農地利用状況調査　32千円　（1,000円＊32人＊1回）
　違反転用農地現地調査　18千円　（1,000円＊9人＊2回）
消耗品費
　利用権設定基本台帳(県農業会議)　179千円
　その他消耗品　76千円
食糧費　20千円
　農地利用状況調査等現地調査昼食　20千円　（@600円＊32人）
通信運搬費　59千円
　利用権設定終期・更新通知郵便代　59千円
遊休農地解消対策助成金　1,000千円　（上限@30,000円/10a＊3ha）

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

担当課	農業委員会事務局
事業名	農地調整事務処理

予算科目	会計	一般	節		説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	6 農林水産業費	8 報償費	12	報奨金	12
	項	1 農業費	11 需用費	3	消耗品費	3
	目	1 農業委員会費				

予算説明書（ページ）	金額		左の財源内訳 （単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
82	15	15		15			0

事業の概要、対象、意図など

農地の利用関係の紛争発生の際の和解仲介を行う。

歳出積算根拠（金額）

報償金　和解仲介委員報償金　2,000円＊3人＊2回
消耗品費　事務用消耗品　3千円

歳入積算根拠（特定財源）　補助対象経費、補助率など

農業委員会補助金　10/10　15千円